

令和2年度

島根県保険者協議会医療費等分析事業報告書

島根県保険者協議会

(事務局 島根県・島根県国民健康保険団体連合会)

目 次

I	医療費統計	1
	◆医療費統計にあたって	1
	◆本統計における疾病分類表	2
1	県全体及び制度別の状況	4
	(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	4
	① 加入者数	4
	② レセプト件数	6
	③ 費用額	8
	(2) 医療費諸率	10
	① 受診率	10
	② 1件当たり費用額	14
	③ 1人当たり費用額	18
	(3) 疾病統計	22
	① 疾病別医療費（大分類）	22
	② 生活習慣病	30
	③ 疾病別医療費（中分類）	34
2	市町村別の状況	36
	(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	36
	① 年齢階層別加入者割合	36
	② 制度別加入者数割合・レセプト件数割合・費用額割合	37
	(2) 医療費諸率	39
	① 受診率	39
	② 1件当たり費用額	40
	③ 1人当たり費用額	41
	④ 年齢調整1人当たり費用額	42
	⑤ 1件当たり費用額と受診率の関係	43
	(3) 疾病統計	44
	① 疾病別医療費（大分類）	44
	② 生活習慣病	45
	③ 疾病別医療費（中分類）	51

II	特定健康診査結果統計	57
	◆健診結果データ集計にあたって	57
1	県全体及び制度別の状況	58
	(1) 特定健診受診者数等	58
	① 特定健診対象者数	58
	② 特定健診受診者数	59
	③ 特定健診受診率	60
	(2) 特定保健指導該当者割合	61
	(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合	62
	(4) 検査等結果	63
	① 肥満者の割合	63
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	64
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	65
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	66
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	67
	⑥ 飲酒者<毎日>の割合	68
	(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合	69
	① 対象者	69
	② リスク保有状況	70
2	市町村別の状況	74
	(1) 特定健診受診者等	74
	(2) 特定保健指導該当者割合	75
	(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	76
	① メタボリックシンドローム該当者の割合	76
	② メタボリックシンドローム予備群の割合	77
	(4) 検査等結果	78
	① 肥満者の割合	78
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	79
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	81
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	83
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	85
	⑥ 飲酒者<毎日>の割合	87

(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合	89
① リスク1項目	89
② リスク2項目	92
③ リスク3項目	95

I 医療費統計

◆医療費統計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における令和2年5月診療分レセプトデータを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合
- ・島根県後期高齢者医療広域連合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国 保

島根県内 19 市町村国民健康保険

島根県医師国民健康保険組合：「市町村別の状況」には含まない

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部

島根県市町村職員共済組合

（3）後期高齢者

島根県後期高齢者医療広域連合

【診療区分（別）】

（1）入 院（食事・生活療養費を含む）

（2）入院外（調剤費用額を含む）

（3）歯 科

※調剤については、費用額のみ入院外に含め、件数は含めない。

【疾病分類】

レセプト1件につき1疾病（主病）を抽出し、社会保険表章用疾病分類表に従い分類（P2、3「本統計における疾病分類表」参照）する。

なお、歯科レセプト及び疾病大分類「X I 消化器系の疾患」のうち、分類コード「1101」「1102」「1103」については、『歯科』と分類した。

3 生活習慣病の定義

次の分類コードを生活習慣病と定義する。

- ・悪性新生物：0201～0210
- ・糖尿病：0402
- ・脂質異常症：0403
- ・高血圧性疾患：0901
- ・虚血性心疾患：0902
- ・脳血管疾患：0904～0908

4 その他

本書掲載グラフのうち、端数処理の関係上、割合の合計が100%にならない場合がある。

◆本統計における疾病分類表

大分類(20項目)	中分類(120項目)	
	コード	疾 病
I 感染症及び寄生虫症	0101	腸管感染症
	0102	結核
	0103	主として性的伝播様式をとる感染症
	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患
	0105	ウイルス性肝炎
	0106	その他のウイルス性疾患
	0107	真菌症
	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	0109	その他の感染症及び寄生虫症
II 新生物<腫瘍>	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>
	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>
	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>
	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>
	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>
	0208	悪性リンパ腫
	0209	白血病
	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>
	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他新生物<腫瘍>
III 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	0301	貧血
	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401	甲状腺障害
	0402	糖尿病
	0403	脂質異常症
	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
V 精神及び行動の障害	0501	血管性及び詳細不明の認知症
	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	0506	知的障害<精神遅滞>
	0507	その他の精神及び行動の障害
VI 神経系の疾患	0601	パーキンソン病
	0602	アルツハイマー病
	0603	てんかん
	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	0605	自律神経系の障害
	0606	その他の神経系の疾患
VII 眼及び付属器の疾患	0701	結膜炎
	0702	白内障
	0703	屈折及び調節の障害
	0704	その他の眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0801	外耳炎
	0802	その他の外耳疾患
	0803	中耳炎
	0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	0805	メニエール病
	0806	その他の内耳疾患
	0807	その他の耳疾患
IX 循環器系の疾患	0901	高血圧性疾患
	0902	虚血性心疾患
	0903	その他の心疾患
	0904	くも膜下出血
	0905	脳内出血
	0906	脳梗塞
	0907	脳動脈硬化(症)
	0908	その他の脳血管疾患
	0909	動脈硬化(症)
	0911	低血圧(症)
	0912	その他の循環器系の疾患

大分類(20項目)	中分類(120項目)	
	コード	疾 病
X 呼吸器系の疾患	1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]
	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
	1003	その他の急性上気道感染症
	1004	肺炎
	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	1006	アレルギー性鼻炎
	1007	慢性副鼻腔炎
	1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
	1009	慢性閉塞性肺疾患
	1010	喘息
	1011	その他の呼吸器系の疾患
X I 消化器系の疾患	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	1105	胃炎及び十二指腸炎
	1106	痔核
	1107	アルコール性肝疾患
	1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)
	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)
	1110	その他の肝疾患
	1111	胆石症及び胆のう炎
	1112	膵疾患
	1113	その他の消化器系の疾患
	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1201
1202		皮膚炎及び湿疹
1203		その他の皮膚及び皮下組織の疾患
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301	炎症性多発性関節障害
	1302	関節症
	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)
	1304	椎間板障害
	1305	頸腕症候群
	1306	腰痛症及び坐骨神経痛
	1307	その他の脊柱障害
	1308	肩の傷害<損傷>
	1309	骨の密度及び構造の障害
	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患
	1402	腎不全
	1403	尿路結石症
	1404	その他の腎尿路系の疾患
	1405	前立腺肥大(症)
	1406	その他の男性生殖器の疾患
	1407	月経障害及び閉経周辺期障害
	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1501	流産
	1502	妊娠高血圧症候群
	1503	単胎自然分娩
	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく
X VI 周産期に発生した病態	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	1602	その他の周産期に発生した病態
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1701	心臓の先天奇形
	1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901	骨折
	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	1903	熱傷及び腐食
	1904	中毒
	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
X X 歯科	1101	う蝕
	1102	歯肉炎及び歯周疾患
	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害

1 県全体及び制度別の状況

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

本統計における加入者数、レセプト件数及び費用額は次表のとおり。被用者保険のデータは一部収集できていないが、国保及び後期高齢者は全加入者のデータを収集している。

制度	性別	加入者数(人)	レセプト件数(件)	費用額(円)
国保	男性	63,476	53,814	2,589,182,432
	女性	66,134	59,575	1,917,801,284
	計	129,610	113,389	4,506,983,716
被用者保険	男性	122,462	65,427	1,743,972,773
	女性	124,172	75,226	1,680,117,009
	計	246,634	140,653	3,424,089,782
後期高齢者	男性	46,358	66,607	3,838,189,662
	女性	78,319	106,556	5,016,807,709
	計	124,677	173,163	8,854,997,371
合計	男性	232,296	185,848	8,171,344,867
	女性	268,625	241,357	8,614,726,002
	計	500,921	427,205	16,786,070,869

※加入者数：令和2年5月末現在

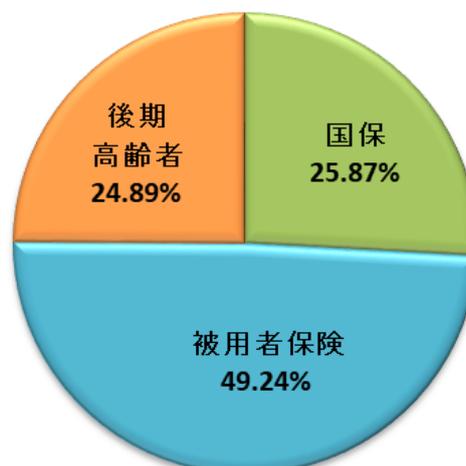
※レセプト件数及び費用額：令和2年5月診療（6月審査）分

① 加入者数

令和2年5月末現在の国保、被用者保険、後期高齢者の加入者のうち約50万人のデータを収集した。同時期の島根県人口約67万人（しまね統計情報データベース）の約75%を占める。

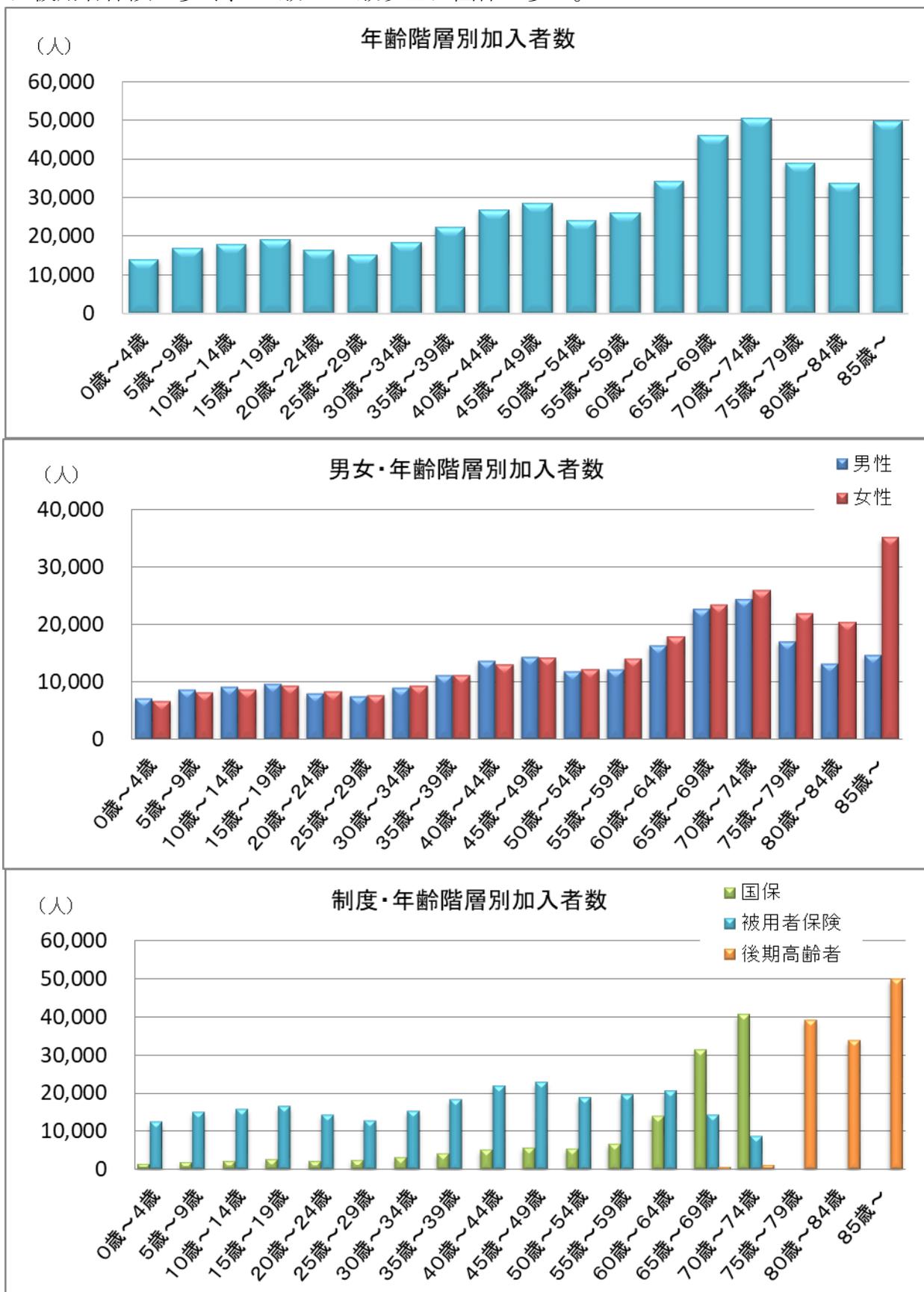
制度別加入者の割合をみると、被用者保険が最も高く49.24%を占める。

制度別加入者数の割合
【加入者数 約50万人】



被用者保険のデータが一部収集できていないため、74歳以下の加入者数は、実際の島根県の状況とは異なる。

男女別にみると、20～34歳と50歳～54歳以上で女性が多く、加齢とともに格差が大きくなる傾向がある。また、国保と被用者保険を比較すると、60歳～64歳以下では被用者保険が多く、65歳～69歳以上は国保が多い。



② レセプト件数

令和2年5月診療分のレセプトデータ約43万件を収集した。

レセプト件数は、加入者数と同様に男性より女性が多い。

診療区分別では、入院外が最も多い。

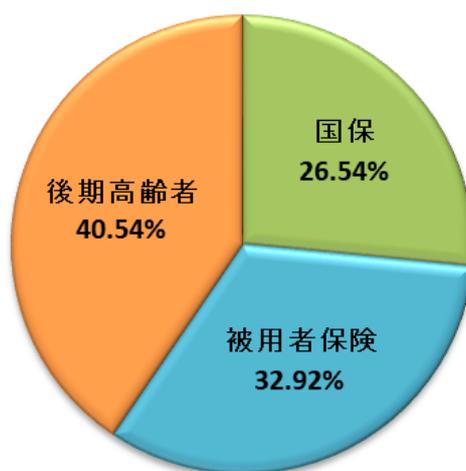
制度	性別	入院(件)	入院外(件)	歯科(件)	合計(件)
国保	男性	2,025	44,617	7,172	53,814
	女性	1,359	49,503	8,713	59,575
	計	3,384	94,120	15,885	113,389
被用者保険	男性	855	52,410	12,162	65,427
	女性	996	59,867	14,363	75,226
	計	1,851	112,277	26,525	140,653
後期高齢者	男性	3,255	57,425	5,927	66,607
	女性	4,578	94,301	7,677	106,556
	計	7,833	151,726	13,604	173,163
合計	男性	6,135	154,452	25,261	185,848
	女性	6,933	203,671	30,753	241,357
	計	13,068	358,123	56,014	427,205

※調剤件数は含まない

制度別レセプト件数の割合をみると、後期高齢者が最も高く40.54%を占める。

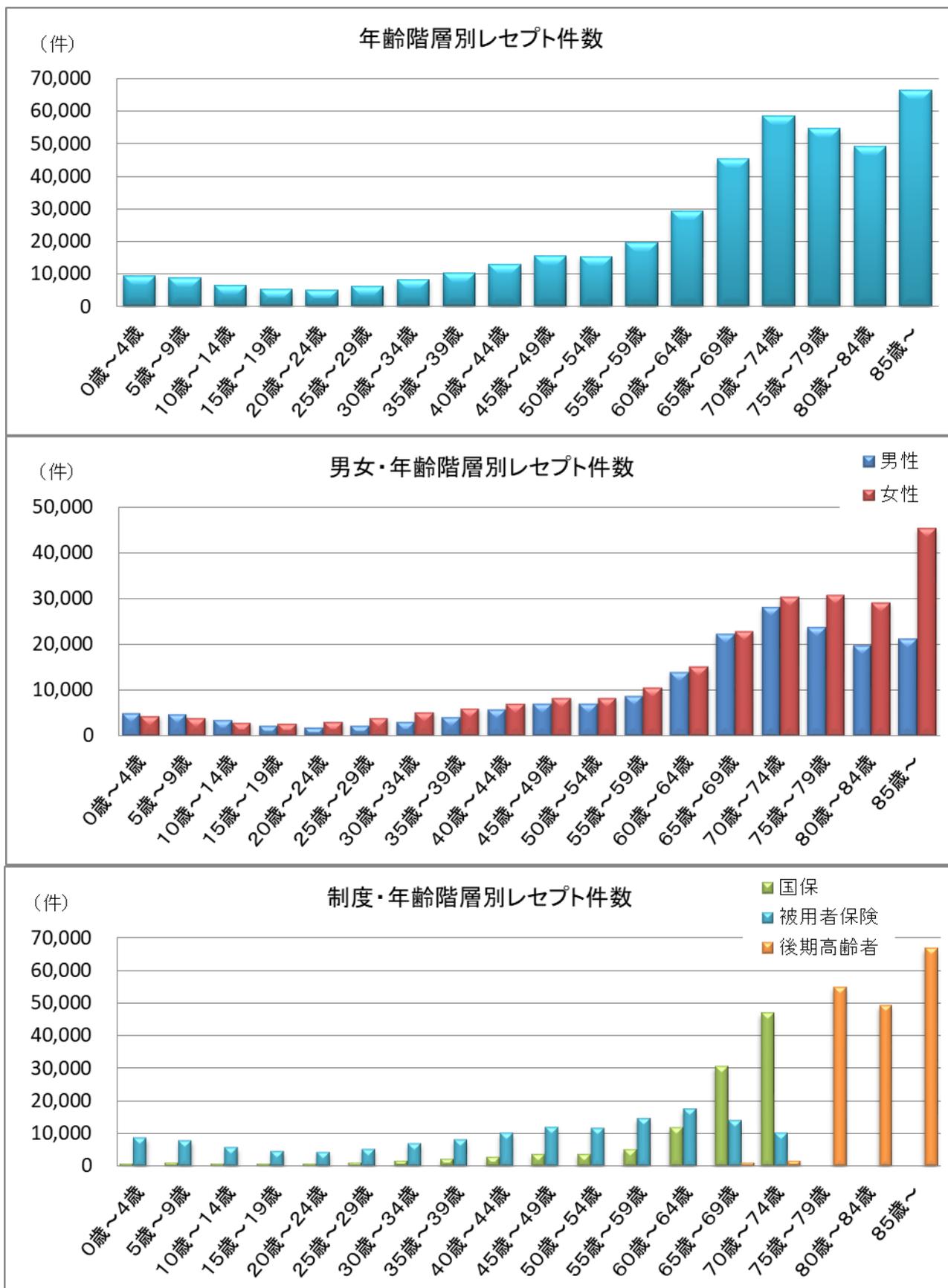
なお、後期高齢者の加入者数の割合は、24.89%と最も低い(P4参照)。

制度別レセプト件数の割合
【レセプト件数 約43万件】



レセプト件数は、男女別にみると、15歳～19歳以上の全ての年齢階層で女性が多い。特に75歳以上で男女差が大きく、加入者数と同様の傾向がみられる。

なお、国保と被用者保険を比較すると、加入者数と同様に60歳～64歳以下は被用者保険、65歳～74歳は国保が多い。



③ 費用額

令和2年5月診療分の費用額は、約168億円。

費用額は、男性より女性が高く、加入者数、レセプト件数と同様の傾向がみられる。

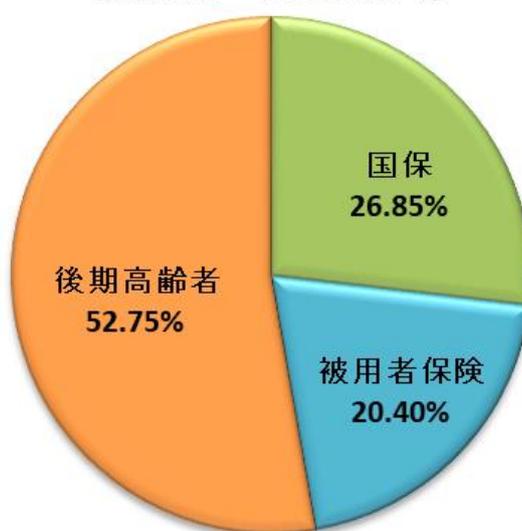
制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	1,304,336,112	1,181,579,300	103,267,020	2,589,182,432
	女性	807,192,760	997,288,690	113,319,834	1,917,801,284
	計	2,111,528,872	2,178,867,990	216,586,854	4,506,983,716
被用者保険	男性	572,660,895	1,011,470,780	159,841,098	1,743,972,773
	女性	535,701,699	969,612,050	174,803,260	1,680,117,009
	計	1,108,362,594	1,981,082,830	334,644,358	3,424,089,782
後期高齢者	男性	2,045,120,008	1,705,888,280	87,181,374	3,838,189,662
	女性	2,737,906,263	2,168,496,450	110,404,996	5,016,807,709
	計	4,783,026,271	3,874,384,730	197,586,370	8,854,997,371
合計	男性	3,922,117,015	3,898,938,360	350,289,492	8,171,344,867
	女性	4,080,800,722	4,135,397,190	398,528,090	8,614,726,002
	計	8,002,917,737	8,034,335,550	748,817,582	16,786,070,869

※調剤費用額は、入院外に含む

制度別費用額の割合をみると、後期高齢者が最も高く52.75%を占める。

なお、後期高齢者レセプト件数の割合40.54%を大きく上回っている(P6参照)。

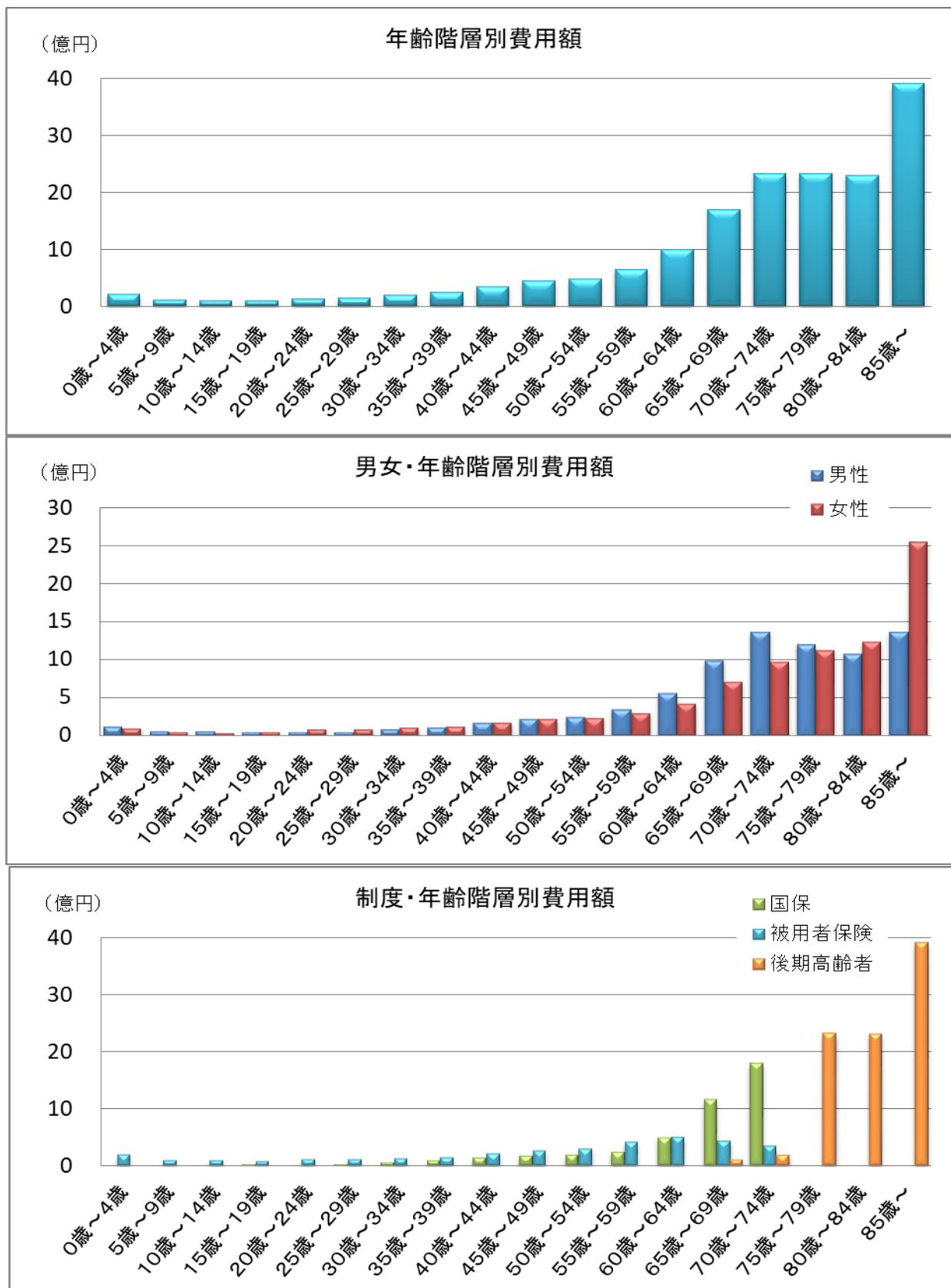
制度別費用額の割合
【費用額 約168億円】



費用額は、加齢とともに増加の傾向がみられるが、男性の70歳以上は、ほぼ横ばいとなっている。

男女別にみると、40歳～79歳で男性が高い。なお、同年齢のレセプト件数は女性が多い（P7参照）。

また、国保と被用者保険を比較すると、0歳～59歳は被用者保険、60歳～74歳は国保が高い。



(2) 医療費諸率

① 受診率

$$\text{受診率 (\%)} = \text{レセプト件数 (件)} \div \text{加入者数 (人)} \times 100$$

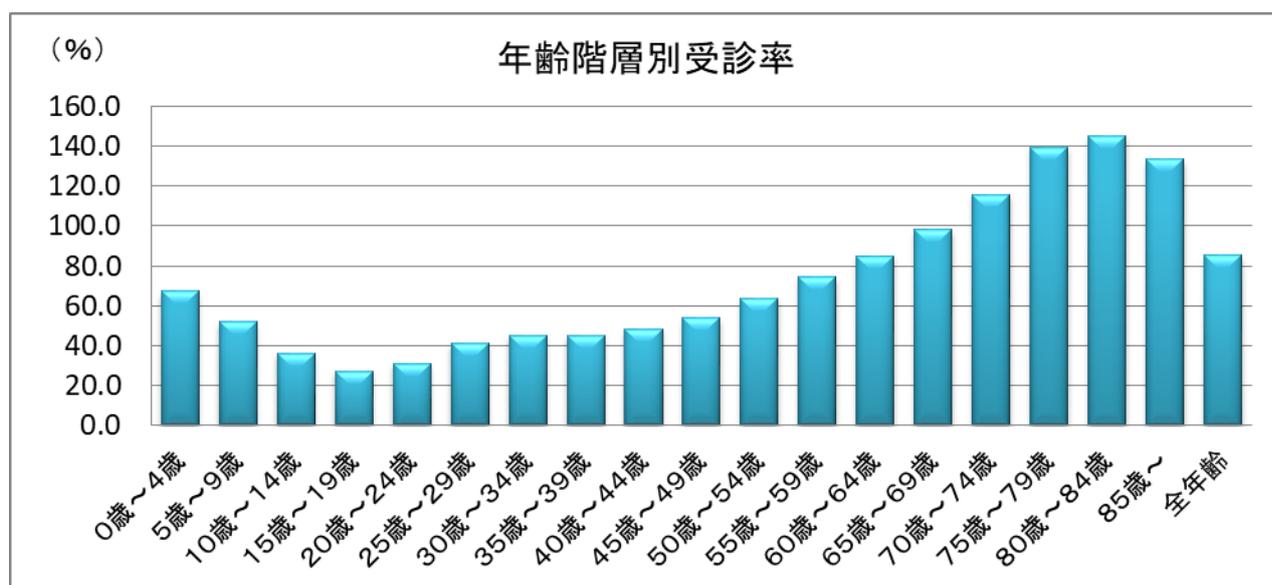
受診率は、合計で 85.3%。男女別では女性が高い。

診療区分別では入院外が最も高く、制度別では後期高齢者が最も高い。

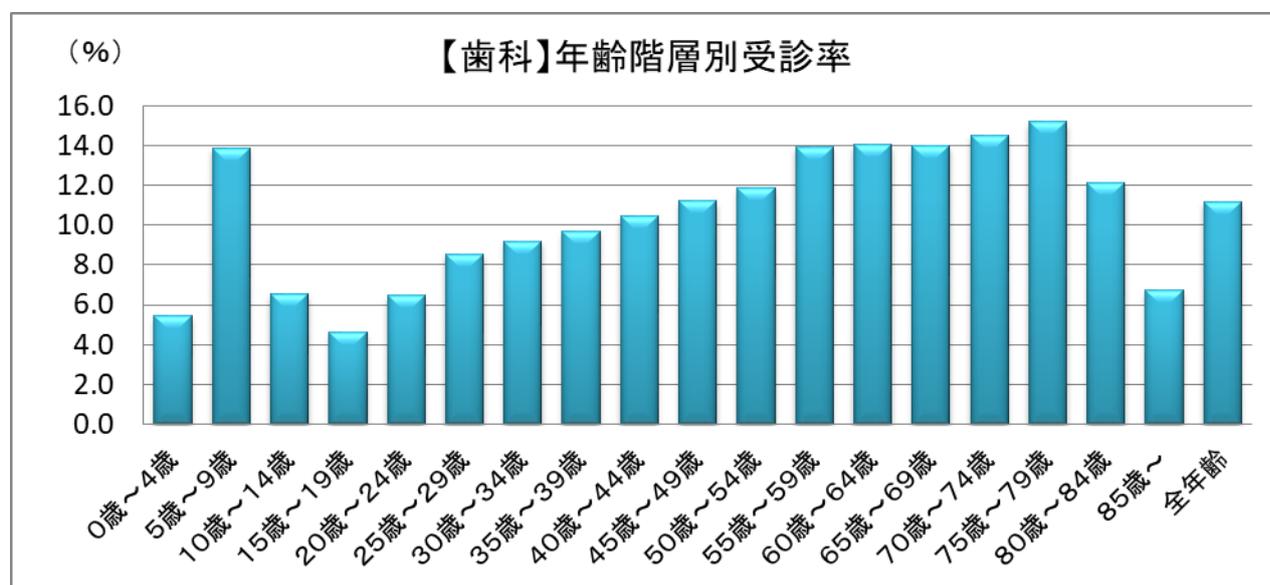
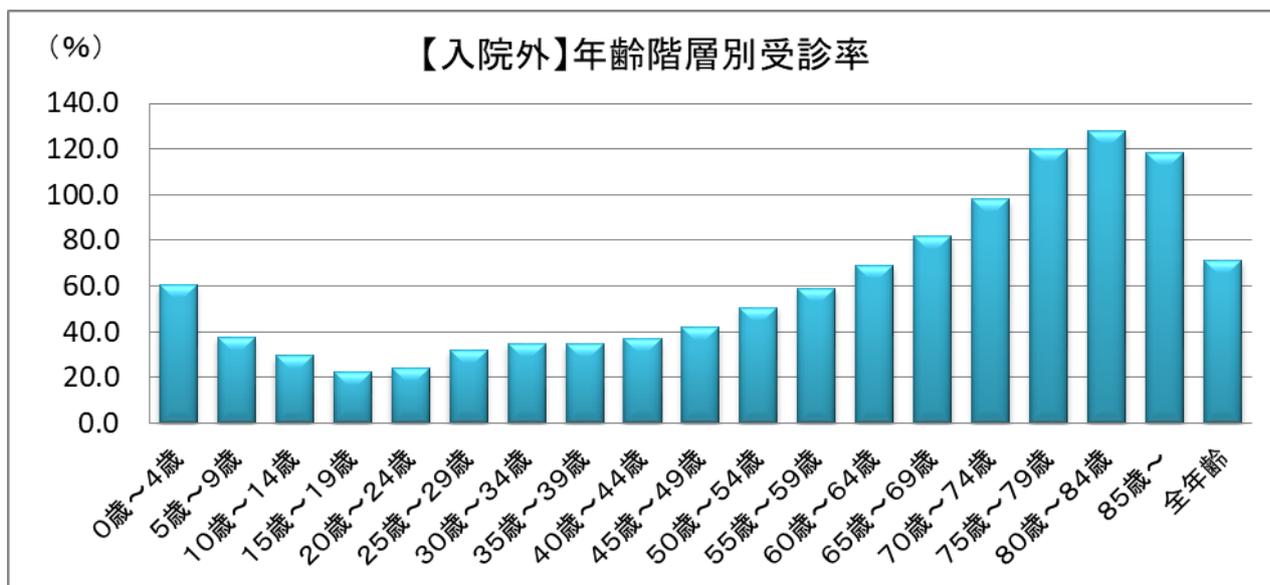
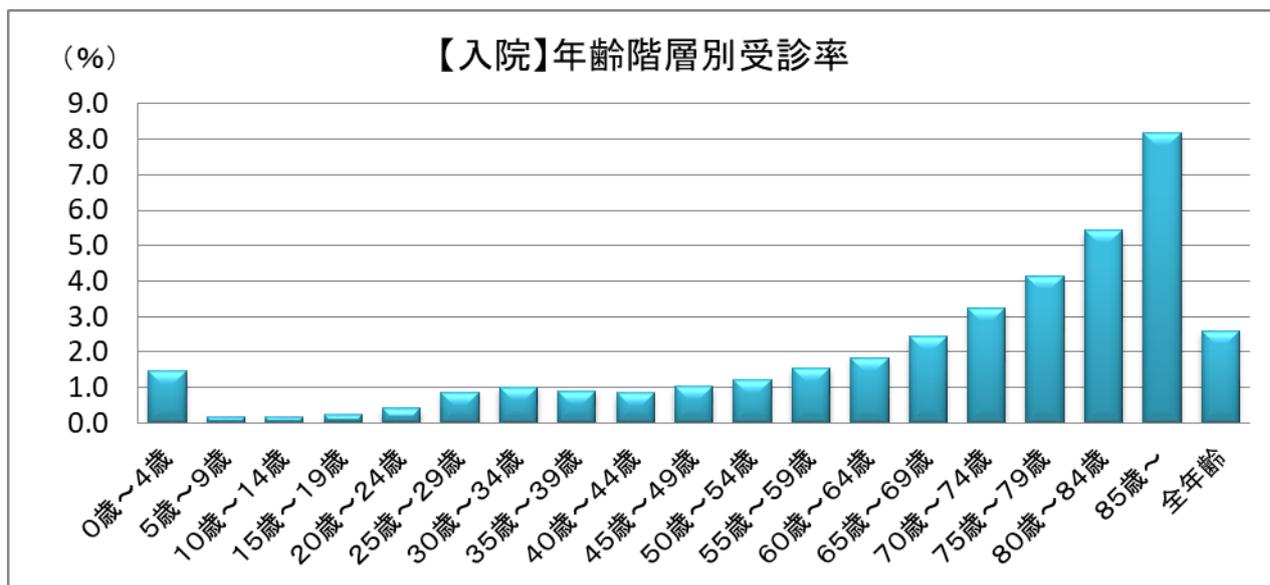
制度	性別	入院 (%)	入院外 (%)	歯科 (%)	合計 (%)
国保	男性	3.2	70.3	11.3	84.8
	女性	2.1	74.9	13.2	90.1
	計	2.6	72.6	12.3	87.5
被用者保険	男性	0.7	42.8	9.9	53.4
	女性	0.8	48.2	11.6	60.6
	計	0.8	45.5	10.8	57.0
後期高齢者	男性	7.0	123.9	12.8	143.7
	女性	5.8	120.4	9.8	136.1
	計	6.3	121.7	10.9	138.9
合計	男性	2.6	66.5	10.9	80.0
	女性	2.6	75.8	11.4	89.8
	計	2.6	71.5	11.2	85.3

※調剤件数は含まない

年齢階層別にみると、15歳～19歳以上では加齢とともに高くなり、80歳～84歳が最も高い。

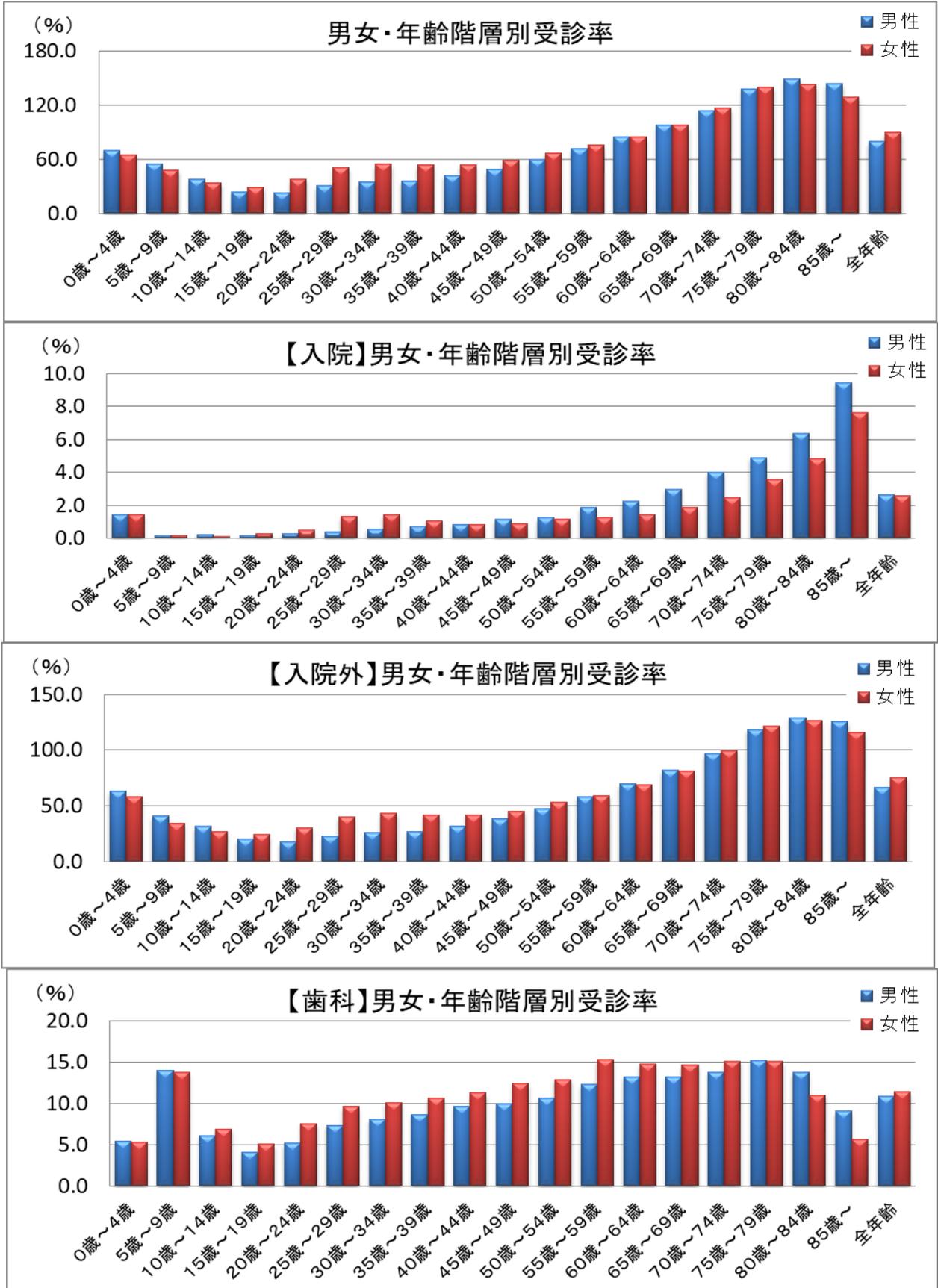


受診率は、入院は加齢とともに増加の傾向がみられる。入院外及び歯科も同様に加齢とともに増加の傾向がみられるが、入院外は80歳～84歳、歯科では75歳～79歳が最も高く、それ以上の年齢では減少に転じる。

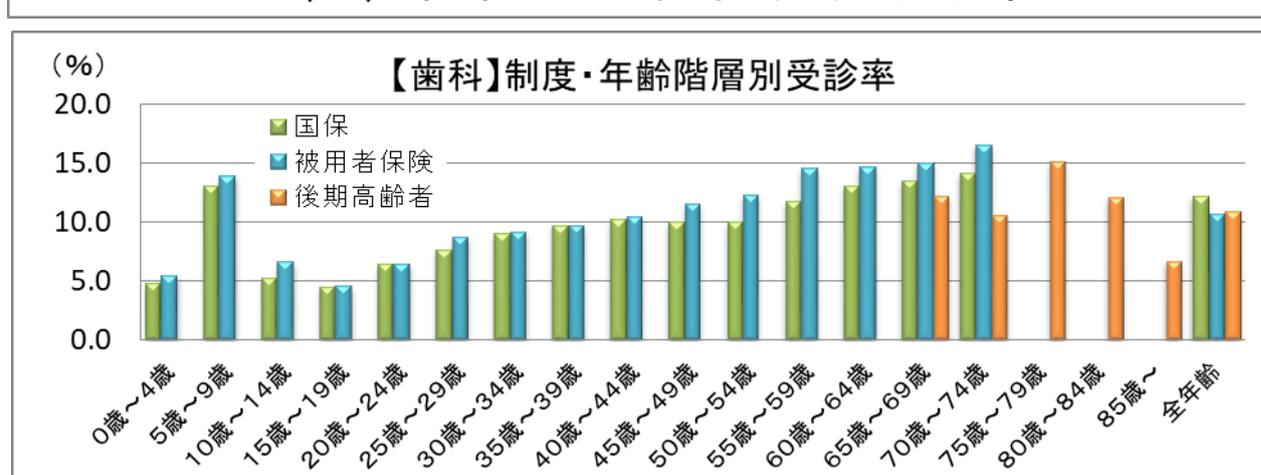
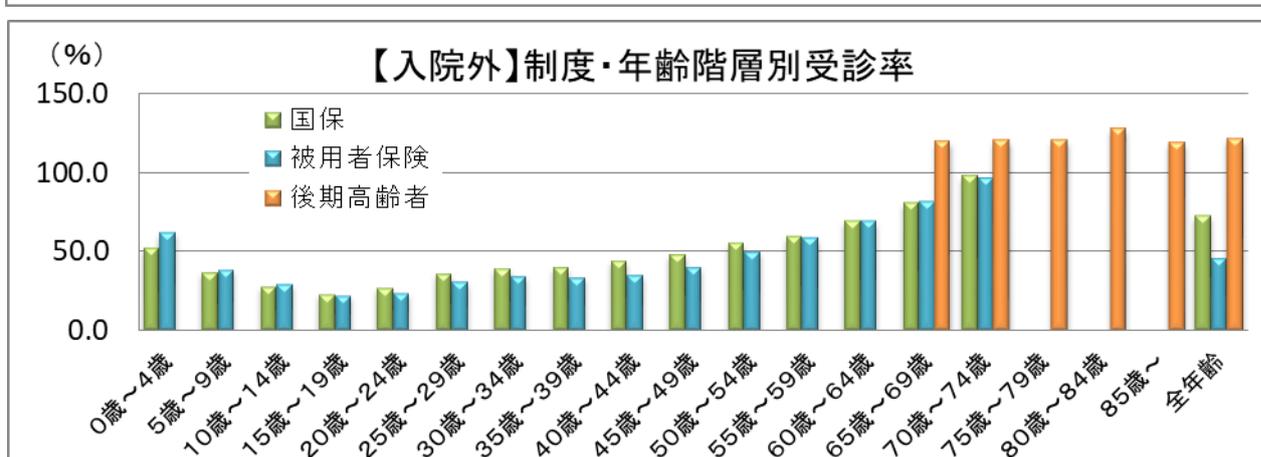
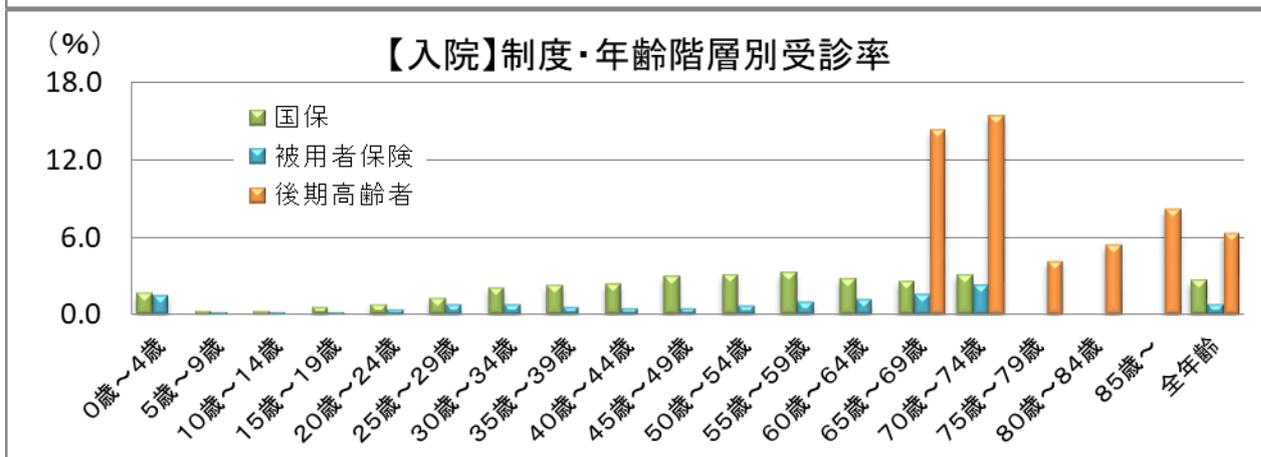
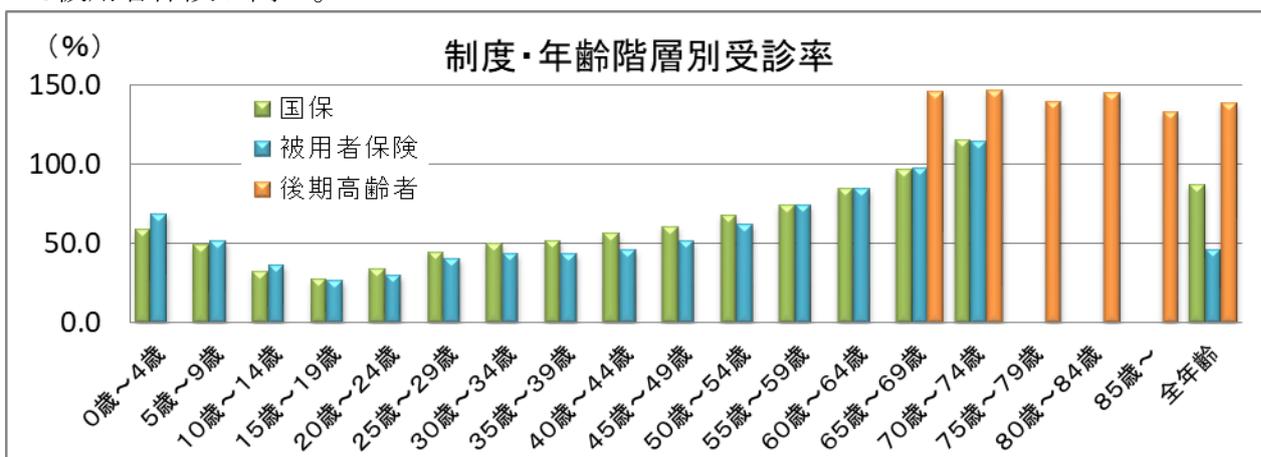


受診率を男女別にみると、15歳～79歳の広い年齢階層で女性が高く、20歳～39歳の若い世代の男女差が大きい。

診療区分別では、入院は40歳～44歳以上で男性が高いが、入院外は15歳～59歳で女性が高く、60歳～64歳以上の年齢階層では男性が高い傾向がある。歯科はほとんどの年齢で女性が低い。



受診率を国保と被用者保険で比較すると、入院は全ての年齢階層で国保が高く、入院外も15歳以上で国保が高い傾向が見られる。一方、歯科はほとんどの年齢階層で被用者保険が高い。



② 1件当たり費用額

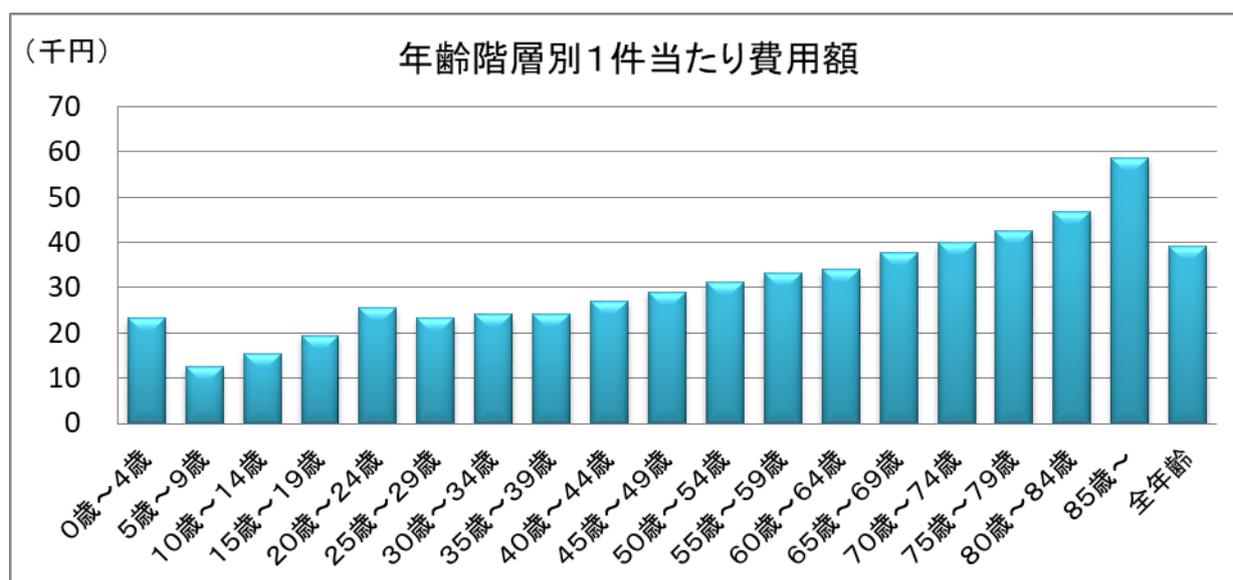
$$1 \text{ 件当たり費用額 (円)} = \text{費用額 (円)} \div \text{レセプト件数 (件)}$$

1件当たり費用額は、合計で39,293円。男女別では男性が高く、診療区分別では入院、制度別では後期高齢者が最も高い。

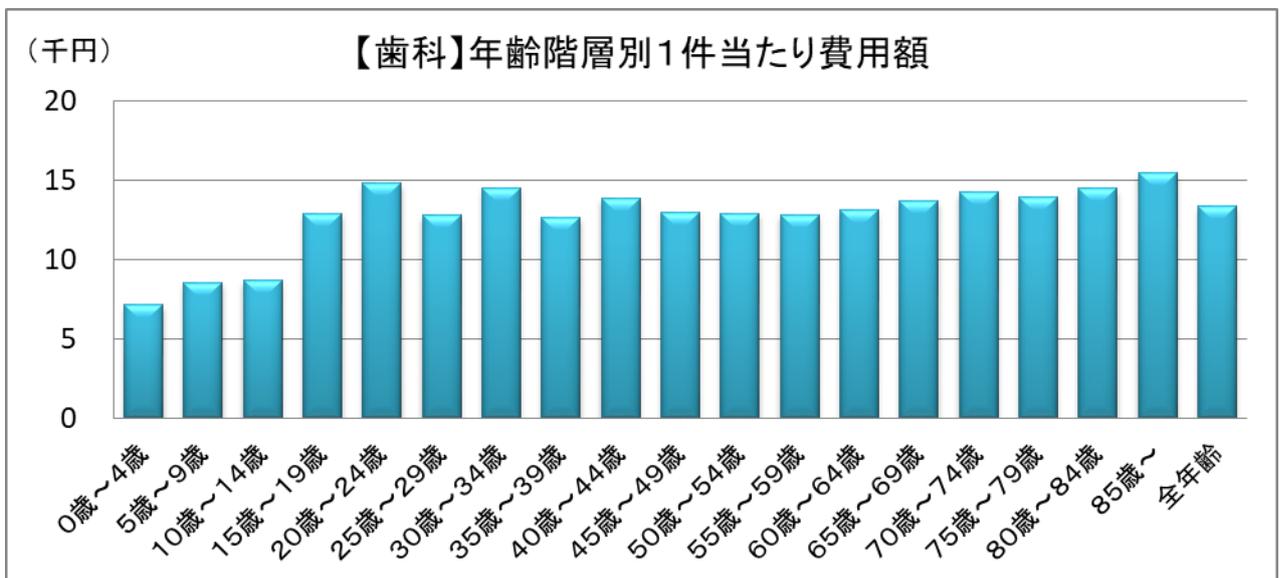
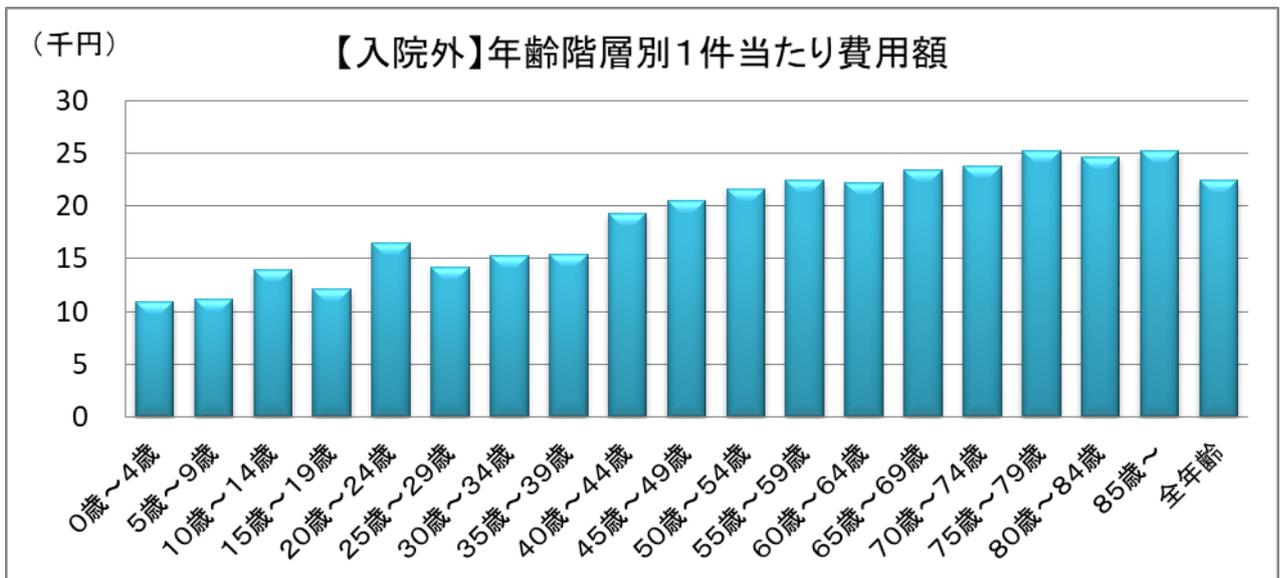
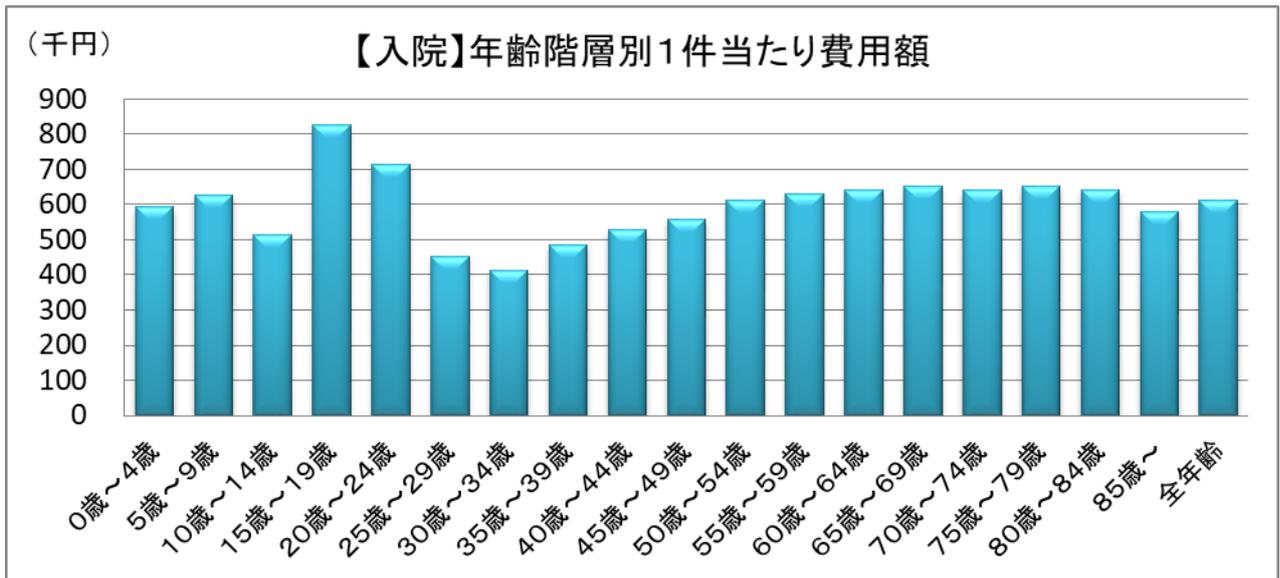
制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	644,117	26,483	14,399	48,114
	女性	593,961	20,146	13,006	32,191
	計	623,974	23,150	13,635	39,748
被用者保険	男性	669,779	19,299	13,143	26,655
	女性	537,853	16,196	12,170	22,334
	計	598,791	17,645	12,616	24,344
後期高齢者	男性	628,301	29,706	14,709	57,624
	女性	598,057	22,995	14,381	47,081
	計	610,625	25,535	14,524	51,137
合計	男性	639,302	25,244	13,867	43,968
	女性	588,605	20,304	12,959	35,693
	計	612,406	22,435	13,368	39,293

※調剤費用額は入院外費用額に含む

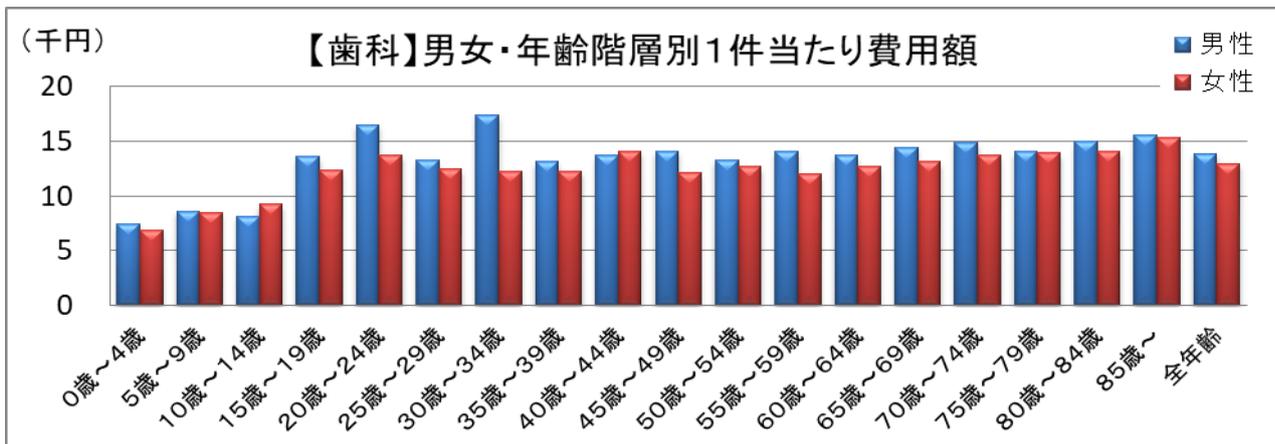
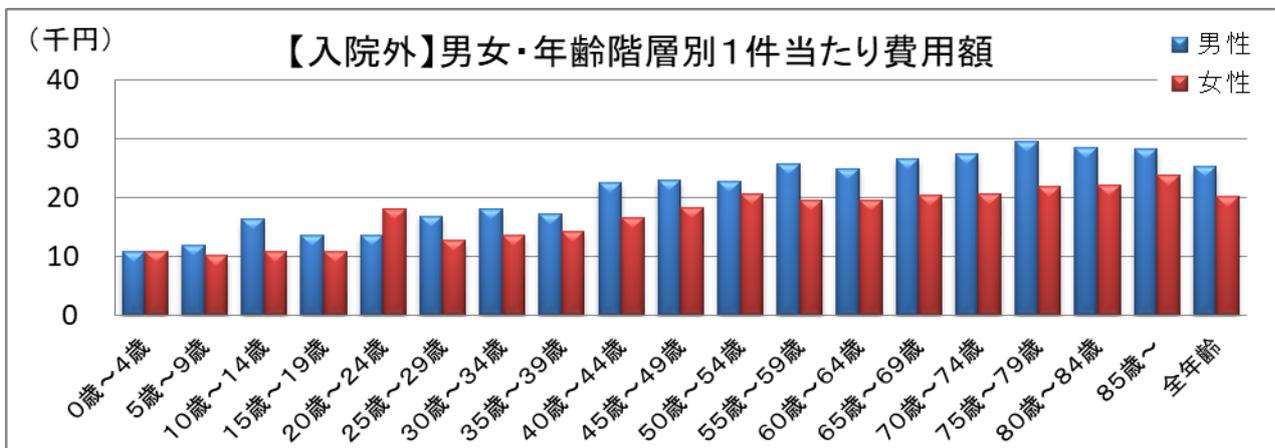
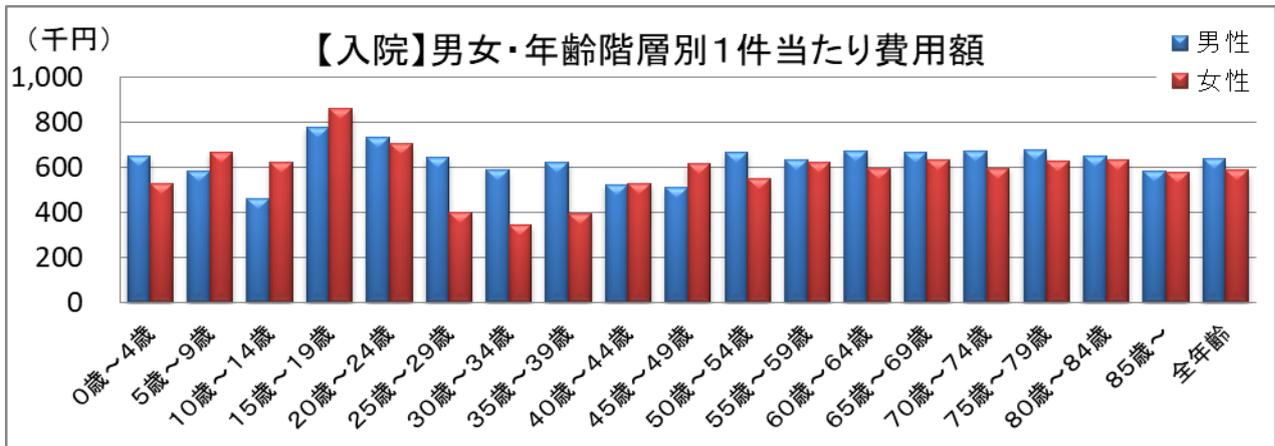
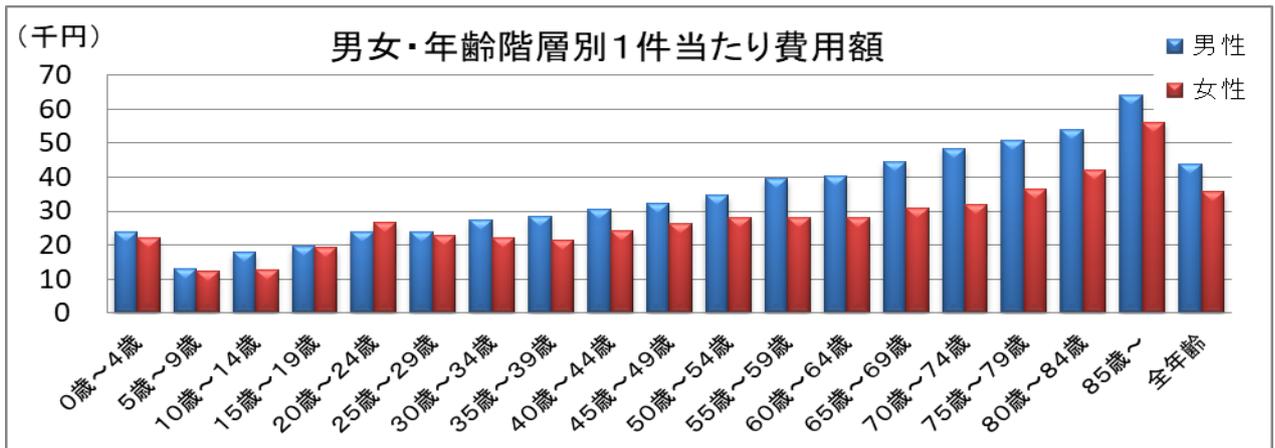
1件当たり費用額は、年齢階層別にみると、加齢とともに増加傾向にある。



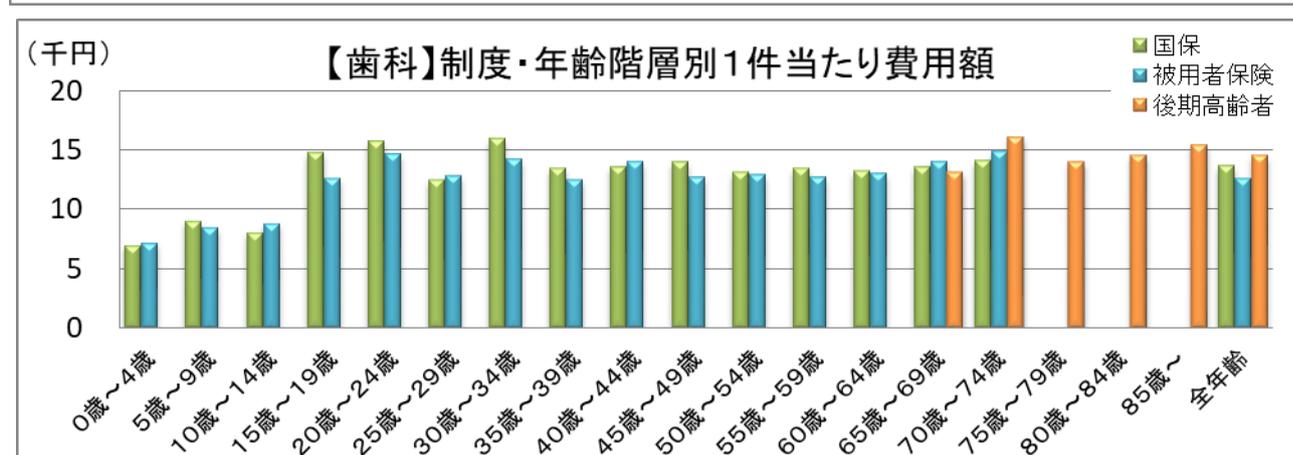
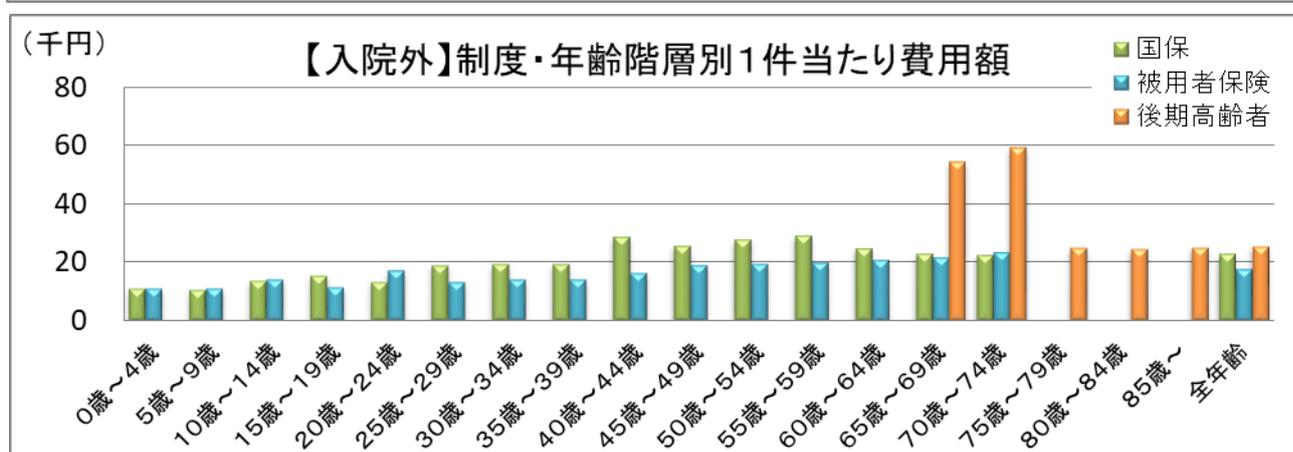
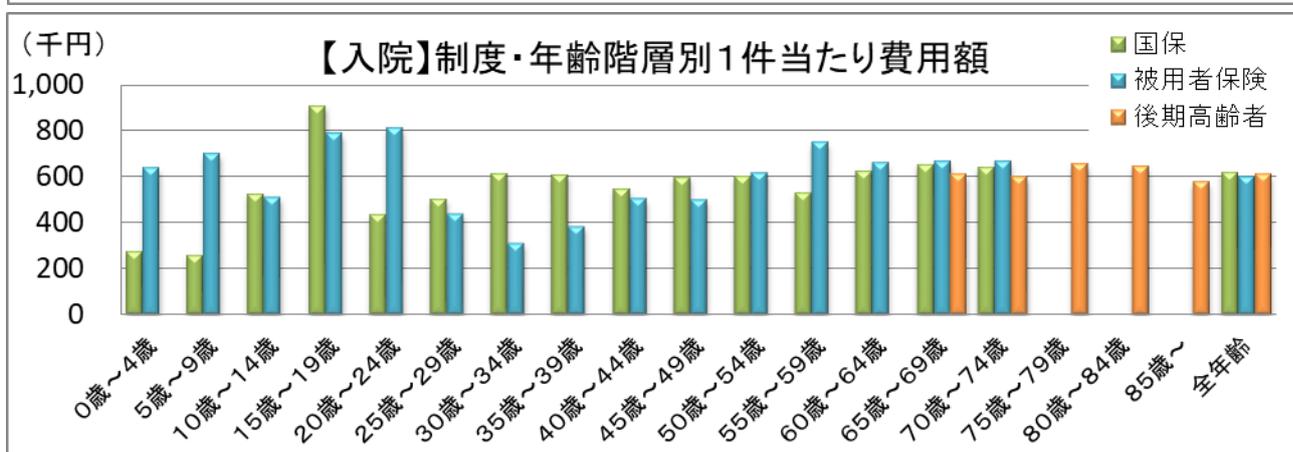
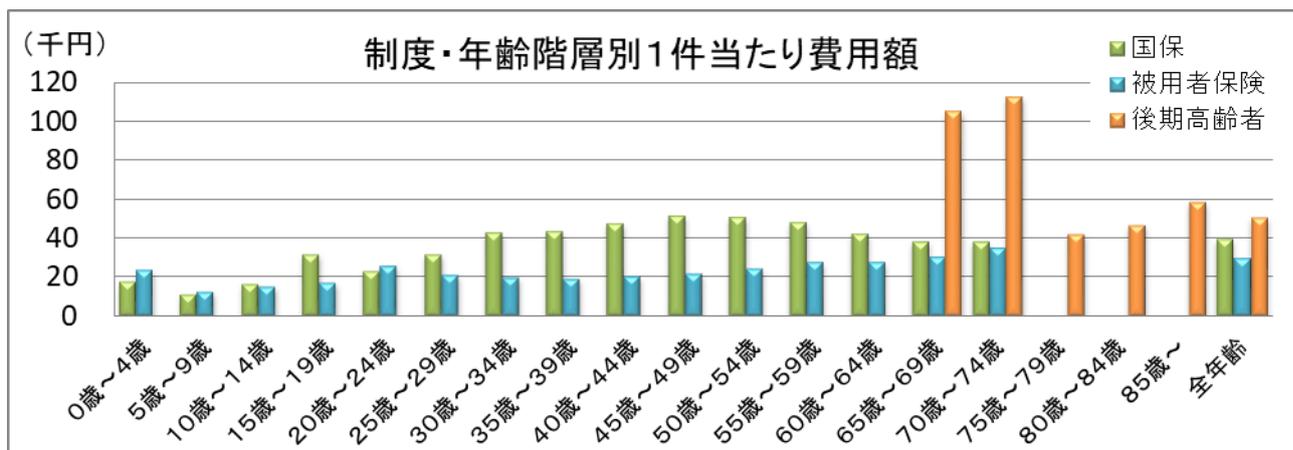
1件当たり費用額は、入院、入院外及び歯科の全ての診療区分で、加齢とともに増加の傾向がみられるが、大きな増加幅はない。



診療区別にみると、入院、入院外、歯科のほとんどの年齢階層で男性が高い傾向がみられる。



1件当たり費用額を国保と被用者保険で比較すると、入院は年齢階層によりばらつきが見られる。入院外は国保で高い傾向が見られ、受診率とほぼ同様の傾向である。(P13 参照)。



③ 1人当たり費用額

$$1人当たり費用額(円) = 費用額(円) \div 加入者数(人)$$

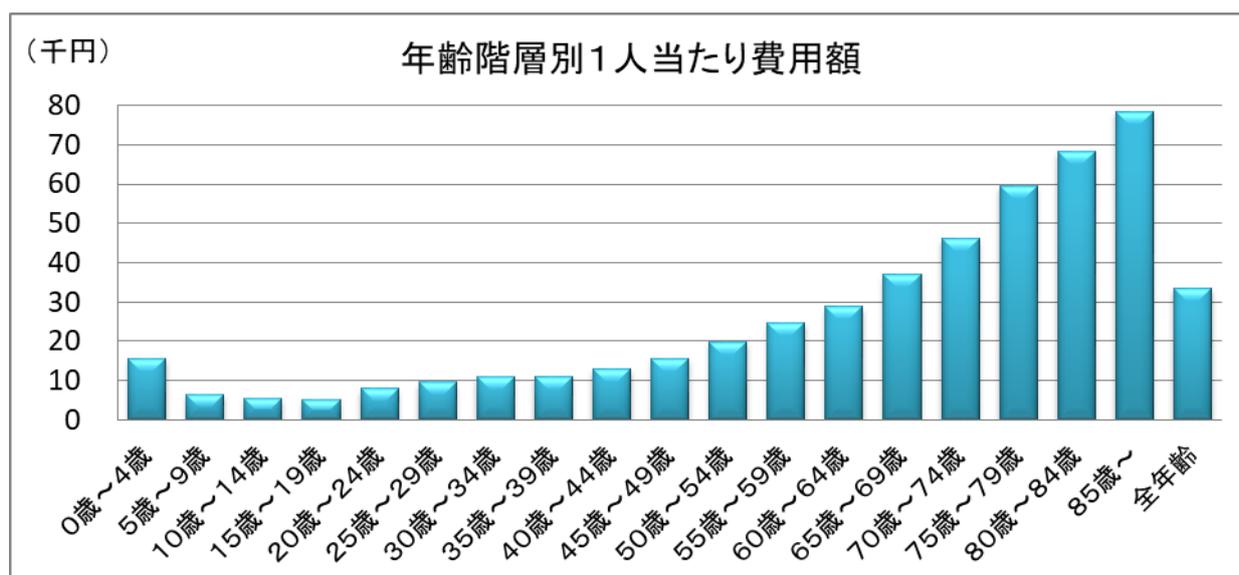
1人当たり費用額は、合計で33,510円。男女別にみると男性が高い。診療区分別では入院外が最も高いが、次いで高い入院との差はわずかである。

制度別では後期高齢者が最も高い。

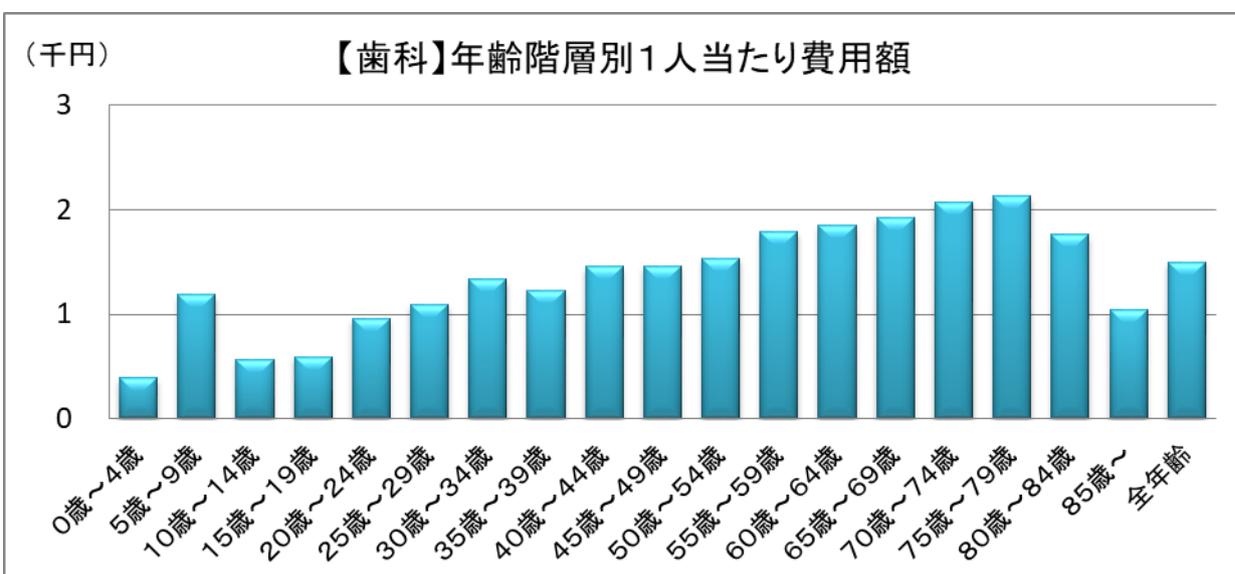
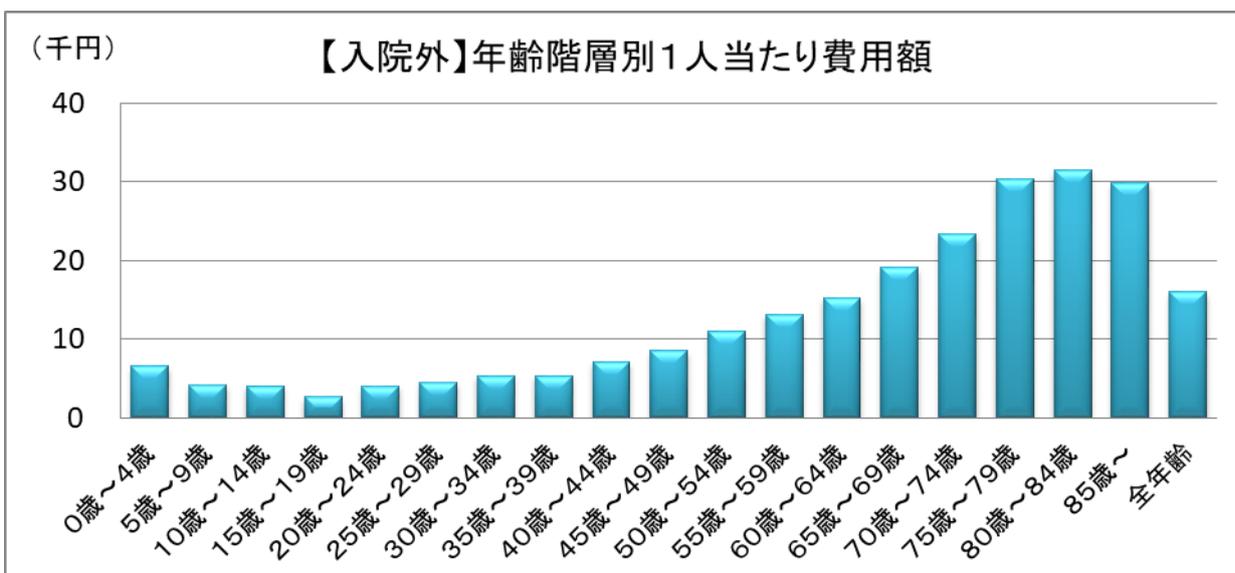
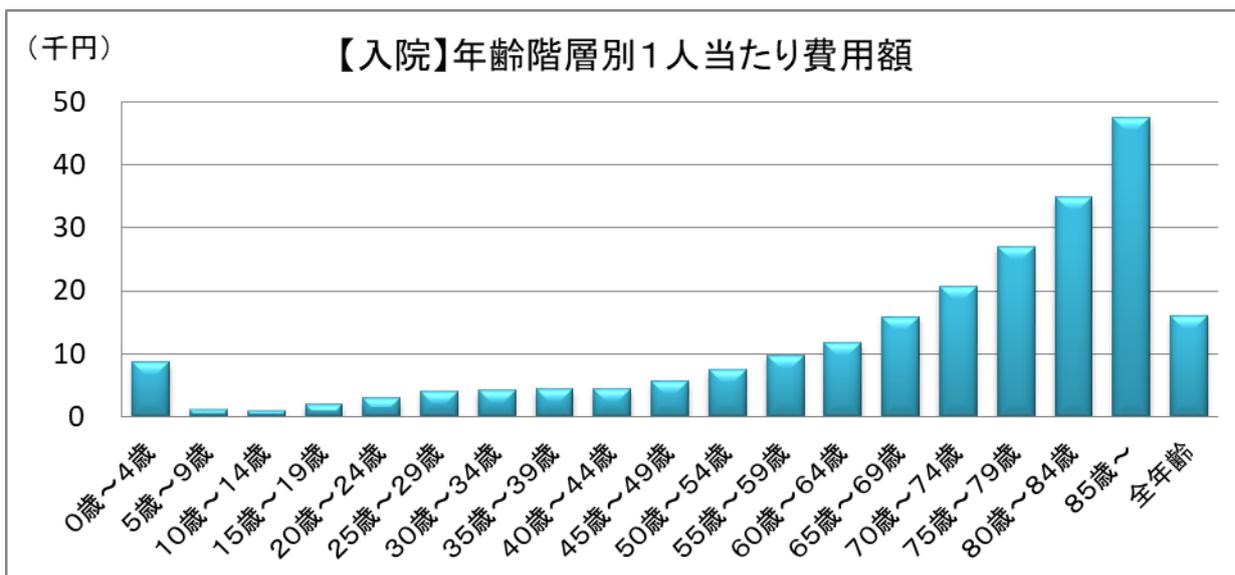
制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	20,548	18,615	1,627	40,790
	女性	12,205	15,080	1,713	28,999
	計	16,291	16,811	1,671	34,773
被用者保険	男性	4,676	8,259	1,305	14,241
	女性	4,314	7,809	1,408	13,531
	計	4,494	8,032	1,357	13,883
後期高齢者	男性	44,116	36,798	1,881	82,795
	女性	34,958	27,688	1,410	64,056
	計	38,363	31,075	1,585	71,024
合計	男性	16,884	16,784	1,508	35,176
	女性	15,191	15,395	1,484	32,070
	計	15,976	16,039	1,495	33,510

※調剤費用額は入院外に含む

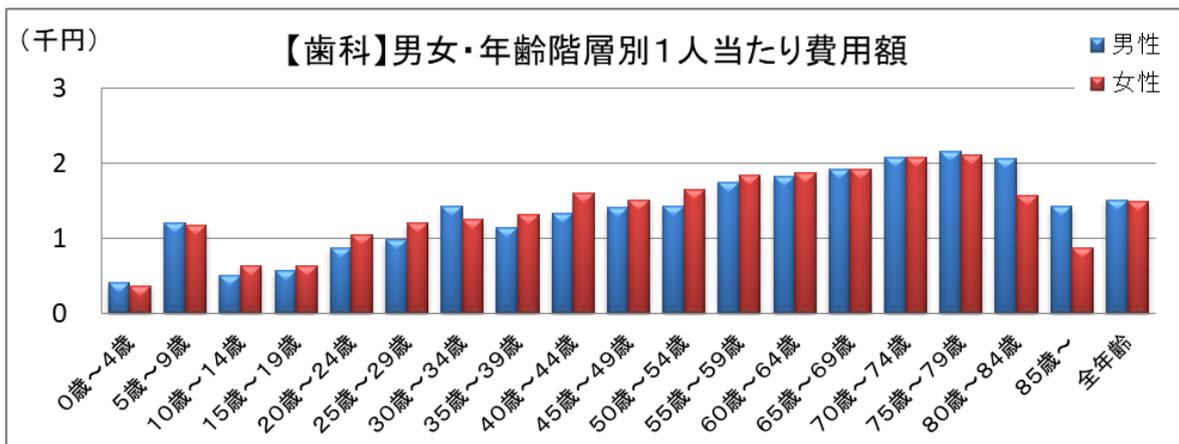
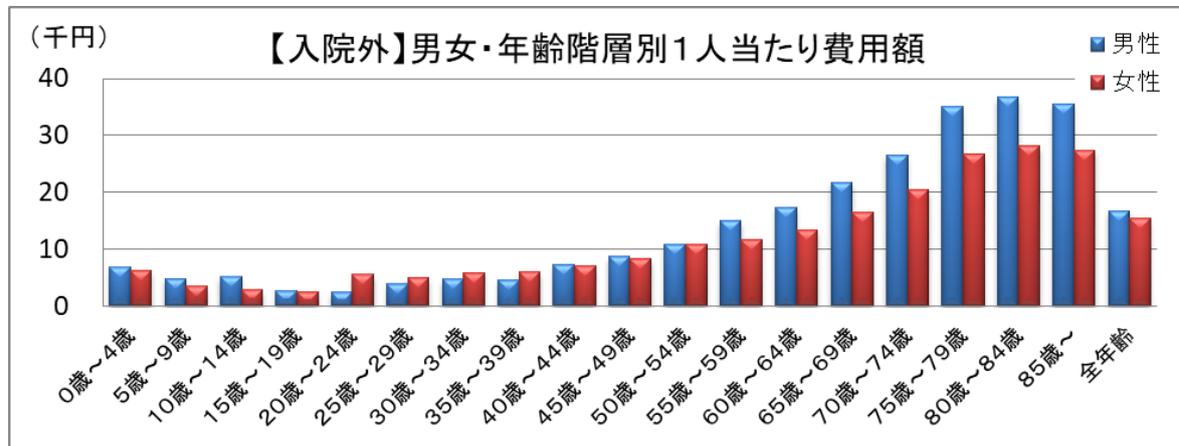
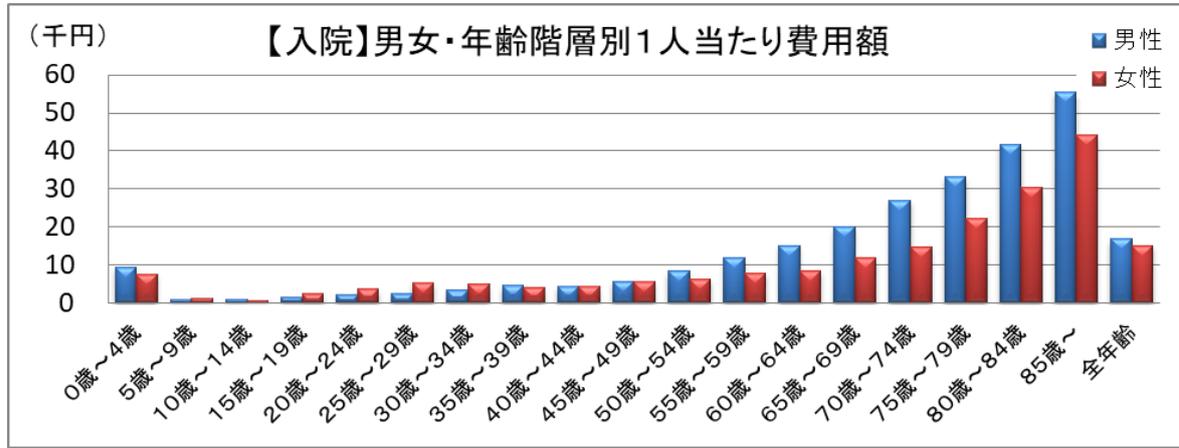
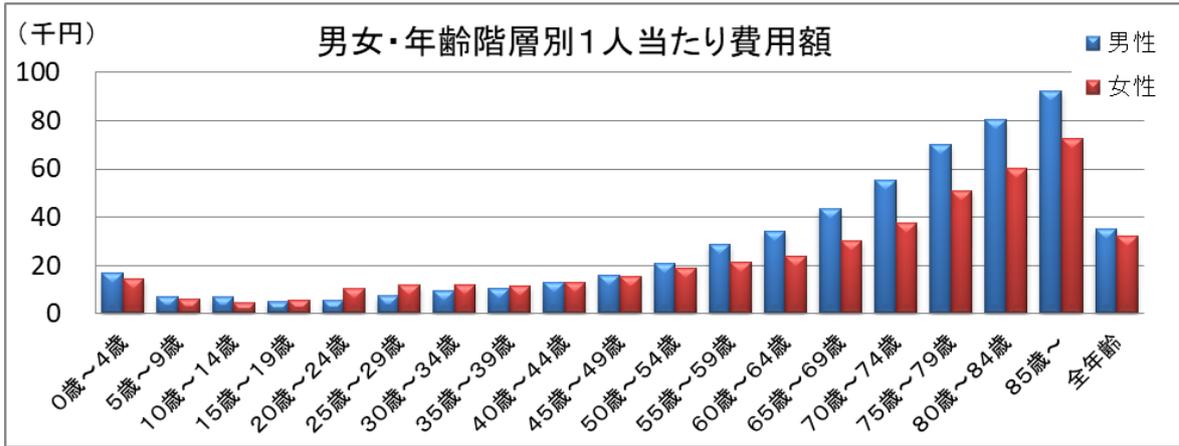
1人当たり費用額は、加齢とともに増加傾向にある。



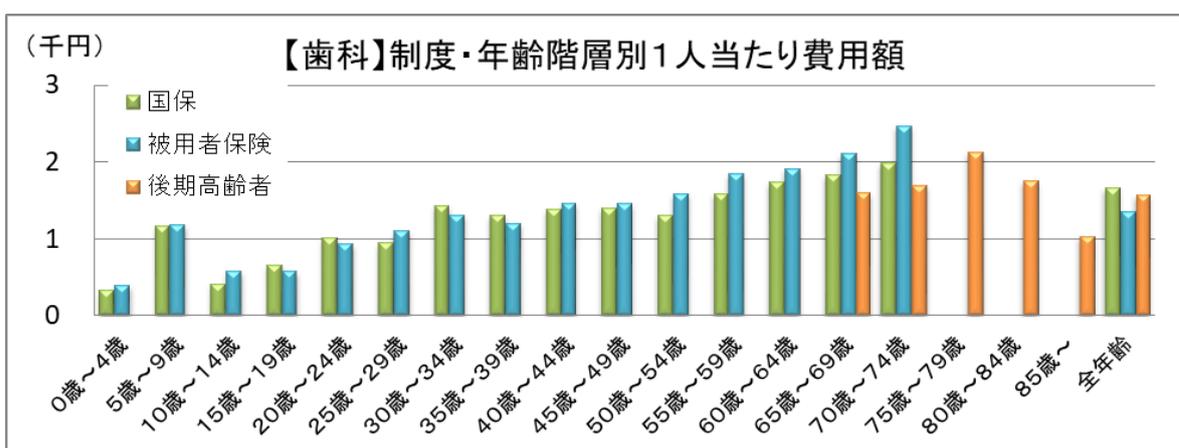
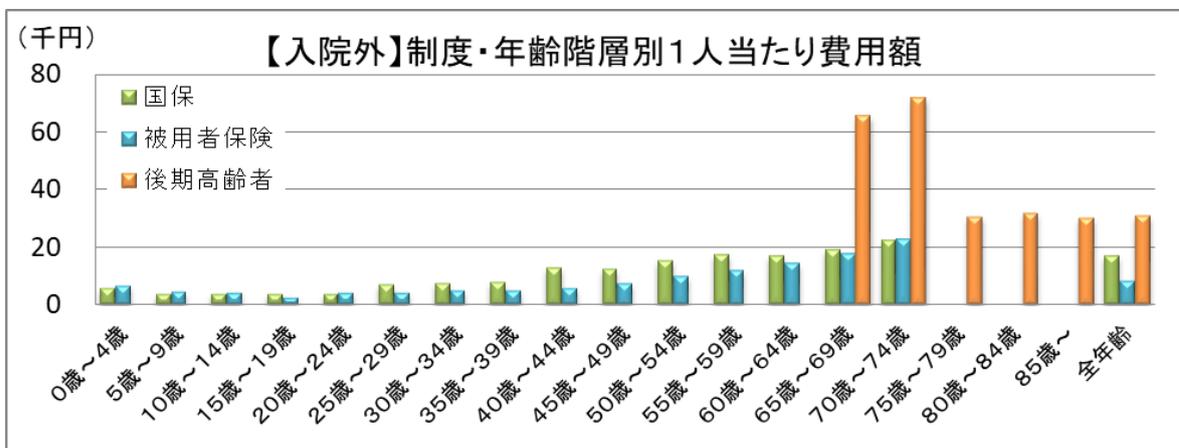
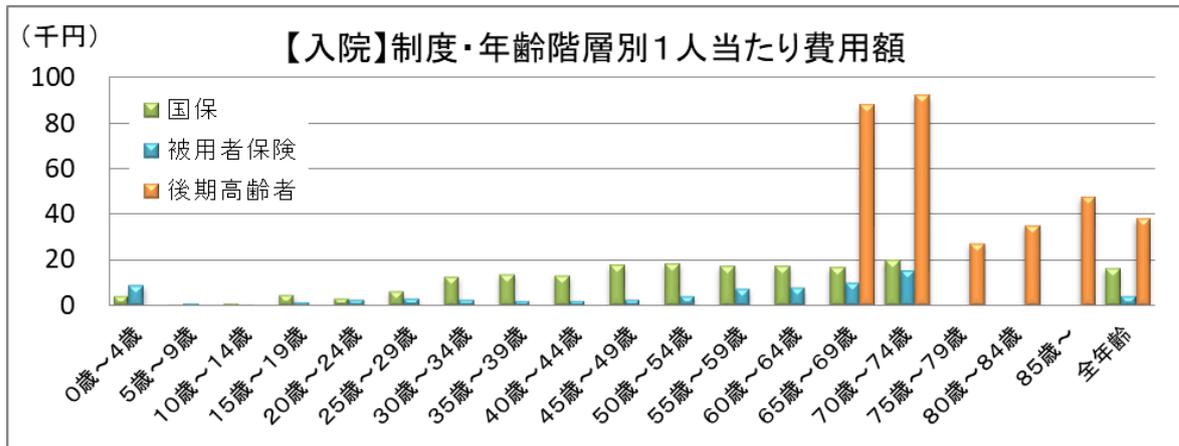
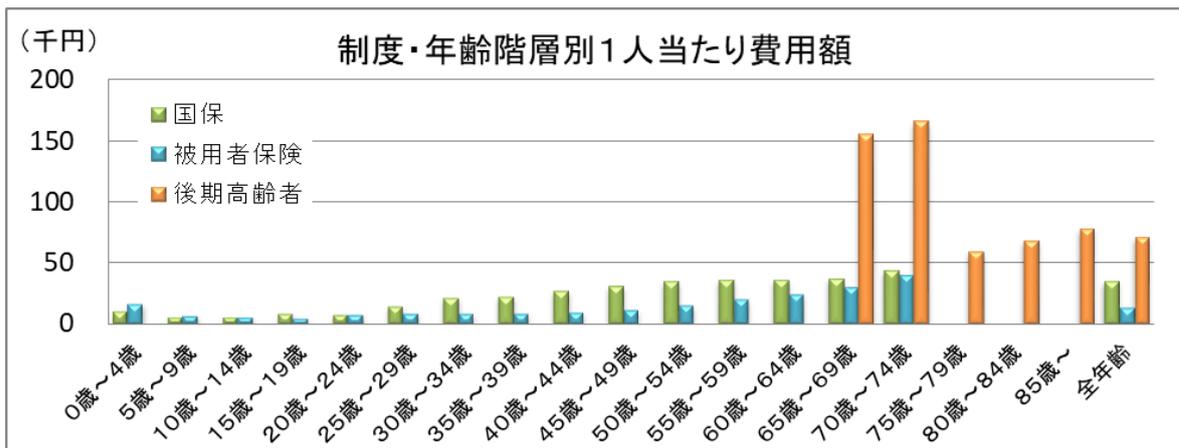
1人当たり費用額を診療区分別にみると、入院は加齢とともに増加傾向にある。入院外及び歯科も加齢とともに増加の傾向がみられるが、入院外は80歳～84歳、歯科は75歳～79歳が最も高く、診療区分により最も高い年齢階層が異なる。



1人当たり費用額を男女別にみると、45歳～49歳以上で男性が女性より高い。



1人当たり費用額を国保と被用者保険で比較すると、入院、入院外では広い年齢階層で国保が高い。



(3) 疾病統計

① 疾病別医療費（大分類）

ア レセプト件数及び費用額

疾病大分類別レセプト件数及び費用額の状況をみると、レセプト件数、費用額ともに最も高い疾病は「循環器系の疾患」。

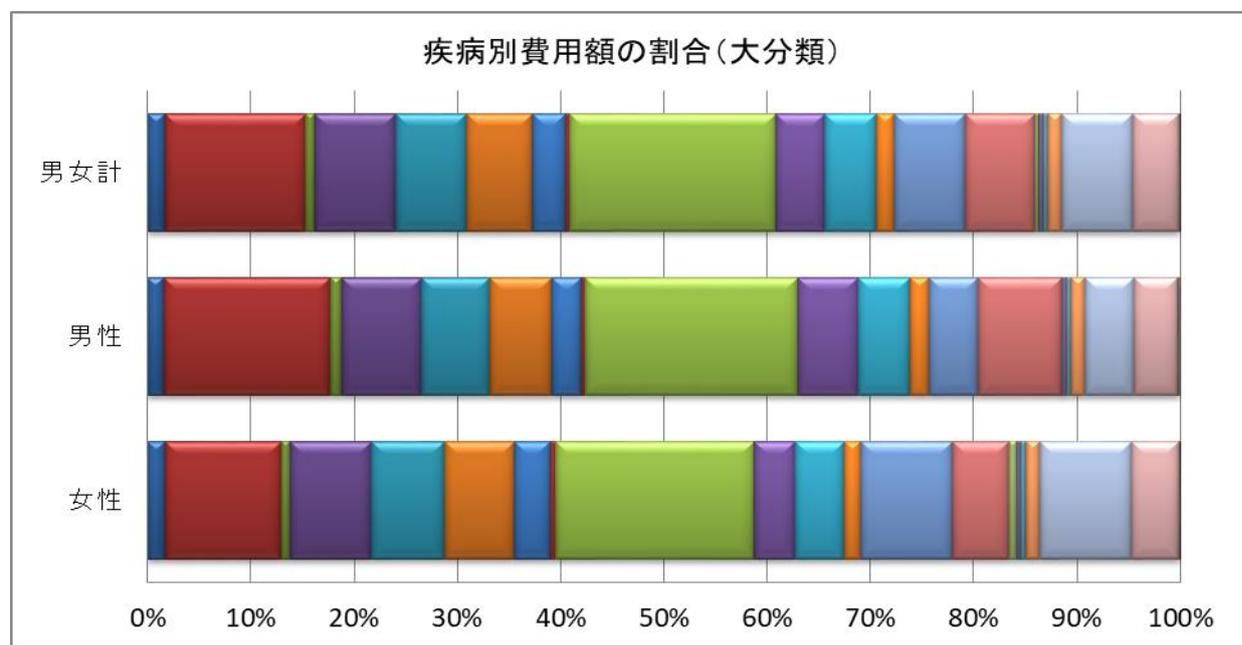
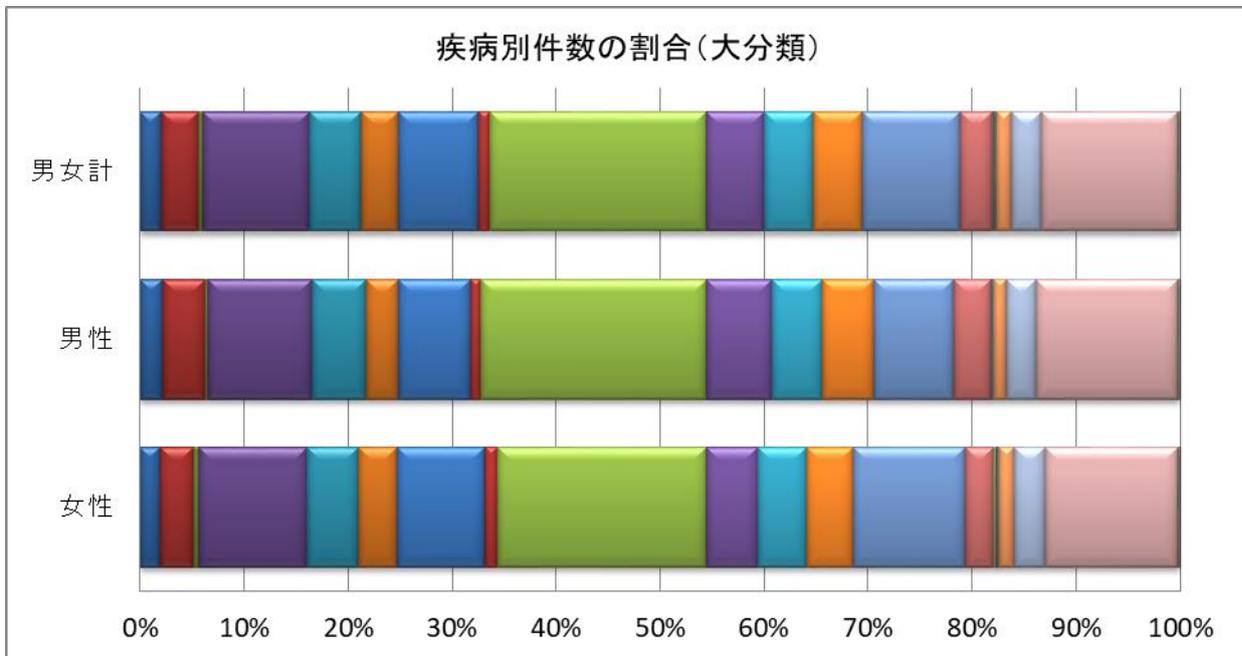
次いでレセプト件数が多い疾病は、2位「歯科」、3位「内分泌、栄養・代謝疾患」、4位「筋骨格系・結合組織の疾患」、5位「眼及び付属器の疾患」（レセプト件数上位5疾病）、費用額が高い疾病は、2位「新生物」、3位「内分泌、栄養・代謝疾患」、4位「筋骨格系・結合組織の疾患」、5位「損傷、中毒・他の外因の影響」（費用額上位5疾病）。「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」は、レセプト件数、費用額ともに上位5疾病に入る。

※表中の塗りつぶしは上位5傑

疾病(大分類)	件数(件)	費用額(円)
感染症・寄生虫症	8,786	278,303,644
新生物<腫瘍>	15,304	2,286,839,652
血液・造血器疾患、免疫機構障害	1,813	160,701,609
内分泌、栄養・代謝疾患	43,570	1,313,768,630
精神・行動の障害	21,564	1,144,939,265
神経系の疾患	14,913	1,076,145,097
眼及び付属器の疾患	33,130	534,869,178
耳・乳様突起の疾患	4,778	74,717,340
循環器系の疾患	88,812	3,343,164,880
呼吸器系の疾患	23,791	807,868,972
消化器系の疾患(歯科を除く)	20,241	831,311,146
皮膚・皮下組織の疾患	19,877	283,316,597
筋骨格系・結合組織の疾患	40,204	1,158,533,978
腎尿路生殖器系の疾患	13,391	1,135,490,594
妊娠、分娩・産じょく	751	67,853,662
周産期に発生した病態	278	65,471,194
先天奇形、変形・染色体異常	708	78,437,344
他に分類されないもの	6,001	222,413,228
損傷、中毒・他の外因の影響	12,557	1,152,622,183
歯科	56,014	748,817,582
分類不明	722	20,485,094
総計	427,205	16,786,070,869

疾病大分類別件数の割合は、男女ともに「循環器系の疾患」が最も高く、次いで「歯科」。男性は「内分泌、栄養・代謝疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が続く。

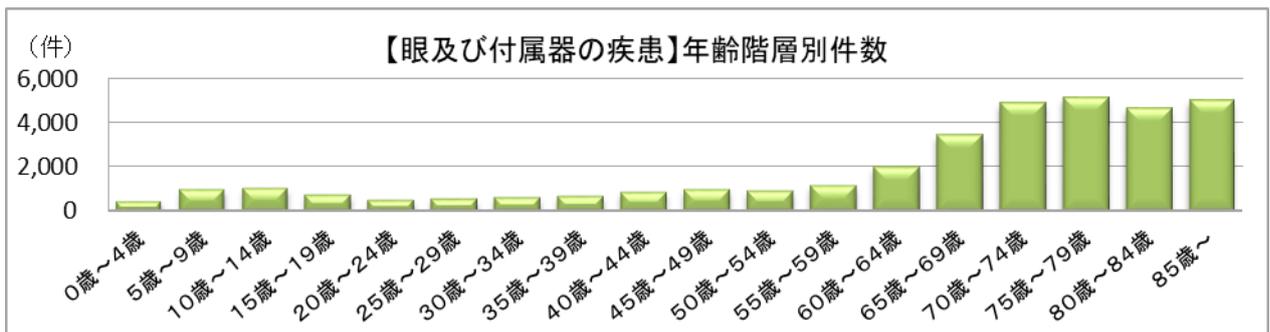
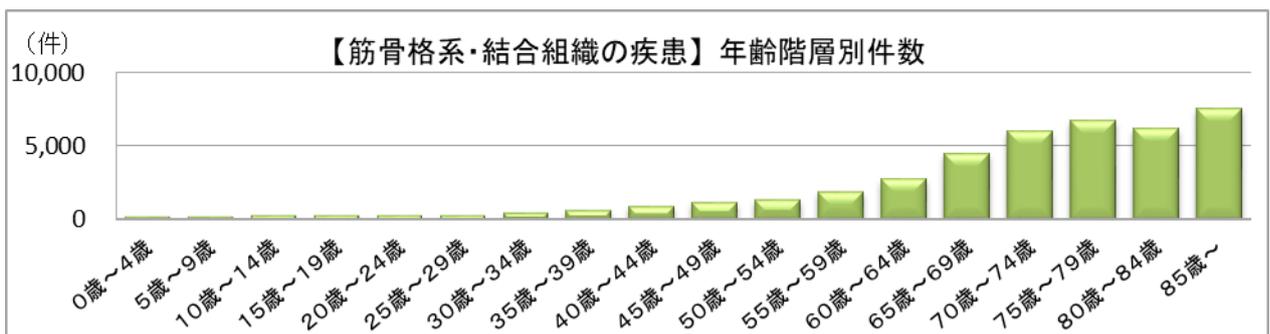
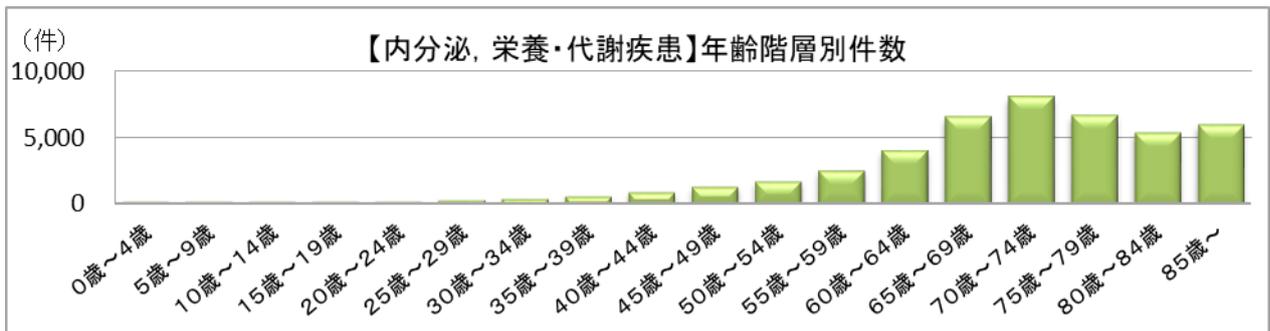
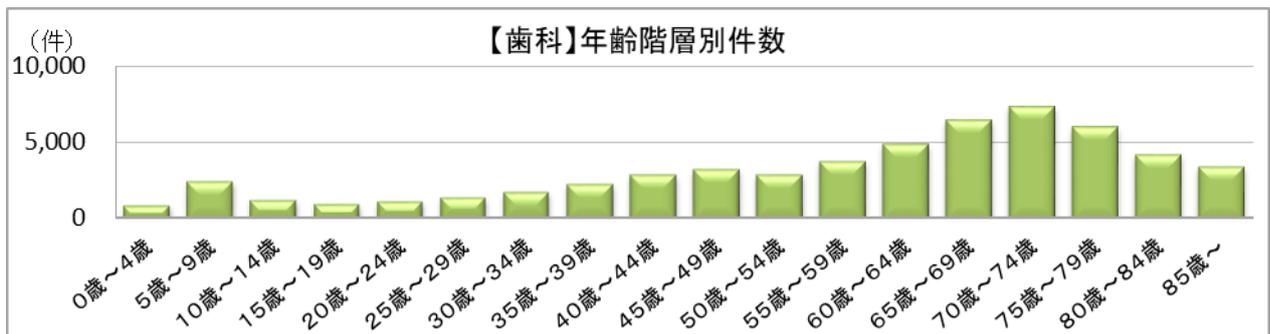
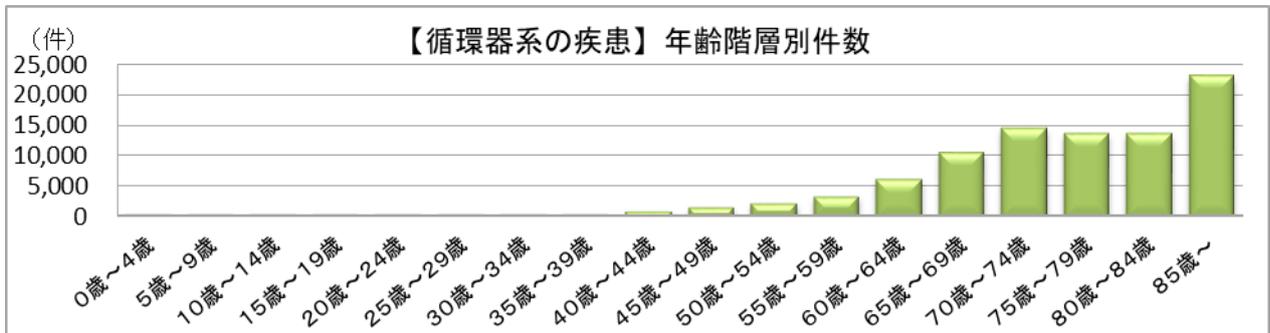
費用額の割合も、男女ともに「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物」が続く。次いで、男性は「腎尿路生殖器系の疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が続く。



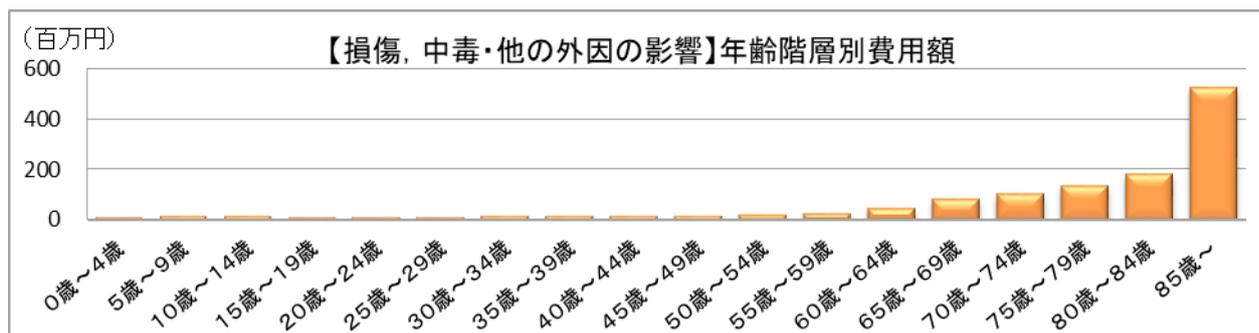
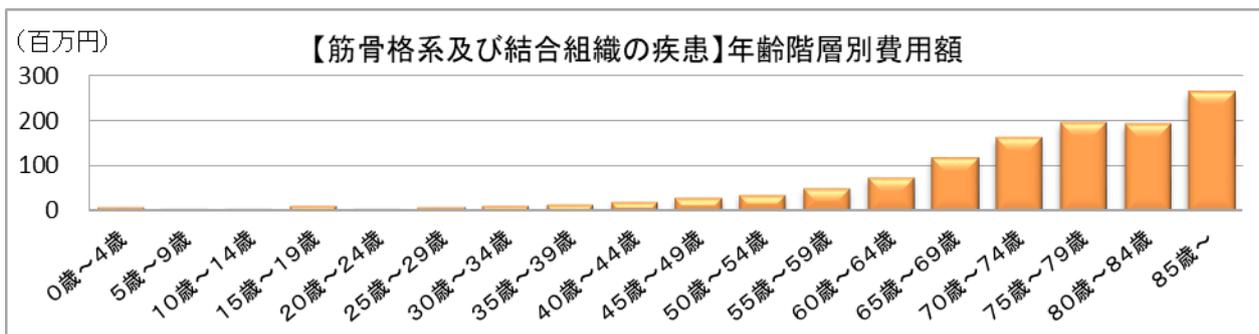
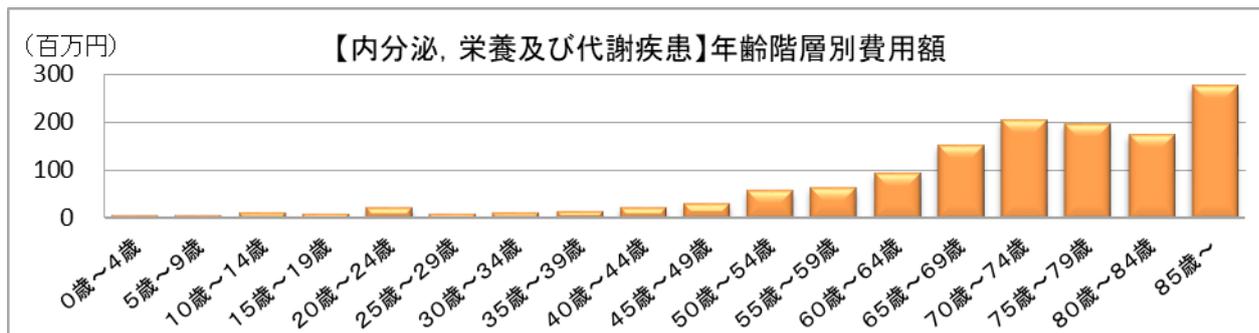
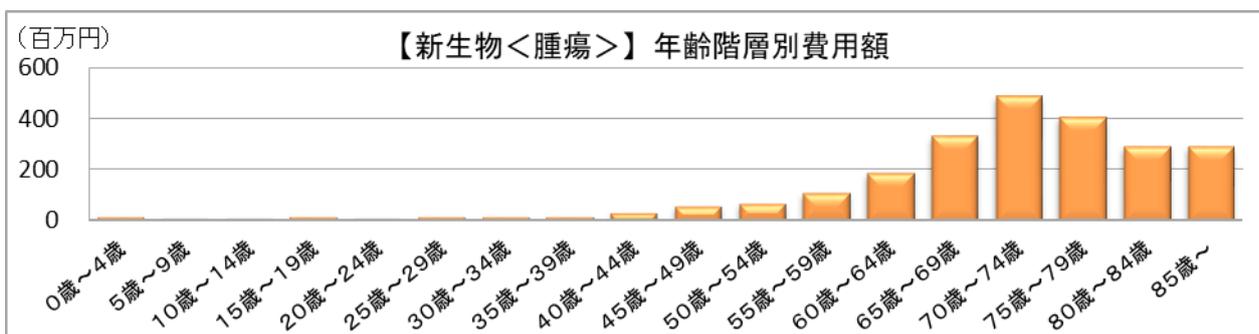
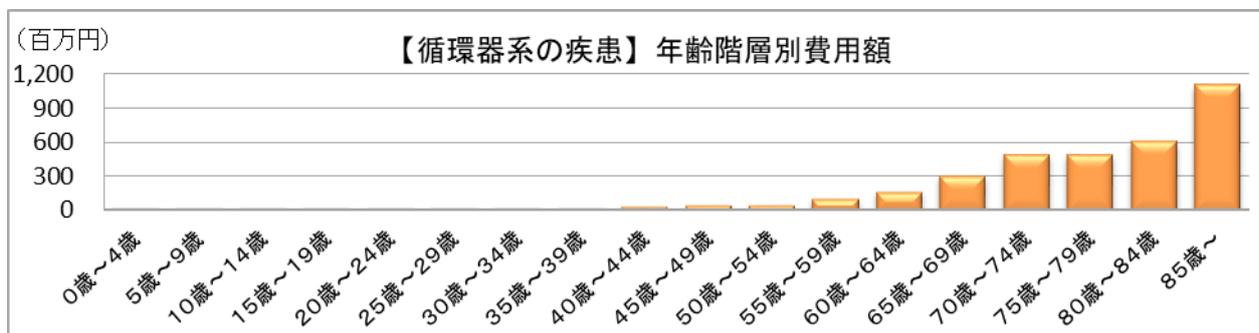
- | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|
| ■ 感染症・寄生虫症 | ■ 新生物<腫瘍> | ■ 血液・造血器疾患、免疫機構障害 |
| ■ 内分泌、栄養・代謝疾患 | ■ 精神・行動の障害 | ■ 神経系の疾患 |
| ■ 眼及び付属器の疾患 | ■ 耳・乳様突起の疾患 | ■ 循環器系の疾患 |
| ■ 呼吸器系の疾患 | ■ 消化器系の疾患(歯科を除く) | ■ 皮膚・皮下組織の疾患 |
| ■ 筋骨格系・結合組織の疾患 | ■ 腎尿路生殖器系の疾患 | ■ 妊娠、分娩・産じょく |
| ■ 周産期に発生した病態 | ■ 先天奇形、変形・染色体異常 | ■ 他に分類されないもの |
| ■ 損傷、中毒及びその他の外因の影響 | ■ 歯科 | ■ 分類不明 |

イ レセプト件数及び費用額上位5疾病

レセプト件数上位5疾病を年齢階層別にみると、「循環器系の疾患」「筋骨格系・結合組織の疾患」及び「眼及び付属器の疾患」は加齢とともに増加の傾向がみられる。「歯科」は70～74歳までは増加しているが、以降、減少に転じる。



費用額上位5疾病のうち、「循環器系の疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」及び「損傷, 中毒・他の外因の影響」では加齢とともに増加する傾向がみられ、いずれも85歳以上で突出している。「新生物」は、70歳～74歳が最も高い。



ウ 疾病別諸率

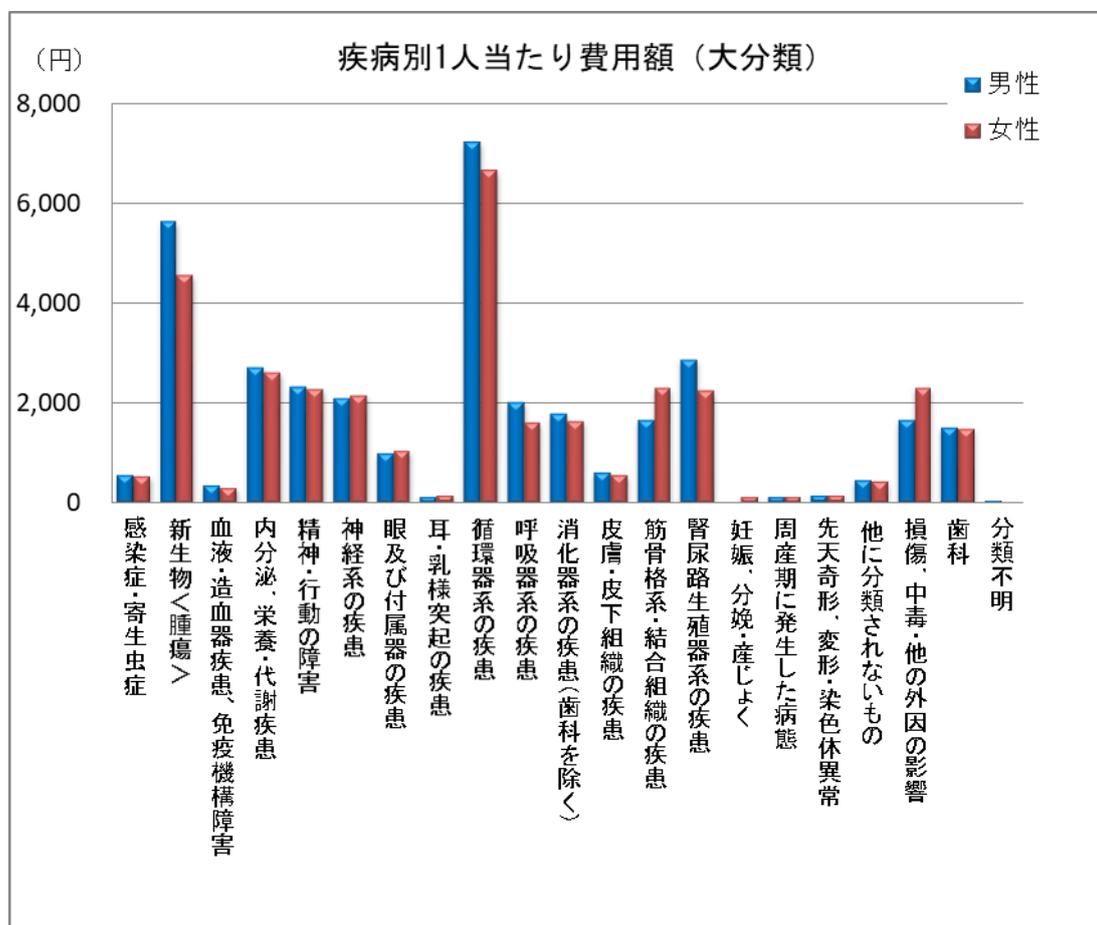
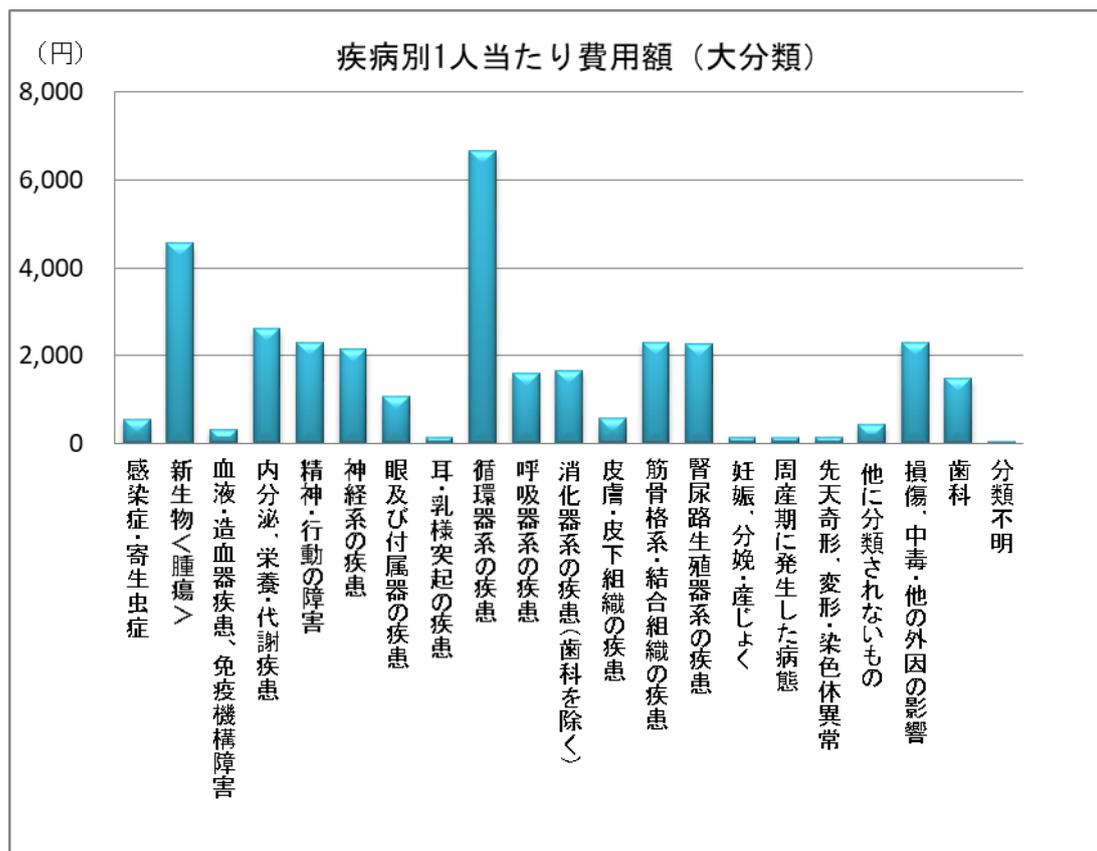
費用額上位5疾病のうち、受診率及び1件当たり費用額が、ともに上位5位に入る疾病はなかった。

受診率上位5疾病には「循環器系の疾患」、「歯科」、「内分泌、栄養・代謝疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」「眼及び付属器の疾患」が入り、1件当たり費用額は上位5疾病には、「周産期に発生した病態」、「新生物」、「先天奇形、変形・染色体異常」「損傷、中毒・他の外因の影響」及び「妊娠、分娩・産じょく」が入る。

※表中の塗りつぶしは上位5傑

疾病(大分類)	受診率 (%)	1件当たり費用額 (円)	1人当たり費用額 (円)
感染症・寄生虫症	1.8	31,676	556
新生物<腫瘍>	3.1	149,428	4,565
血液・造血器疾患、免疫機構障害	0.4	88,639	321
内分泌、栄養・代謝疾患	8.7	30,153	2,623
精神・行動の障害	4.3	53,095	2,286
神経系の疾患	3.0	72,162	2,148
眼及び付属器の疾患	6.6	16,145	1,068
耳・乳様突起の疾患	1.0	15,638	149
循環器系の疾患	17.7	37,643	6,674
呼吸器系の疾患	4.7	33,957	1,613
消化器系の疾患(歯科を除く)	4.0	41,071	1,660
皮膚・皮下組織の疾患	4.0	14,253	566
筋骨格系・結合組織の疾患	8.0	28,816	2,313
腎尿路生殖器系の疾患	2.7	84,795	2,267
妊娠、分娩・産じょく	0.1	90,351	135
周産期に発生した病態	0.1	235,508	131
先天奇形、変形・染色体異常	0.1	110,787	157
他に分類されないもの	1.2	37,063	444
損傷、中毒・他の外因の影響	2.5	91,791	2,301
歯科	11.2	13,368	1,495
分類不明	0.1	28,373	41
総計	85.3	39,293	33,510

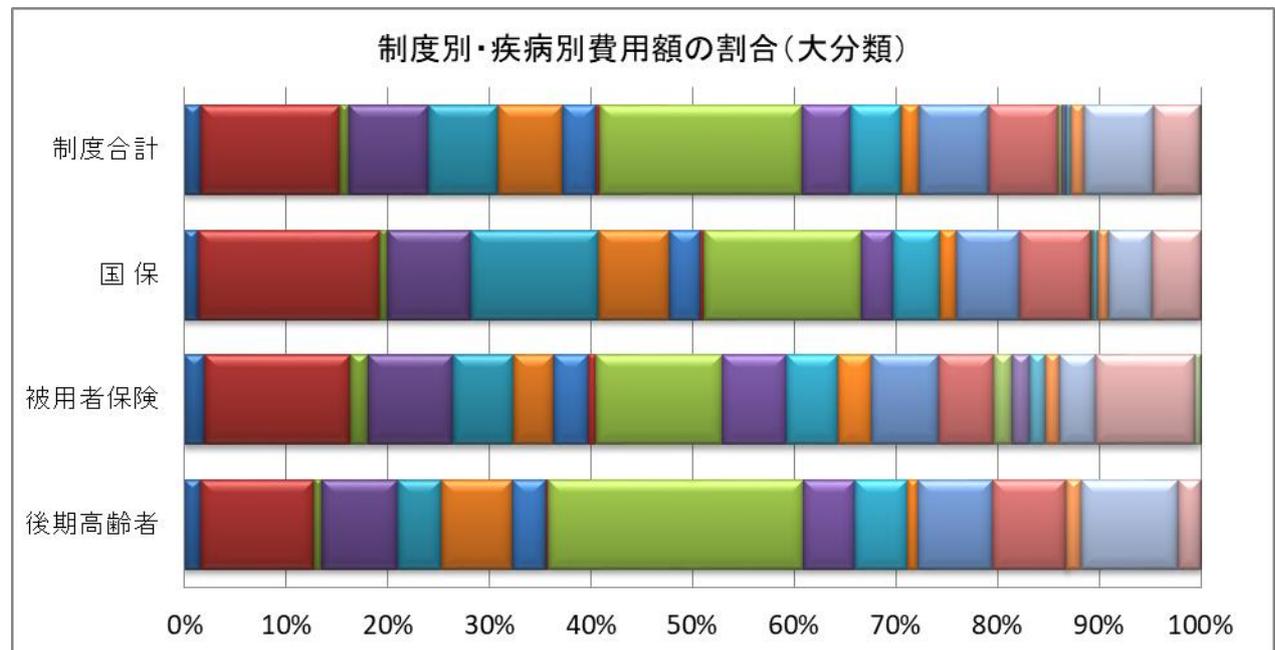
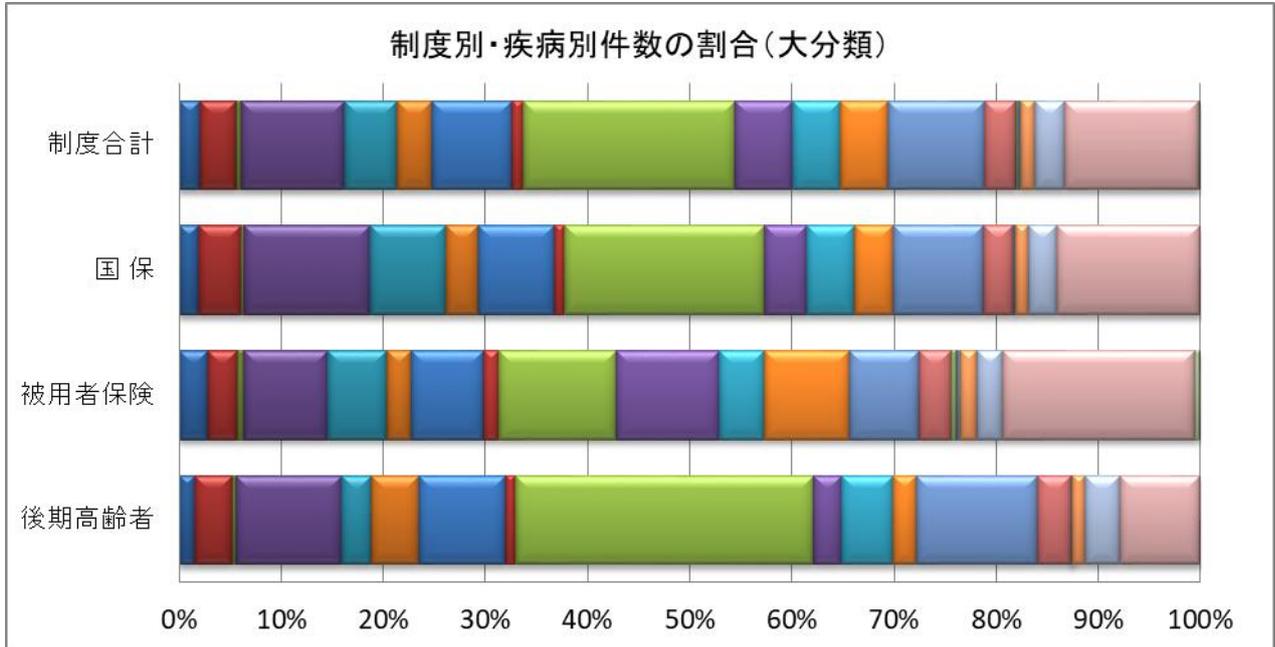
1人あたり費用額は、男女とも「循環器系の疾患」、「新生物」の順で高い。
 次いで、男性は「腎尿路生殖器系の疾患」、女性は「内分泌、栄養・代謝疾患」が
 高い。



エ 制度別レセプト件数及び費用額

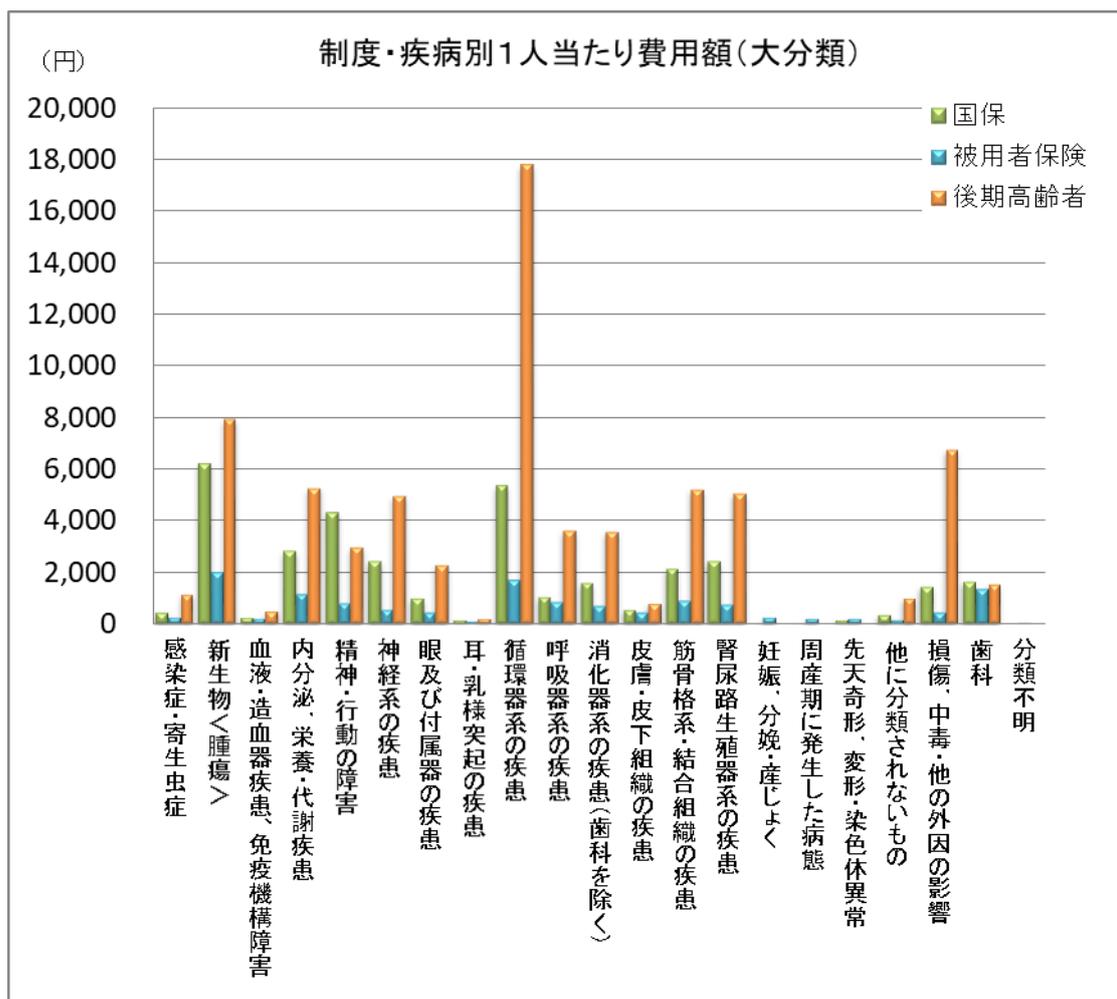
件数の割合は、国保及び後期高齢者は「循環器系の疾患」が最も高く、被用者保険は「歯科」が最も高い。

費用額は、国保及び被用者保険は「新生物」、後期高齢者は「循環器系の疾患」が最も高い割合を占める。



- 感染症・寄生虫症
- 内分泌・栄養・代謝疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 筋骨格系・結合組織の疾患
- 周産期に発生した病態
- 損傷、中毒・他の外因の影響
- 新生物<腫瘍>
- 精神・行動の障害
- 耳・乳様突起の疾患
- 消化器系の疾患(歯科を除く)
- 泌尿路生殖器系の疾患
- 先天奇形、変形・染色体異常
- 歯科
- 血液・造血器疾患、免疫機構障害
- 神経系の疾患
- 循環器系の疾患
- 皮膚・皮下組織の疾患
- 妊娠、分娩・産じょく
- 他に分類されないもの
- 分類不明

1人当たり費用額については、「精神・行動の障害」及び「歯科」は国保が高く、そのほかの疾病については後期高齢者が高い。



② 生活習慣病

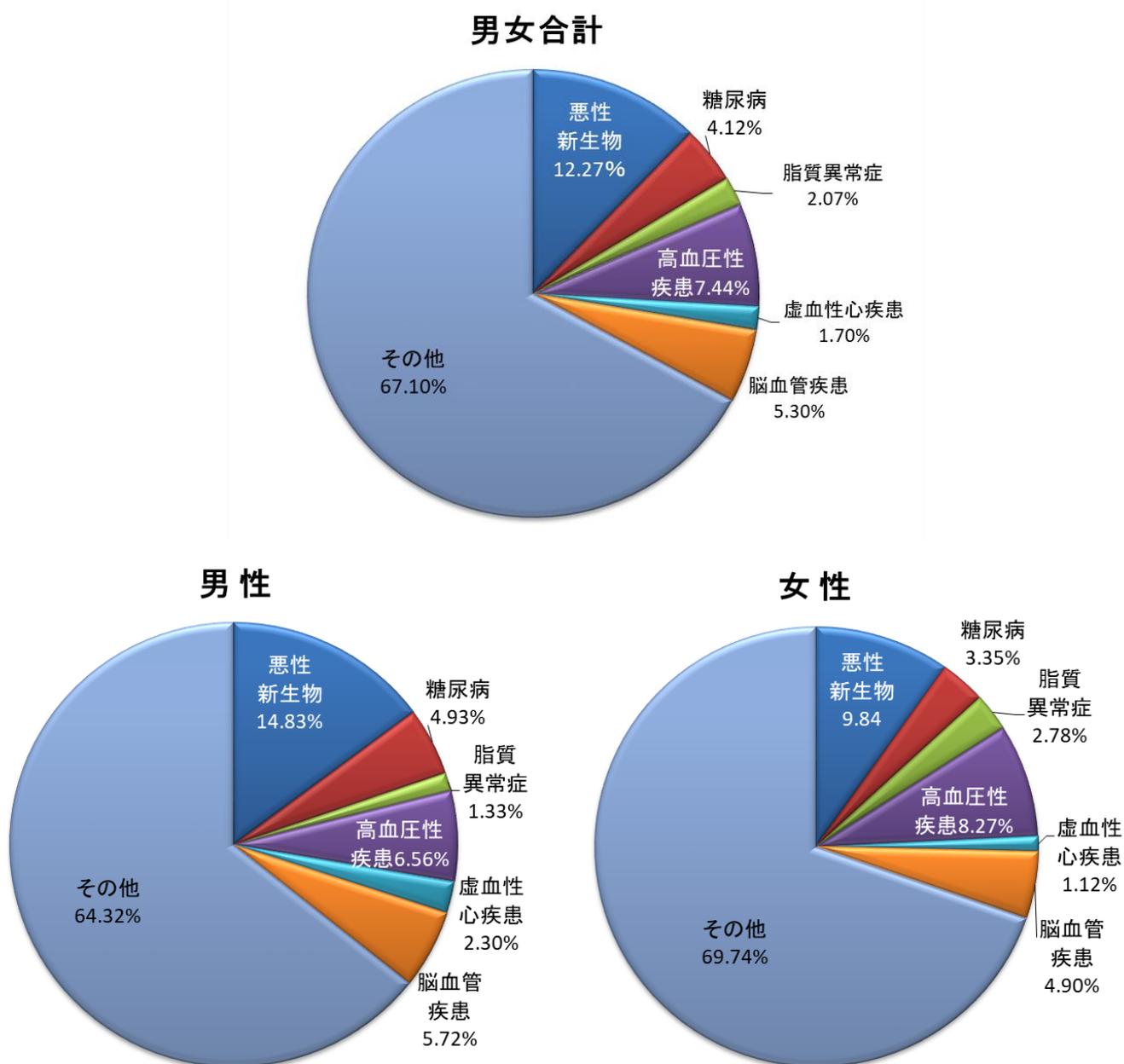
次の分類コード（P2、3 参照）を生活習慣病と定義する。

- 悪性新生物：0201～0210
- 脂質異常症：0403
- 虚血性心疾患：0902
- 糖尿病：0402
- 高血圧性疾患：0901
- 脳血管疾患：0904～0908

ア 生活習慣病費用額の割合

費用額に占める生活習慣病の割合は、男女合計で約 33%。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が次いで高い。

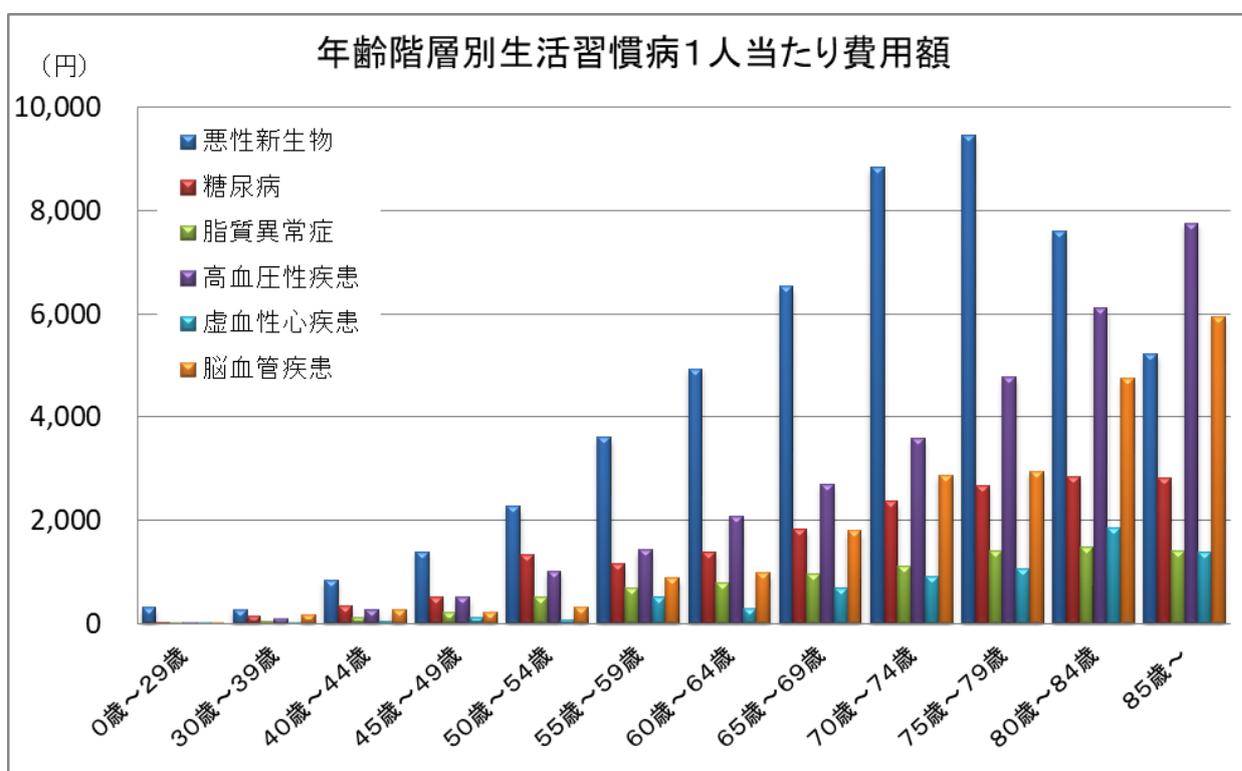
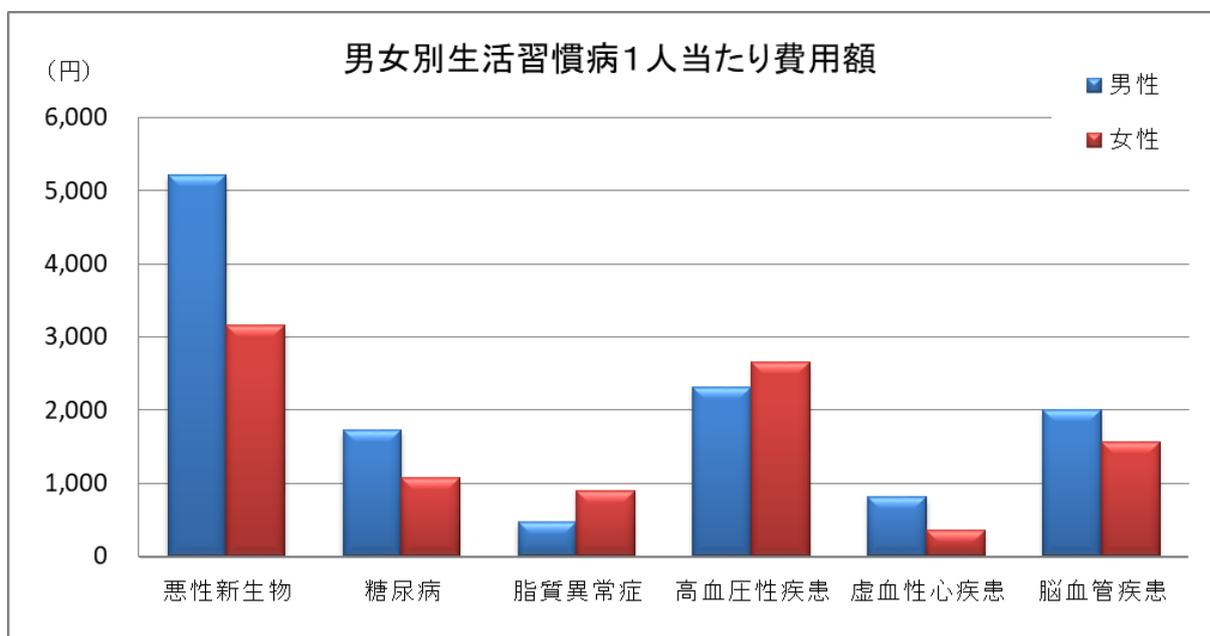
男女別では、男性が約 36%、女性は約 31%を生活習慣病が占めており、男女とも「悪性新生物」が最も高い。



イ 生活習慣病の1人当たり費用額

1人当たり費用額を男女別に比較すると、「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い。

年齢階層別にみると、「悪性新生物」以外の疾病は加齢とともに増加の傾向がみられるが、「悪性新生物」は75歳～79歳までは増加し、以降減少に転じる。

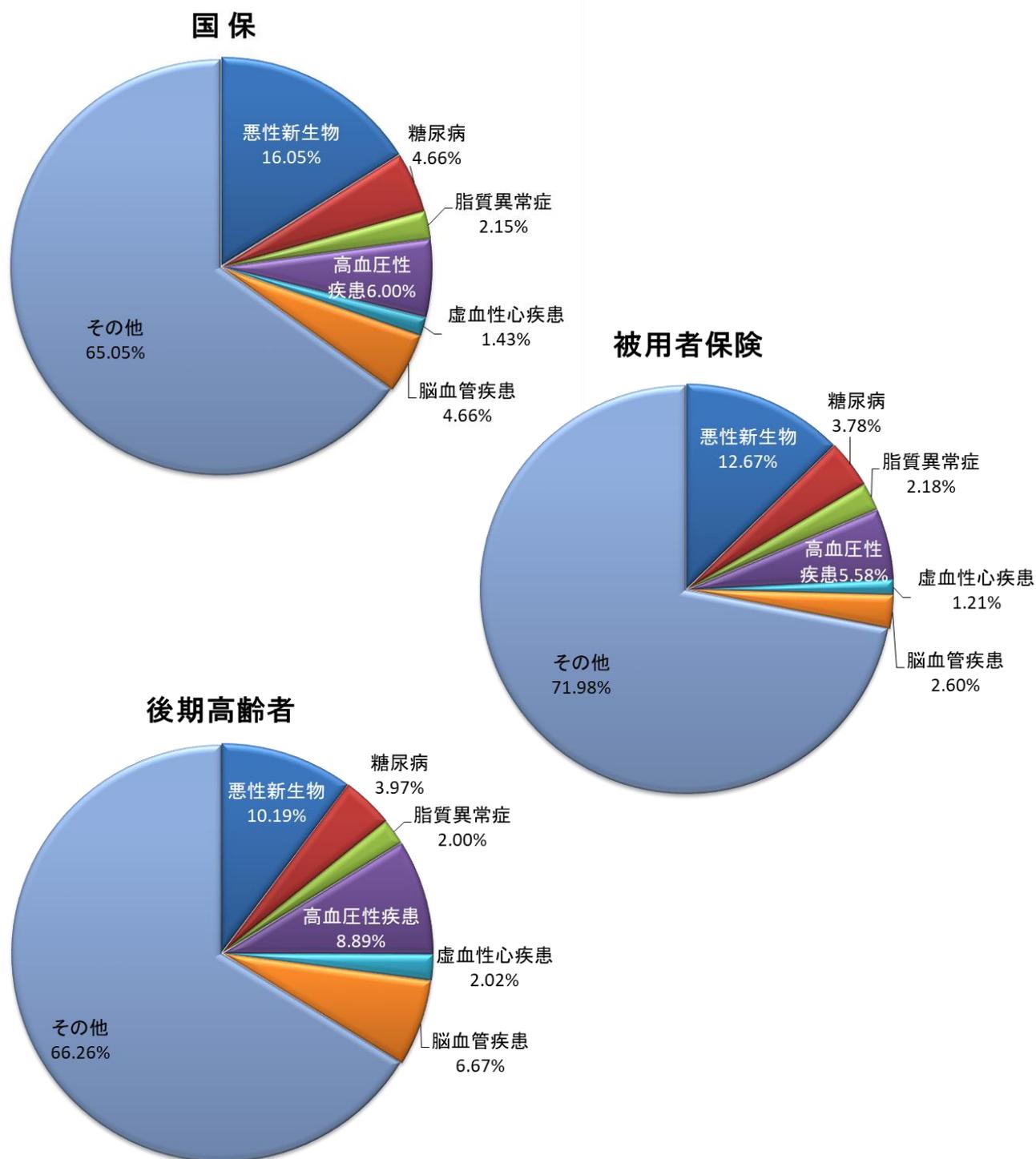


ウ 制度別生活習慣病の状況

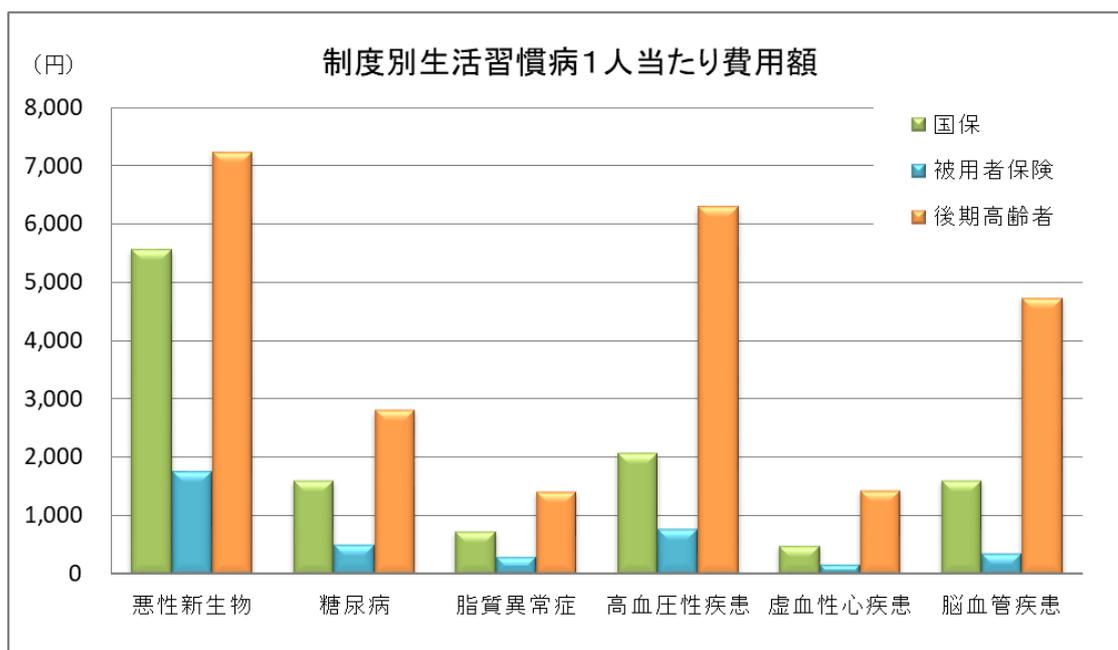
費用額のうち生活習慣病が占める割合は、国保及び後期高齢者は約 35%に対して、被用者保険は約 28%と低い。

なお、全ての制度において「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が2番目に高い。

また、3番目に高い疾病は、国保は同率で「糖尿病」と「脳血管疾患」、被用者保険が「糖尿病」、後期高齢者が「脳血管疾患」となっている。



生活習慣病に係る1人当たり費用額を制度別にみると、国保、被用者保険、後期高齢者ともに「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が2番目に高い。



③ 疾病別医療費（中分類）

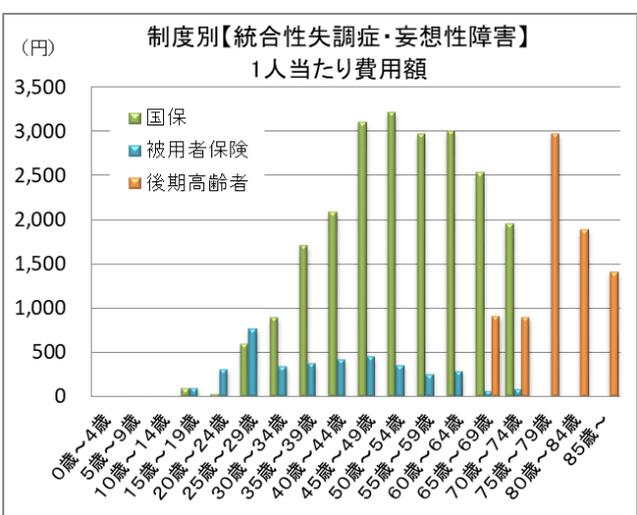
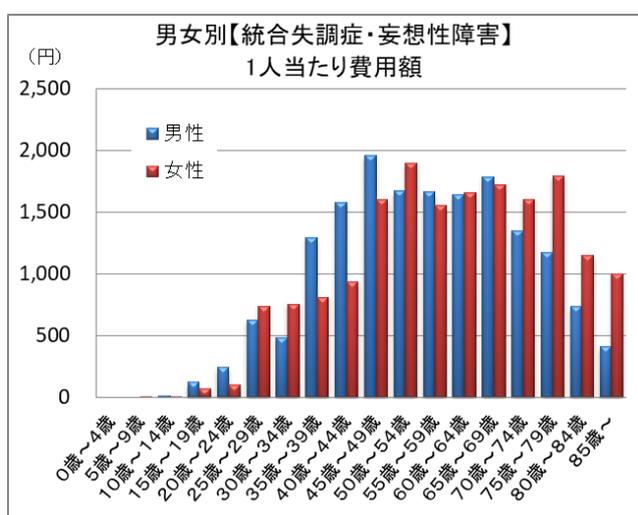
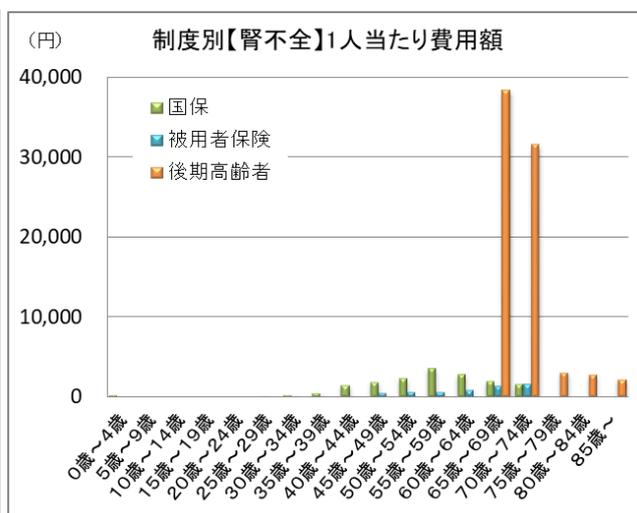
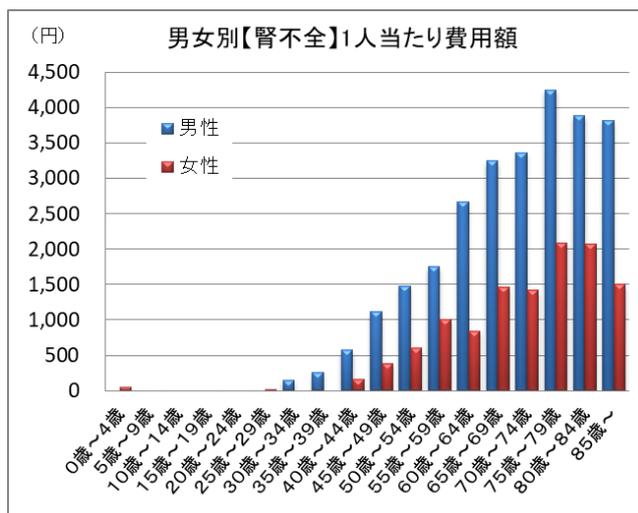
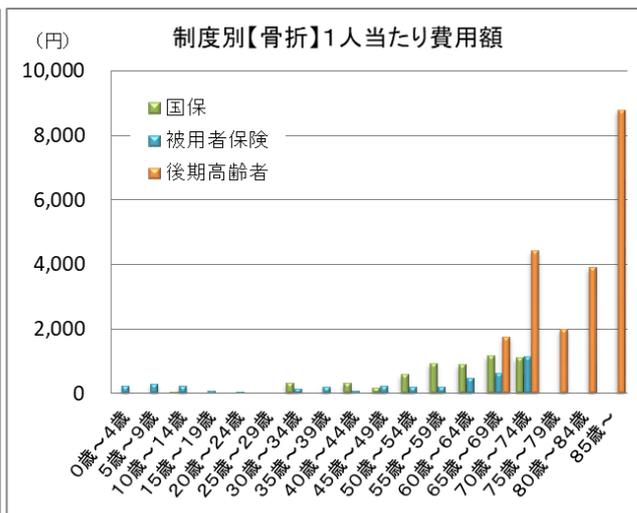
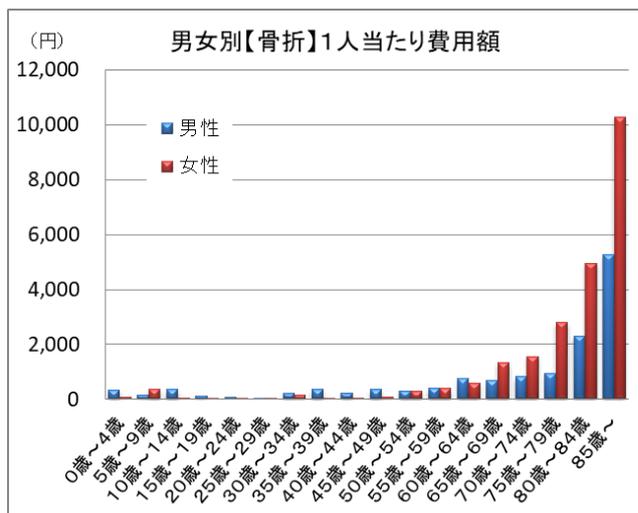
疾病中分類別に1人当たり費用額の上位10疾病をみると、男女合計（制度合計）で「高血圧性疾患」が1位となり、「骨折」が2位と続く。男女別にみると、男性は「他の悪性新生物（腫瘍）」、女性は「高血圧性疾患」が1位。

制度別にみると、国保は「統合失調症・妄想性障害」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が1位。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
男女合計 （制度 合計）	高血圧性 疾患	骨折	他の悪性 新生物 <腫瘍>	歯科	他の 心疾患	腎不全	糖尿病	脳梗塞	統合 失調症・ 妄想性 障害	他の 消化器系 の疾患
男性	他の悪性 新生物 <腫瘍>	高血圧性 疾患	腎不全	糖尿病	他の 心疾患	歯科	脳梗塞	統合 失調症・ 妄想性 障害	他の 消化器系 の疾患	他の 神経系の 疾患
女性	高血圧性 疾患	骨折	歯科	他の 心疾患	糖尿病	他の悪性 新生物 <腫瘍>	統合 失調症・ 妄想性 障害	腎不全	脳梗塞	脂質 異常症
国保	統合 失調症・ 妄想性 障害	他の悪性 新生物 <腫瘍>	高血圧性 疾患	腎不全	歯科	糖尿病	他の 神経系の 疾患	気管、 気管支・ 肺の悪性 新生物 <腫瘍>	脳梗塞	他の 心疾患
被用者 保険	歯科	高血圧性 疾患	他の悪性 新生物 <腫瘍>	糖尿病	他の 消化器系 の疾患	他の 神経系の 疾患	腎不全	他の 心疾患	脂質 異常症	気分 [感情] 障害 (躁うつ病 を含む)
後期 高齢者	高血圧性 疾患	骨折	他の 心疾患	脳梗塞	腎不全	他の悪性 新生物 <腫瘍>	糖尿病	アルツ ハイマー 病	他の 消化器系 の疾患	他の 呼吸器系 の疾患

男女合計（制度合計）の上位10疾病のうち、歯科、生活習慣病、病名が不明な（「他のがつく）疾病を除く「骨折」、「腎不全」、「統合失調症・妄想性障害」について、男女別にみると、「骨折」は65歳以上で女性が高く「腎不全」はほとんどの年齢階層で男性が高い。「統合失調症・妄想性障害」は、男性は45歳～49歳、女性は50～54歳で最も高くなっている。

制度別にみると、「腎不全」は国保が被用者保険より高いが、65歳～69歳の後期高齢者で最も高額となる。「統合失調症・妄想性障害」は25歳～29歳までは被用者が高く30歳～34歳を境に国保が高くなる。



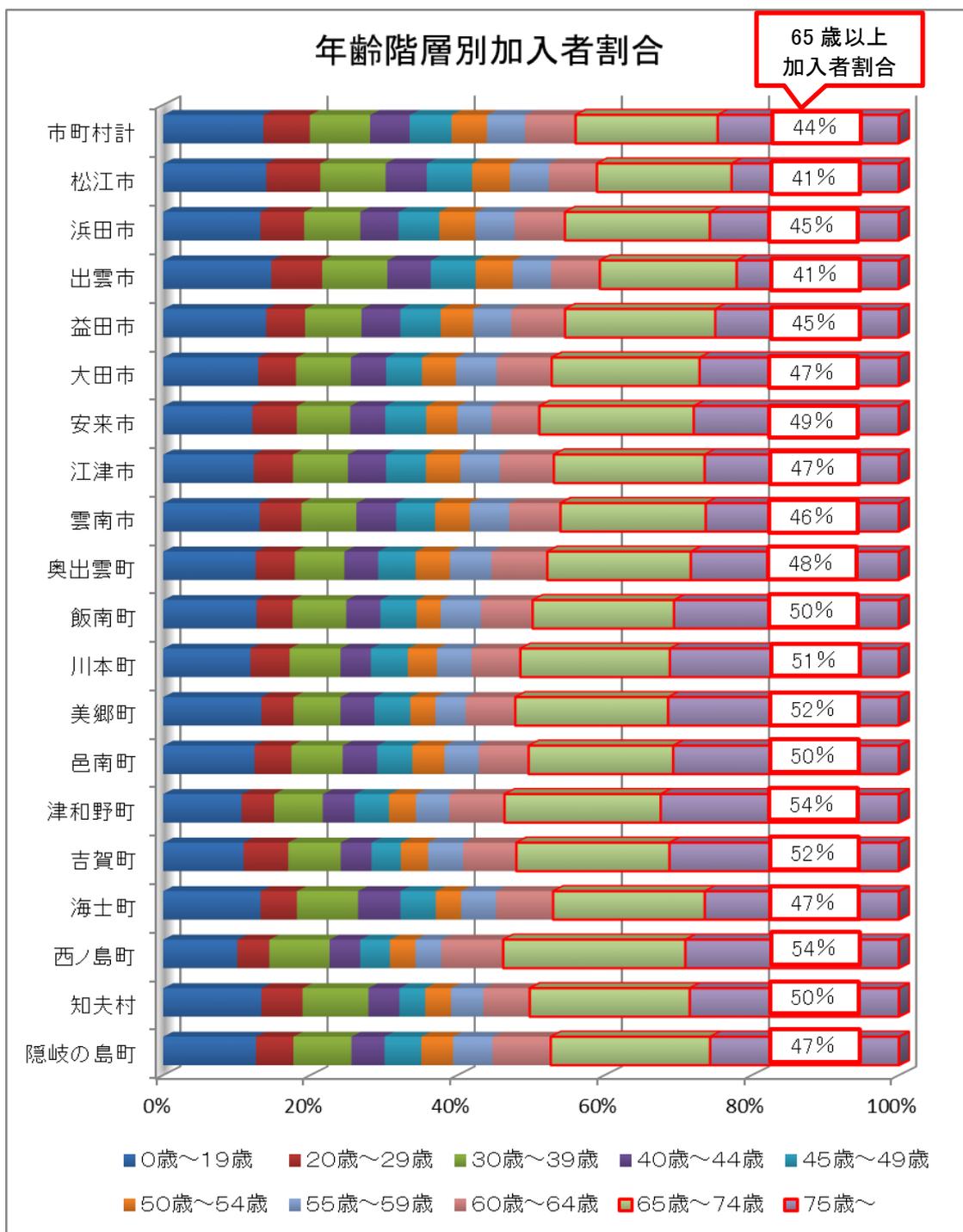
2 市町村別の状況

市町村別の状況には、島根県医師国民健康保険組合のデータを含まないため、市町村の計と前章の制度別の合計とは一致しない。

(1) 加入者数、レセプト件数、費用額

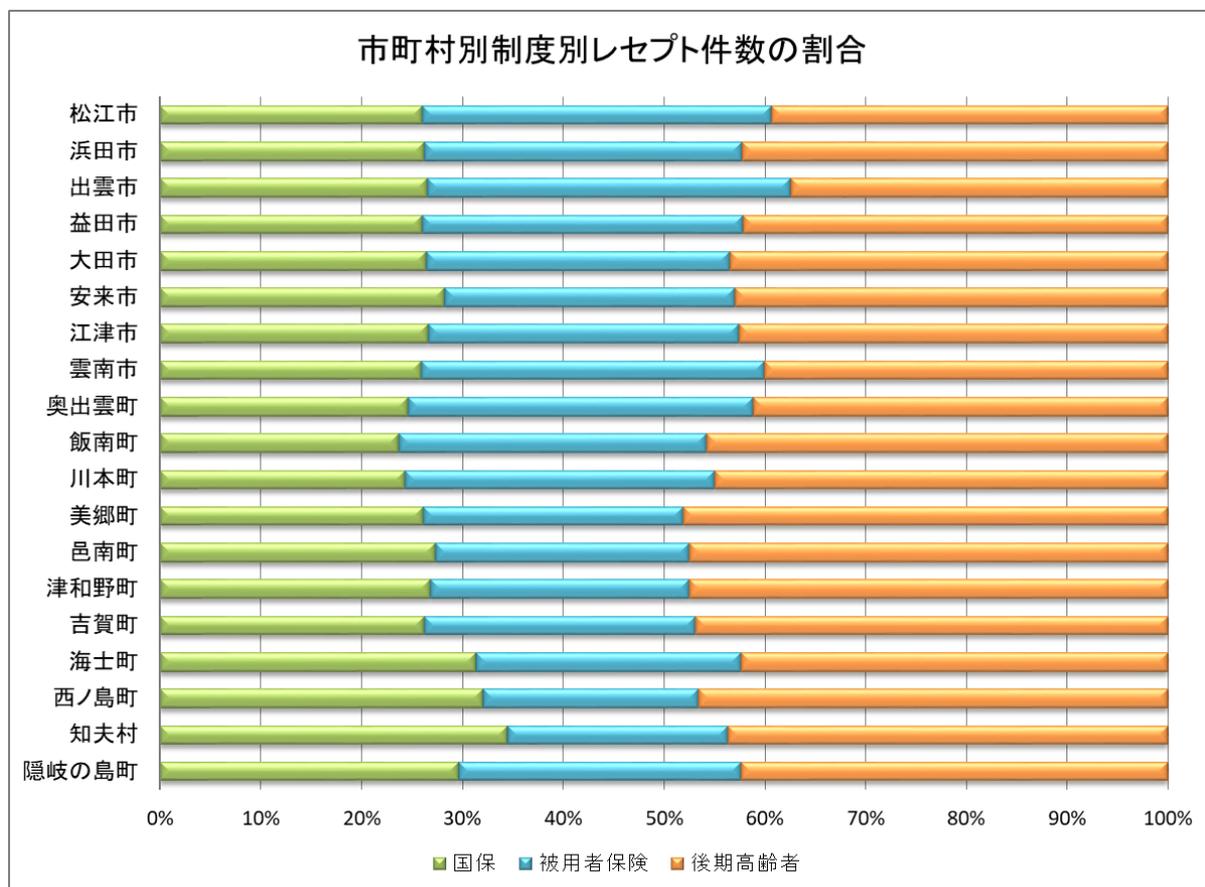
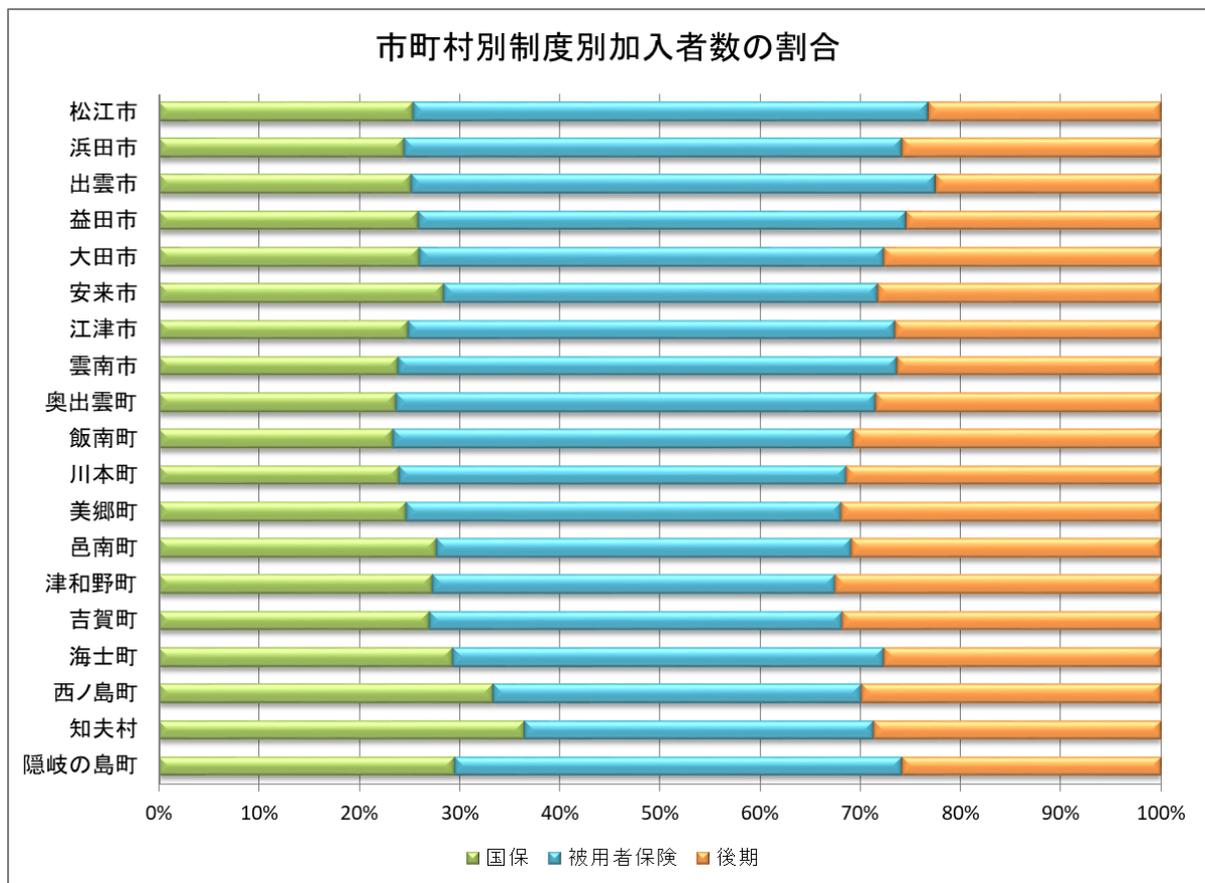
① 年齢階層別加入者割合

65歳以上の加入者割合は、市町村計で44%を占める。市町村別にみると津和野町、西ノ島町が最も高く54%。飯南町、川本町、美郷町、邑南町、吉賀町、知夫村の6町村が、50%を超えている。

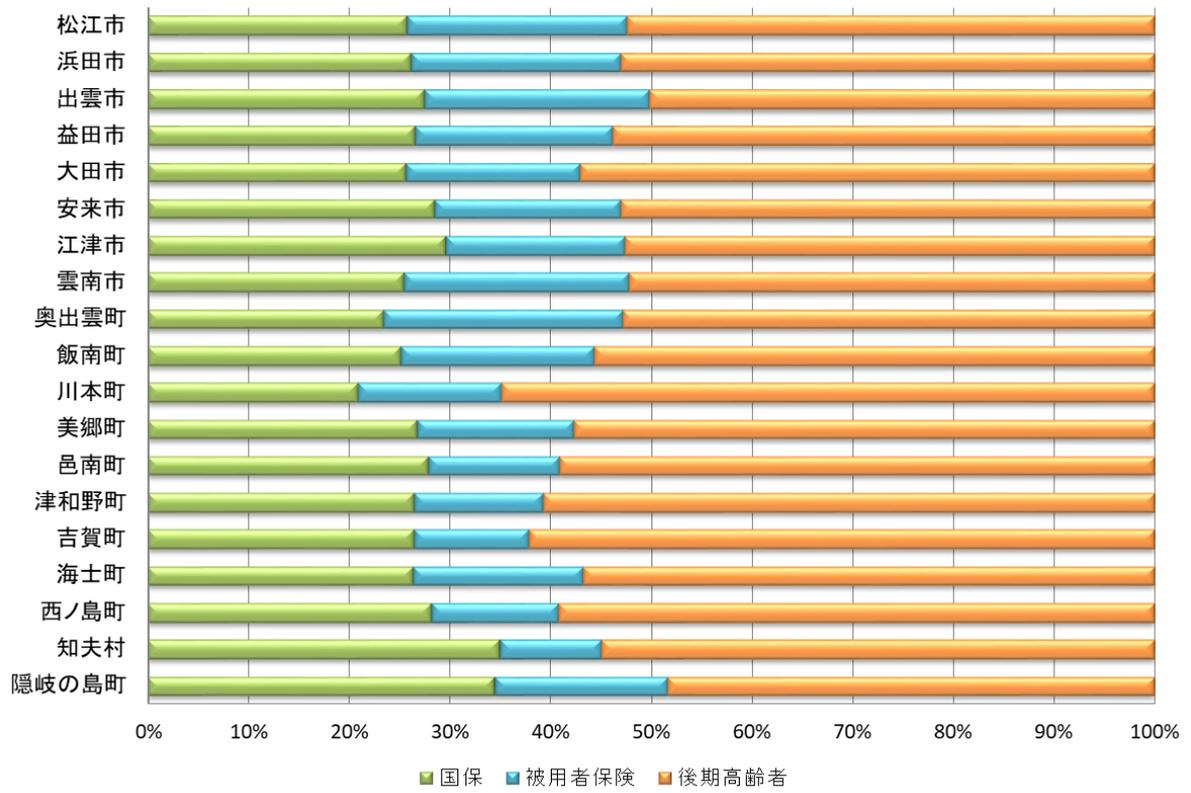


② 制度別加入者数割合・レセプト件数割合・費用額割合

被用者保険は、加入者数の割合は高いが費用額の割合は低い。



市町村別制度別費用額割合

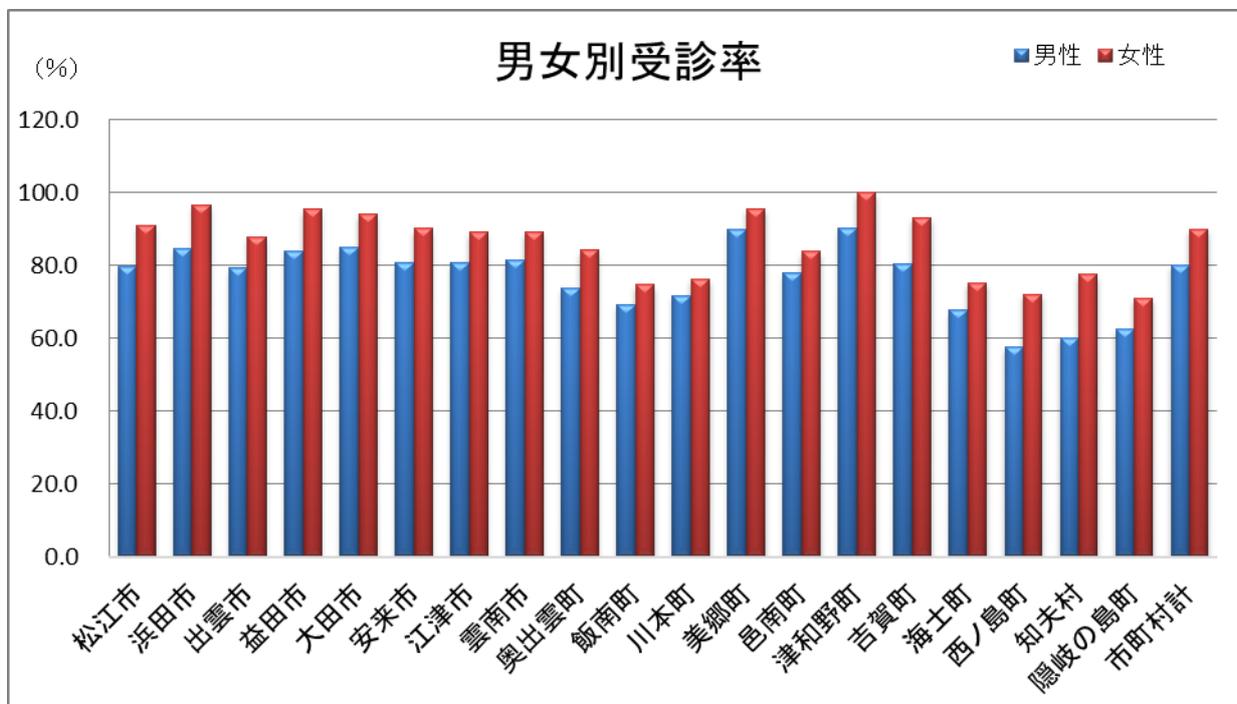
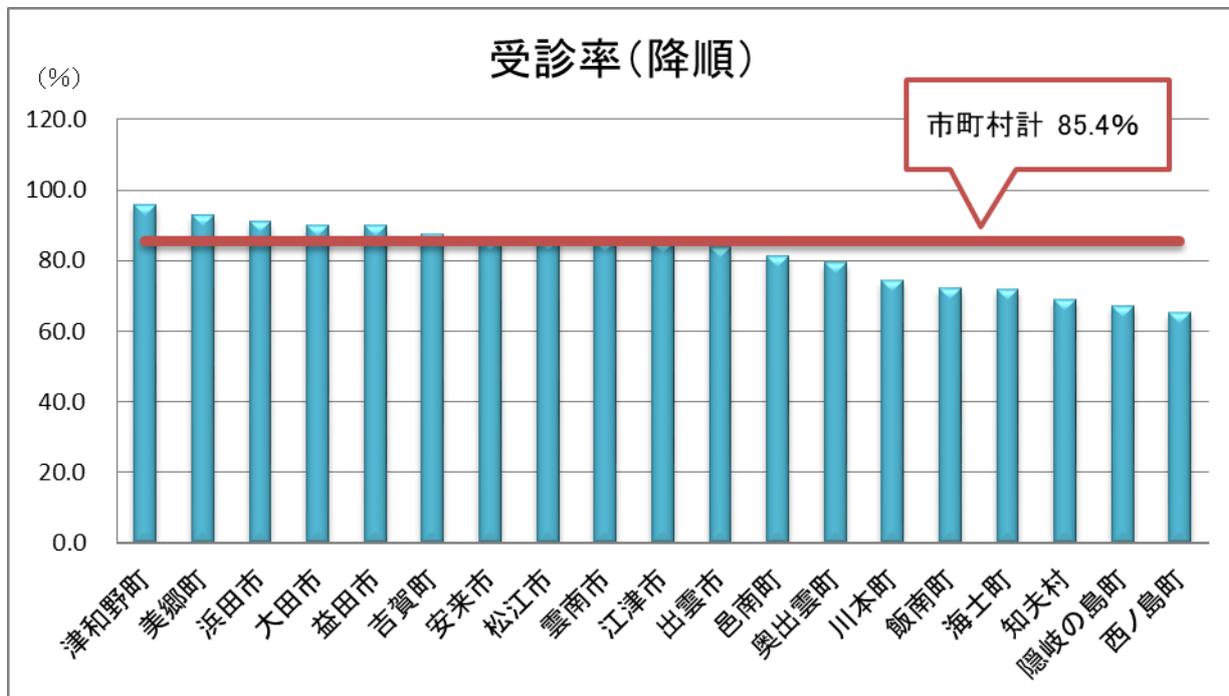


(2) 医療費諸率

① 受診率

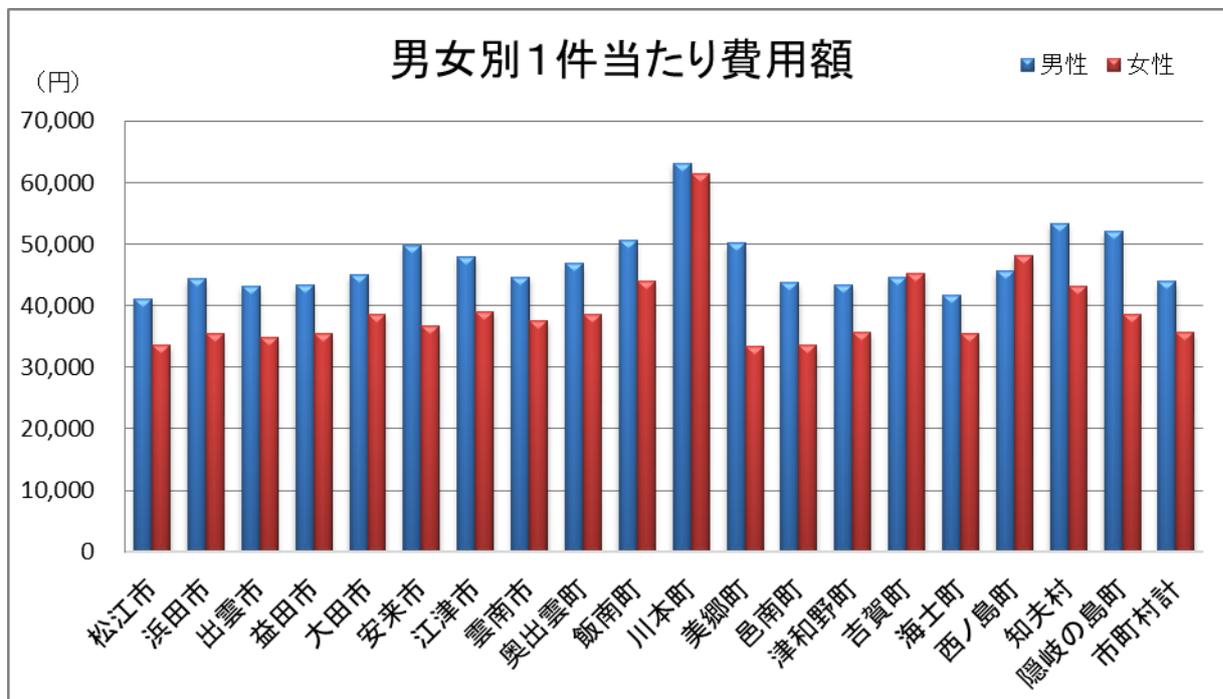
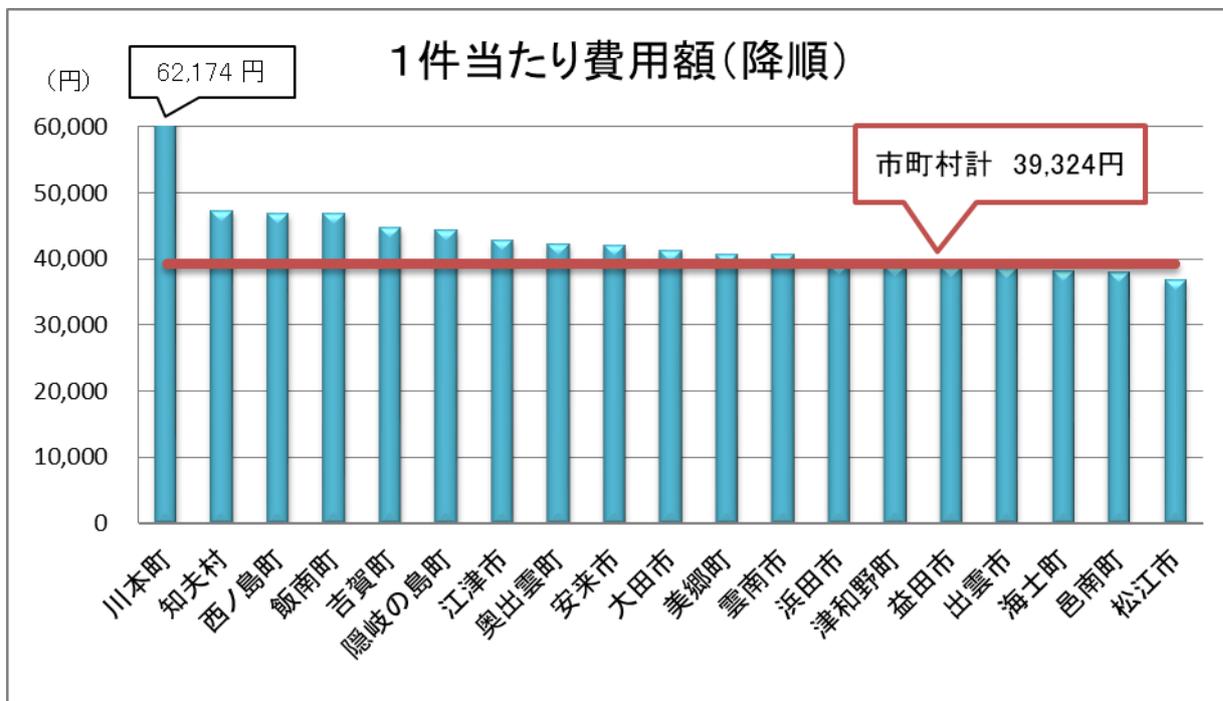
受診率は、市町村計で 85.4%。市町村別では、津和野町が最も高い。

男女別にみると、全ての市町村で女性が高い。



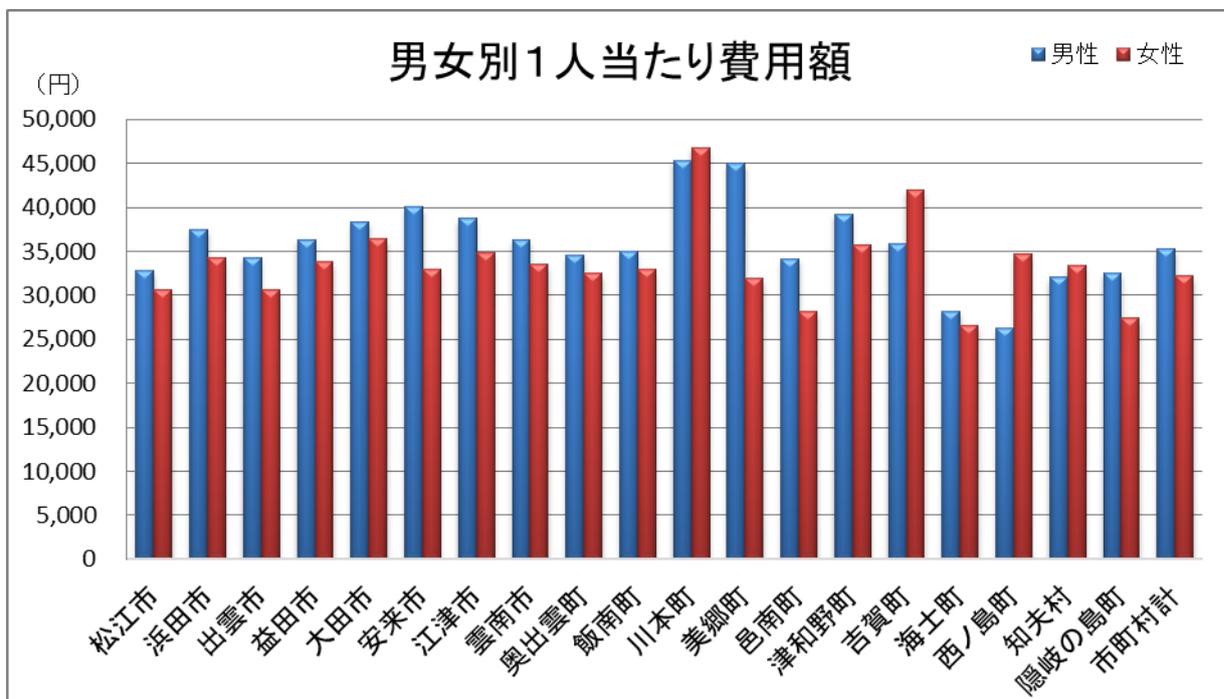
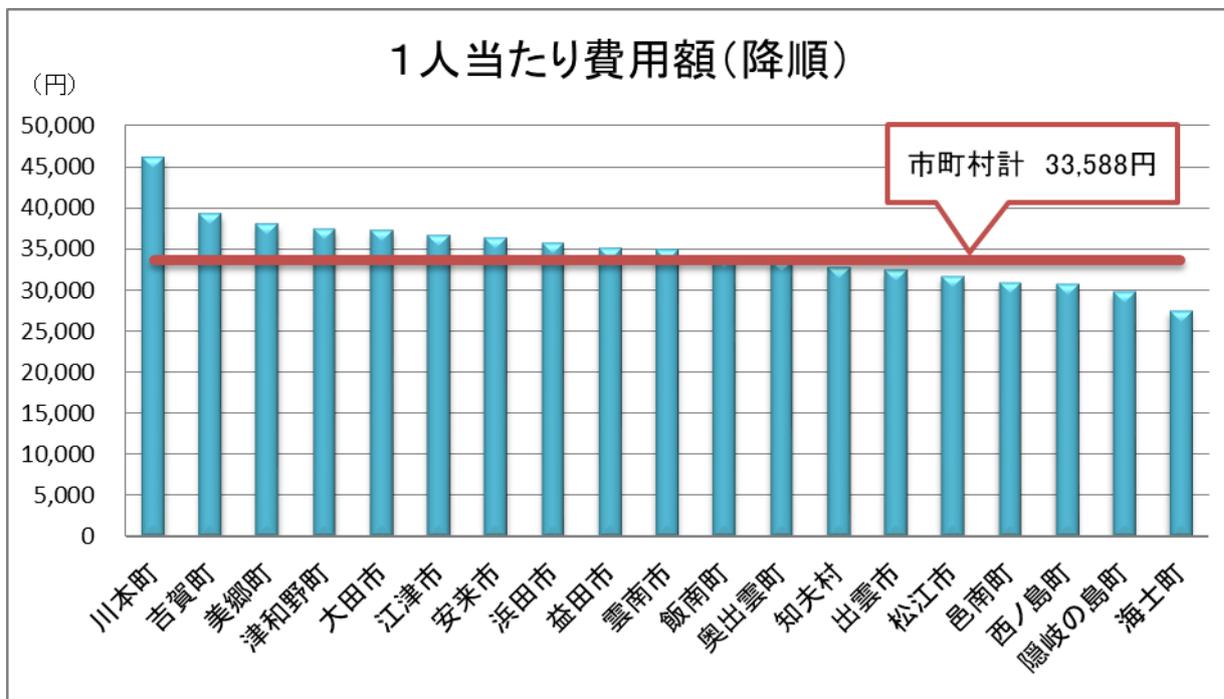
② 1件当たり費用額

1件当たり費用額は、市町村計で39,324円。市町村別では、川本町が最も高い。男女別にみると吉賀町と西ノ島町を除く全ての市町村で男性が高い。



③ 1人あたり費用額

1人あたり費用額は、市町村計で33,588円。市町村別にみると、1件あたり費用額と同様に、川本町が最も高い。



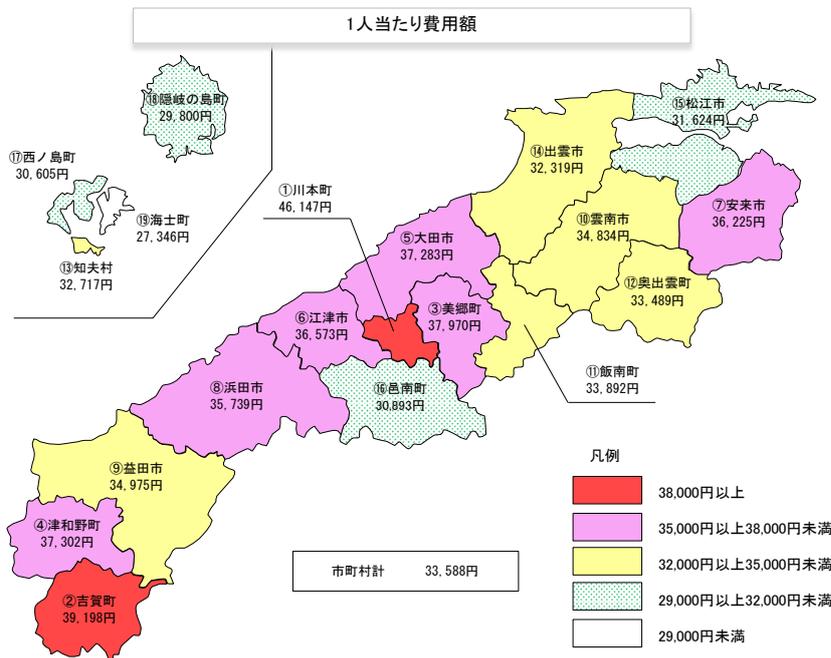
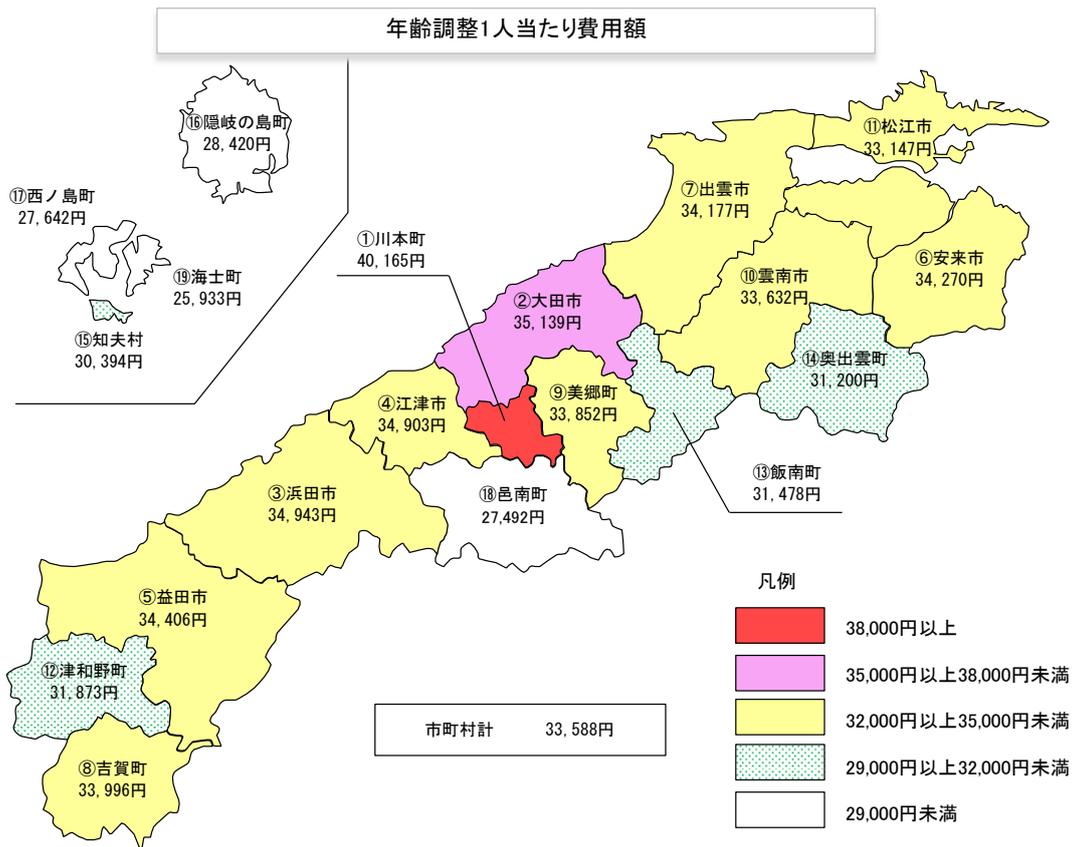
④ 年齢調整 1 人当たり費用額

加入者の年齢構成が影響すると考えられることから、直接法による年齢調整を行った。

直接法による年齢調整 1 人当たり費用額

…各市町村の加入者の年齢構成を、県平均の年齢構成に置き換えて算出

$$= \sum (\text{市町村別年齢階層別 1 人当たり費用額} \times \text{年齢階層別基準人口}) / \text{市町村計加入者}$$

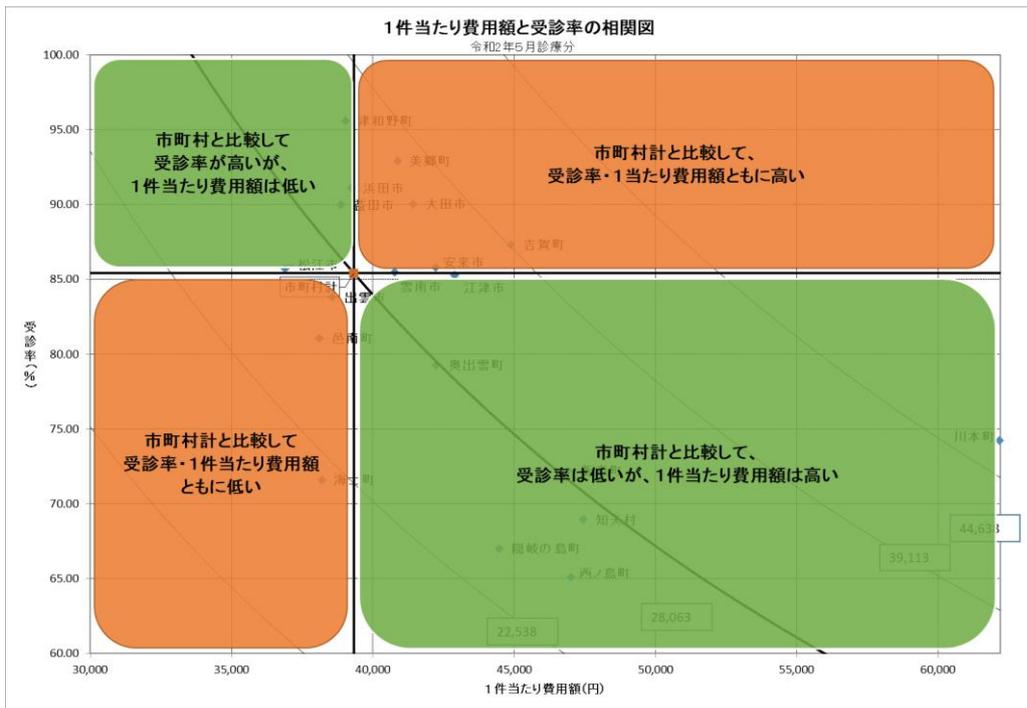
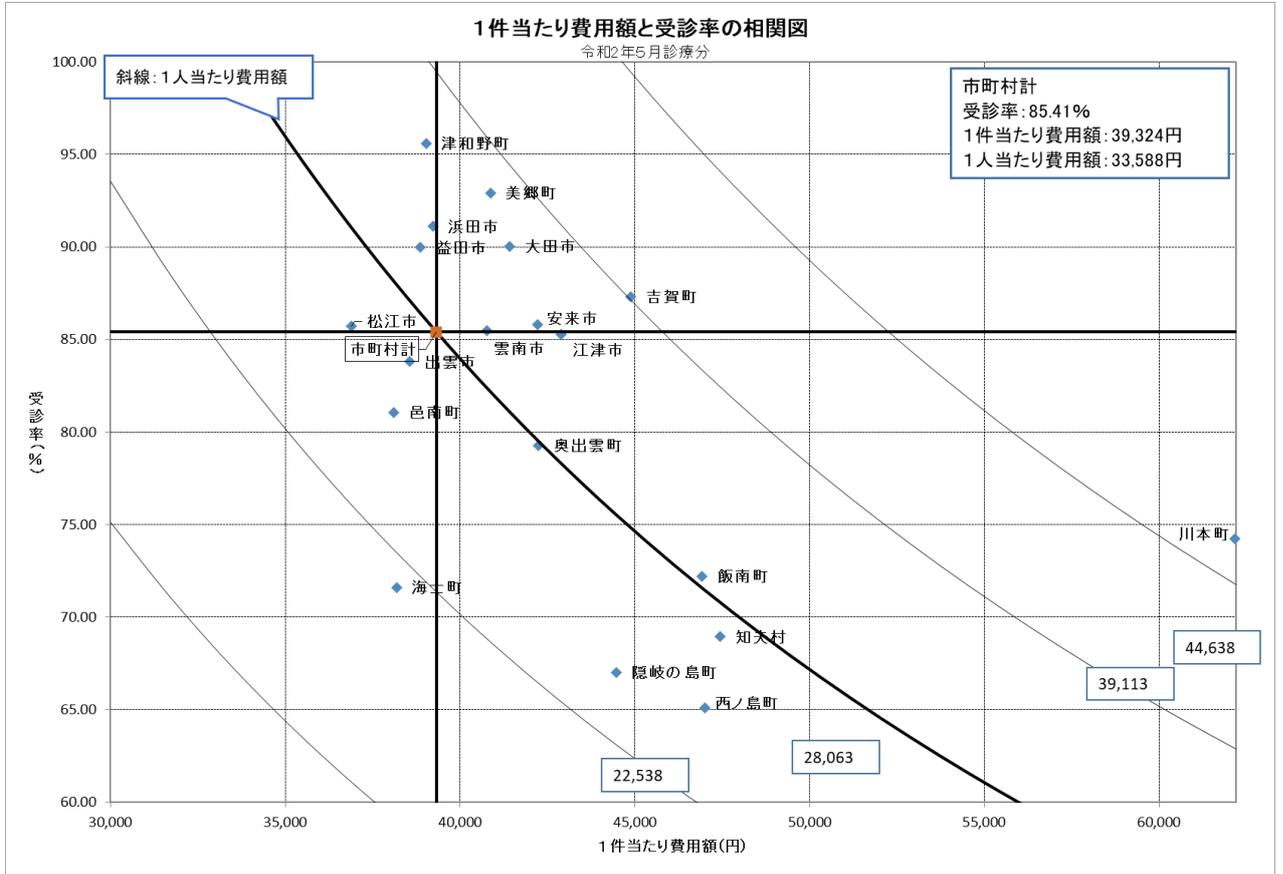


⑤ 1件当たり費用額と受診率の関係

受診率を縦軸に、1件当たり費用額を横軸にして相関をみた。

川本町は、受診率は市町村計より低いものの1件当たり費用額が高いため、1人当たり費用額が最も高くなっている。

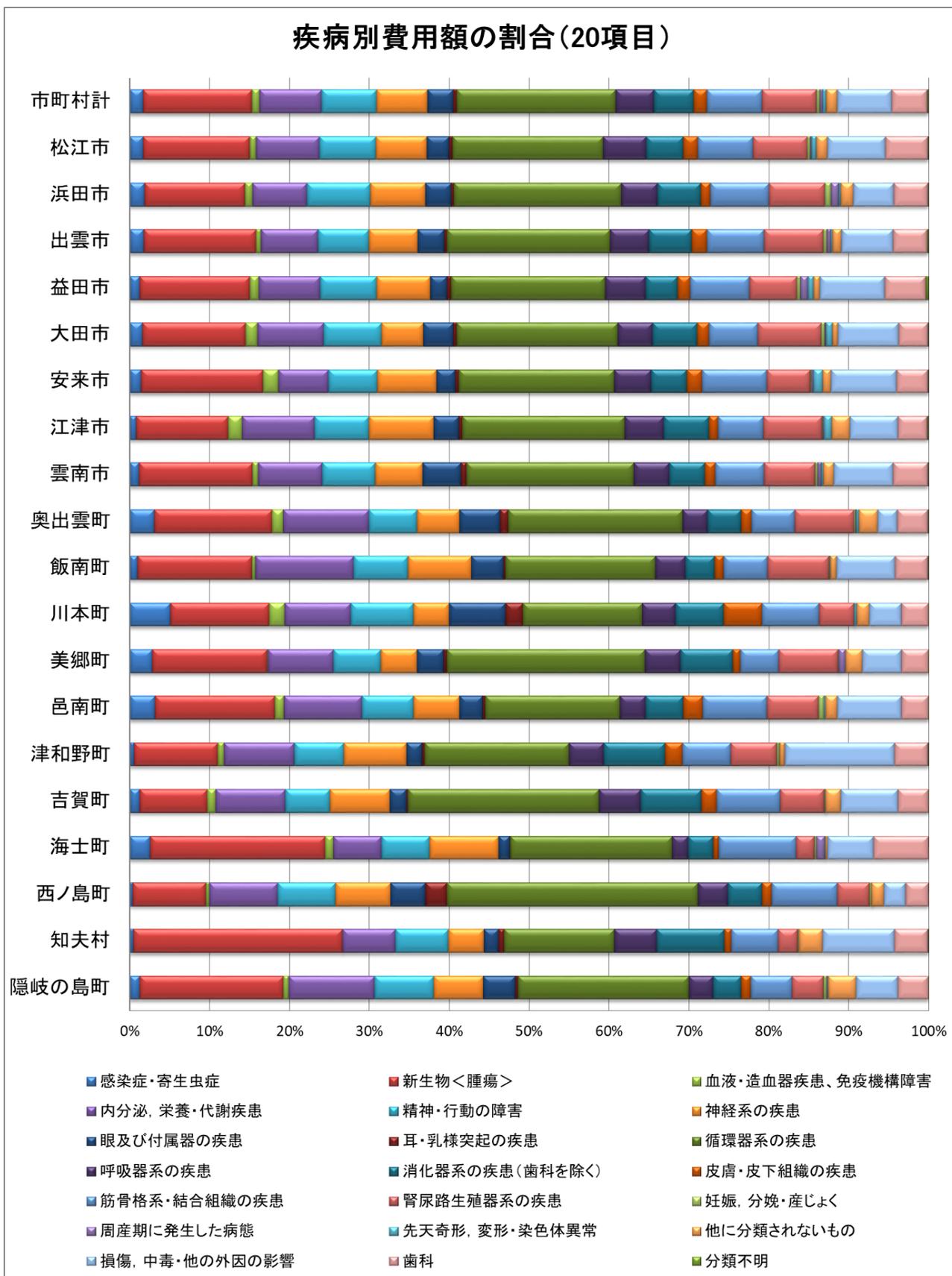
一方で、1人当たり費用額が最も低い海士町は、受診率及び1件当たり費用額ともに市町村計より低い。



(3) 疾病統計

① 疾病別医療費（大分類）

疾病大分類別費用額の割合をみると、海士町と知夫村を除く市町で「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物」が2番目に高くなっている。

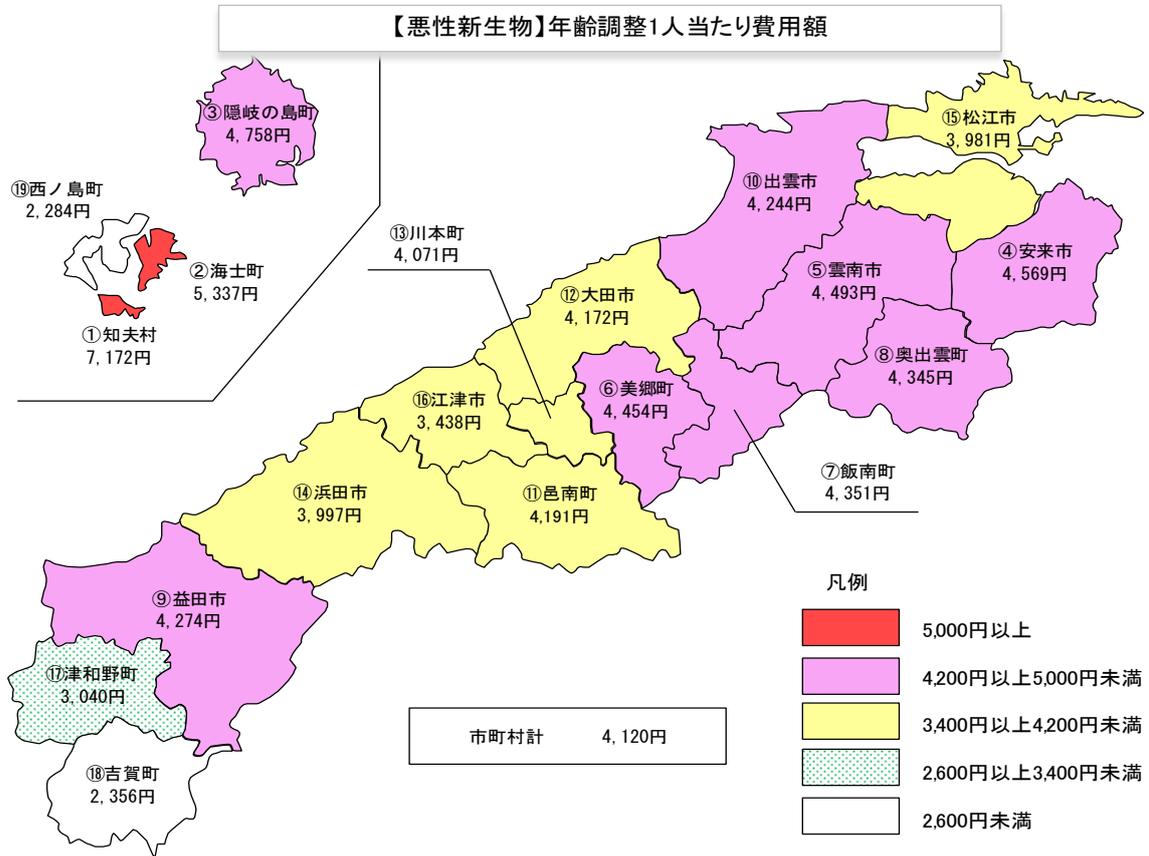


② 生活習慣病

生活習慣病に係る1人当たり費用額を年齢調整し、市町村別に比較した。

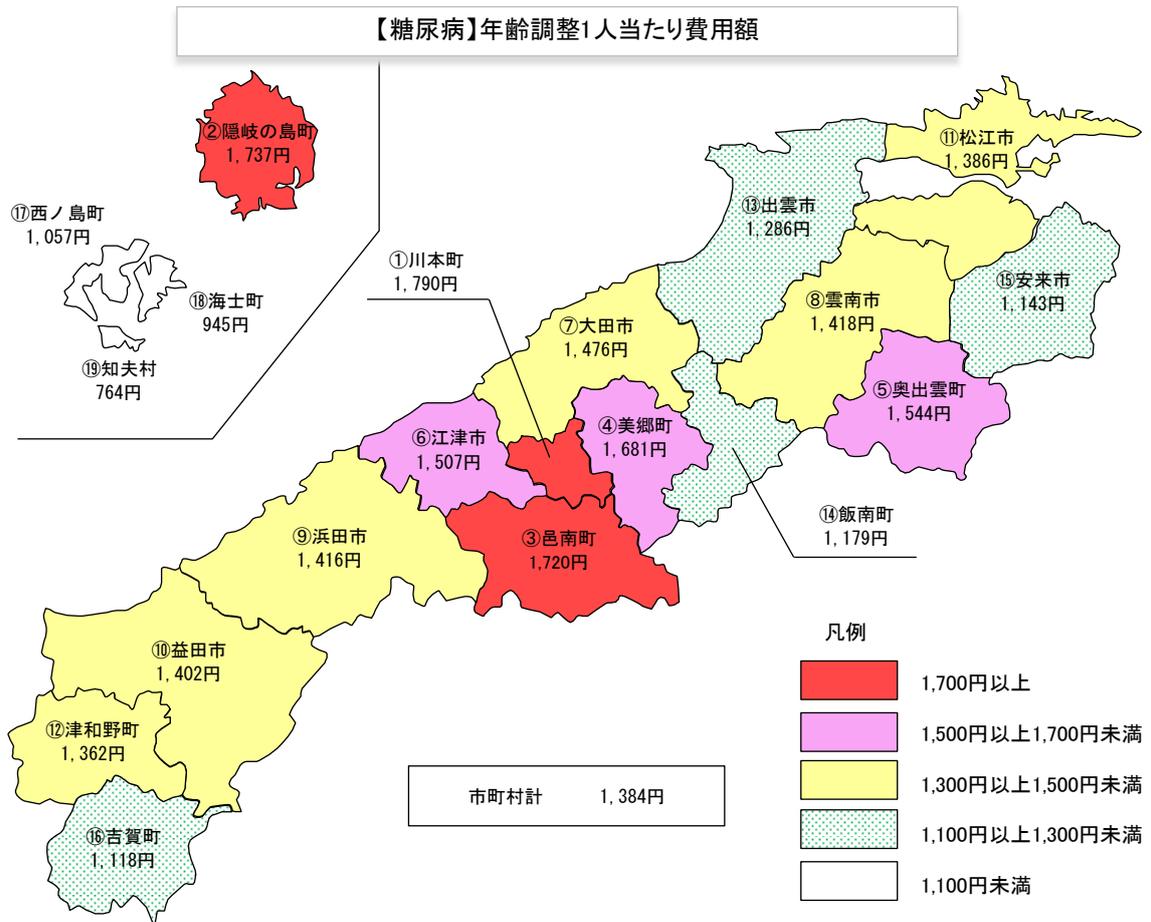
ア 悪性新生物

悪性新生物の1人当たり費用額が最も高いのは知夫村で、最も低いのは西ノ島町。



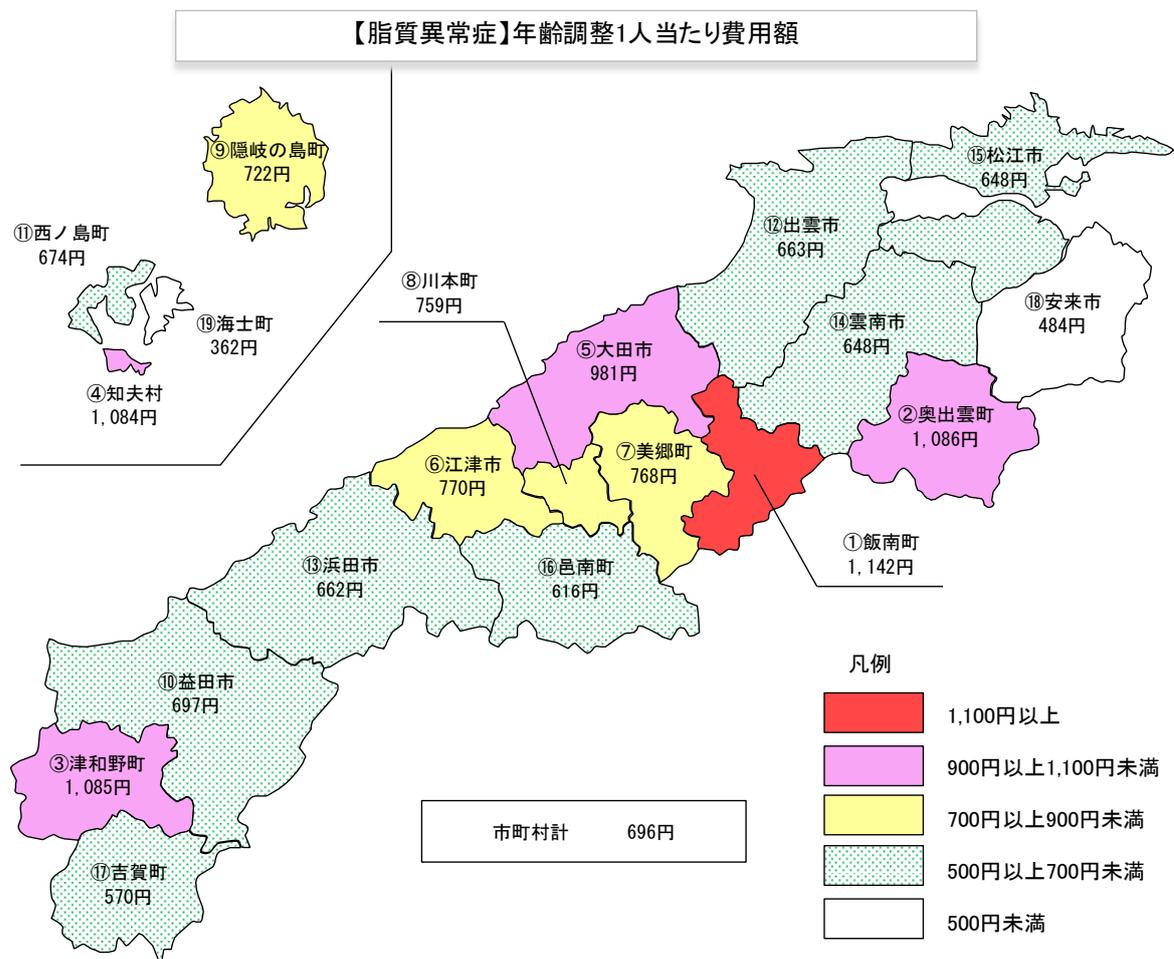
イ 糖尿病

糖尿病の1人当たり費用額が最も高いのは川本町で、最も低いのは知夫村。



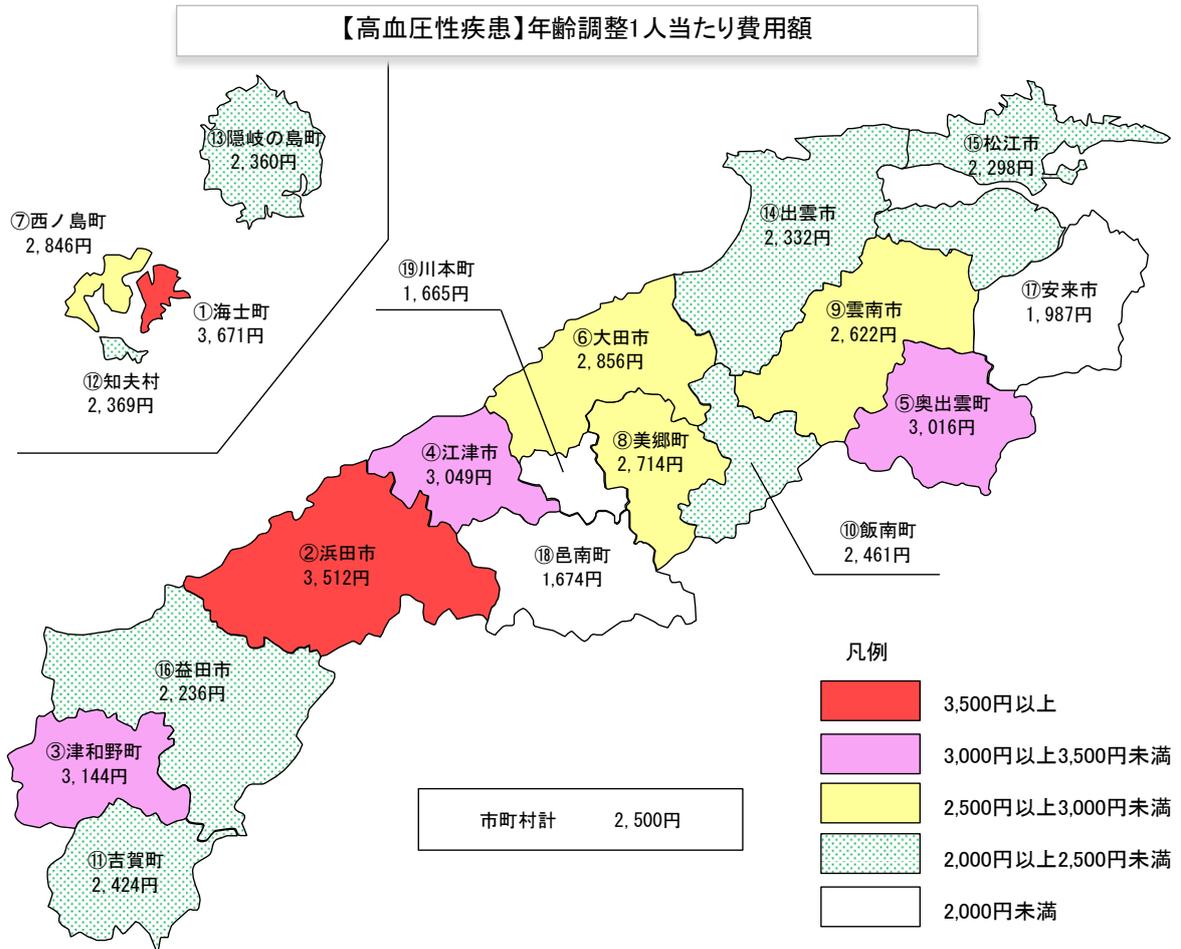
ウ 脂質異常症

脂質異常症の1人当たり費用額が最も高いのは飯南町で、最も低いのは海士町。



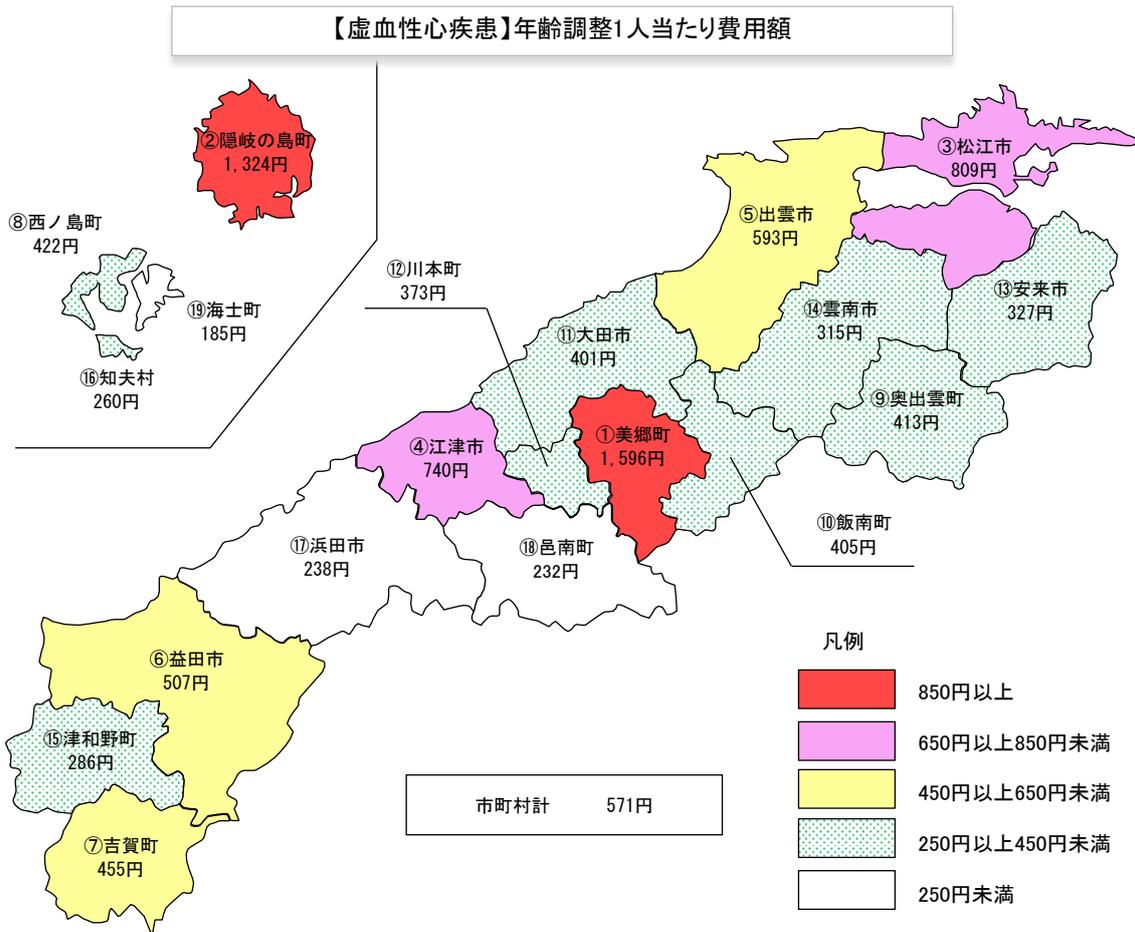
エ 高血圧性疾患

高血圧性疾患の1人当たり費用額が最も高いのは海士町で、最も低いのは川本町。



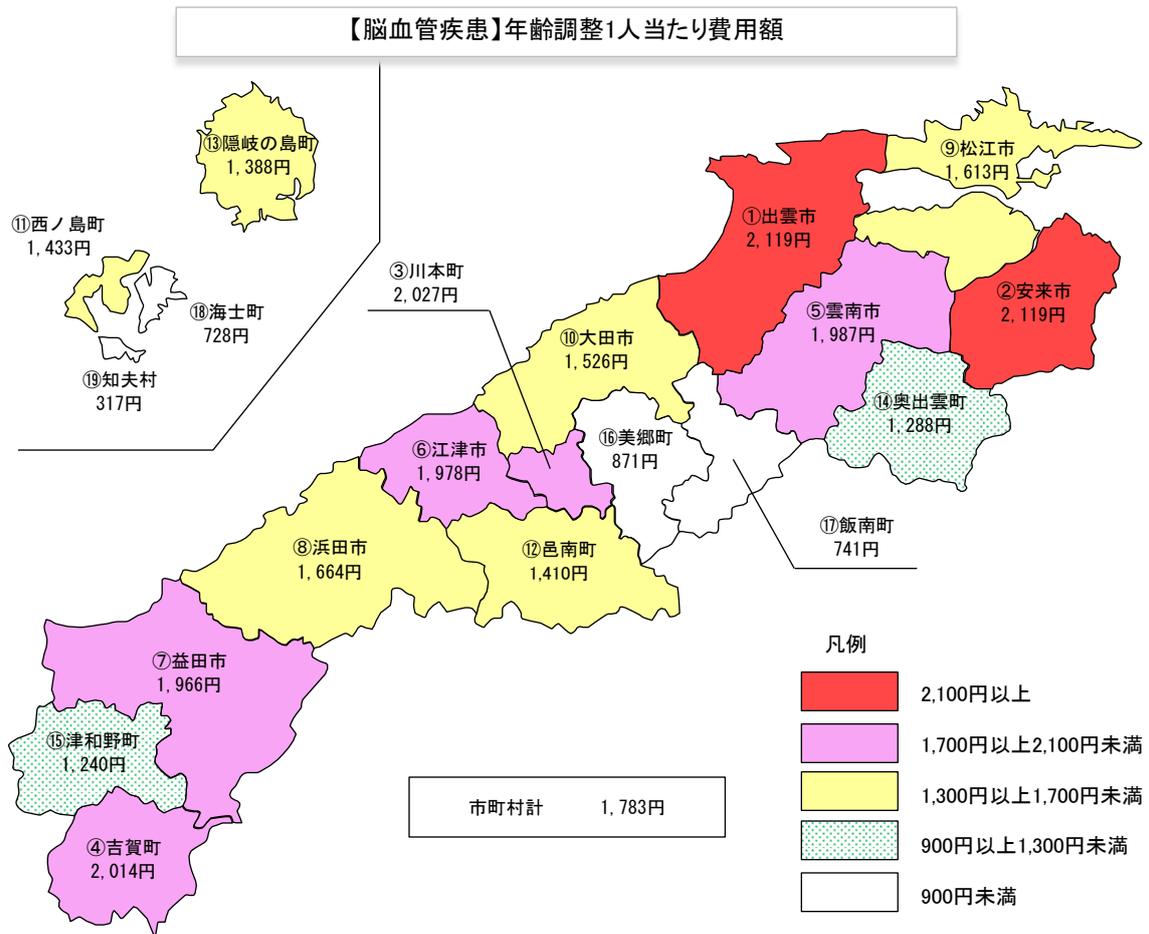
オ 虚血性心疾患

虚血性心疾患の1人当たり費用額が最も高いのは美郷町で、最も低いのは海士町。



カ 脳血管疾患

脳血管疾患の1人当たり費用額が最も高いのは出雲市で、最も低いのは知夫村。



③ 疾病別医療費（中分類）

疾病中分類別 1 人当たり費用額上位 10 疾病を、市町村別に比較した。

ア 制度合計

1 人当たり費用額上位 10 疾病は、ほとんどの市町村で「高血圧性疾患」が 1 位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の心疾患	統合失調症・妄想性障害	脳梗塞	他の消化器系の疾患
浜田市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	腎不全	糖尿病	他の心疾患	統合失調症・妄想性障害	骨折	脳梗塞	アルツハイマー病
出雲市	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	骨折	歯科	糖尿病	脳梗塞	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患
益田市	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の心疾患	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	腎不全	アルツハイマー病
大田市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	統合失調症・妄想性障害	歯科	他の消化器系の疾患	脳梗塞
安来市	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	歯科	脳梗塞	糖尿病	腎不全	統合失調症・妄想性障害	アルツハイマー病
江津市	高血圧性疾患	腎不全	骨折	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	歯科	統合失調症・妄想性障害	他の心疾患	他の神経系の疾患
雲南市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	他の心疾患	歯科	腎不全	糖尿病	脳梗塞	他の眼・付属器の疾患	統合失調症・妄想性障害
奥出雲町	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	腎不全	歯科	脂質異常症	他の眼・付属器の疾患	統合失調症・妄想性障害	肺の悪性新生物<腫瘍>
飯南町	高血圧性疾患	骨折	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	脂質異常症	歯科	糖尿病	他の神経系の疾患	他の内分泌・栄養・代謝疾患
川本町	糖尿病	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	脳梗塞	歯科	他の眼・付属器の疾患	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の皮膚・皮下組織の疾患	他の消化器系の疾患
美郷町	高血圧性疾患	腎不全	他の循環器系の疾患	糖尿病	他の心疾患	虚血性心疾患	統合失調症・妄想性障害	歯科	結腸の悪性新生物<腫瘍>	肺の悪性新生物<腫瘍>
邑南町	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	糖尿病	高血圧性疾患	歯科	腎不全	他の心疾患	脳梗塞	肺の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害
津和野町	高血圧性疾患	骨折	他の消化器系の疾患	歯科	糖尿病	腎不全	脂質異常症	統合失調症・妄想性障害	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>
吉賀町	他の心疾患	高血圧性疾患	骨折	他の消化器系の疾患	腎不全	脳梗塞	歯科	他の神経系の疾患	他の内分泌・栄養・代謝疾患	糖尿病
海士町	高血圧性疾患	悪性リンパ腫	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	骨折	関節症	パーキンソン病	統合失調症・妄想性障害	糖尿病	胃の悪性新生物<腫瘍>
西ノ島町	他の心疾患	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	他の神経系の疾患	糖尿病	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	他の眼・付属器の疾患	悪性リンパ腫
知夫村	白血病	胃の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の消化器系の疾患	骨折	歯科	パーキンソン病	脂質異常症	他の損傷・他の外因の影響	他の心疾患
隠岐の島町	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	虚血性心疾患	骨折	歯科	症状・徴候・他に分類されないもの	他の神経系の疾患	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	統合失調症・妄想性障害
市町村計	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	他の心疾患	腎不全	糖尿病	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	他の消化器系の疾患

※歯科は疾病コードが 1101～1103 及び 歯科レセプトの合計（以下同）

イ 市町村国保

市町村国保について市町村別にみると、約半数の市町村で「統合失調症・妄想性障害」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	高血圧性疾患	糖尿病	腎不全	他の神経系の疾患	肺の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系の疾患	他の心疾患
浜田市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	歯科	他の神経系の疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	脳梗塞	脂質異常症
出雲市	統合失調症・妄想性障害	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	肺の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	他の心疾患	骨折
益田市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の心疾患	肺の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	良性新生物・他の新生物<腫瘍>
大田市	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	腎不全	高血圧性疾患	糖尿病	歯科	脂質異常症	肺の悪性新生物<腫瘍>	乳房の悪性新生物<腫瘍>	骨折
安来市	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	骨折	歯科	糖尿病	腎不全	他の神経系の疾患	脳梗塞	脳内出血
江津市	統合失調症・妄想性障害	腎不全	高血圧性疾患	脳性麻痺・他の麻痺性症候群	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	糖尿病	他の神経系の疾患	歯科	他の血液・造血器・免疫機構の障害
雲南市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	腎不全	歯科	他の心疾患	肺の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症	他の神経系の疾患
奥出雲町	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	くも膜下出血	歯科	肺の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症	他の神経系の疾患
飯南町	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	骨折	腎不全	てんかん	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	他の神経系の疾患	脊椎障害(脊椎症を含む)
川本町	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	脳性麻痺・他の麻痺性症候群	糖尿病	他の心疾患	他の消化器系の疾患	歯科	他の脳血管疾患	他の精神・行動の障害
美郷町	他の循環器系の疾患	統合失調症・妄想性障害	結腸の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	肺の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	脳性麻痺・他の麻痺性症候群	直腸の悪性新生物<腫瘍>	歯科	腎不全
邑南町	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	糖尿病	てんかん	腎不全	高血圧性疾患	他の神経系の疾患	肺の悪性新生物<腫瘍>	歯科	脳内出血
津和野町	統合失調症・妄想性障害	骨折	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	他の損傷・他の外因の影響	歯科	脂質異常症	他の神経系の疾患	脳梗塞
吉賀町	他の内分泌・栄養・代謝疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の消化器系の疾患	他の心疾患	歯科	腎不全	関節症	糖尿病	統合失調症・妄想性障害
海士町	高血圧性疾患	悪性リンパ腫	統合失調症・妄想性障害	歯科	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の筋骨格・結合組織の疾患	他の心疾患	他の精神・行動の障害	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
西ノ島町	統合失調症・妄想性障害	他の神経系の疾患	悪性リンパ腫	高血圧性疾患	糖尿病	他の損傷・他の外因の影響	歯科	他の呼吸器系の疾患	脂質異常症	肺の悪性新生物<腫瘍>
知夫村	胃の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系の疾患	パーキンソン病	統合失調症・妄想性障害	肺の悪性新生物<腫瘍>	歯科	脂質異常症	高血圧性疾患	結腸の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病
隠岐の島町	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	歯科	肺の悪性新生物<腫瘍>	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の神経系の疾患	脂質異常症	腎不全
市町村計	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	腎不全	歯科	糖尿病	他の神経系の疾患	肺の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	他の心疾患

ウ 被用者保険

被用者保険は、半数以上の市町村で「歯科」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の内分泌、栄養・代謝疾患	他の消化器系の疾患	腎不全	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の神経系の疾患	他の心疾患
浜田市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	妊娠・胎児発育に関連する障害	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の妊娠、分娩・産じょく	関節症	腎不全	他の血液・造血器・免疫機構の障害
出雲市	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の神経系の疾患	糖尿病	他の消化器系の疾患	腎不全	他の心疾患	脂質異常症	皮膚炎・湿疹
益田市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	妊娠・胎児発育に関連する障害	糖尿病	他の循環器系の疾患	結腸の悪性新生物<腫瘍>	骨折	他の心疾患	他の妊娠、分娩・産じょく
大田市	歯科	高血圧性疾患	糖尿病	心臓の先天奇形	腎不全	肺の悪性新生物<腫瘍>	他の損傷・他の外因の影響	他の消化器系の疾患	脂質異常症	屈折・調節の障害
安来市	歯科	他の先天奇形、変形・染色体異常	他の血液・造血器・免疫機構の障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	乳房の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	糖尿病	関節症	骨折
江津市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	他の血液・造血器・免疫機構の障害	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の消化器系の疾患	腎不全
雲南市	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	腎不全	他の消化器系の疾患	骨折	糖尿病	くも膜下出血	脂質異常症	悪性リンパ腫
奥出雲町	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	高血圧性疾患	腎不全	肺の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の血液・造血器・免疫機構の障害	他の心疾患	症状、徴候・他に分類されないもの
飯南町	他の内分泌、栄養・代謝疾患	悪性リンパ腫	歯科	直腸の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の呼吸器系の疾患	他の消化器系の疾患	脂質異常症	糖尿病	肺の悪性新生物<腫瘍>
川本町	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	結腸の悪性新生物<腫瘍>	慢性副鼻腔炎	統合失調症・妄想性障害	他の感染症・寄生虫症	高血圧性疾患	糖尿病	屈折・調節の障害	他の損傷・他の外因の影響
美郷町	虚血性心疾患	歯科	脳梗塞	妊娠・胎児発育に関連する障害	高血圧性疾患	糖尿病	他の神経系の疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の損傷・他の外因の影響	腎不全
邑南町	歯科	肺の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の消化器系の疾患	他の妊娠、分娩・産じょく	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脂質異常症	腎不全	他の損傷・他の外因の影響
津和野町	歯科	高血圧性疾患	他の消化器系の疾患	糖尿病	他の神経系の疾患	肺の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症	乳房の悪性新生物<腫瘍>	胆石症・胆のう炎	他の呼吸器系の疾患
吉賀町	歯科	高血圧性疾患	乳房の悪性新生物<腫瘍>	精神作用物質使用による精神・行動の障害	腎不全	虚血性心疾患	他の消化器系の疾患	糖尿病	他の神経系の疾患	骨折
海士町	歯科	関節症	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系の疾患	胆石症・胆のう炎	高血圧性疾患	妊娠・胎児発育に関連する障害	他の筋骨格系・結合組織の疾患	他の内分泌、栄養・代謝疾患	結腸の悪性新生物<腫瘍>
西ノ島町	他の脳血管疾患	外耳炎	他の眼・付属器の疾患	歯科	脊椎障害(脊椎症を含む)	高血圧性疾患	他の神経系の疾患	糖尿病	脂質異常症	喘息
知夫村	他の損傷・他の外因の影響	症状、徴候・他に分類されないもの	歯科	他の皮膚・皮下組織の疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	喘息	高血圧性疾患	肺炎	他の急性上気道感染症	他の筋骨格系・結合組織の疾患
隠岐の島町	糖尿病	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	高血圧性疾患	虚血性心疾患	症状、徴候・他に分類されないもの	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の神経系の疾患	てんかん
市町村計	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の神経系の疾患	腎不全	他の心疾患	脂質異常症	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)

エ 後期高齢者

後期高齢者は、半数以上の市町村で「高血圧性疾患」が1位となっている。

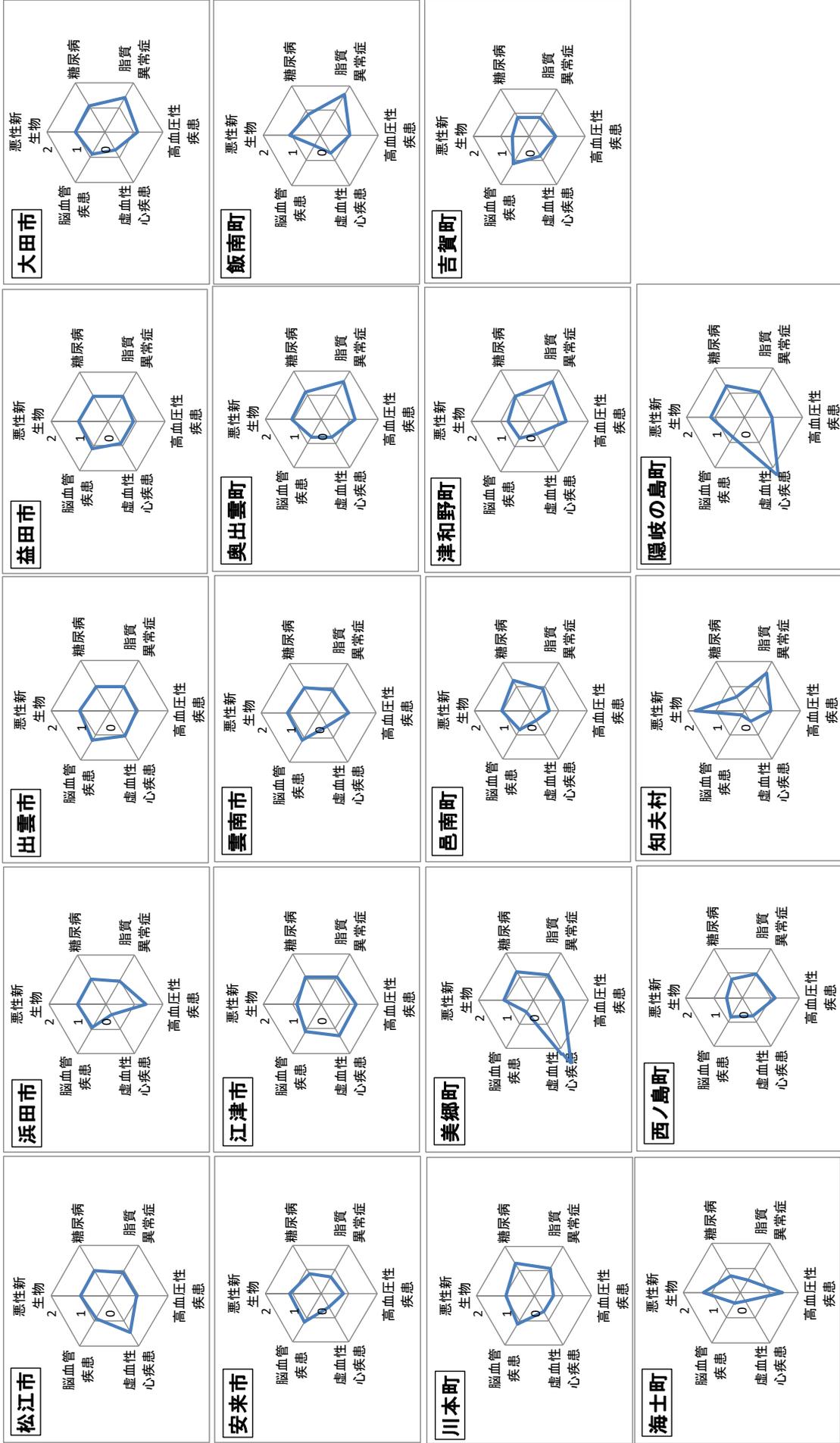
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	腎不全	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の呼吸器系の疾患	虚血性心疾患	歯科
浜田市	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	腎不全	アルツハイマー病	糖尿病	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系の疾患	歯科
出雲市	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	脳梗塞	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の消化器系の疾患	アルツハイマー病	他の呼吸器系の疾患
益田市	骨折	高血圧性疾患	脳梗塞	他の心疾患	アルツハイマー病	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系の疾患	腎不全	歯科
大田市	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	腎不全	脳梗塞	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	脂質異常症
安来市	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の心疾患	脳梗塞	アルツハイマー病	腎不全	糖尿病	他の消化器系の疾患	他の循環器系の疾患
江津市	高血圧性疾患	骨折	糖尿病	他の心疾患	脳梗塞	腎不全	アルツハイマー病	他の消化器系の疾患	他の内分泌・栄養・代謝疾患	虚血性心疾患
雲南市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	腎不全	糖尿病	他の眼・付属器の疾患	アルツハイマー病	他の神経系の疾患
奥出雲町	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	他の眼・付属器の疾患	脂質異常症	腎不全	症状、徴候・他に分類されないもの	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	虚血性心疾患
飯南町	高血圧性疾患	骨折	腎不全	脂質異常症	他の心疾患	他の神経系の疾患	糖尿病	肺の悪性新生物<腫瘍>	アルツハイマー病	他の悪性新生物<腫瘍>
川本町	脳梗塞	高血圧性疾患	糖尿病	他の眼・付属器の疾患	骨折	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の心疾患	白内障	他の皮膚・皮下組織の疾患	関節症
美郷町	高血圧性疾患	腎不全	他の心疾患	糖尿病	骨折	症状、徴候・他に分類されないもの	他の消化器系の疾患	脂質異常症	他の悪性新生物<腫瘍>	胃の悪性新生物<腫瘍>
邑南町	骨折	糖尿病	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	関節症	悪性リンパ腫	他の心疾患	腎不全	アルツハイマー病
津和野町	高血圧性疾患	骨折	他の消化器系の疾患	アルツハイマー病	糖尿病	脳梗塞	脂質異常症	他の悪性新生物<腫瘍>	頭蓋内損傷・内臓の損傷	他の心疾患
吉賀町	他の心疾患	高血圧性疾患	骨折	脳梗塞	他の神経系の疾患	肺炎	他の消化器系の疾患	腎不全	他の筋骨格系・結合組織の疾患	パーキンソン病
海士町	高血圧性疾患	骨折	悪性リンパ腫	パーキンソン病	他の悪性新生物<腫瘍>	胃の悪性新生物<腫瘍>	関節症	歯科	結腸の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞
西ノ島町	他の心疾患	高血圧性疾患	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	てんかん	糸球体疾患・腎尿細管間質性疾患	胆石症・胆のう炎	肺の悪性新生物<腫瘍>	脊椎障害(脊椎症を含む)	脂質異常症
知夫村	白血病	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	他の消化器系の疾患	他の呼吸器系の疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の筋骨格系・結合組織の疾患	腎不全	脂質異常症
隠岐の島町	高血圧性疾患	虚血性心疾患	骨折	症状、徴候・他に分類されないもの	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	アルツハイマー病	悪性リンパ腫	脳梗塞
市町村計	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	脳梗塞	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	アルツハイマー病	他の消化器系の疾患	他の呼吸器系の疾患

【参考】市町村別状況一覧（国保・被用者保険・後期高齢者）

	人口 (人)	加入者数	カバー率 (%) 加入者 /人口	受診率	1件当たり 費用額	1人当たり費用額 (年齢調整)	費用額上位3疾病(20項目分類)			費用額上位3疾病(120項目分類)			総費用額に占める生活習慣病の割合(%)
							1位	2位	3位	1位	2位	3位	
松江市	202,493	136,118	67.2	85.7	36,894	33,147	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	骨折	歯科	32.0
浜田市	54,220	41,094	75.8	91.1	39,225	34,943	循環器系	新生物	精神	高血圧性疾患	他の悪性新生物	歯科	33.1
出雲市	172,116	122,687	71.3	83.8	38,566	34,177	循環器系	新生物	腎尿路	高血圧性疾患	他の悪性新生物	他の悪性新生物	32.5
益田市	44,760	36,809	82.2	90.0	38,873	34,406	循環器系	新生物	損傷・中毒	高血圧性疾患	骨折	歯科	32.4
大田市	32,466	27,649	85.2	90.0	41,417	35,139	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	32.8
安来市	37,163	26,936	72.5	85.8	42,224	34,270	循環器系	新生物	損傷・中毒	他の悪性新生物	骨折	高血圧性疾患	31.7
江津市	23,109	18,480	80.0	85.3	42,885	34,903	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	腎不全	骨折	33.3
雲南市	35,794	30,716	85.8	85.5	40,762	33,632	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	他の悪性新生物	骨折	34.1
奥出雲町	11,758	10,920	92.9	79.3	42,244	31,200	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	他の悪性新生物	他の悪性新生物	37.8
飯南町	4,626	4,175	90.3	72.2	46,932	31,478	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	骨折	腎不全	33.6
川本町	3,079	2,735	88.8	74.2	62,174	40,165	循環器系	新生物	内分泌	糖尿病	高血圧性疾患	他の悪性新生物	26.1
美郷町	4,317	4,019	93.1	92.9	40,868	33,852	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	腎不全	他の循環器系の疾患	35.3
邑南町	10,199	8,917	87.4	81.1	38,112	27,492	循環器系	新生物	内分泌	他の悪性新生物	骨折	糖尿病	35.9
津和野町	6,900	6,377	92.4	95.6	39,028	31,873	循環器系	損傷・中毒	新生物	高血圧性疾患	骨折	他の消化器系の疾患	32.8
吉賀町	6,036	5,013	83.1	87.3	44,894	33,996	循環器系	内分泌	新生物	他の心疾患	高血圧性疾患	骨折	26.5
海士町	2,237	1,941	86.8	71.6	38,186	25,933	新生物	循環器系	筋骨格	高血圧性疾患	悪性リンパ腫	他の悪性新生物	43.8
西ノ島町	2,805	2,330	83.1	65.1	47,007	27,642	循環器系	新生物	内分泌	他の心疾患	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	33.8
知夫村	660	570	86.4	68.9	47,452	30,394	新生物	循環器系	損傷・中毒	白血病	胃の悪性新生物	高血圧性疾患	42.4
隠岐の島町	13,702	11,495	83.9	67.0	44,470	28,420	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	他の悪性新生物	糖尿病	43.7
市町村計	668,440	498,981	74.6	85.4	39,324	33,588	循環器系	新生物	内分泌	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物	32.9

※人口：島根県推計人口月報（令和2年6月1日）

●生活習慣病疾病別1人当たり費用額(市町村計を1とする)



Ⅱ 特定健康診査結果統計

◆健診結果データ集計にあたって

1 使用データについて

次の県内医療保険者における、令和元年度特定健康診査結果データを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合

2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

【制度（別）】

（1）国 保

島根県内 19 市町村国民健康保険
島根県医師国民健康保険組合

（2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部
島根県市町村職員共済組合

3 集計方法等

より多くのデータを対象とした傾向を掴むため、次の方法により集計した。

（1）各医療保険者から提供された全ての特定健康診査結果データを使用する（実施年度中における加入及び脱退等の異動を除外しない）。

※各医療保険者の法定報告値とは一致しない。

（2）健診（検査・質問）項目の一部が実施されていない（欠損値がある）場合も分析対象とする。

1 県全体及び制度別の状況

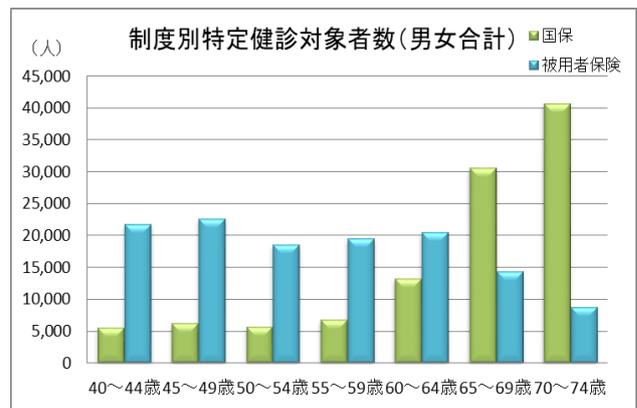
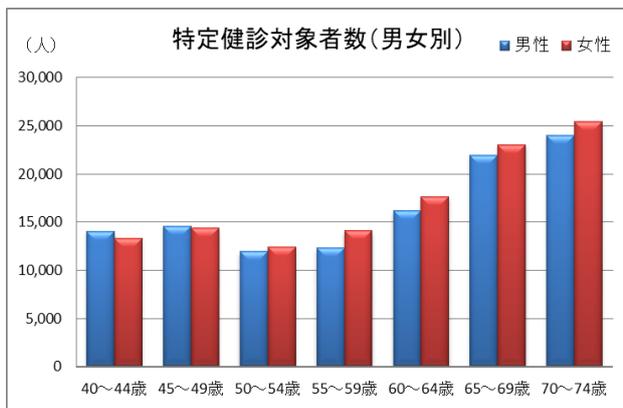
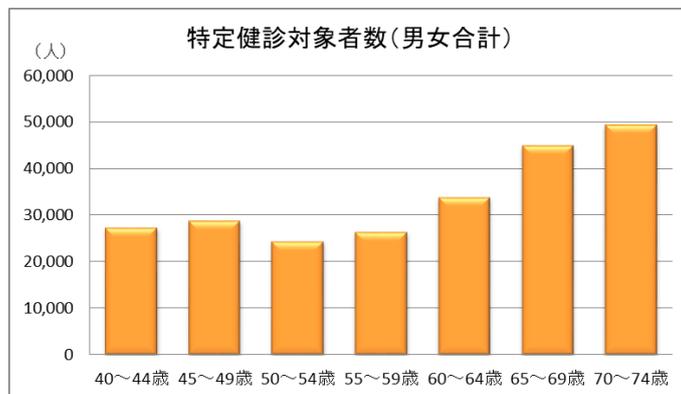
(1) 特定健診受診者数等

本統計における特定健診対象者数、受診者数及び受診率は次表のとおり。医療費統計と同様に被用者保険のデータは一部収集できていないが、国保は全データを収集している。

制度	性別	特定健診対象者数 (人)	特定健診受診者数 (人)	受診率 (%)
国保	男性	52,939	20,883	39.4
	女性	56,100	26,885	47.9
	計	109,039	47,768	43.8
被用者保険	男性	62,067	46,479	74.9
	女性	64,345	40,680	63.2
	計	126,412	87,159	68.9
合計	男性	115,006	67,362	58.6
	女性	120,445	67,565	56.1
	計	235,451	134,927	57.3

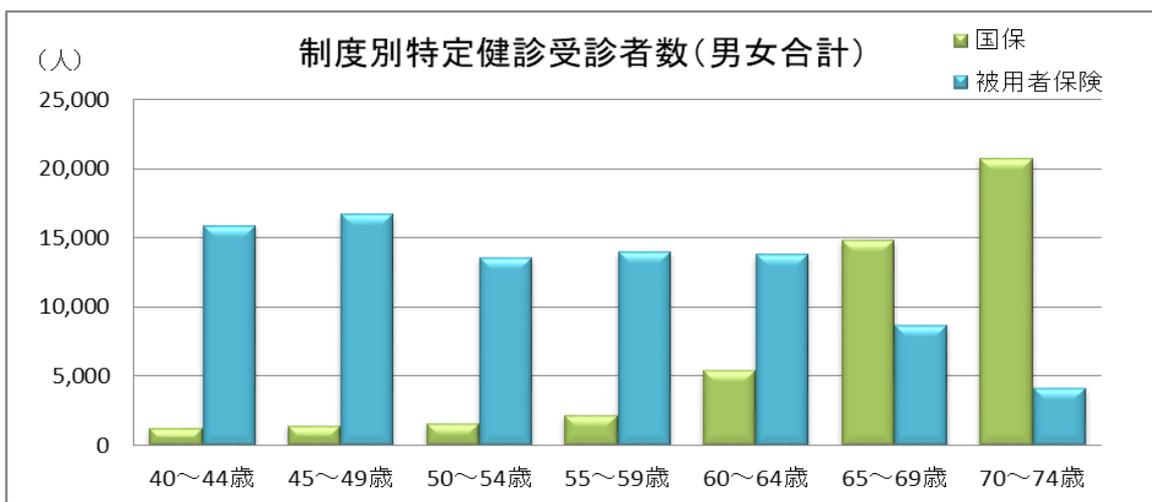
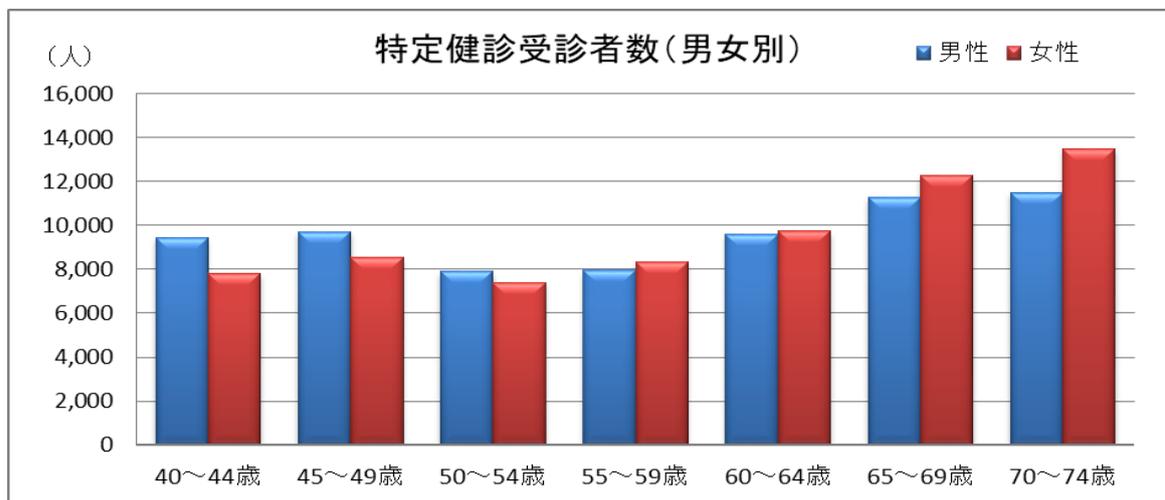
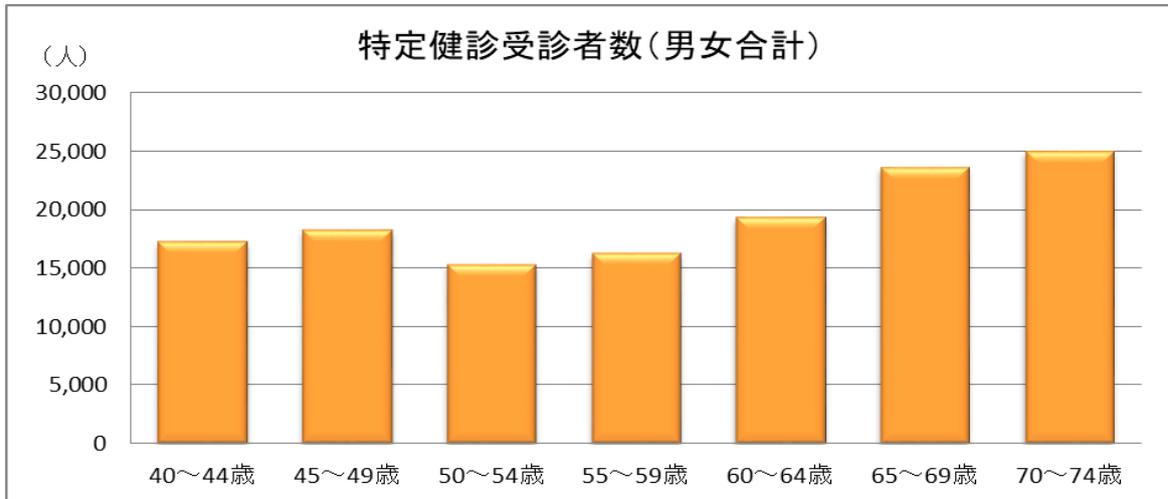
① 特定健診対象者数

特定健診対象者数を年齢階層別にみると70～74歳が最も多い。男女別にみると50歳以上で女性が多い。



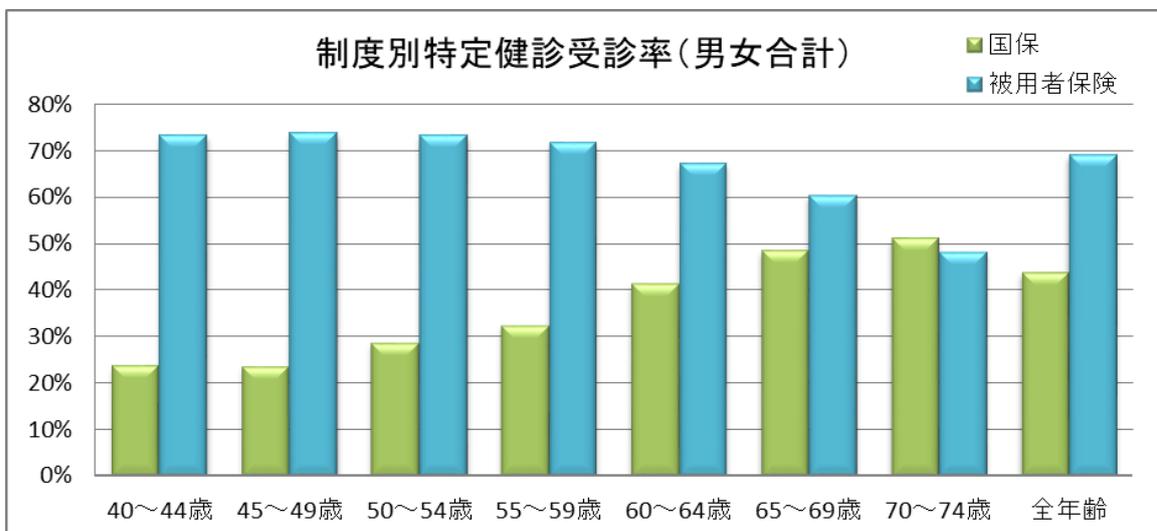
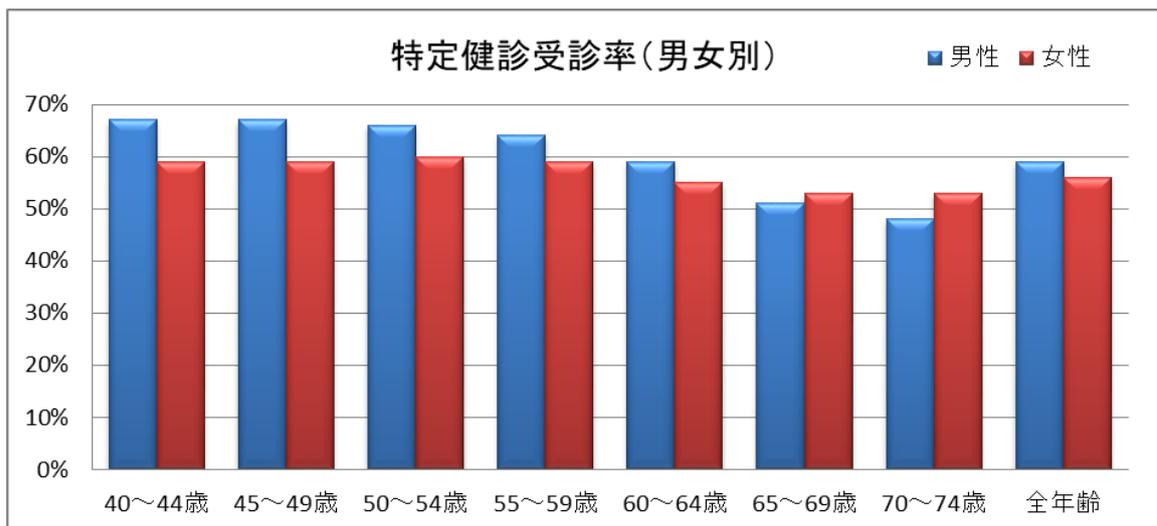
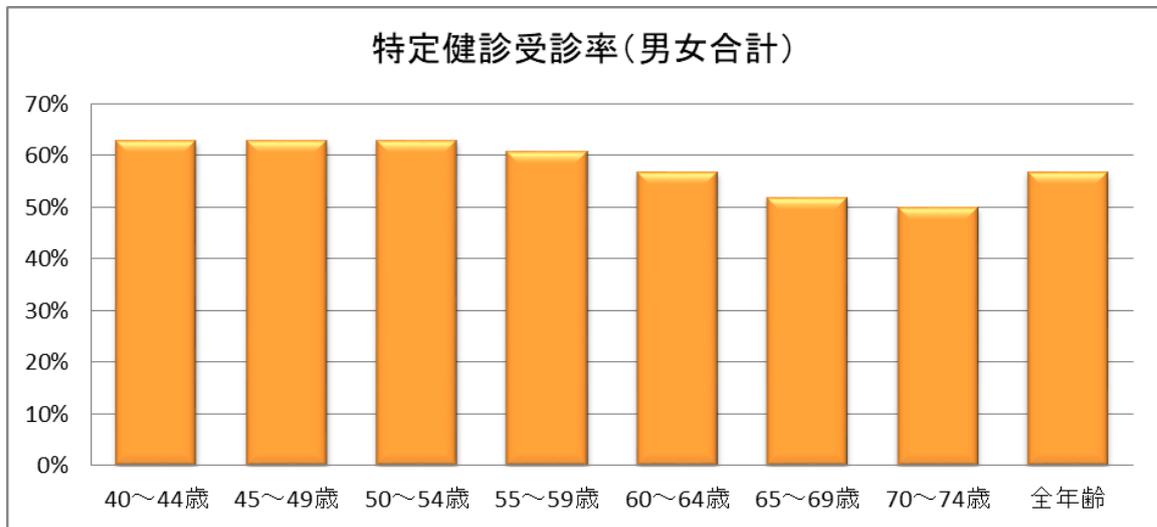
② 特定健診受診者数

特定健診受診者数を年齢階層別にみると、70～74歳が最も多い。また、男女別にみると、54歳以下は男性が多く、55歳以上は女性が多い。



③ 特定健診受診率

全年齢の受診率（受診者数/対象者数）は57.3%。年齢階層別にみると40～44歳が最も高く63.2%で59歳まではほぼ横ばいで、60歳以降減少している。男女別では、64歳以下は男性が高く、65歳以上は女性が高い。



(2) 特定保健指導該当者割合

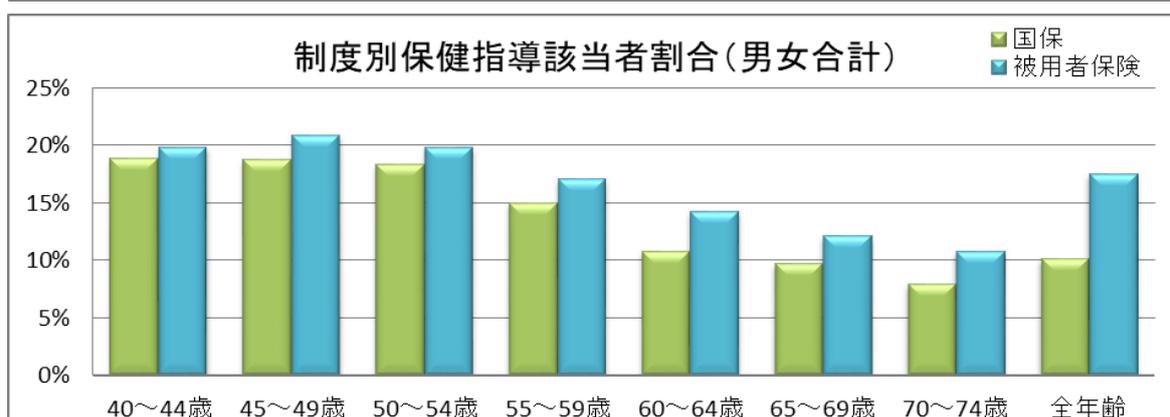
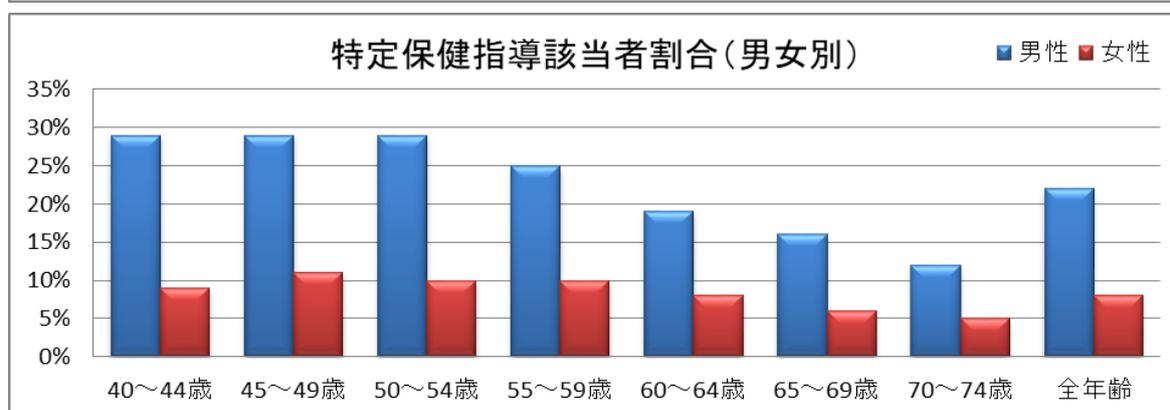
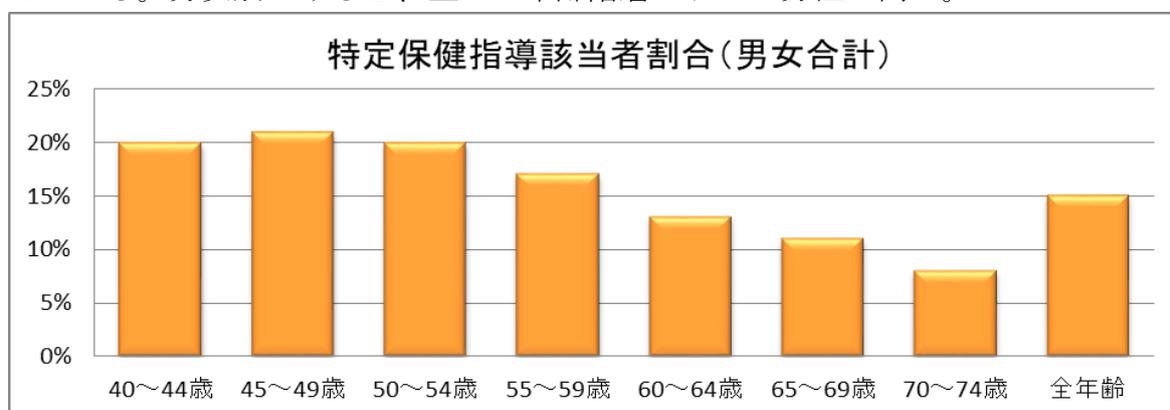
特定保健指導該当の基準は、次のとおりとした。

腹囲	追加リスク			④喫煙歴	対象 ^{*1}	
	①血糖	②脂質	③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当			あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当					
上記以外で BMI≥25 kg/m ²	3つ該当			あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当					
	1つ該当					

※1 対象の年齢は、
実施年度中に達する年齢
※2 血圧降下剤等を
服薬中の者は保健
指導の対象外

リスク①血糖 空腹時血糖 100mg/dl 以上 又は HbA1c5.6%以上
②脂質 中性脂肪 150 mg/dl 以上 又は HDL コレステロール 40 mg/dl 未満
③血圧 収縮期 130mmHg 以上 又は 拡張期 85mmHg 以上

特定保健指導該当者割合は、45～49歳で最も高く、50歳以上は加齢とともに減少している。男女別にみると、全ての年齢階層において男性が高い。

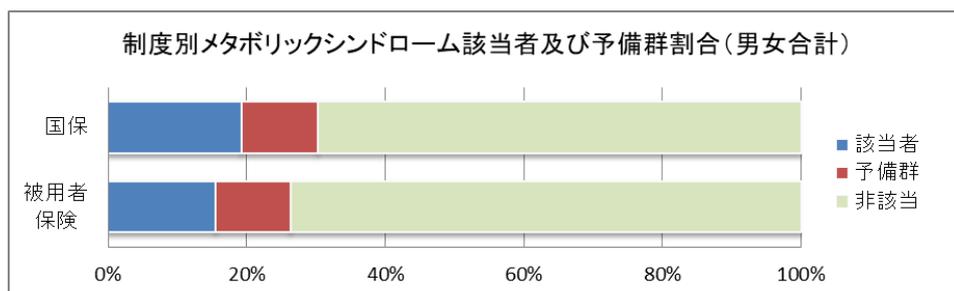
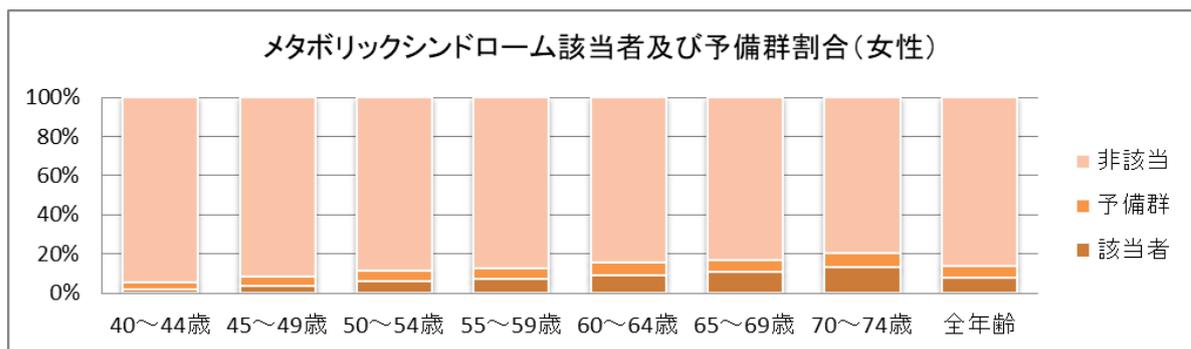
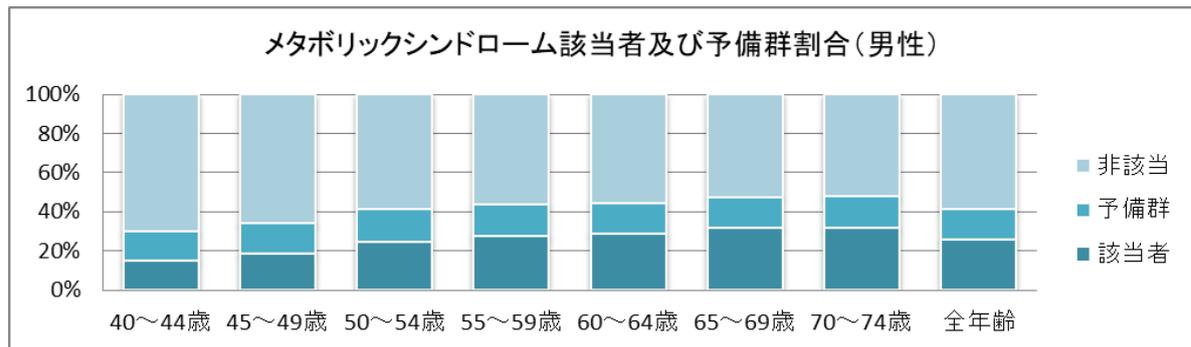
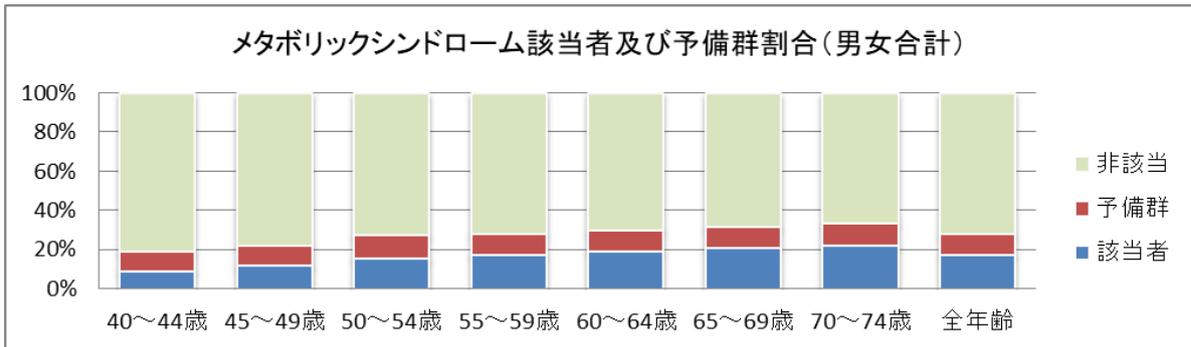


(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の診断基準は、次のとおりとした。

腹囲	男性 ≥ 85 cm、女性 ≥ 90 cm (内臓脂肪面積男女とも ≥ 100 cm ²)
※腹囲に以下基準を2項目以上該当：該当者、1項目該当：予備群該当	
脂質	中性脂肪 ≥ 150 mg/dl かつ/又は HDL コレステロール < 40 mg/dl
血圧	収縮期 ≥ 130 mmHg かつ/又は 拡張期 ≥ 85 mmHg
血糖	空腹時血糖 ≥ 110 mg/dl かつ/又は HbA1c $\geq 6.0\%$

該当者の割合は加齢とともに増加している。男女別にみると男性が高い。制度別では国保が高い。



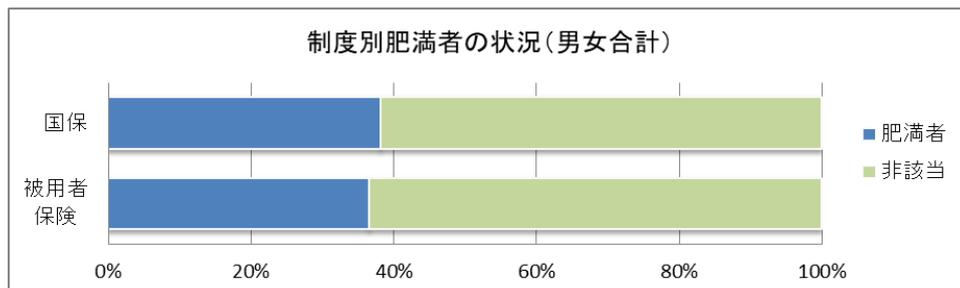
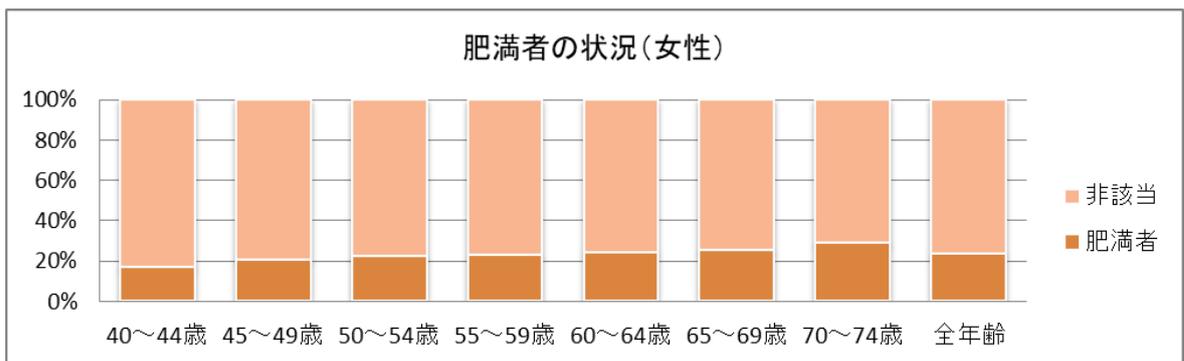
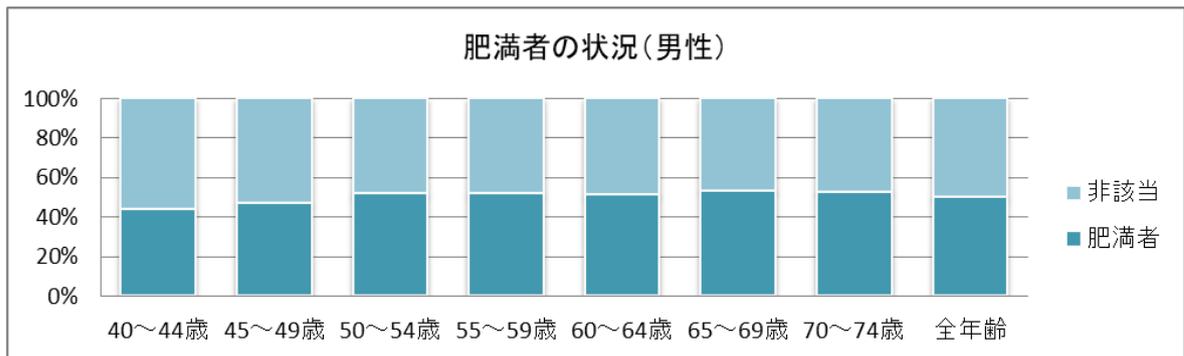
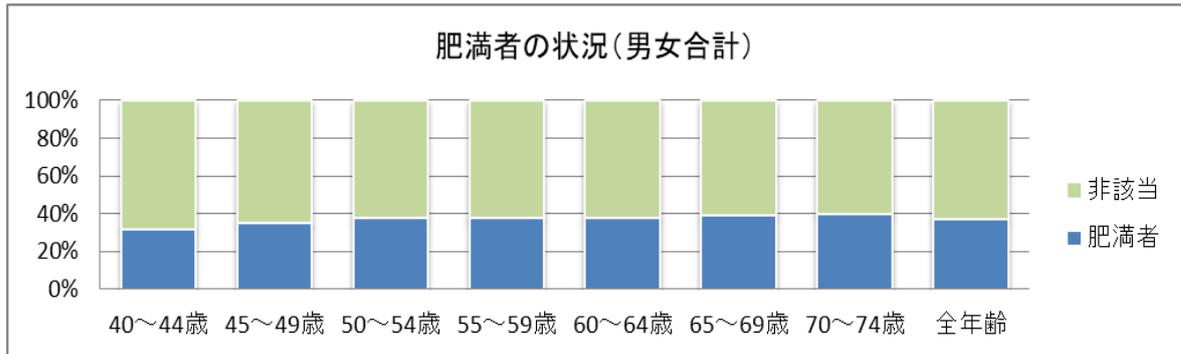
(4) 検査等結果

① 肥満者の割合

肥満者及び非肥満者の定義は、次のとおりとした。

肥満者	腹囲 男性 85cm 以上、女性 90cm 以上 又は $25 \leq \text{BMI}$ 又は 内臓脂肪面積 $\geq 100 \text{ cm}^2$
非肥満者	上記以外

肥満者の割合は、年齢階層及び制度別では大きな差はみられないが、男女別では男性が高い。

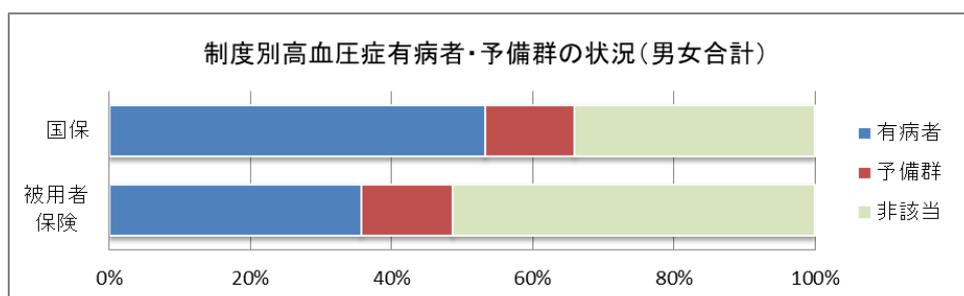
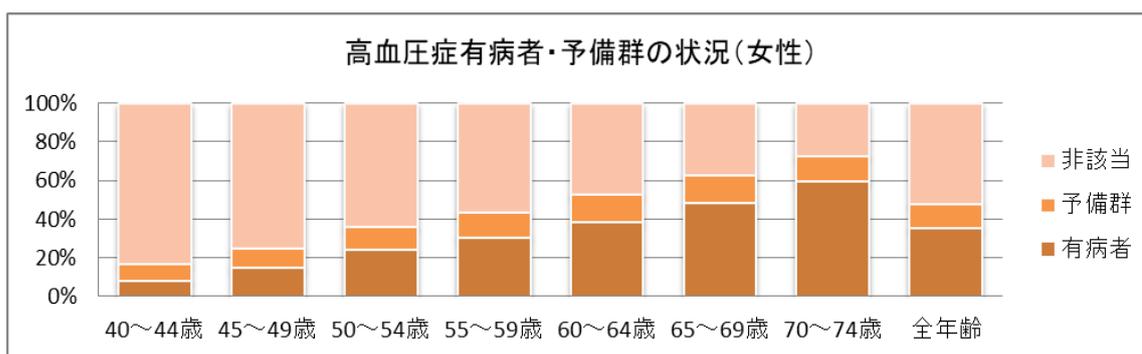
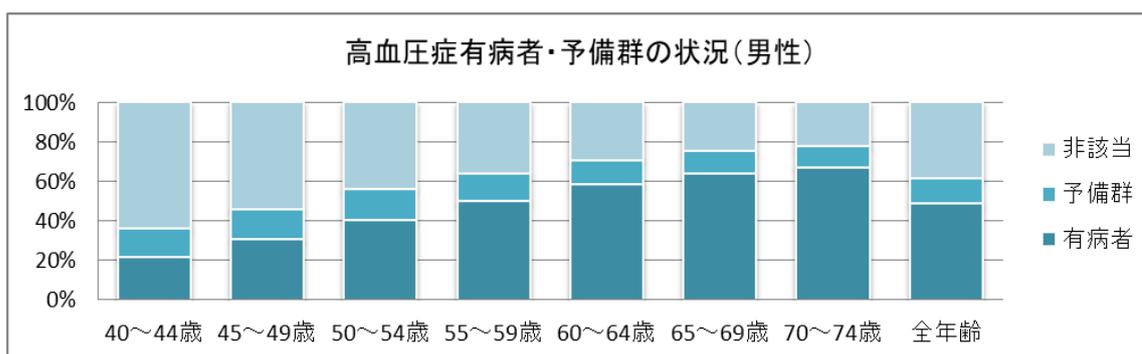
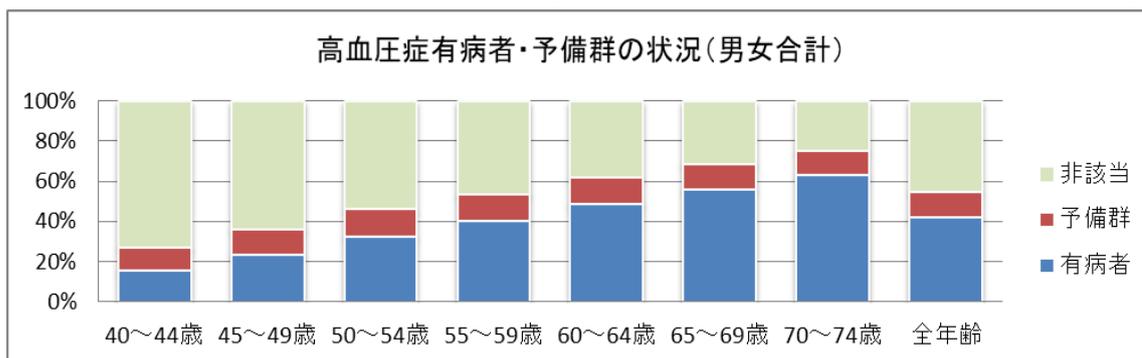


② 高血圧症有病者・予備群の割合

高血圧症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→140mmHg≦収縮期血圧、又は 90≦拡張期血圧（受診勧奨値）
予備群	130mmHg≦収縮期血圧<140mmHg、又は 85≦拡張期血圧<90mmHg （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

加齢とともに有病者の割合は増加している。年齢階層別に男女を比較すると、若年層ほど男性の割合が高い傾向がみられる。制度別では国保の有病者の割合が高い。

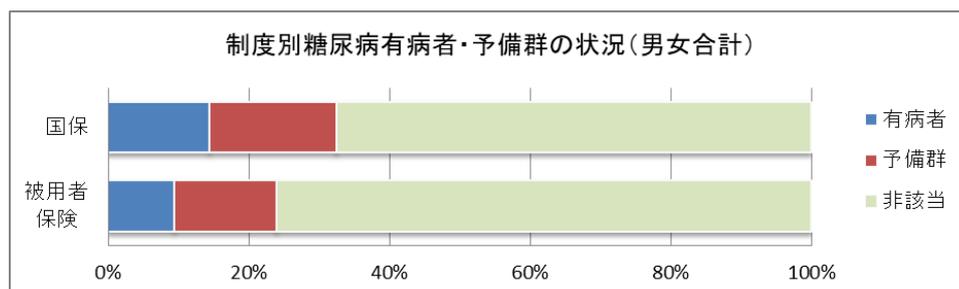
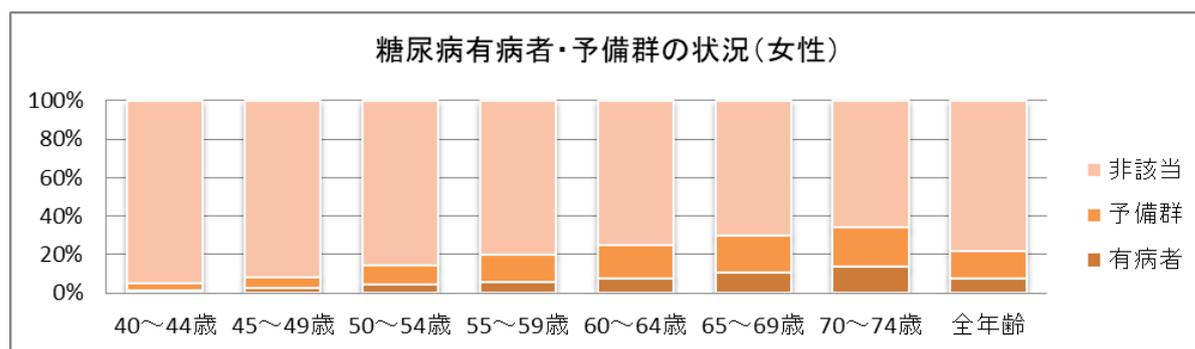
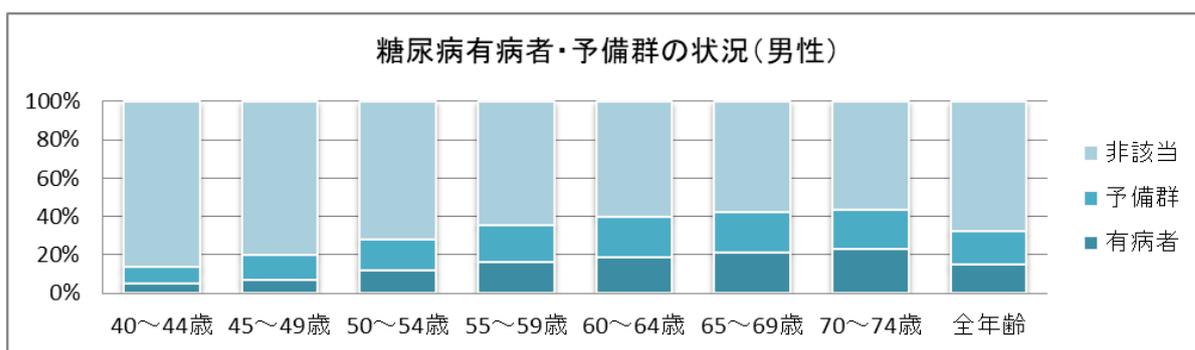
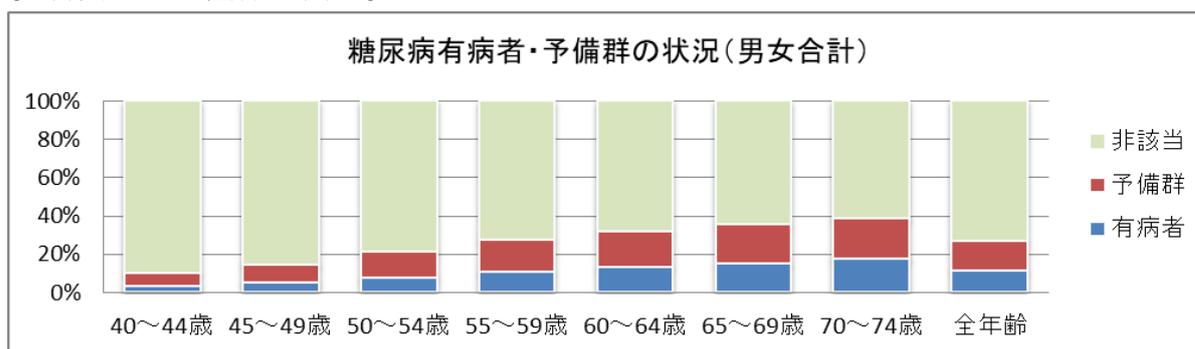


③ 糖尿病有病者・予備群の割合

糖尿病有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→ $126\text{mg/dl} \leq \text{空腹時血糖}$ 、又は $6.5\% \leq \text{HbA1c}$ (受診勧奨値)
予備群	$110\text{mg/dl} \leq \text{空腹時血糖} < 126 \text{ mg/dl}$ 、又は $6.0\% \leq \text{HbA1c} < 6.5\%$ (メタボリックシンドローム診断基準値) ※有病者を除く
非該当	上記以外

加齢とともに有病者及び予備群の割合が増加している。男女別にみると、男性が高い。制度別では国保が高い。



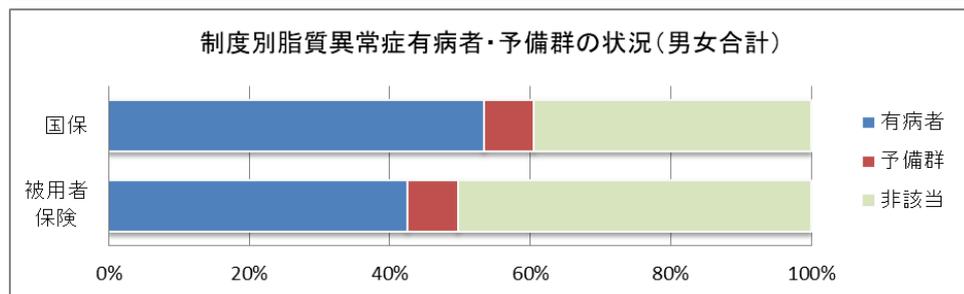
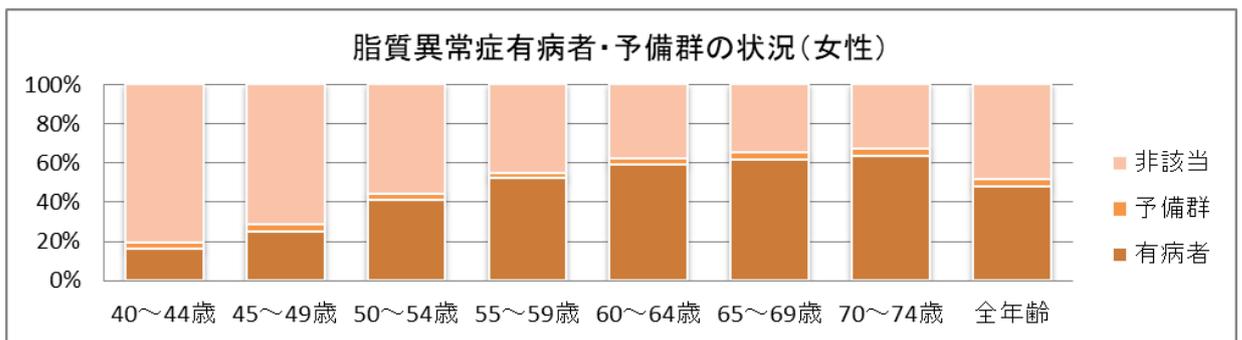
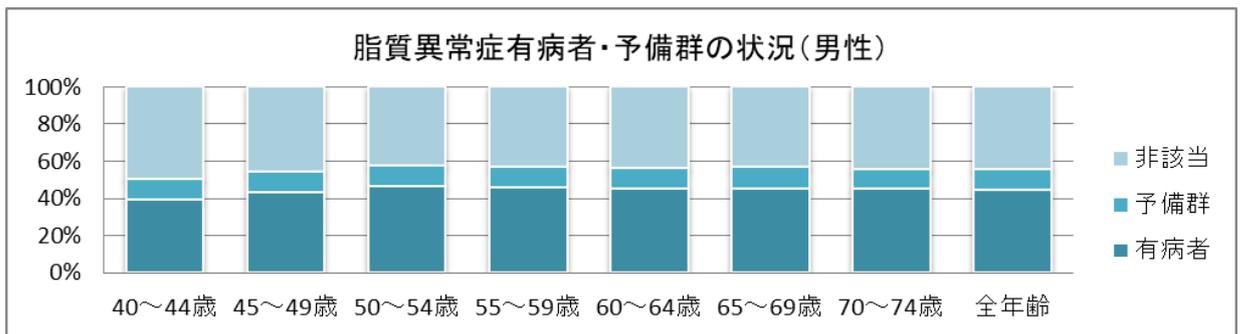
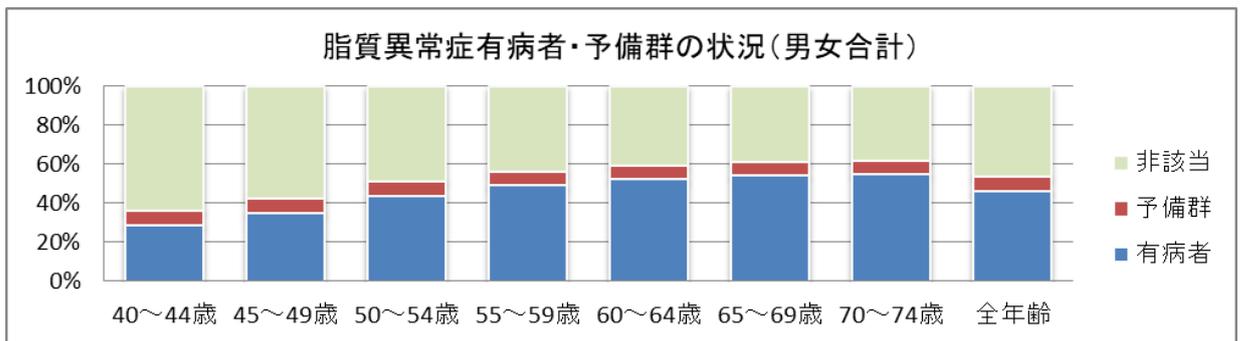
④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

脂質異常症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→ $300\text{mg/dl} \leq$ 中性脂肪、又は $\text{HDL} < 34 \text{ mg/dl}$ 、又は $140 \leq \text{LDL mg/dl}$ （受診勧奨値）
予備群	$150\text{mg/dl} \leq$ 中性脂肪 $<300\text{mg/dl}$ 、又は $\text{HDL} < 40 \text{ mg/dl}$ （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

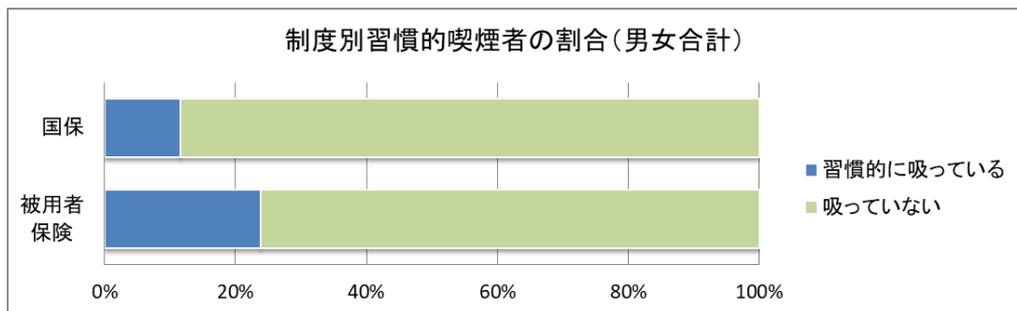
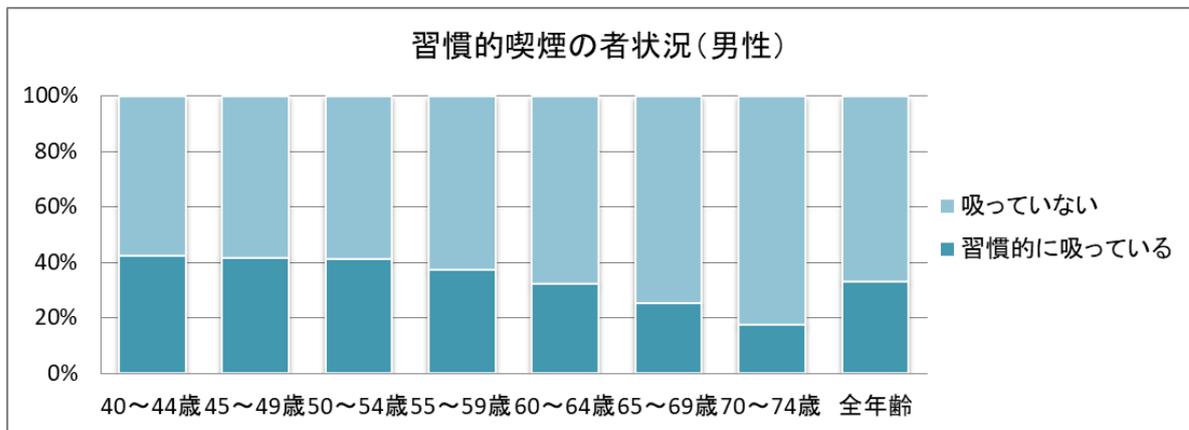
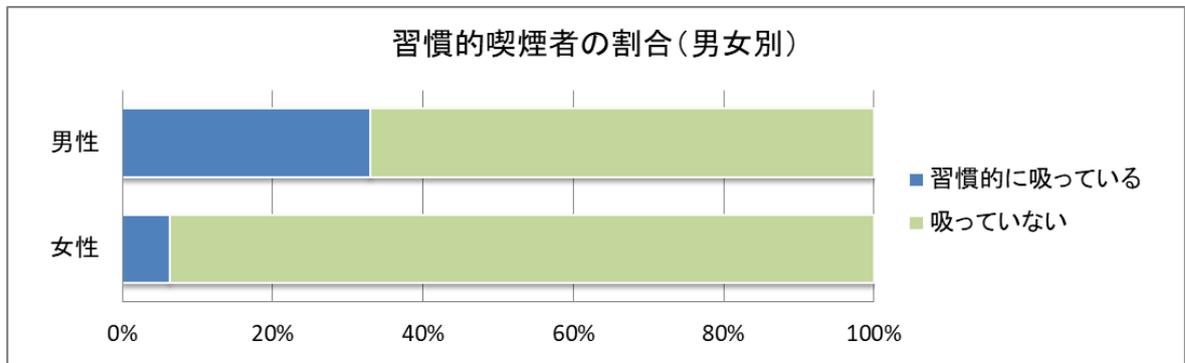
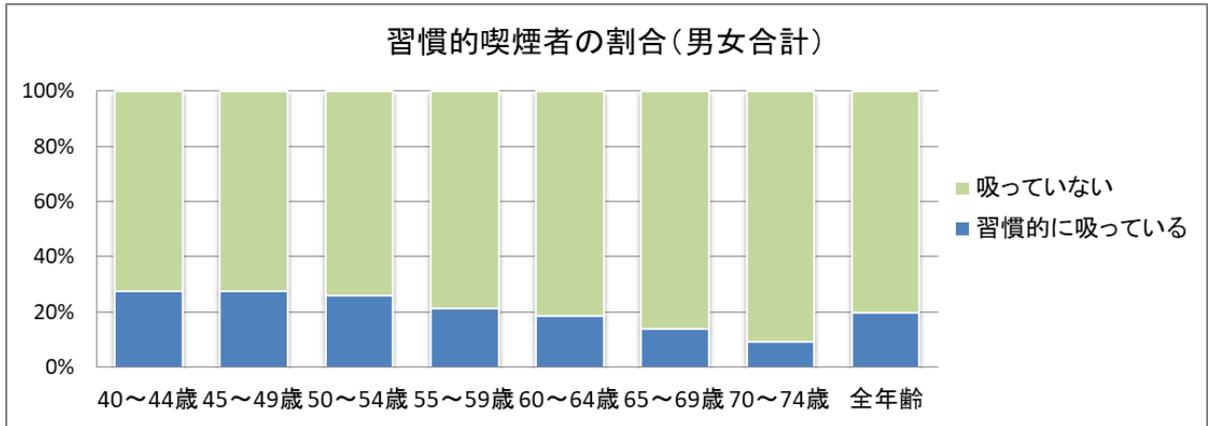
加齢とともに有病者の割合は増加している。男女別にみると、男性は年齢階層で大きな差はみられないが、女性は加齢とともに増加している。

制度別では、国保の有病者の割合が高い。



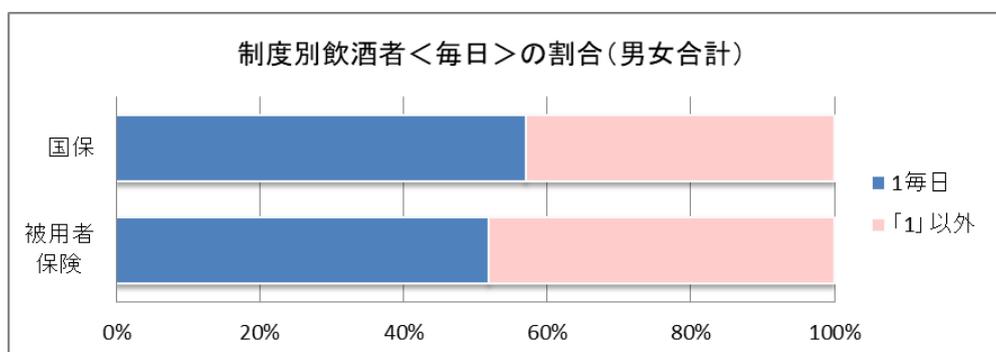
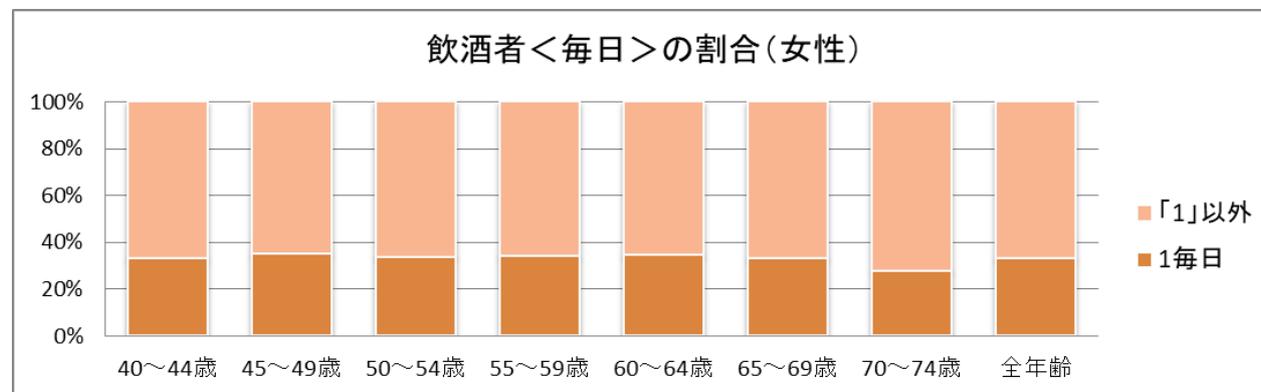
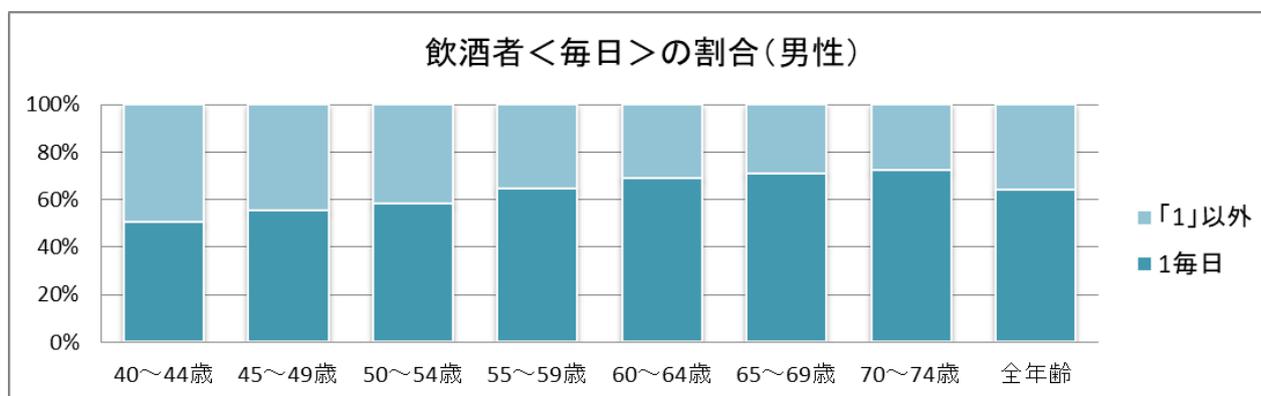
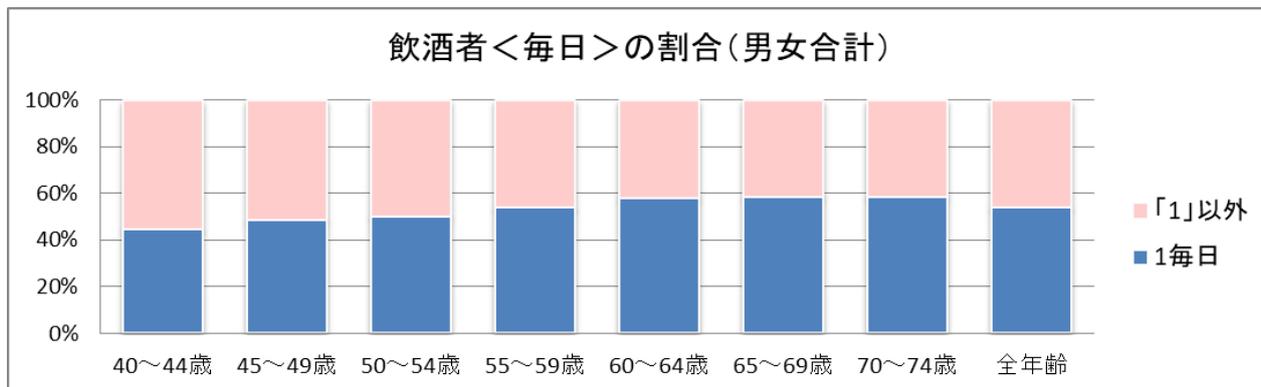
⑤ 習慣的喫煙者の割合

習慣的喫煙者の割合は、加齢とともに減少している。男女別では男性が高い。制度別にみると被用者保険が高い。



⑥ 飲酒者<毎日>の割合

毎日飲酒している者の割合は、55歳以上で50%を超えている。男女別にみると男性が高い。制度別では国保が高い。



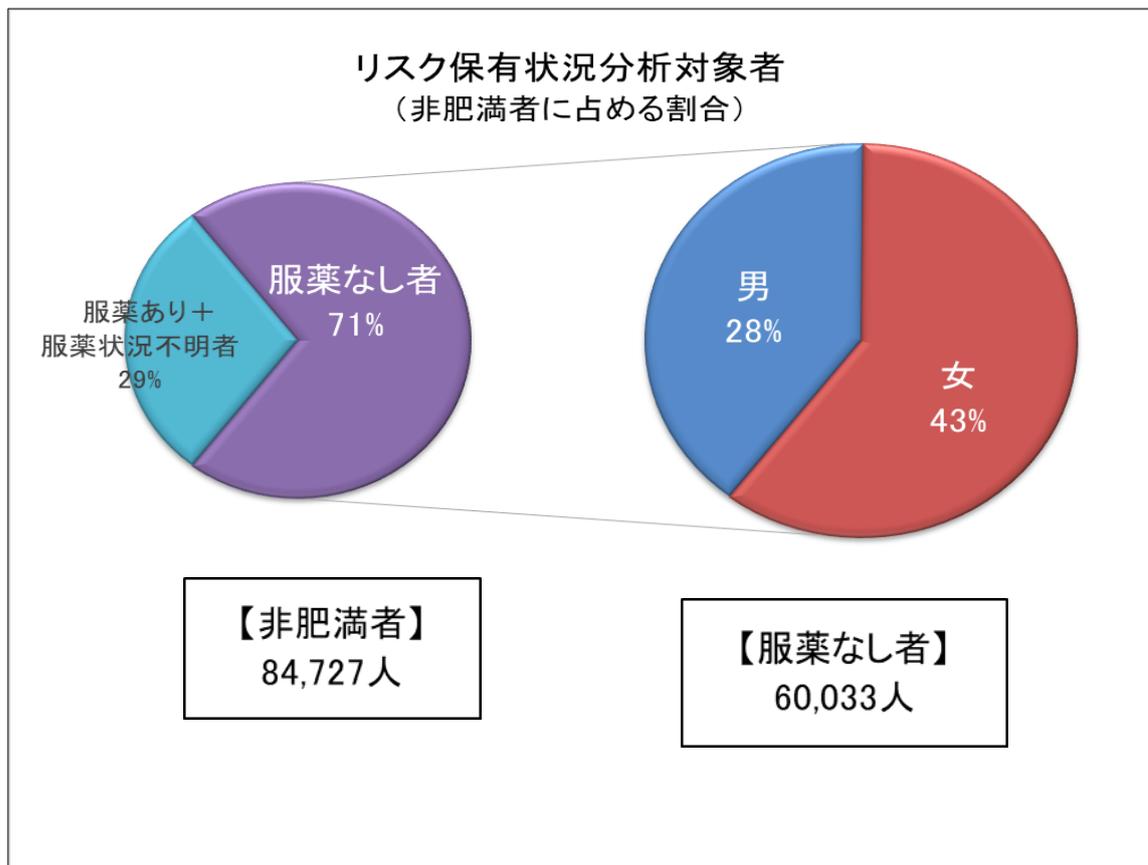
(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合

非肥満者のうち、高血圧、高血糖及び脂質異常のリスクを保有している者を統計した。

①対象者

非肥満者（84,727人）のうち、服薬のない者（60,033人）を分析の対象とした。対象者は、男性が23,837人、女性が36,196人。

制度別では、国保15,925人、被用者保険44,108人。



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
男性(人)	5,002	4,653	3,164	2,824	2,936	2,824	2,434	23,837
女性(人)	6,302	6,379	4,975	4,758	4,873	4,894	4,015	36,196
男女合計(人)	11,304	11,032	8,139	7,582	7,809	7,718	6,449	60,033
割合(%)	19	18	14	13	13	13	11	100

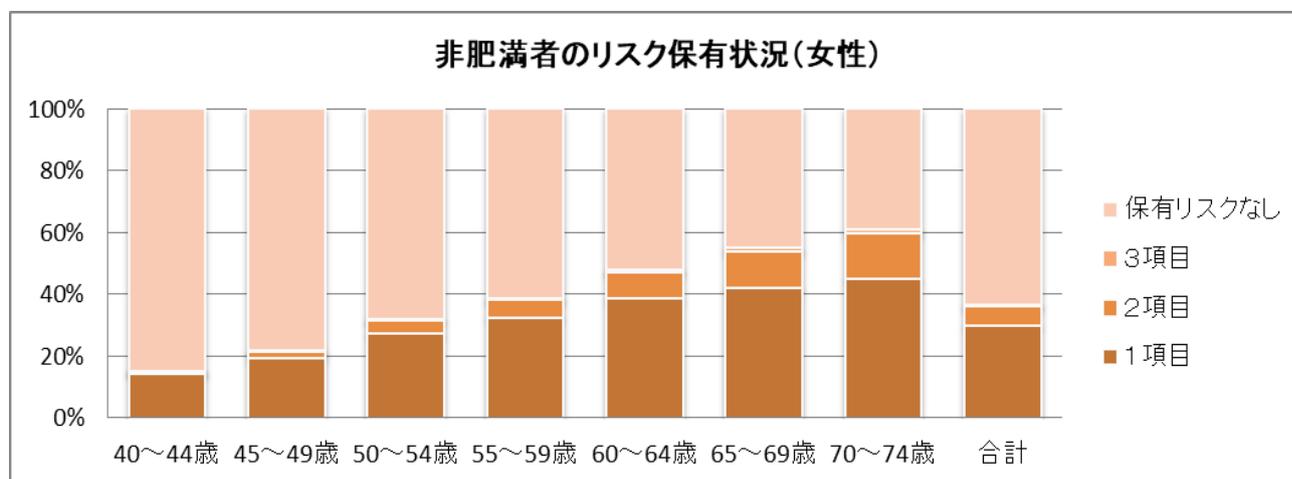
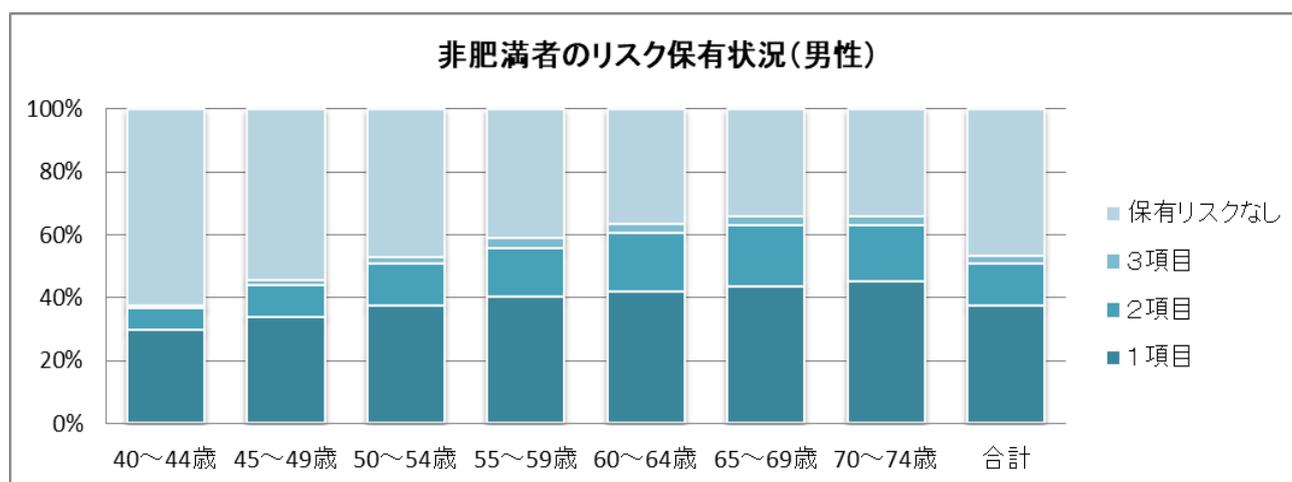
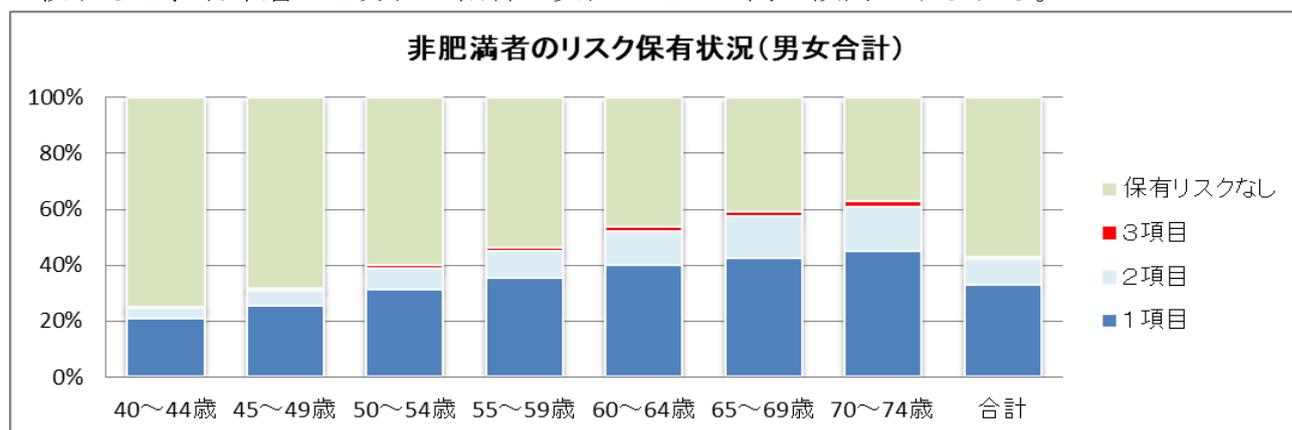
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
国保(人)	838	843	854	960	2,213	4,883	5,334	15,925
被用者保険(人)	10,466	10,189	7,285	6,622	5,596	2,835	1,115	44,108

②リスク保有状況

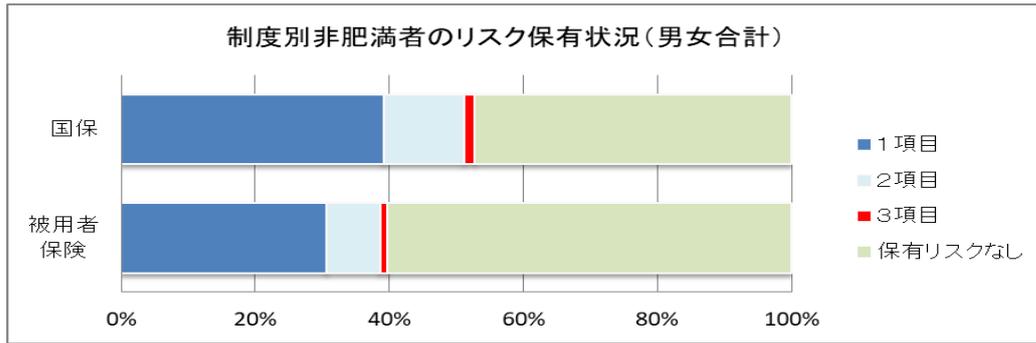
リスクの定義は次のとおり（メタボリックシンドローム診断基準値以上）とした。

高血圧	服薬なし→収縮期 ≥ 130 mmHg 又は 拡張期 ≥ 85 mmHg
高血糖	服薬なし→空腹時血糖 ≥ 110 mg/dl 又は $6.0\% \leq \text{HbA1c}$
脂質異常	服薬なし→中性脂肪 ≥ 150 mg/dl 又は HDL コレステロール < 40 mg/dl

非肥満のうちリスクを保有する者の割合は、加齢とともに増加している。男女を比較すると、若年層ほど男性の割合が女性に比べて高い傾向がみられる。

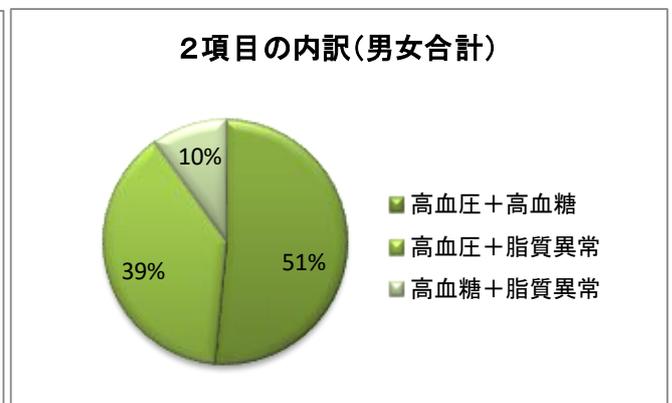
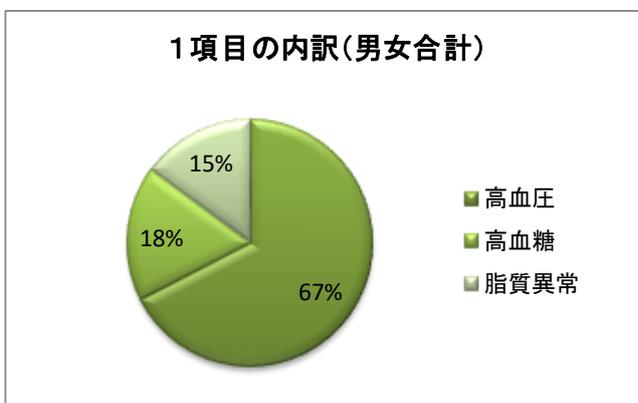
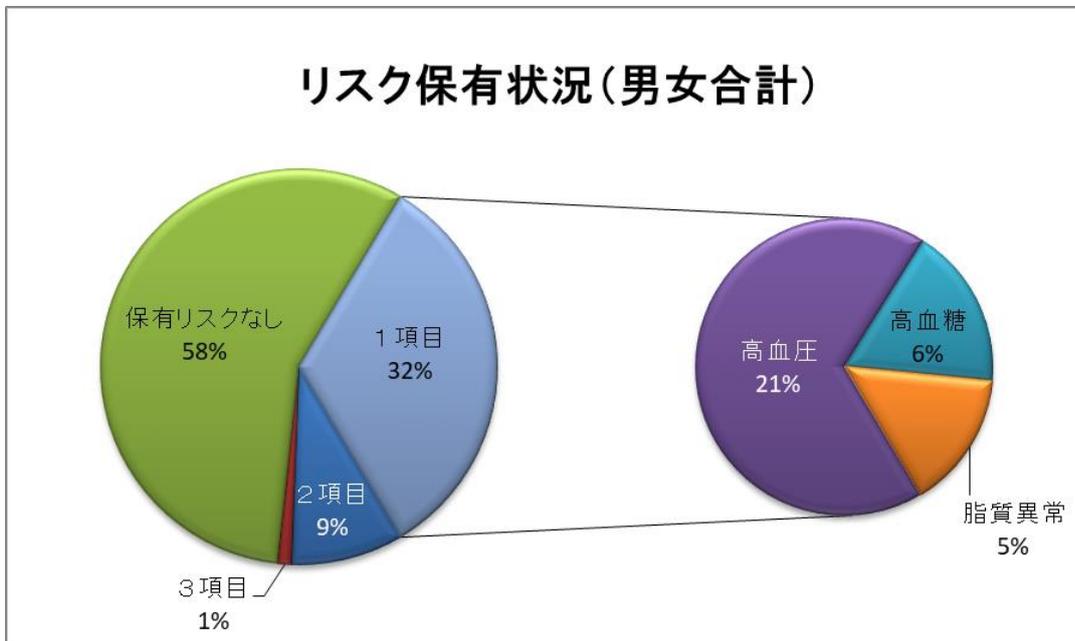


制度別では、被用者保険に比べ国保のほうがリスク保有者の割合が高い。

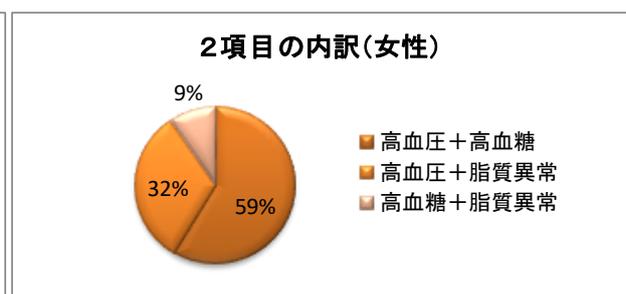
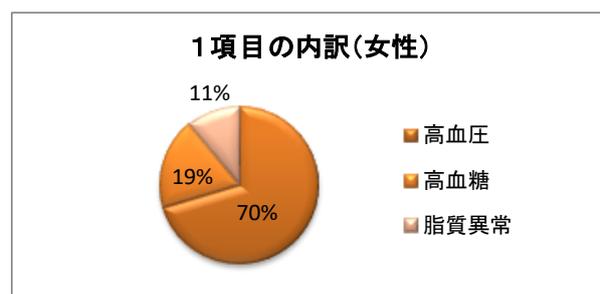
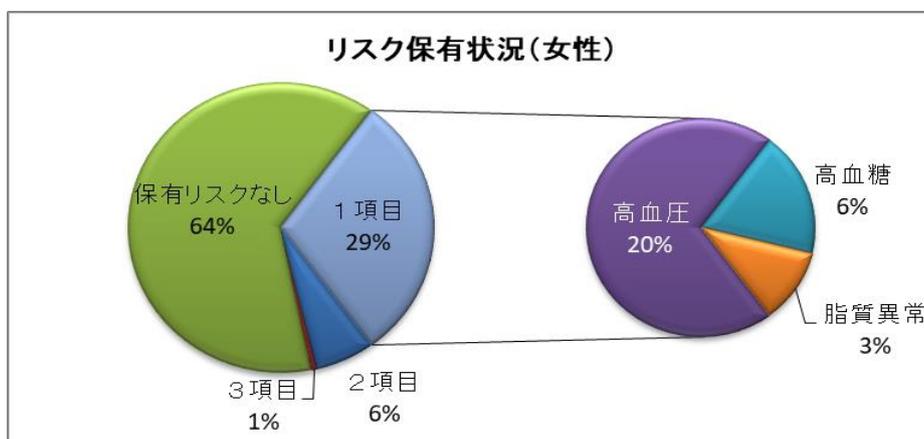
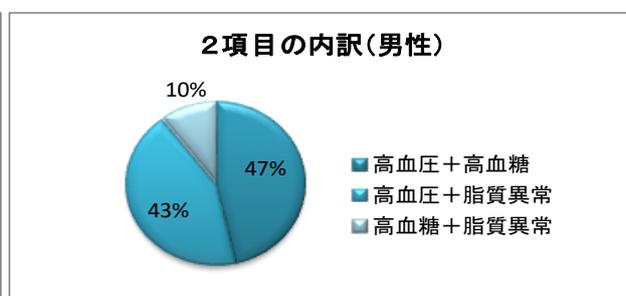
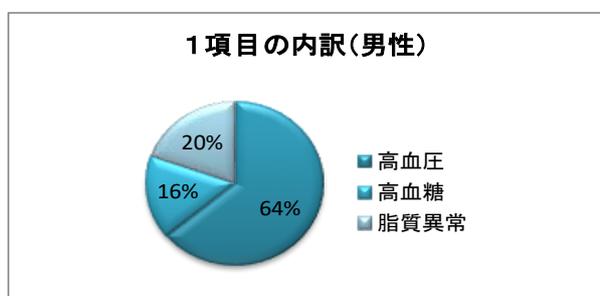
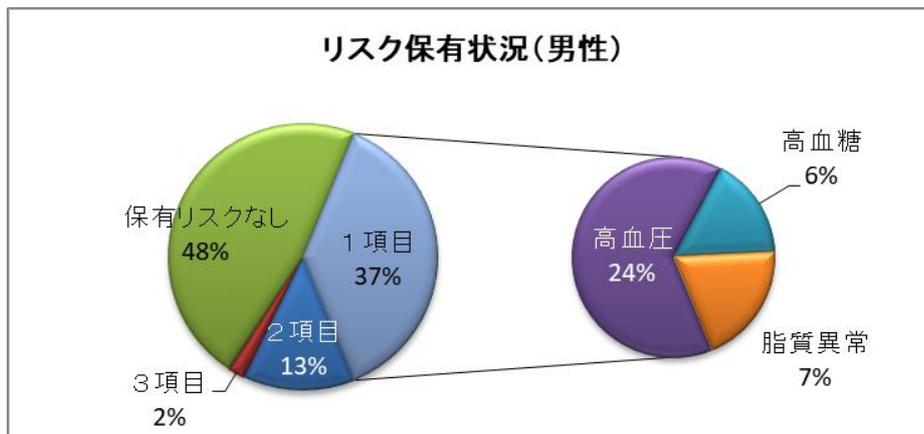


リスクを1項目以上保有する者の割合は42%。

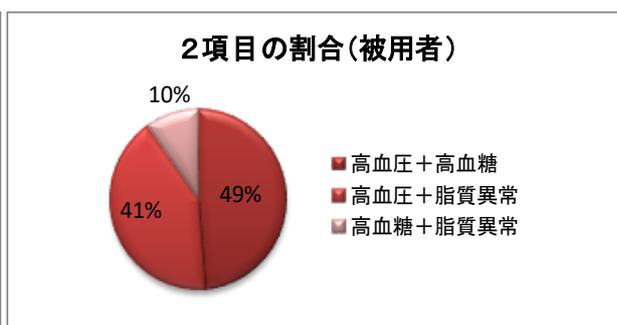
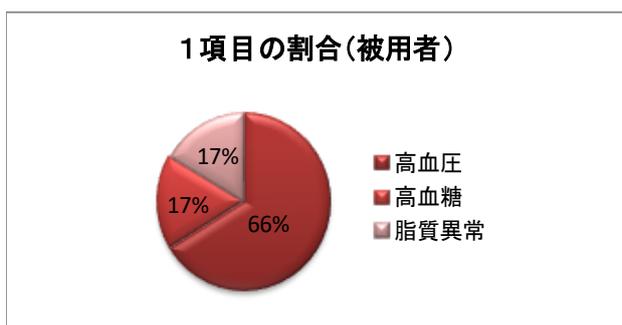
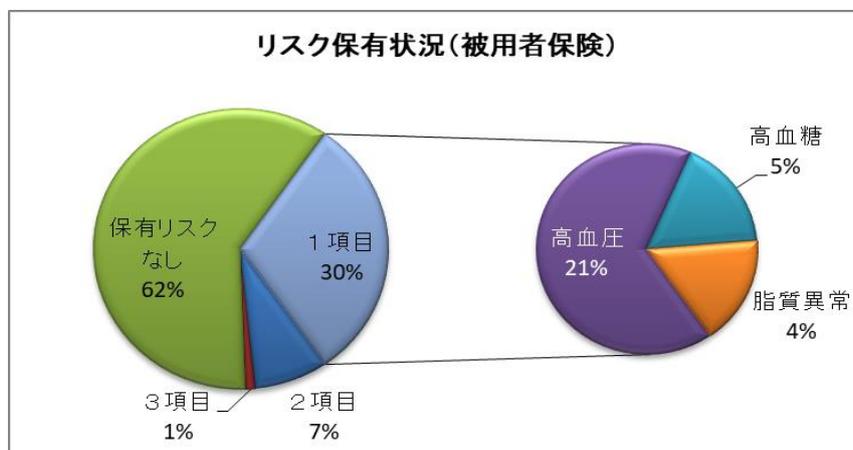
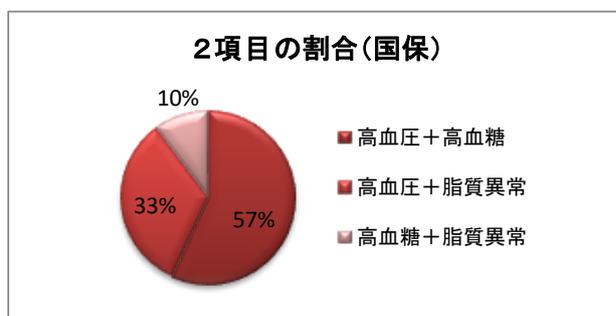
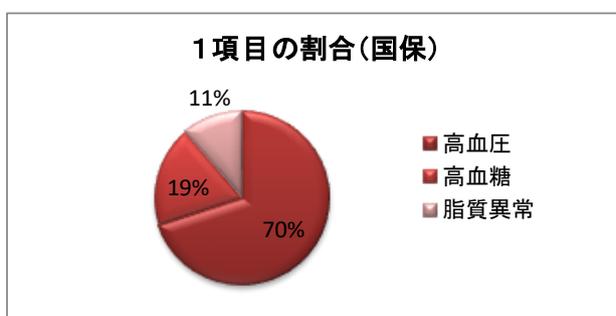
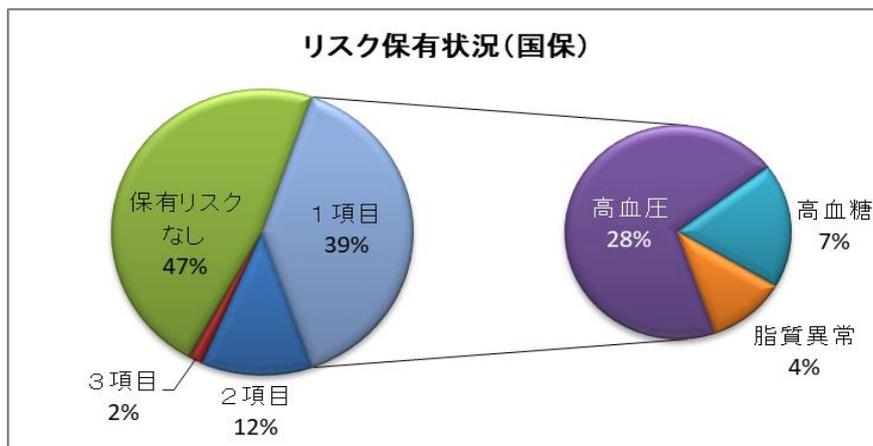
リスクを1項目保有する者の内訳では、高血圧が最も高く67%を占める。2項目保有する者の内訳でも、高血圧+高血糖が51%、次いで高血圧+脂質異常が39%と、高血圧のリスクを保有する者の割合が高い。



男女別にみると、リスクを1項目以上保有する者の割合は男性が52%と、女性(36%)より高い。1項目の内訳では男女とも高血圧の占める割合が高い。2項目の内訳では、男女ともに高血圧+高血糖が最も高い。



制度別にみると、リスクを1項目以上保有する者の割合は国保が53%と、被用者保険（38%）より高い。1項目の内訳では、国保、被用者保険とも高血圧の占める割合が高い。2項目の内訳では、国保、被用者保険とも高血圧+高血糖が高い。

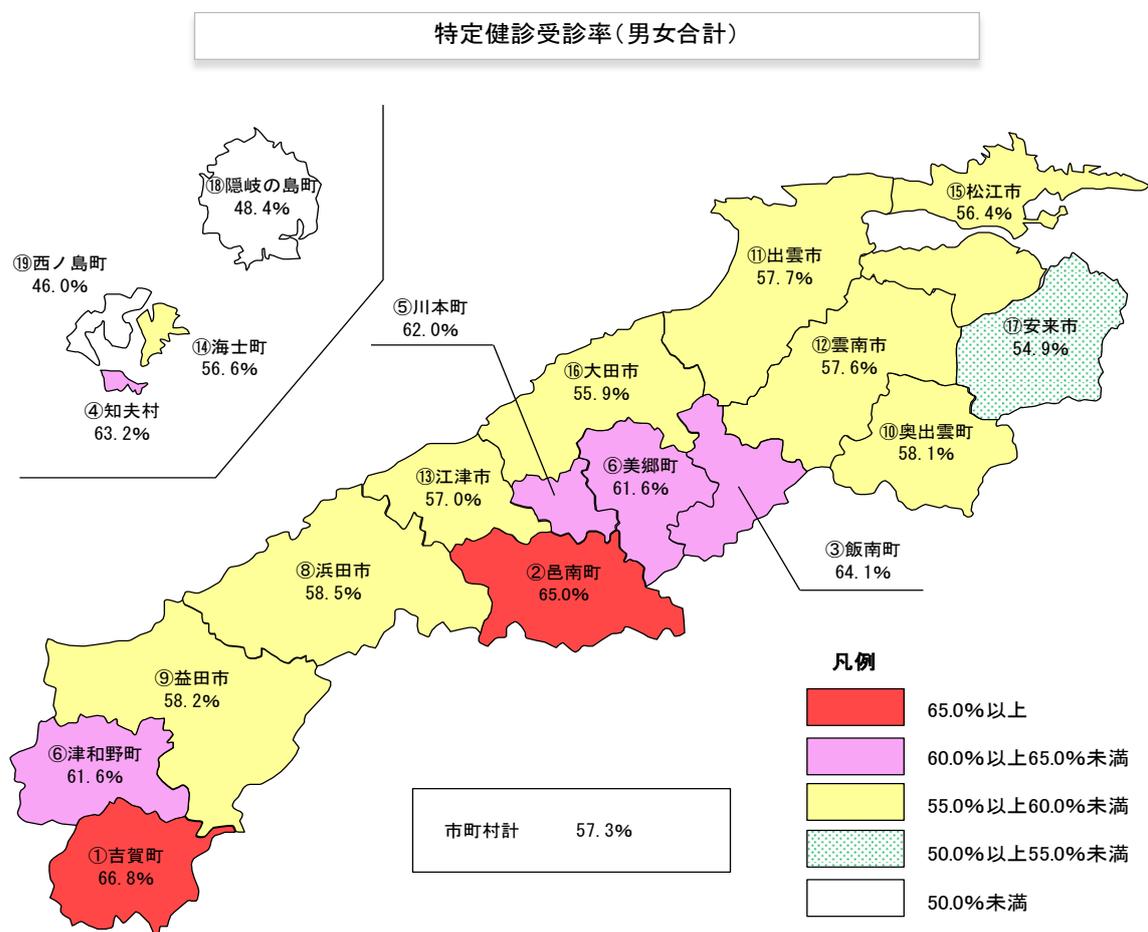


2 市町村別の状況

(1) 特定健診受診者等

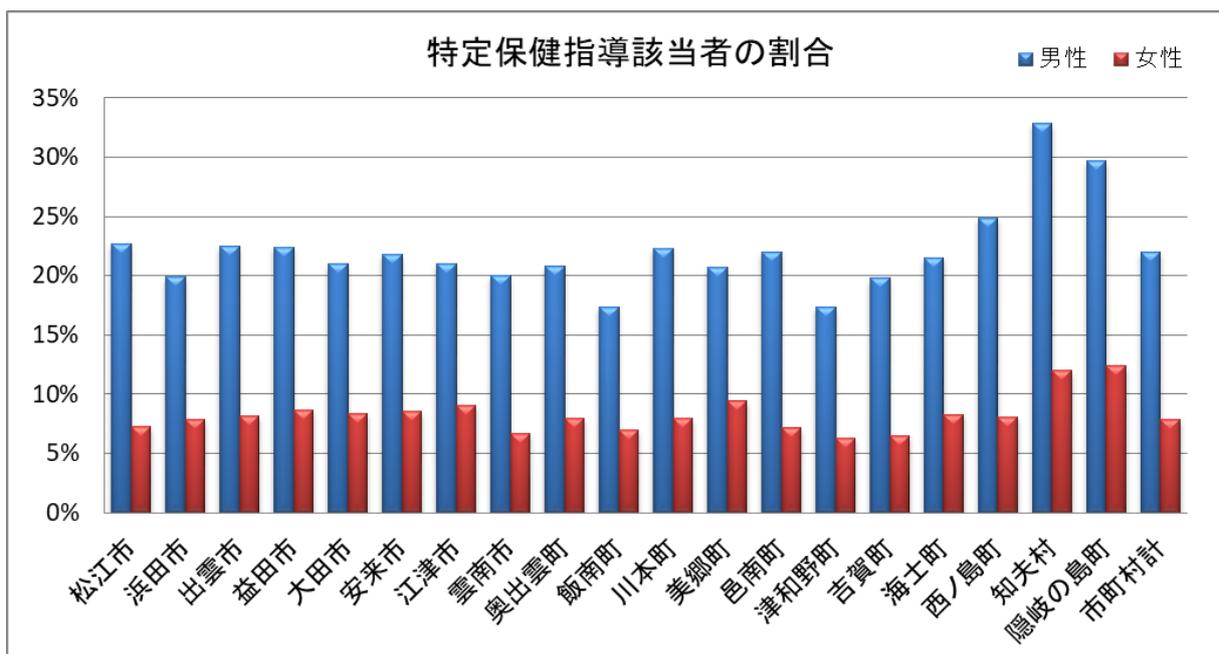
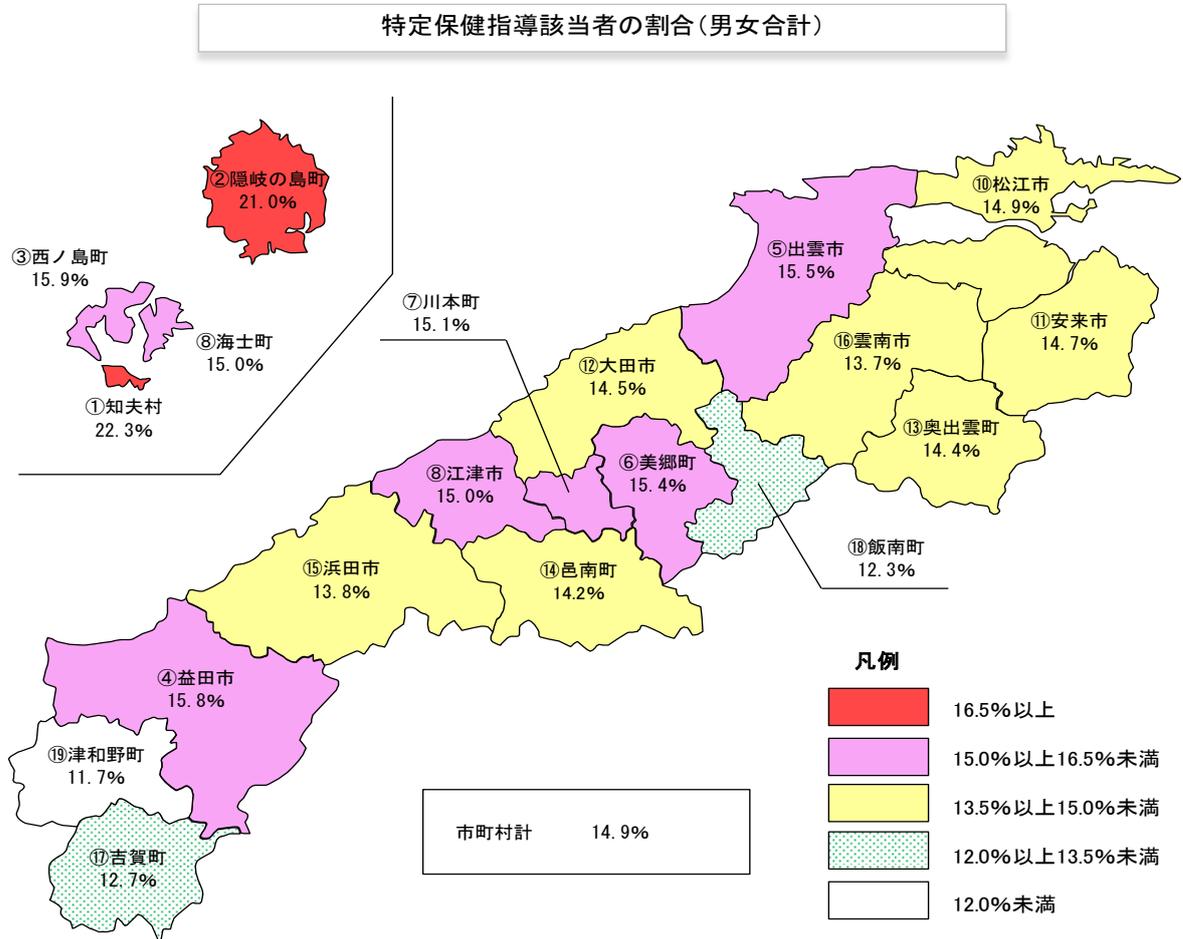
本統計における市町村別の特定健診対象者数、受診者数及び受診率は次表のとおり。受診率が最も高いのは吉賀町で66.8%、次いで邑南町が65.0%と続く。

保険者	特定健診対象者数(人)			特定健診受診者数(人)			特定健診受診率(%)		
	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計
松江市	30,976	33,455	64,431	17,907	18,433	36,340	57.8%	55.1%	56.4%
浜田市	9,676	10,102	19,778	5,716	5,863	11,579	59.1%	58.0%	58.5%
出雲市	28,392	29,337	57,729	17,015	16,280	33,295	59.9%	55.5%	57.7%
益田市	8,552	9,124	17,676	5,354	4,940	10,294	62.6%	54.1%	58.2%
大田市	6,364	6,768	13,132	3,543	3,799	7,342	55.7%	56.1%	55.9%
安来市	6,008	6,569	12,577	3,168	3,742	6,910	52.7%	57.0%	54.9%
江津市	4,436	4,579	9,015	2,534	2,605	5,139	57.1%	56.9%	57.0%
雲南市	7,257	7,108	14,365	4,346	3,922	8,268	59.9%	55.2%	57.6%
奥出雲町	2,581	2,489	5,070	1,489	1,455	2,944	57.7%	58.5%	58.1%
飯南町	930	908	1,838	596	582	1,178	64.1%	64.1%	64.1%
川本町	583	615	1,198	368	375	743	63.1%	61.0%	62.0%
美郷町	880	874	1,754	574	507	1,081	65.2%	58.0%	61.6%
邑南町	1,909	1,991	3,900	1,207	1,327	2,534	63.2%	66.6%	65.0%
津和野町	1,423	1,471	2,894	872	911	1,783	61.3%	61.9%	61.6%
吉賀町	1,095	1,128	2,223	687	798	1,485	62.7%	70.7%	66.8%
海士町	473	433	906	261	252	513	55.2%	58.2%	56.6%
西ノ島町	542	551	1,093	233	270	503	43.0%	49.0%	46.0%
知夫村	119	115	234	73	75	148	61.3%	65.2%	63.2%
隠岐の島町	2,810	2,828	5,638	1,352	1,379	2,731	48.1%	48.8%	48.4%
市町村計	115,006	120,445	235,451	67,295	67,515	134,810	58.5%	56.1%	57.3%



(2) 特定保健指導該当者割合

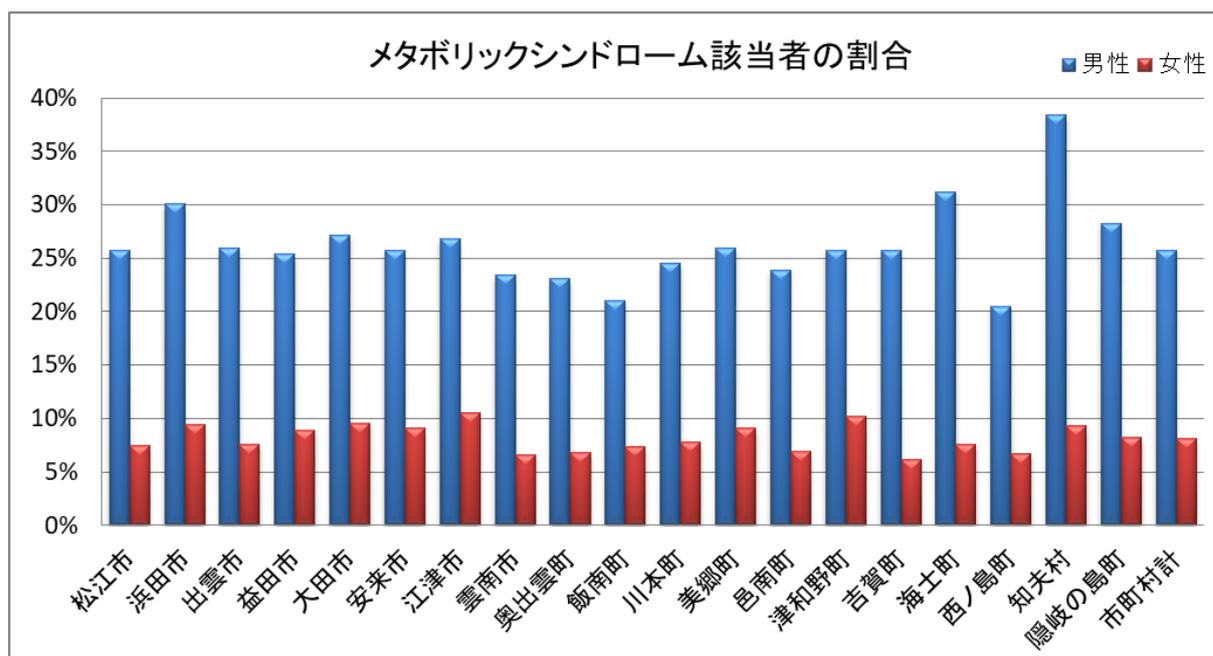
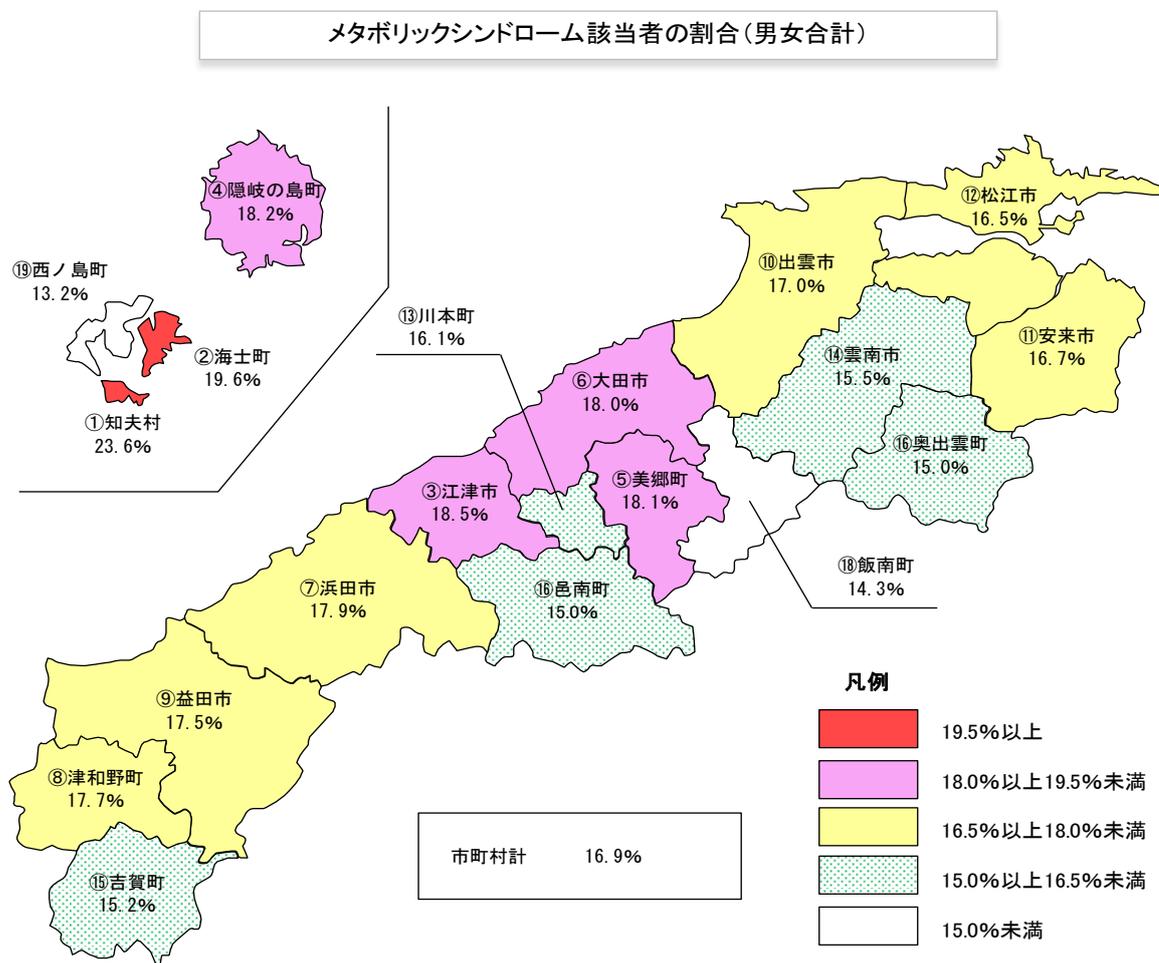
特定保健指導該当者の割合が最も高いのは知夫村で22.3%、最も低いのは津和野町で11.7%。男女別にみると、男性では知夫村で最も高く、女性では隠岐の島町が最も高かった。



(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

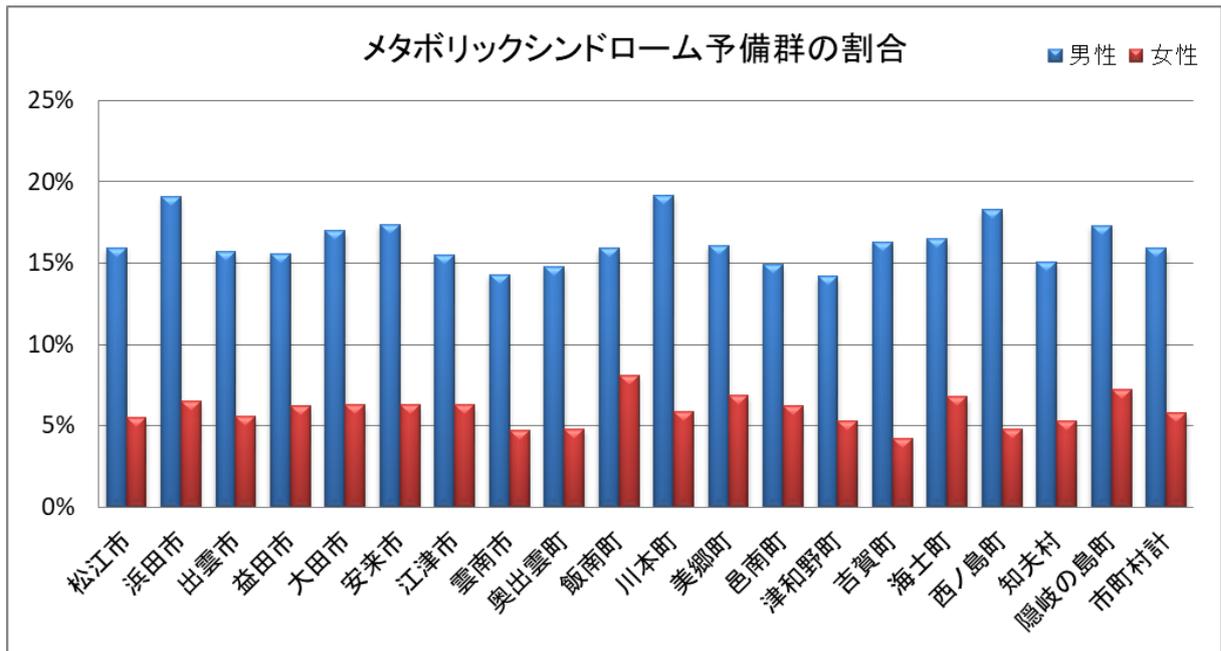
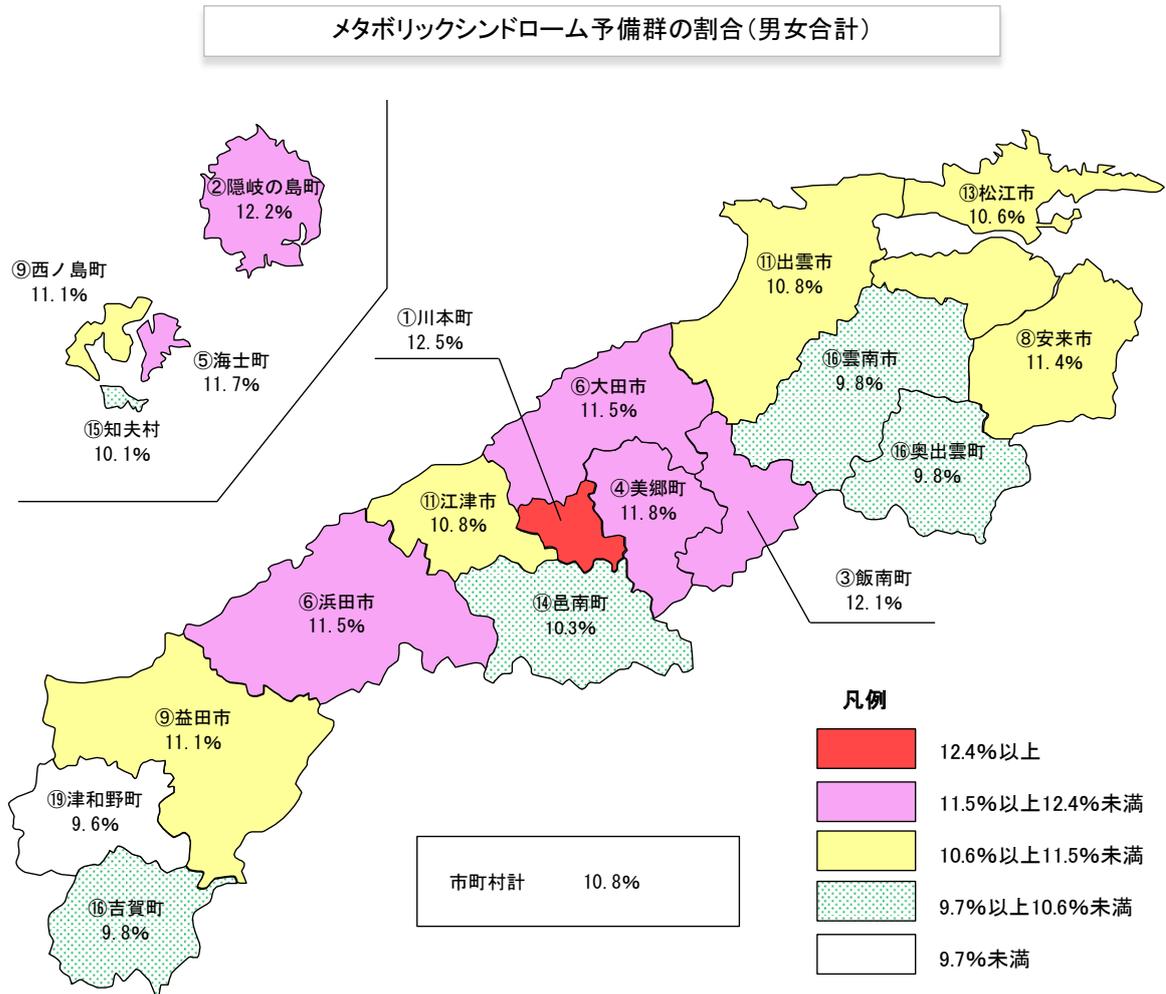
① メタボリックシンドローム該当者の割合

メタボリックシンドローム該当者の割合が最も高いのは知夫村で 23.6%、最も低いのは西ノ島町 13.2%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



② メタボリックシンドローム予備群の割合

メタボリックシンドローム予備群の割合が最も高いのは川本町で12.5%、最も低いのは津和野町で9.6%。

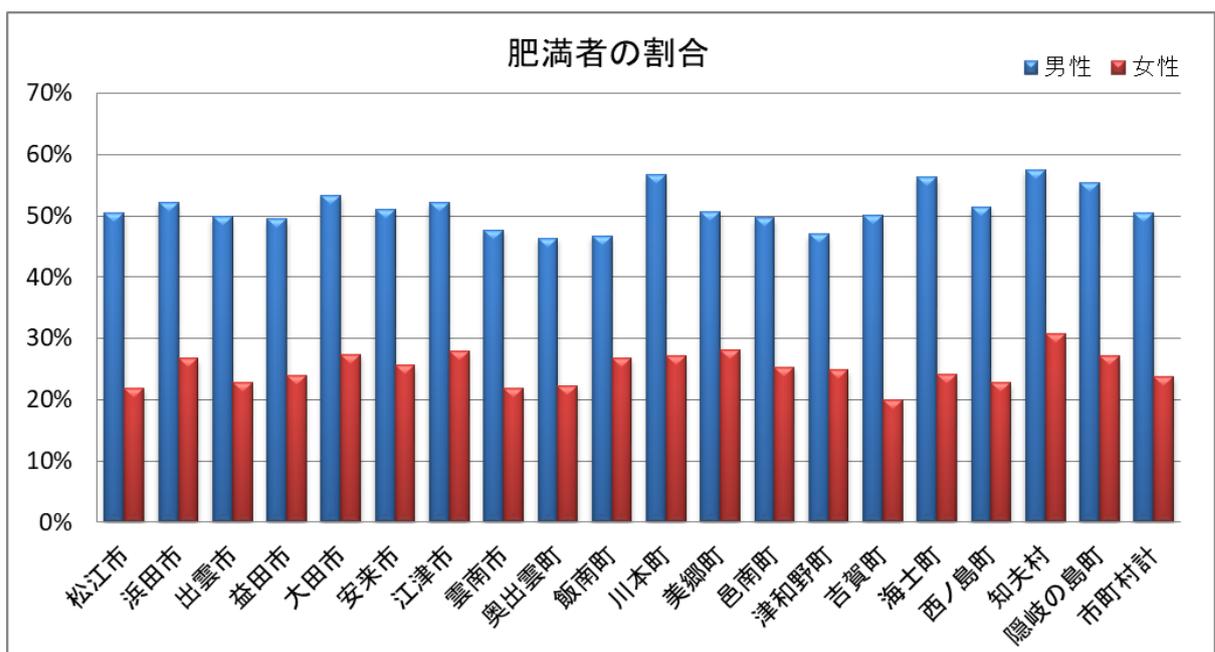
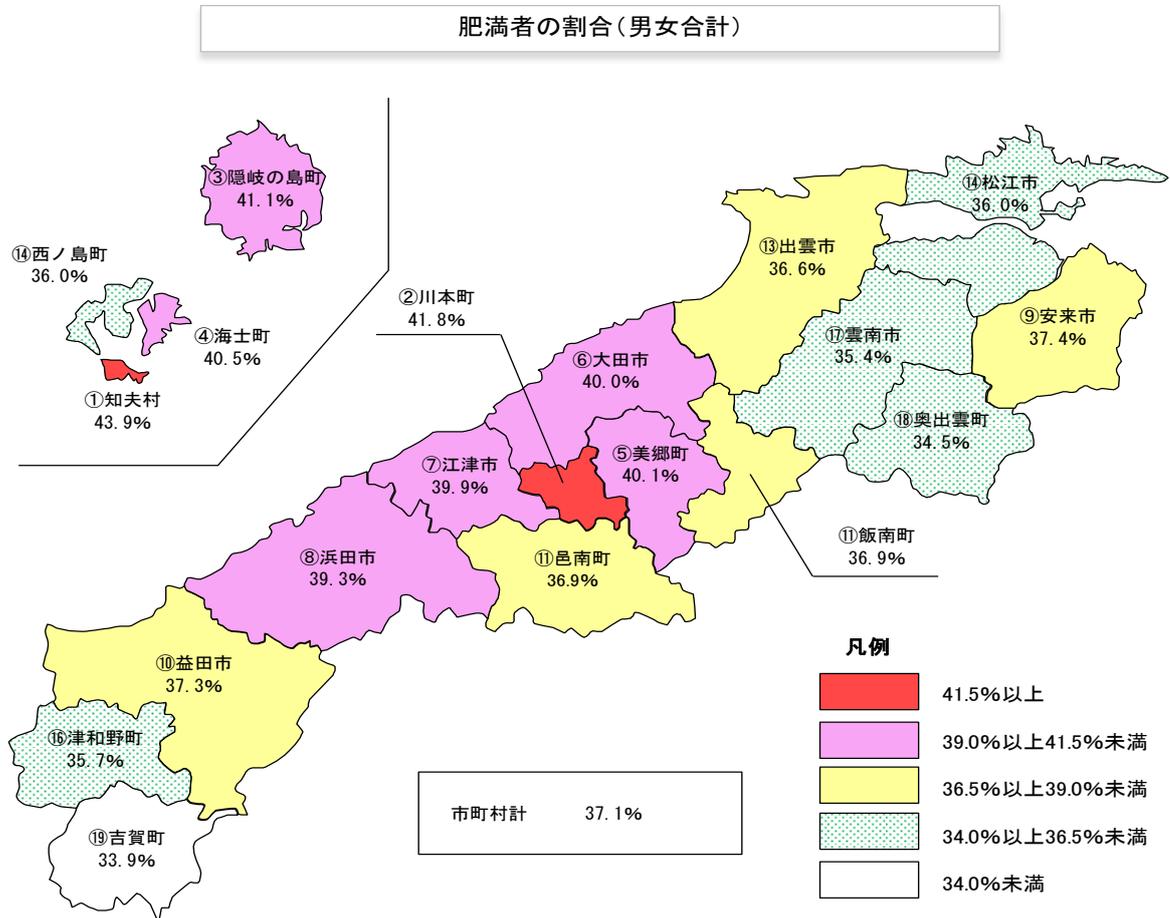


(4) 検査等結果

市町村別及び男女別に、特定健康診査における各検査等の結果を比較する。

① 肥満者の割合

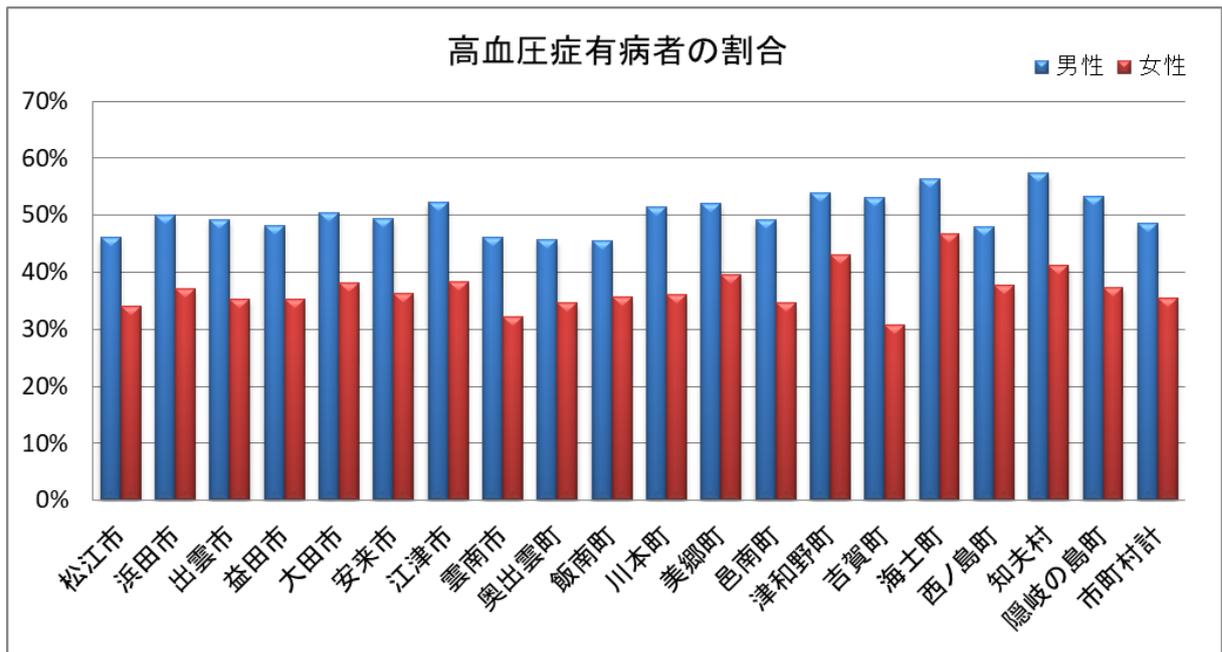
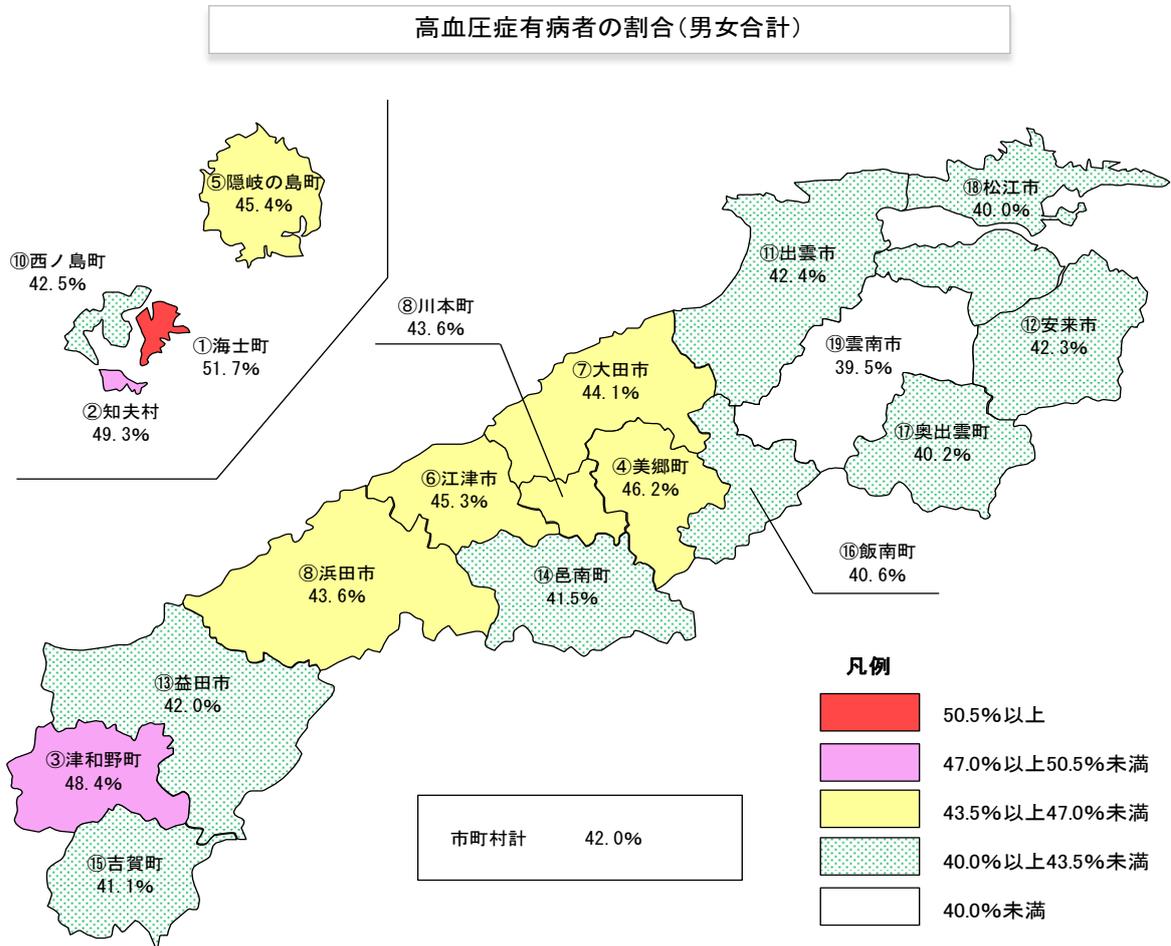
肥満者の割合が最も高いのは知夫村で43.9%、最も低いのは吉賀町で33.9%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



② 高血圧症有病者・予備群の割合

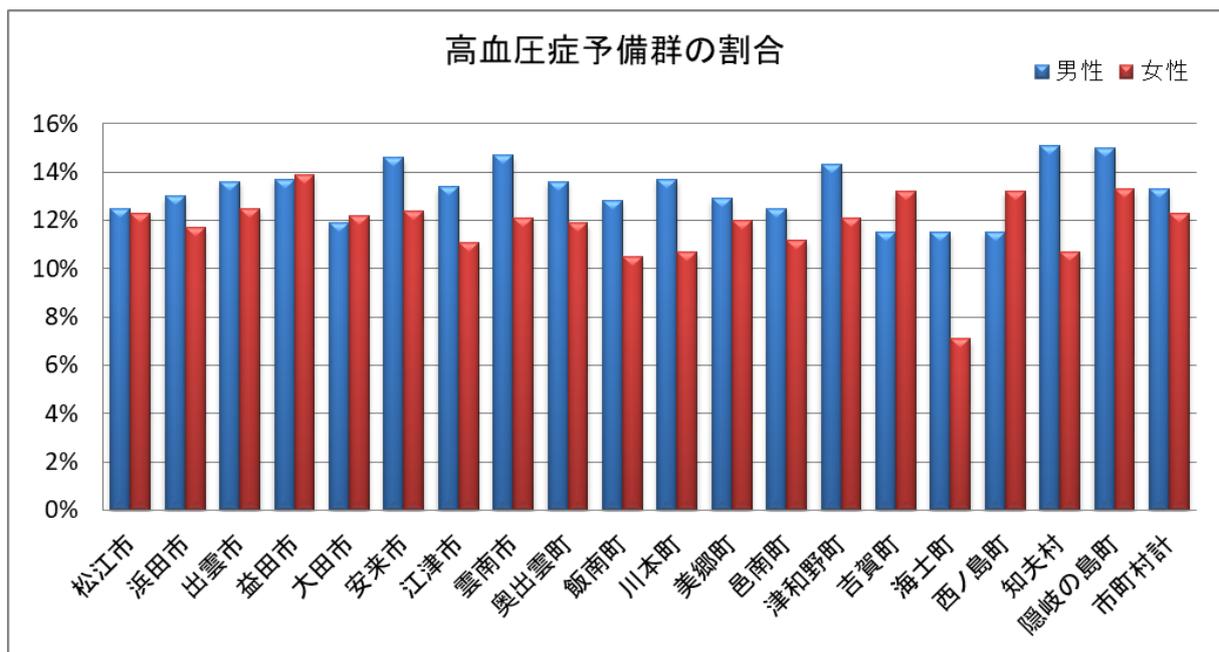
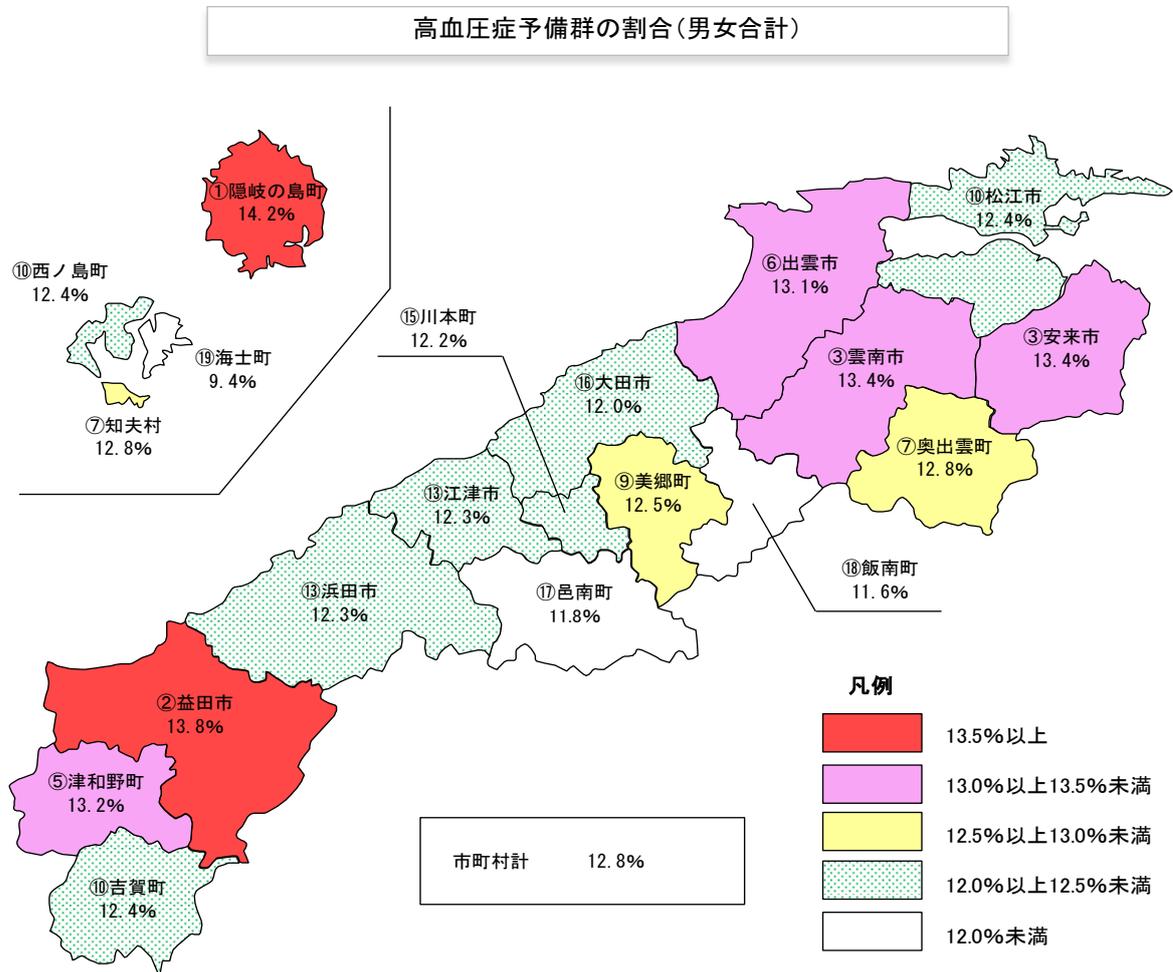
ア 高血圧症有病者

高血圧症有病者の割合が最も高いのは海士町で 51.7%、最も低いのは雲南市で 39.5%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



イ 高血圧症予備群

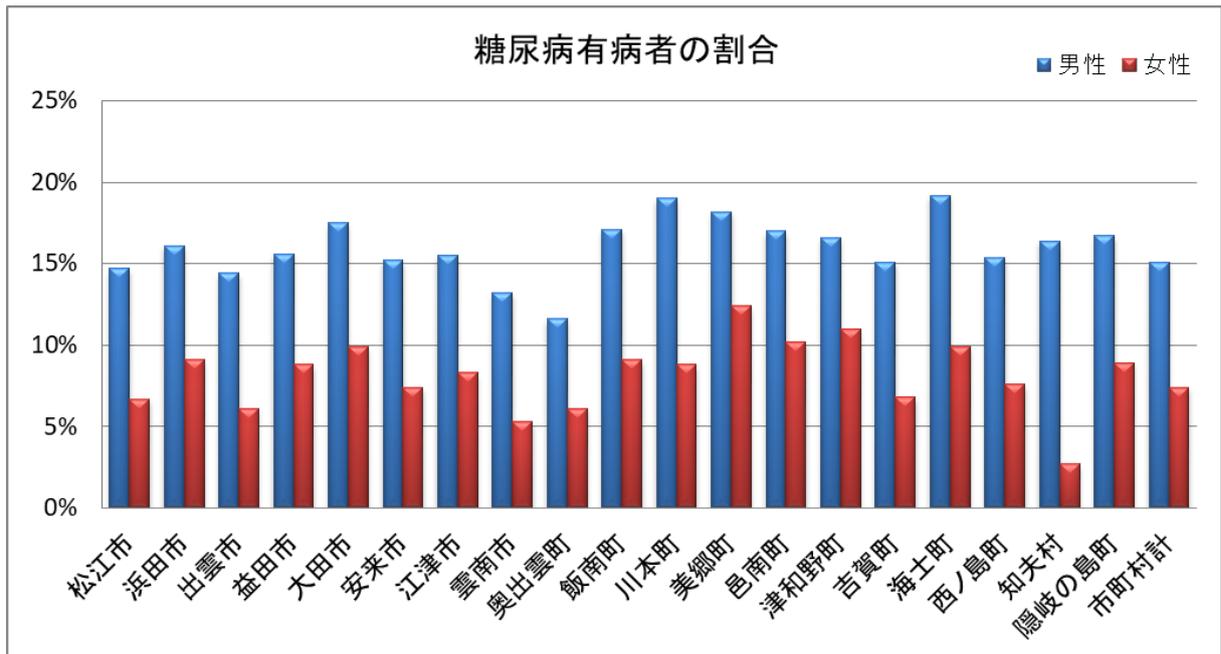
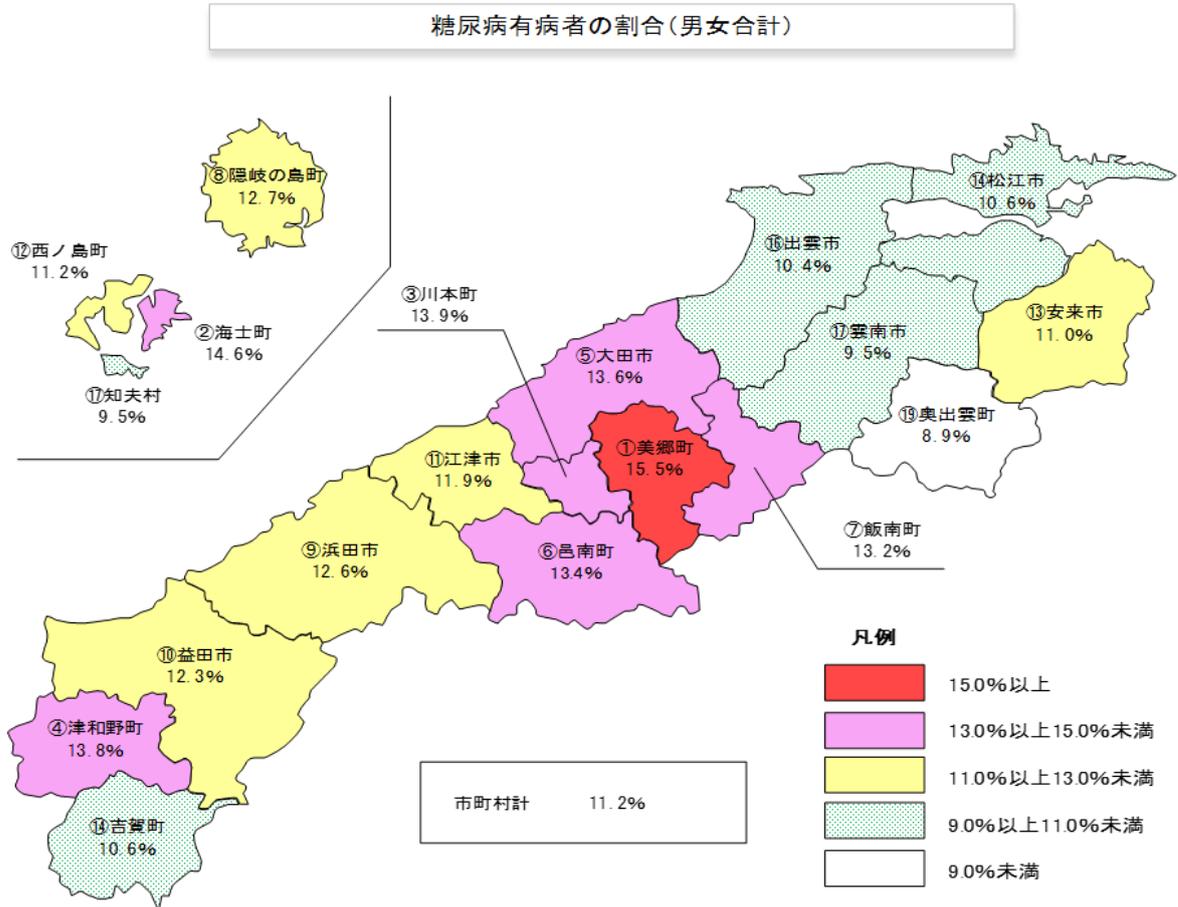
高血圧症予備群の割合が最も高いのは隠岐の島町で14.2%、最も低いのは海士町で9.4%。



③ 糖尿病有病者・予備群の割合

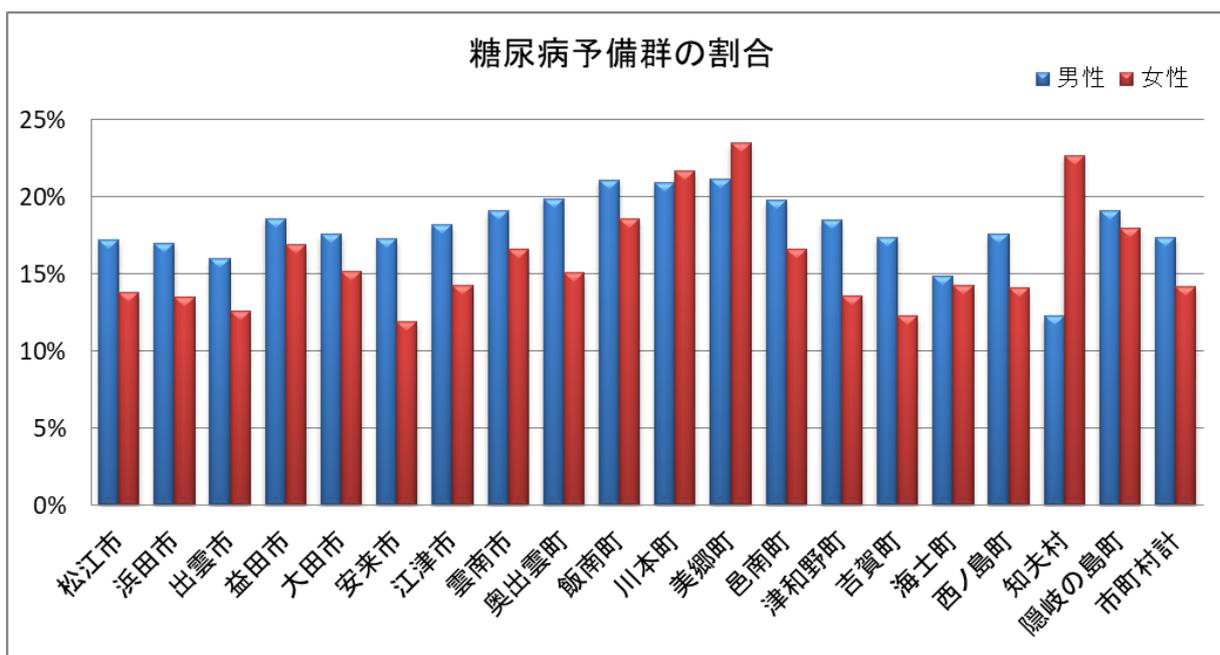
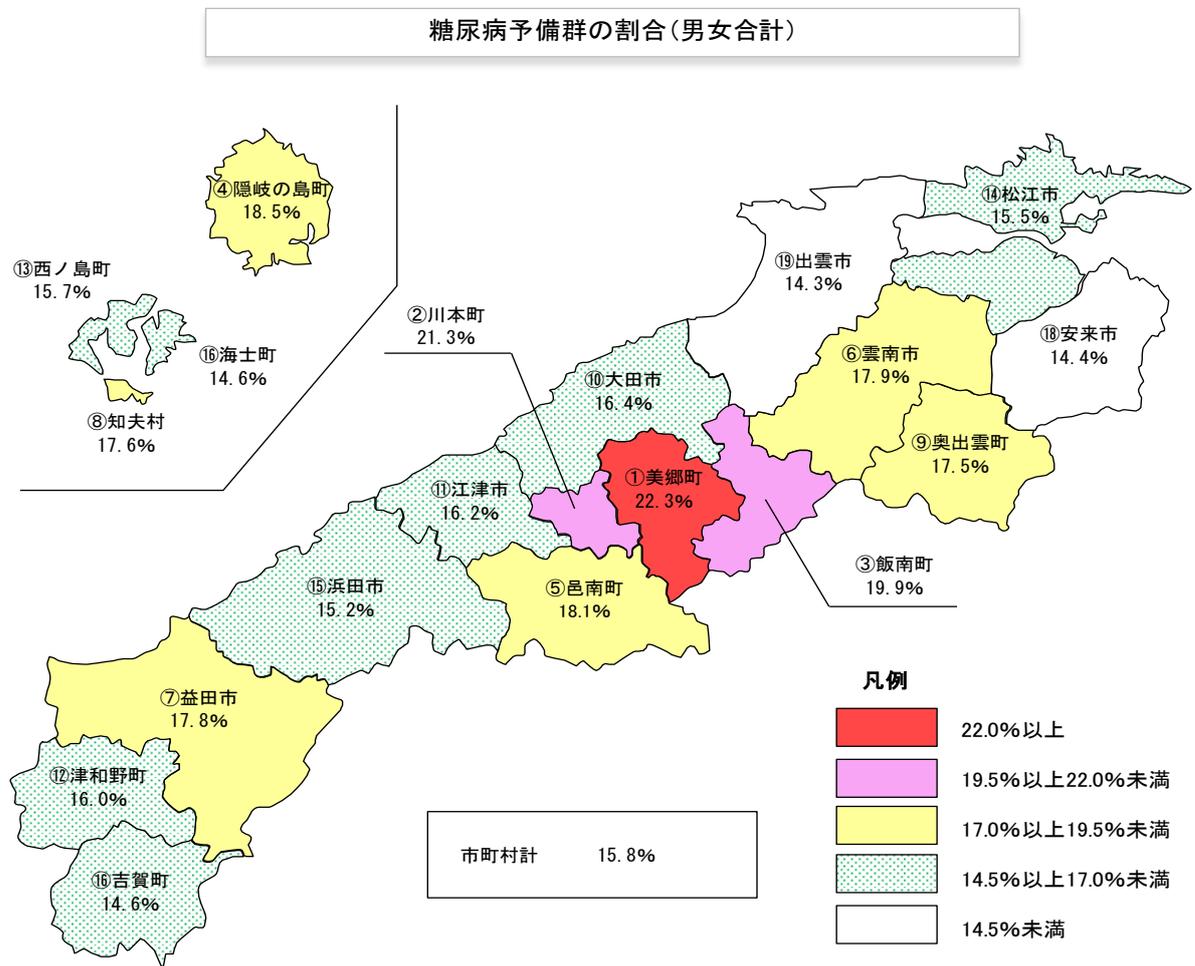
ア 糖尿病有病者

糖尿病有病者の割合が最も高い美郷町をはじめ、県中央部及び西部が高い傾向がみられる。最も低いのは奥出雲町で8.9%。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



イ 糖尿病予備群

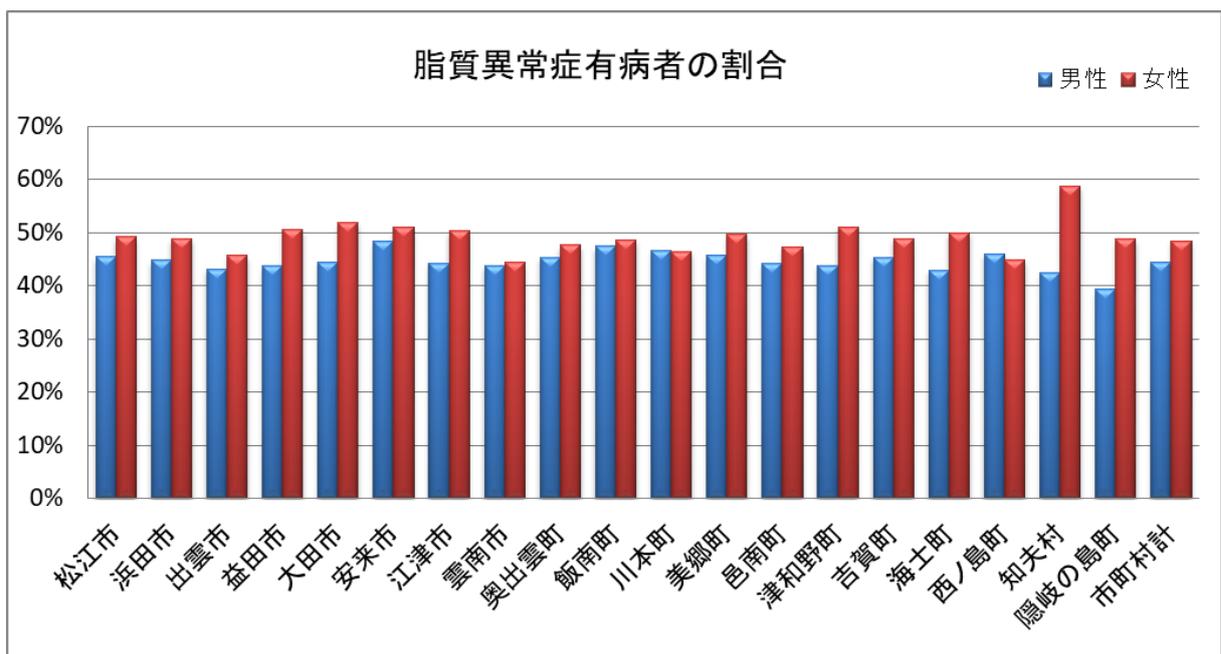
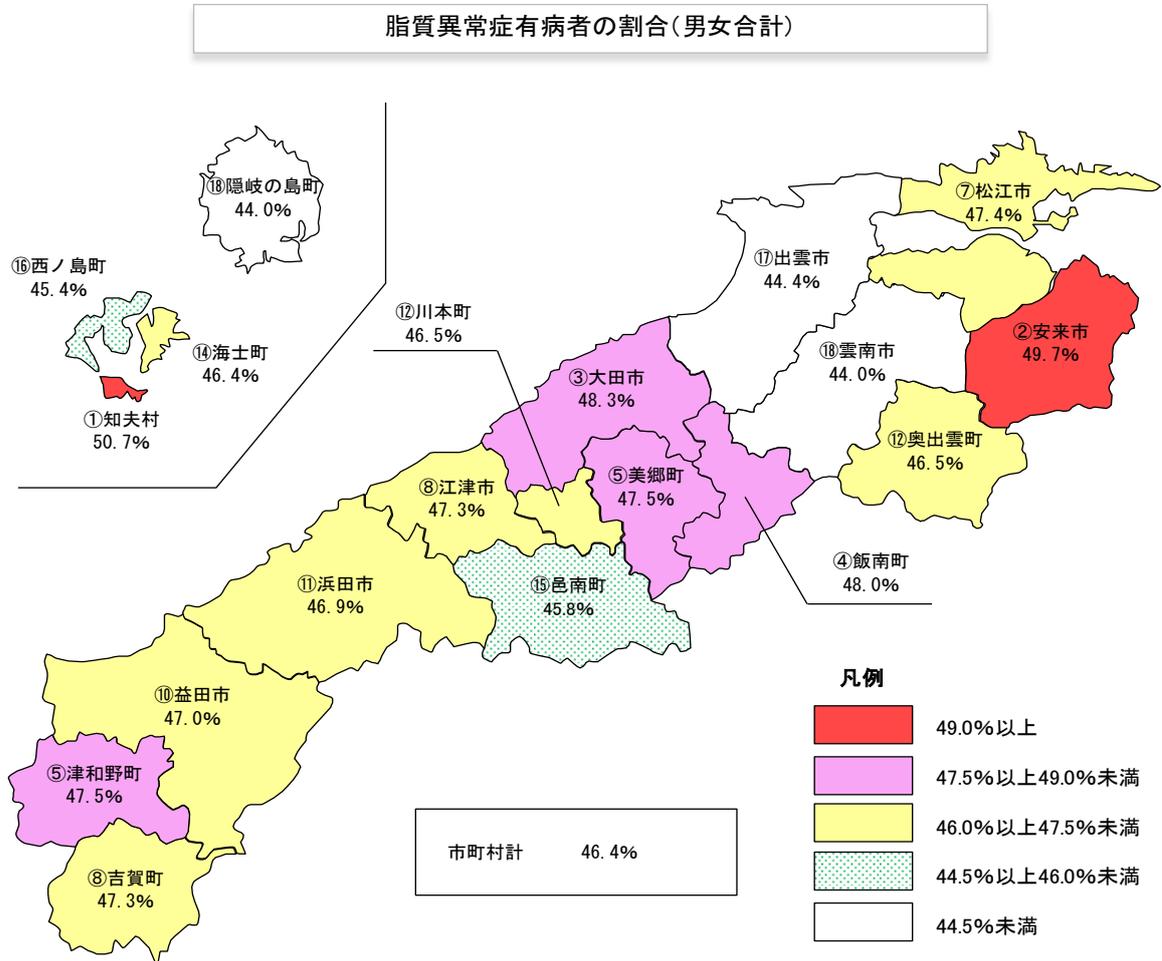
糖尿病予備群の割合が最も高いのは美郷町で22.3%、最も低いのは出雲市で14.3%。糖尿病有病者の割合と同様に、県中央部及び西部で高い傾向がみられる。



④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

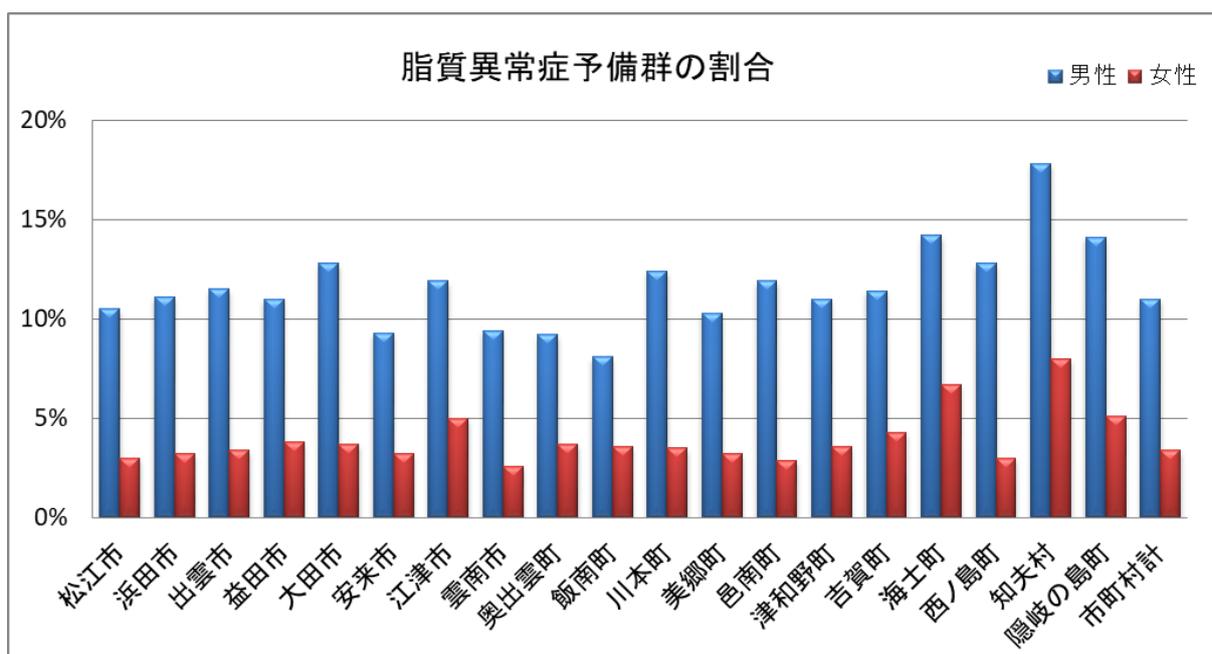
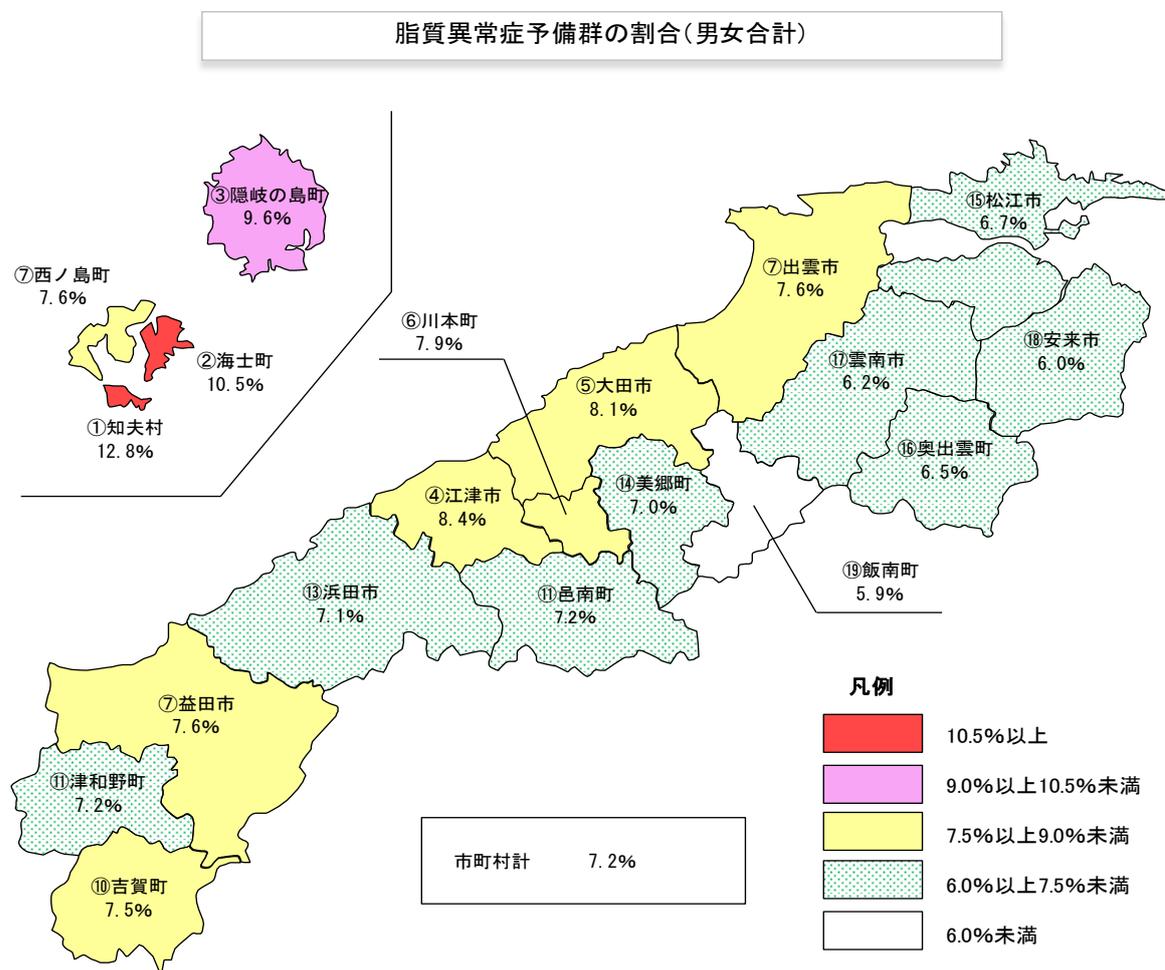
ア 脂質異常症有病者

脂質異常症有病者の割合が最も高いのは知夫村で 50.7%、最も低いのは雲南市、隠岐の島町で 44.0%。男女別にみると、川本町と西ノ島町を除く全ての市町村で女性の割合が高い。



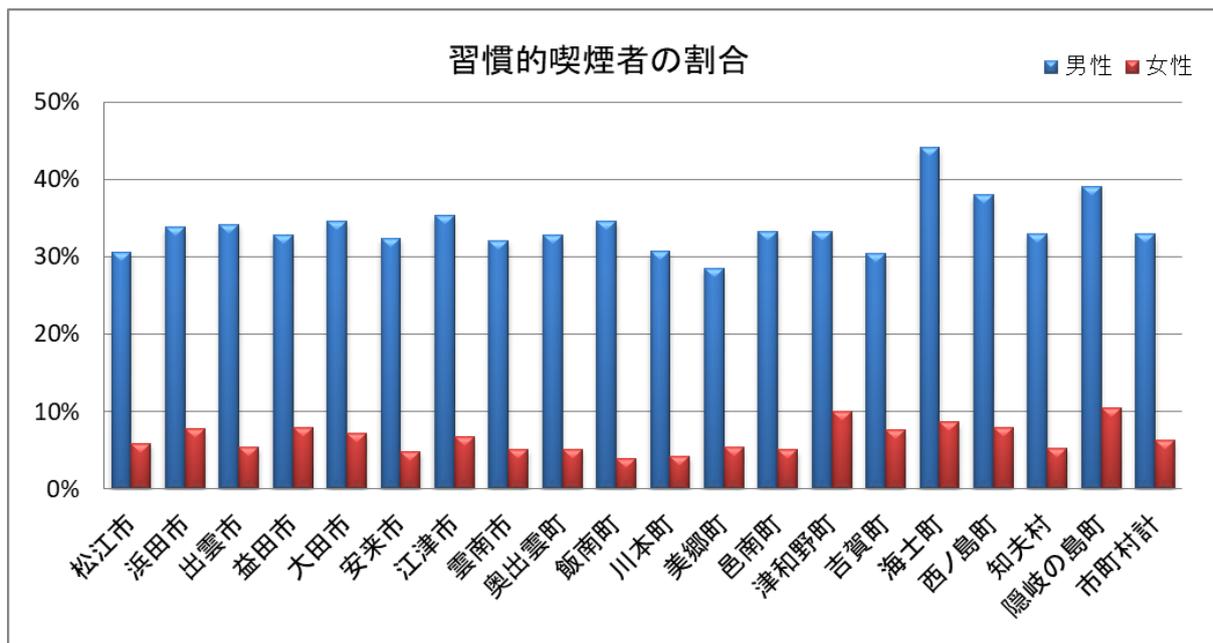
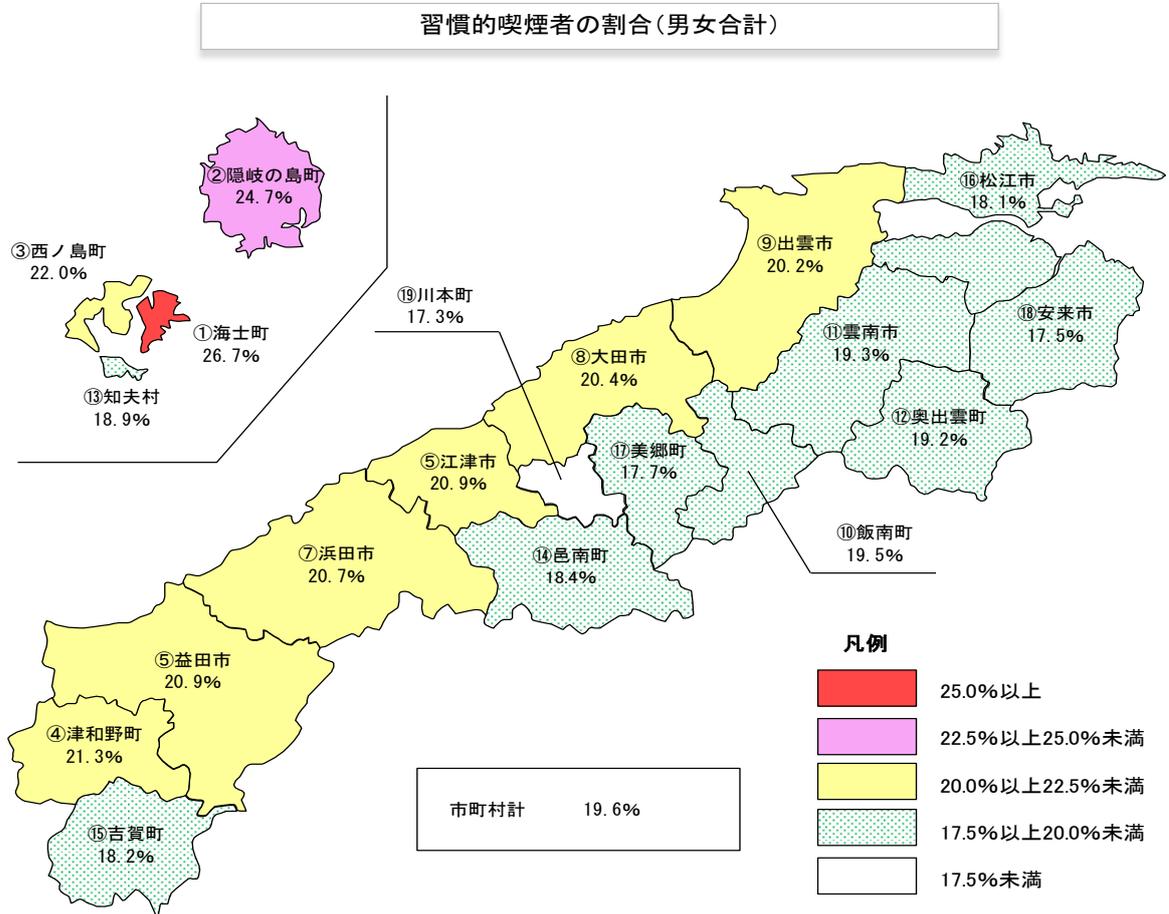
イ 脂質異常症予備群

脂質異常症予備群の割合が最も高いのは知夫村で 12.8%、最も低いのは飯南町で 5.9%。

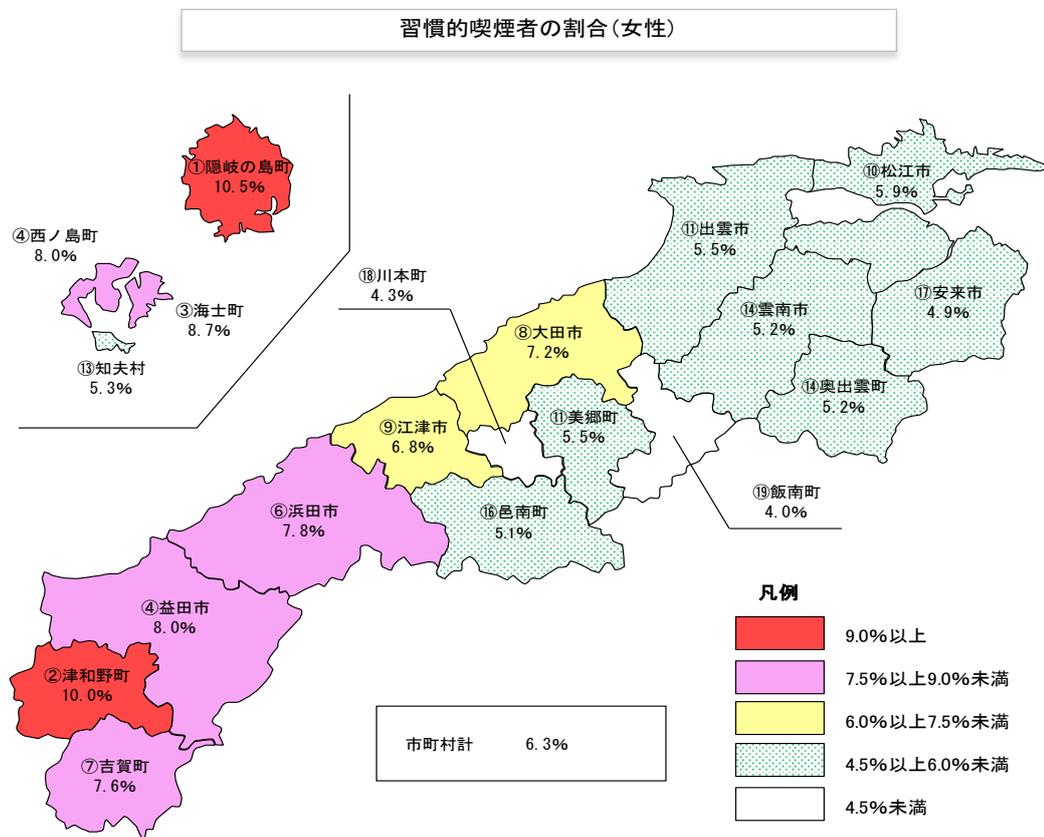
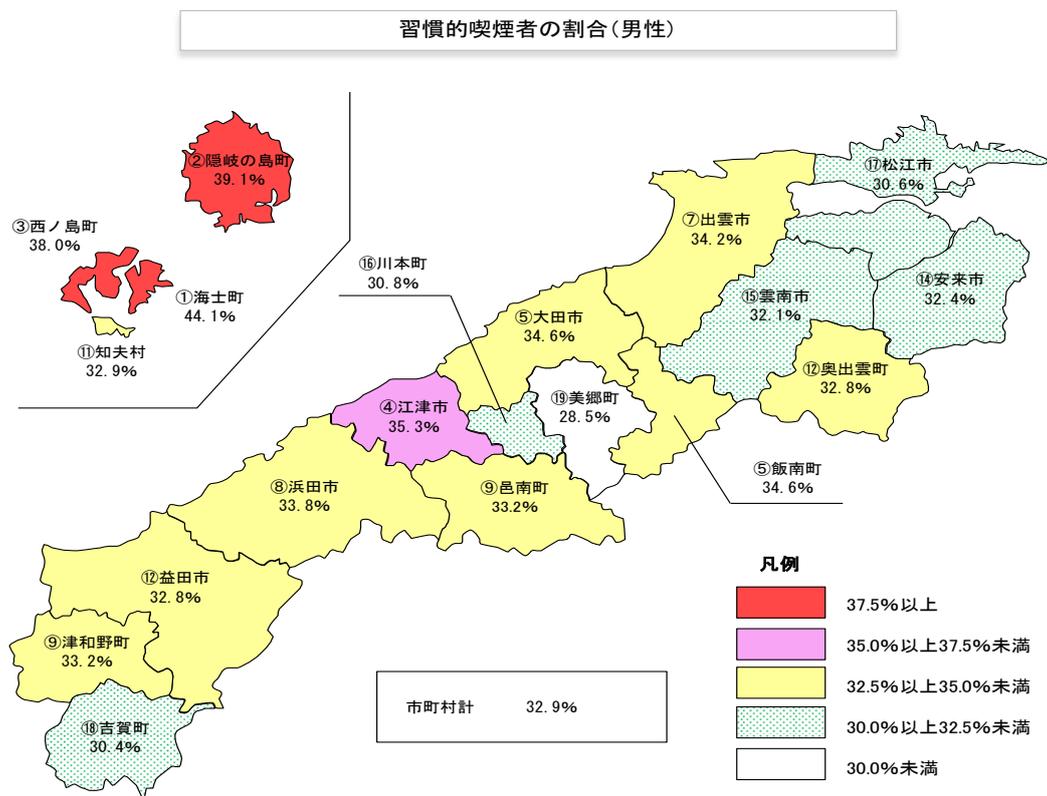


⑤ 習慣的喫煙者の割合

習慣的喫煙者の割合が最も高いのは海士町で 26.7%、最も低いのは川本町で 17.3%。隠岐郡で高い傾向がみられる。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高く、差も大きい。



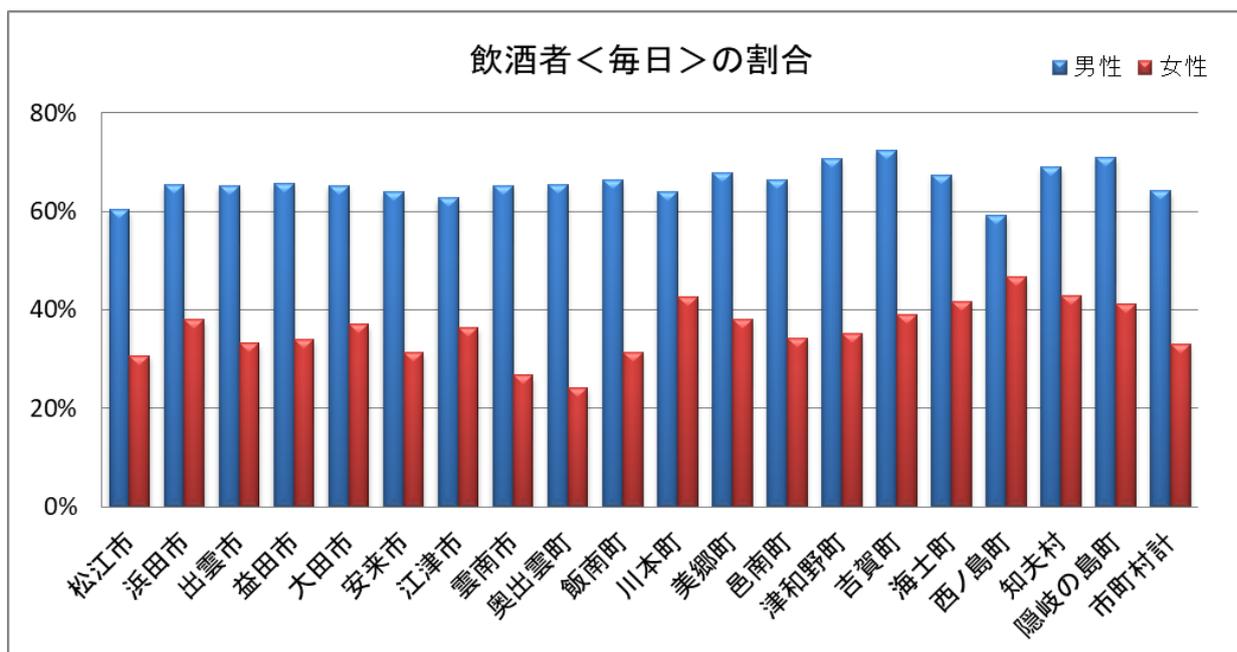
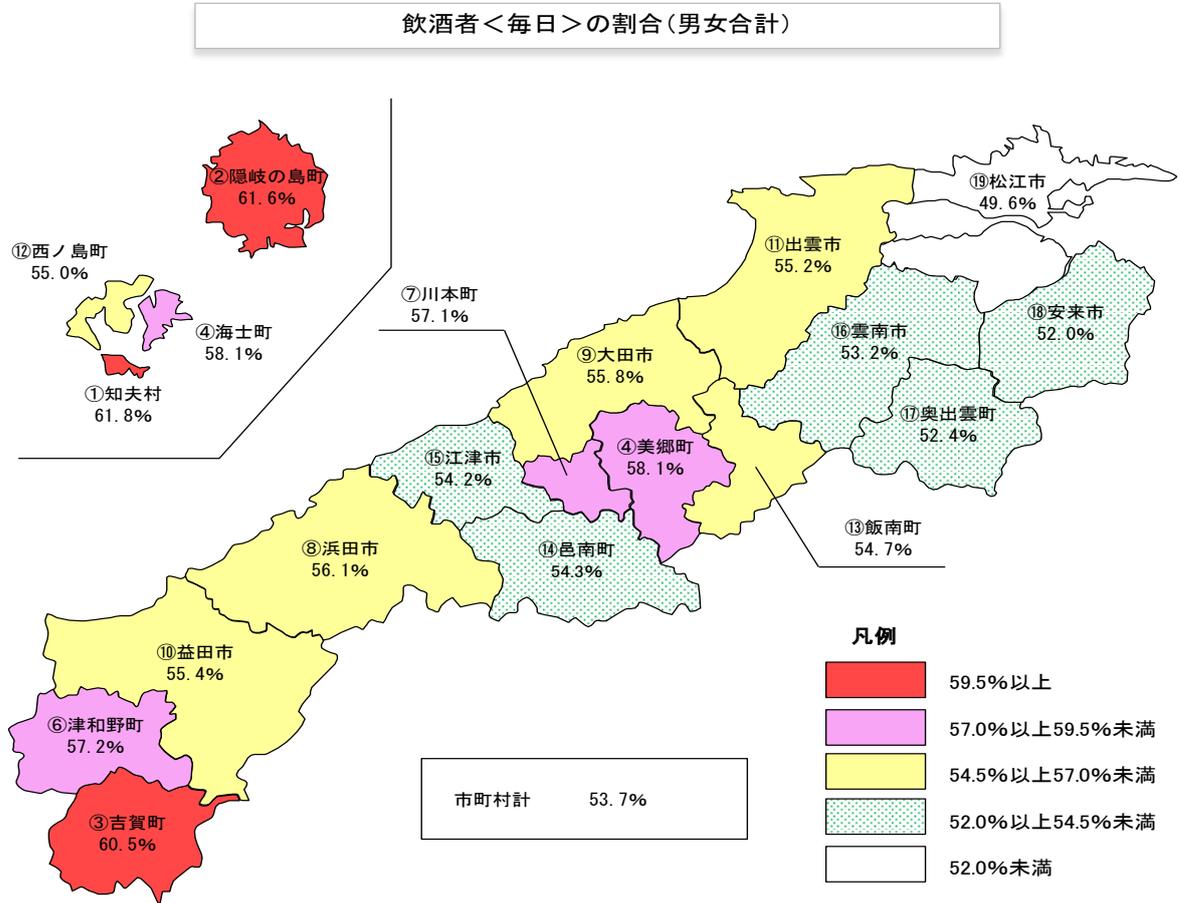
男性の習慣的喫煙者の割合が最も高いのは海士町で44.1%、2番目に高いのは隠岐の島町で39.1%。隠岐郡で高い傾向がみられる。



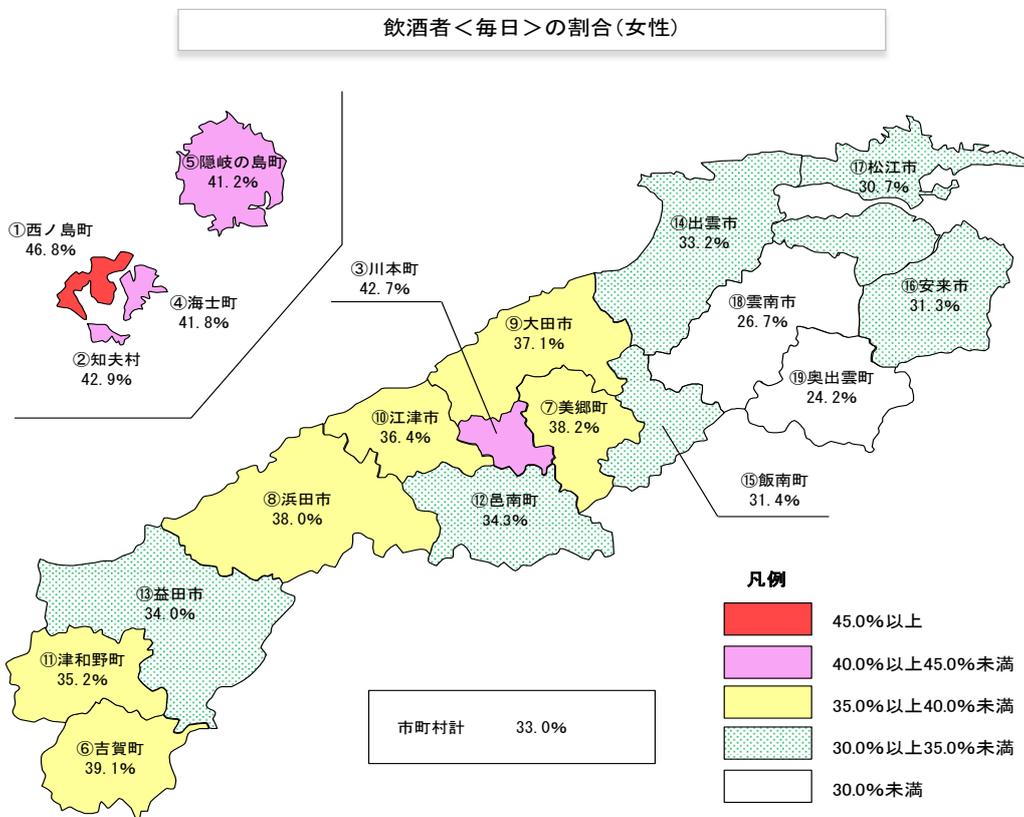
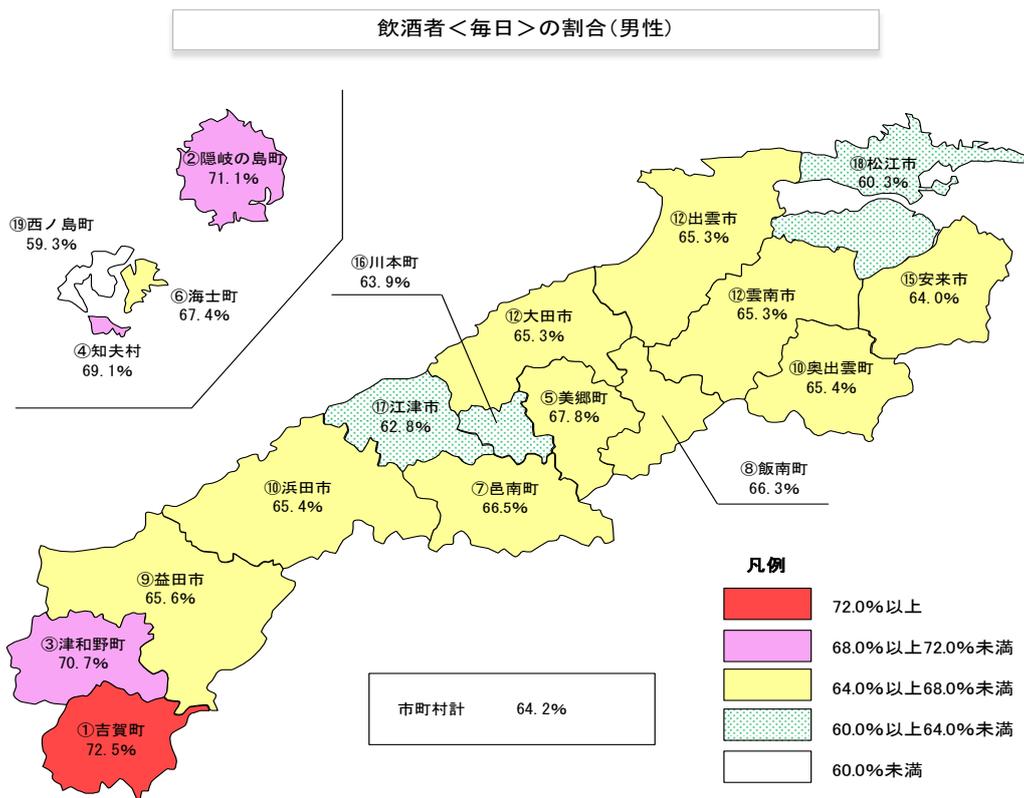
⑥ 飲酒者<毎日>の割合

毎日飲酒している者の割合が最も高いのは、知夫村で 61.8%、最も低いのは松江市で 49.6%。県西部及び隠岐郡で高い傾向がみられる。

男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高く、男女差も大きい。



男性で毎日飲酒している者の割合が最も高いのは吉賀町で72.5%、最も低いのは西ノ島町で59.3%。



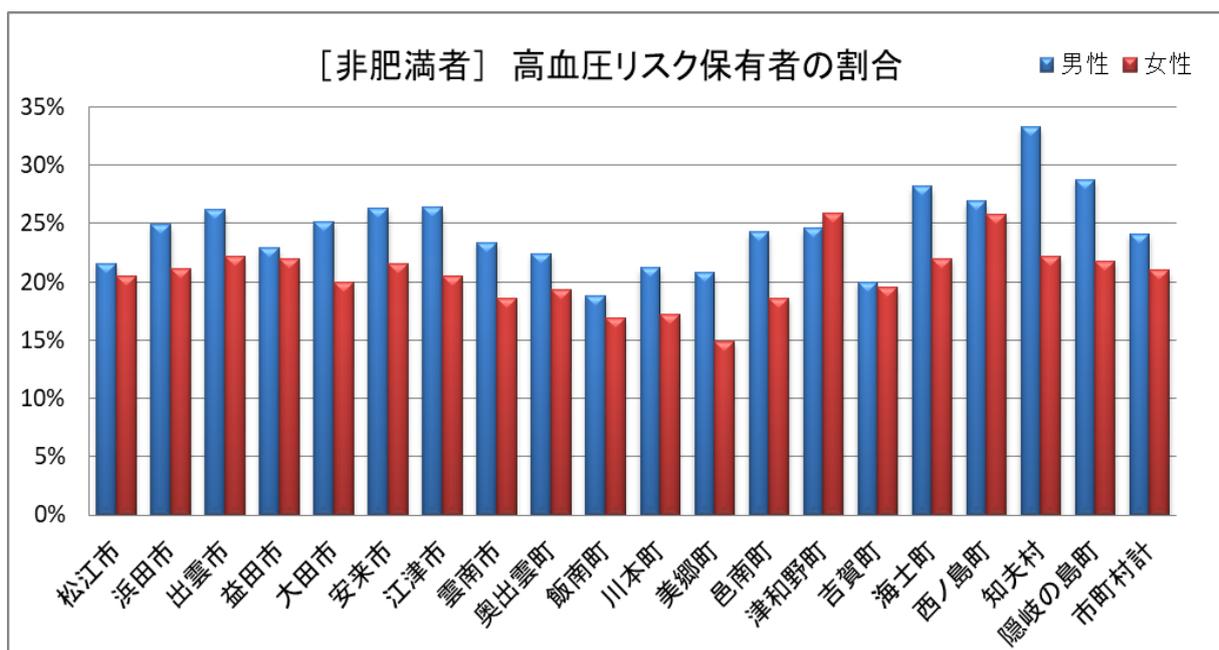
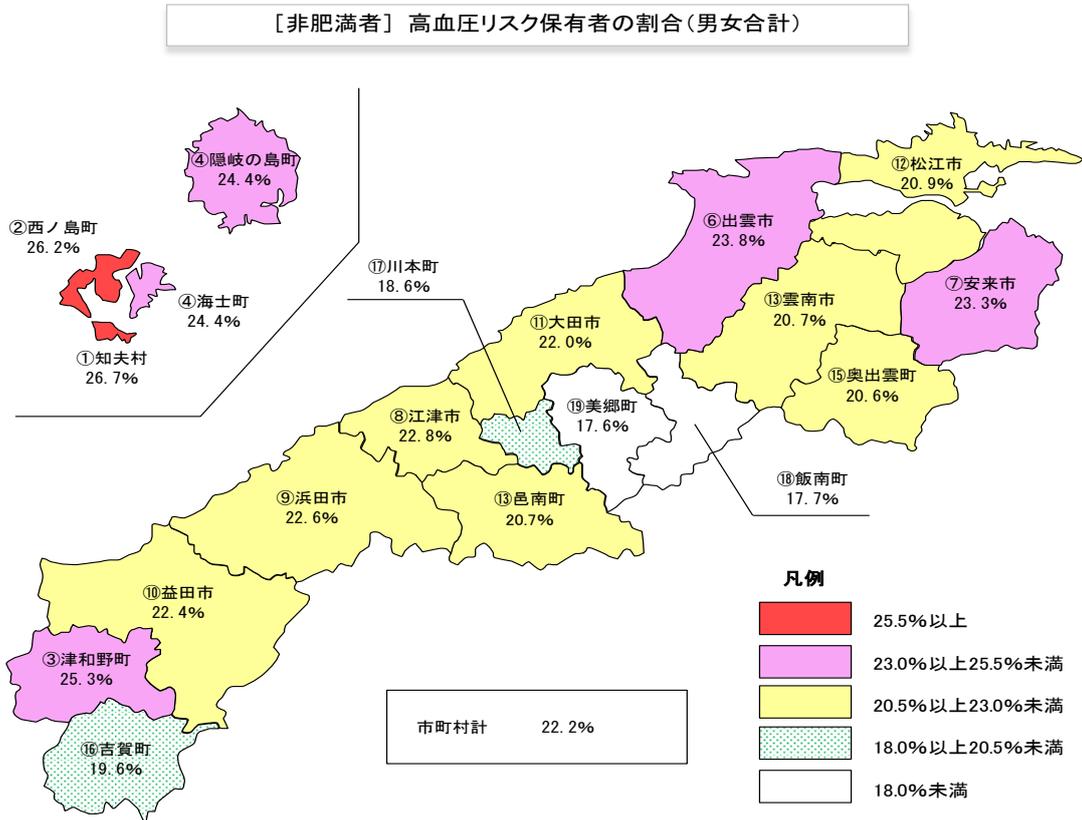
(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合

市町村及び男女別に、非肥満者の高血圧、高血糖及び脂質異常のリスク保有者の割合を比較する。

① リスク1項目

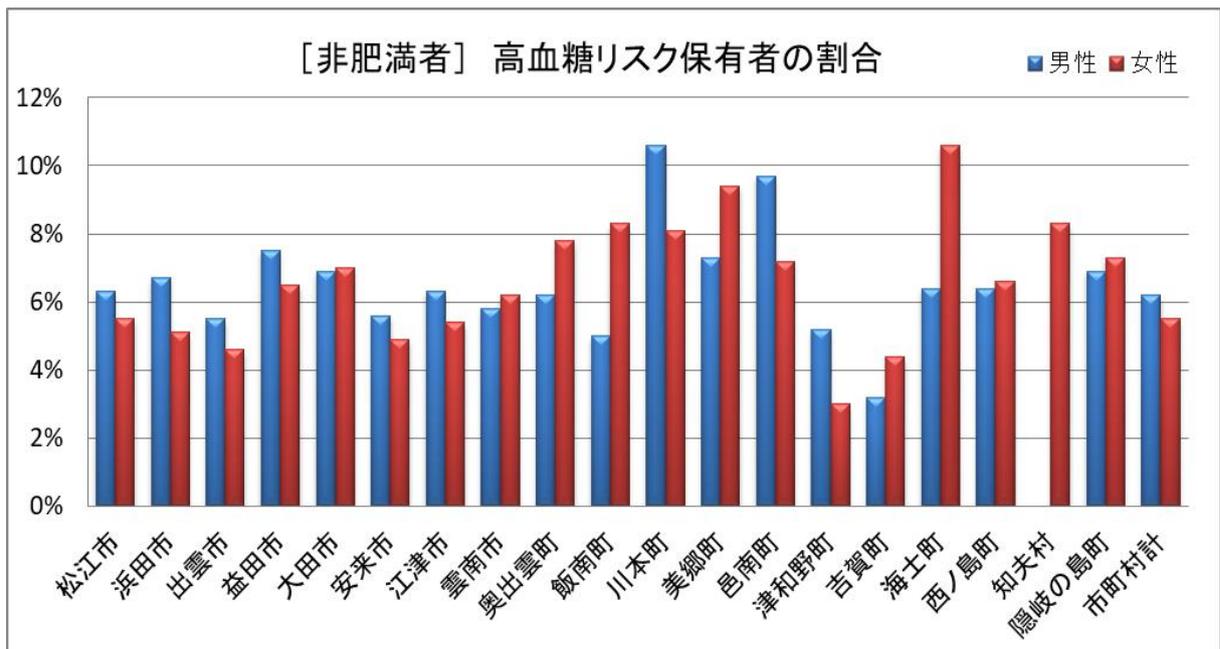
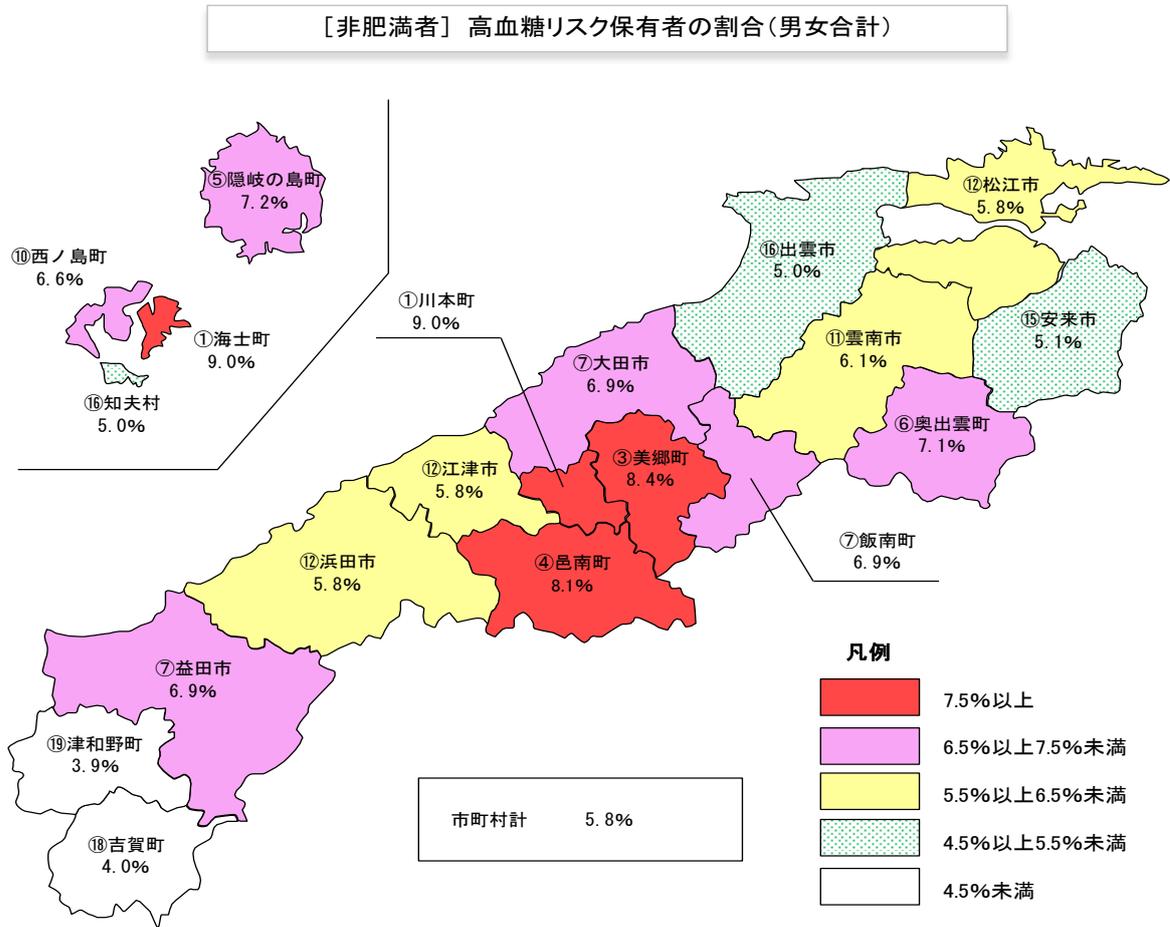
ア 高血圧リスク保有者

高血圧リスク保有者の割合は、最も高いのは知夫村で 26.7%、最も低いのは美郷町で 17.6%。知夫村は、高血圧症有病者の割合も 2 番目に高い (P79 参照)。



イ 高血糖リスク保有者

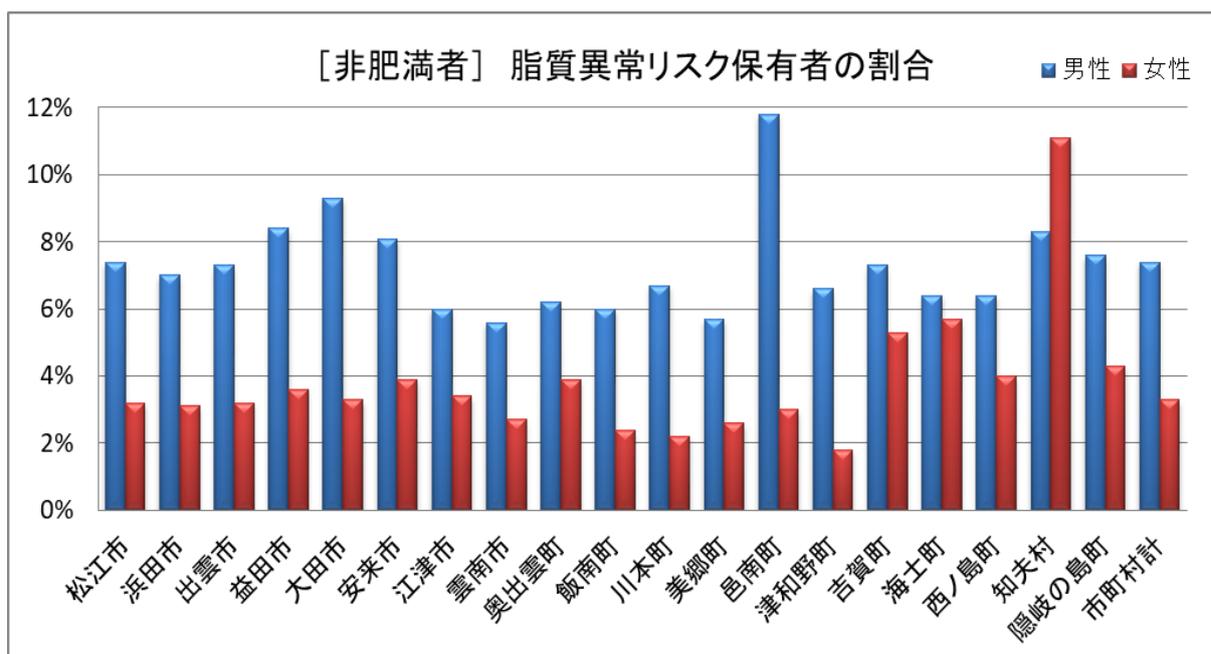
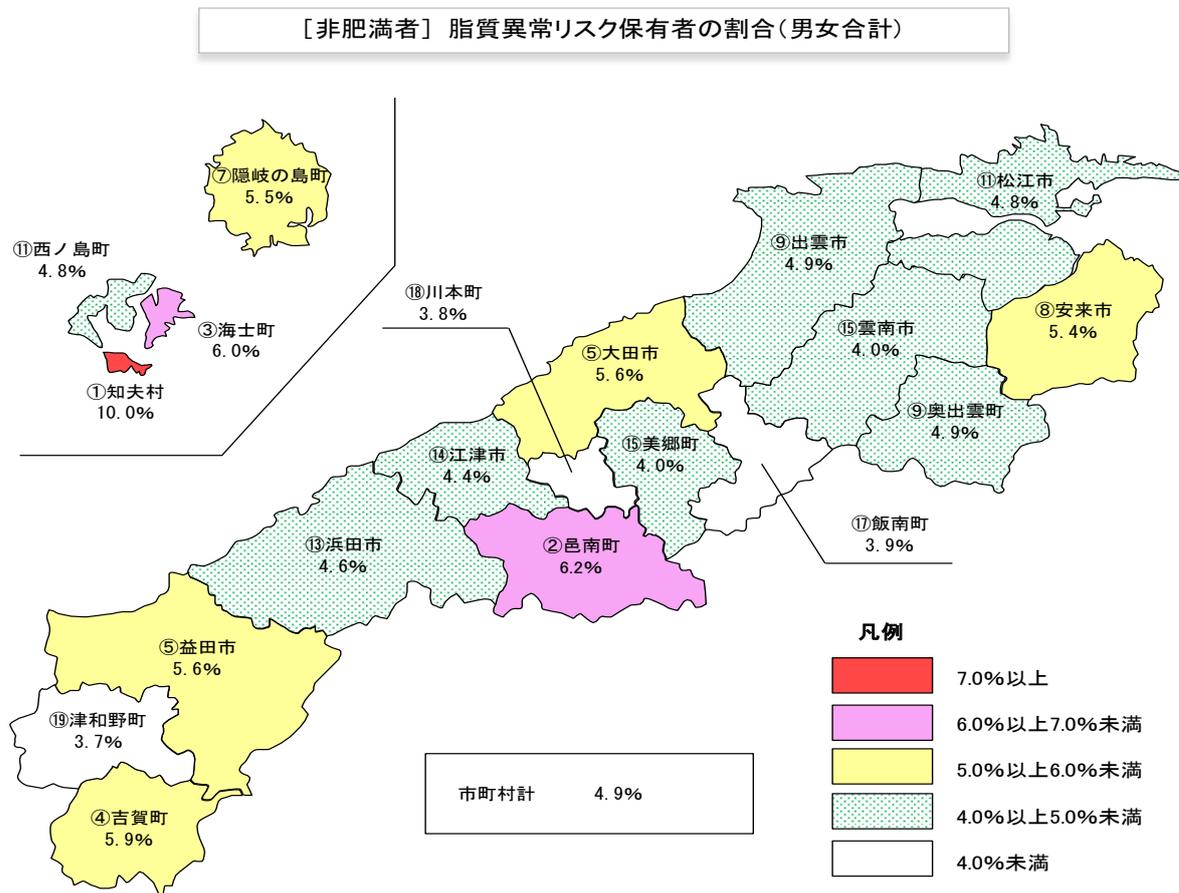
高血糖リスク保有者の割合は、最も高いのは海士町で、9.0%。



※知夫村（男性）該当者なし

ウ 脂質異常リスク保有者

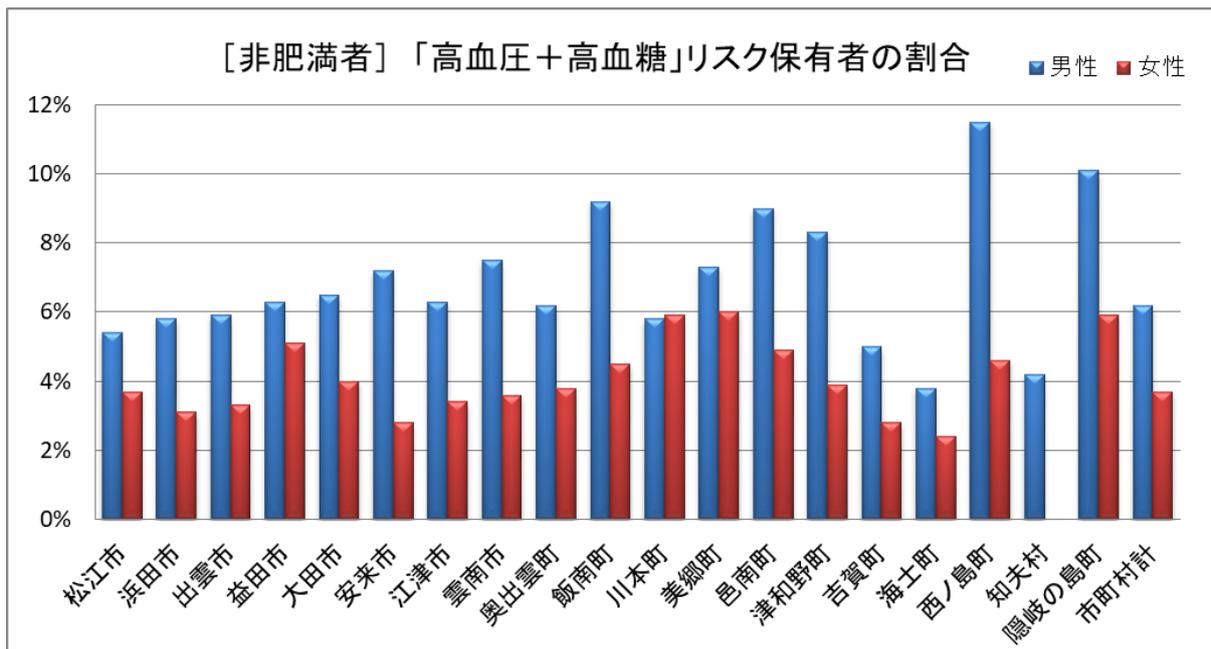
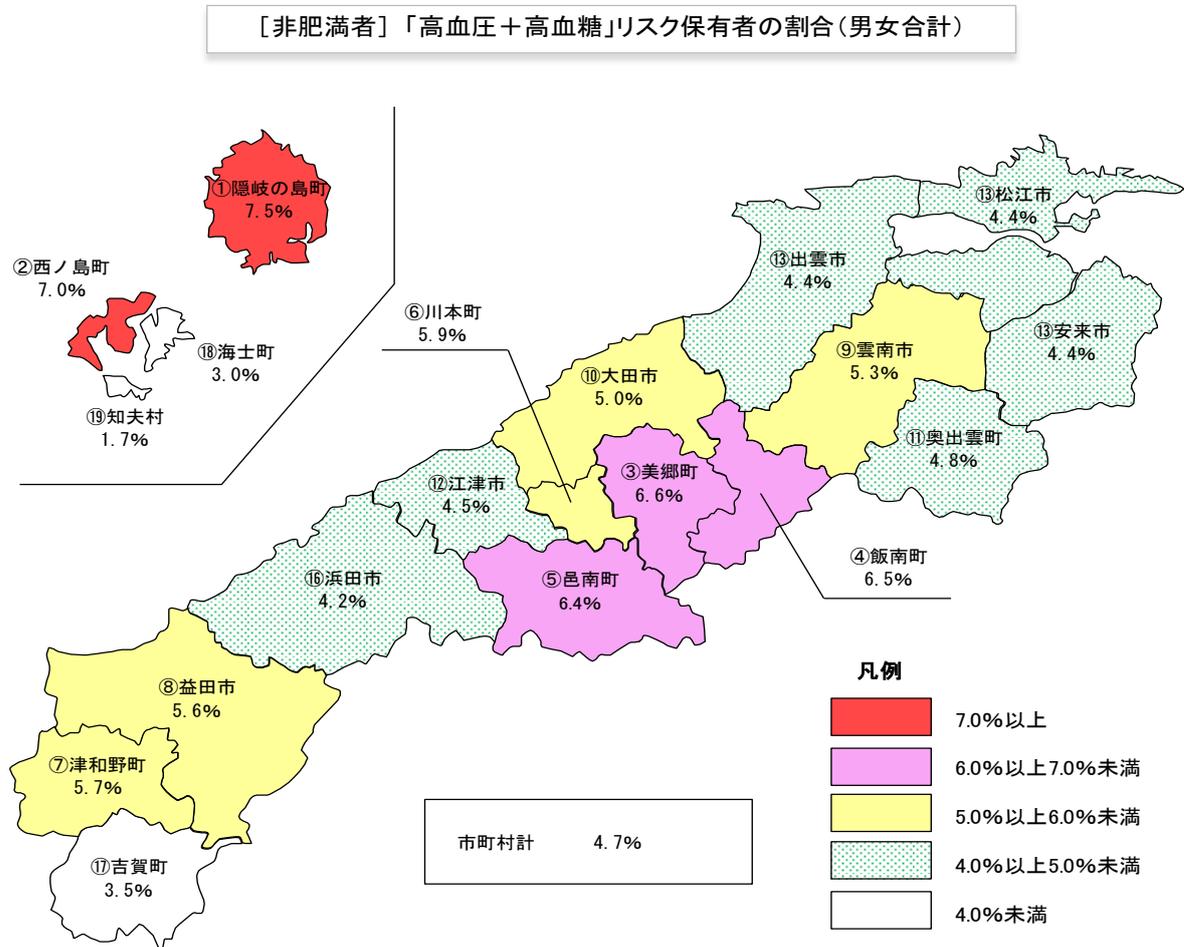
脂質異常リスク保有者の割合が最も高いのは、知夫村で 10.0%。知夫村は、脂質異常症有病者及び予備群も高い (P83、84 参照)。



② リスク2項目

ア 「高血圧+高血糖」リスク保有者

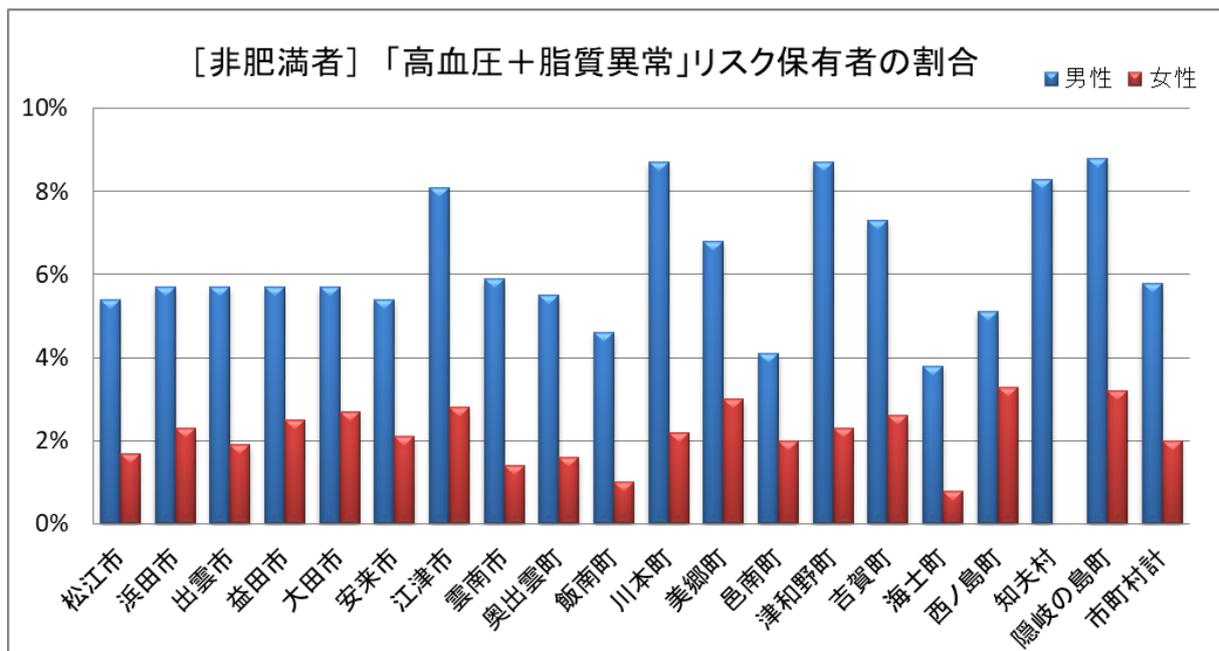
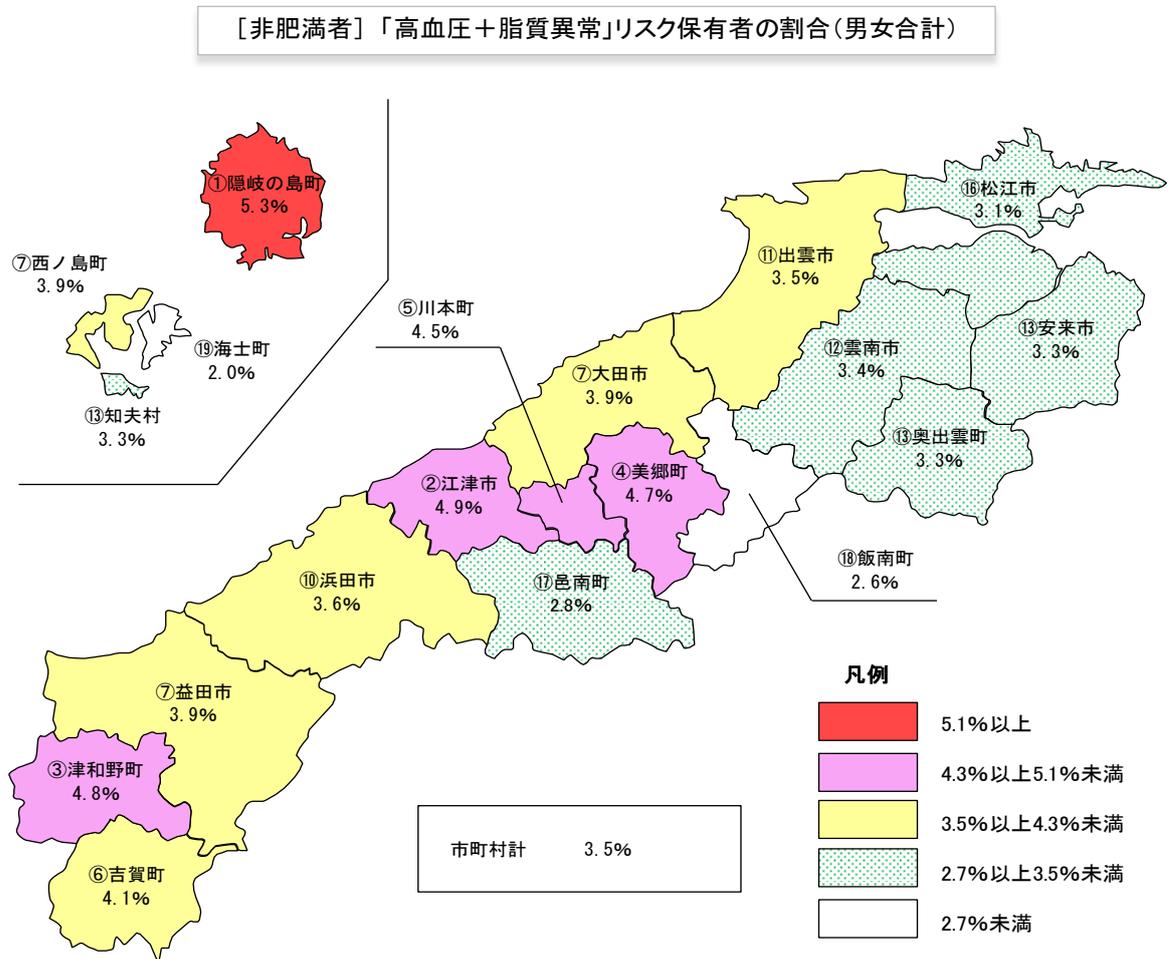
保有者割合が最も高いのは隠岐の島町で7.5%。



※知夫村(女性)該当者なし

イ 「高血圧+脂質異常」リスク保有者

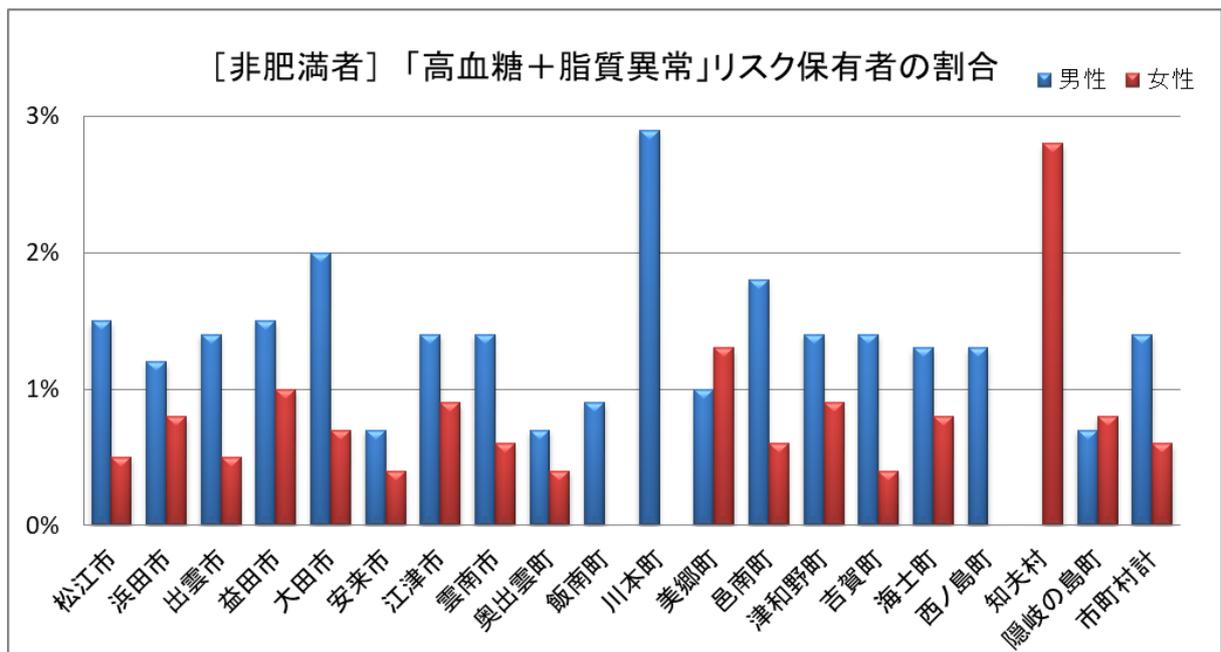
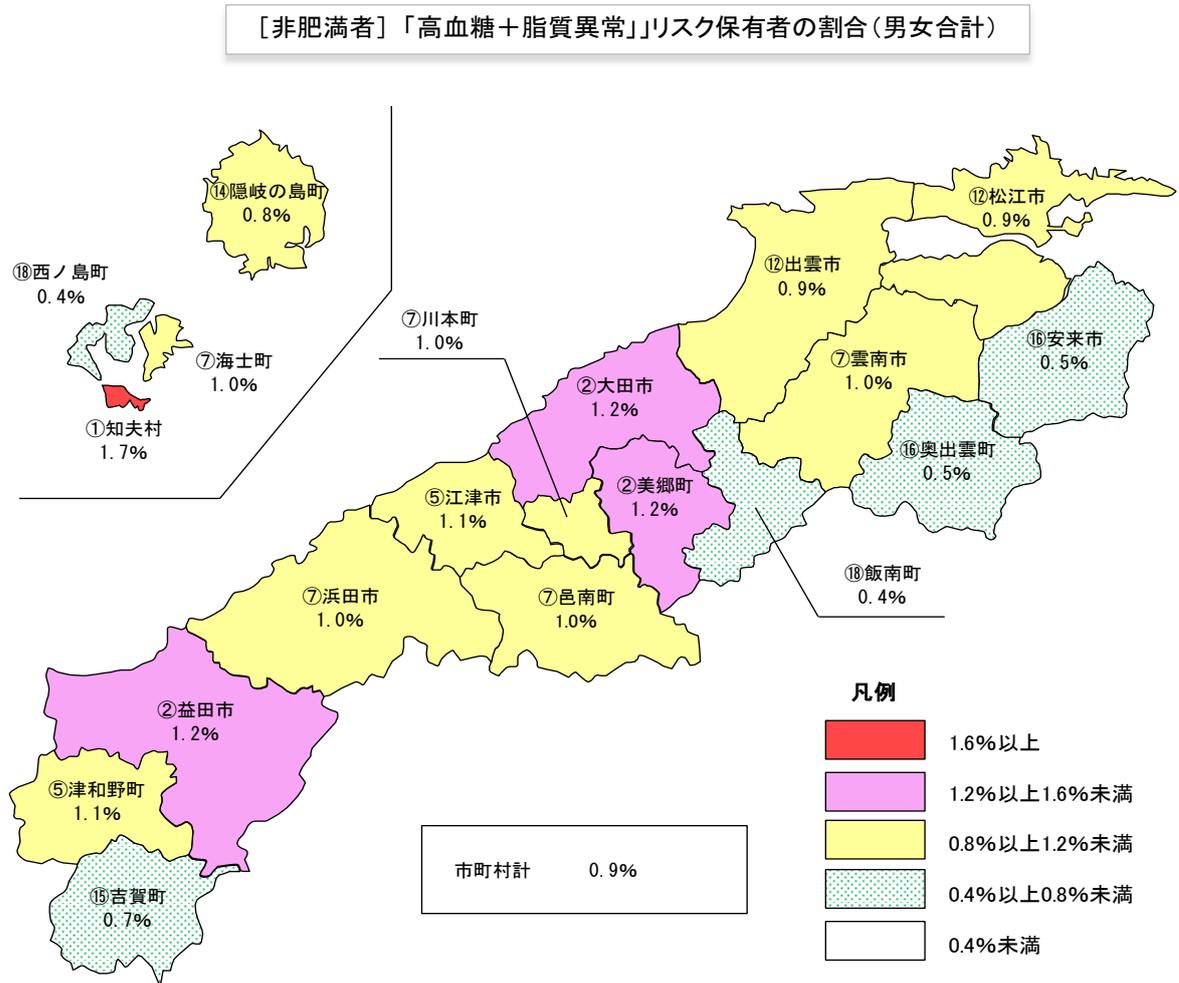
保有者割合が最も高いのは隠岐の島町で5.3%。



※知夫村（女性）該当者なし

ウ 「高血糖＋脂質異常」リスク保有者

保有者割合が最も高いのは知夫村であるが、割合が低く、市町村差も小さい。

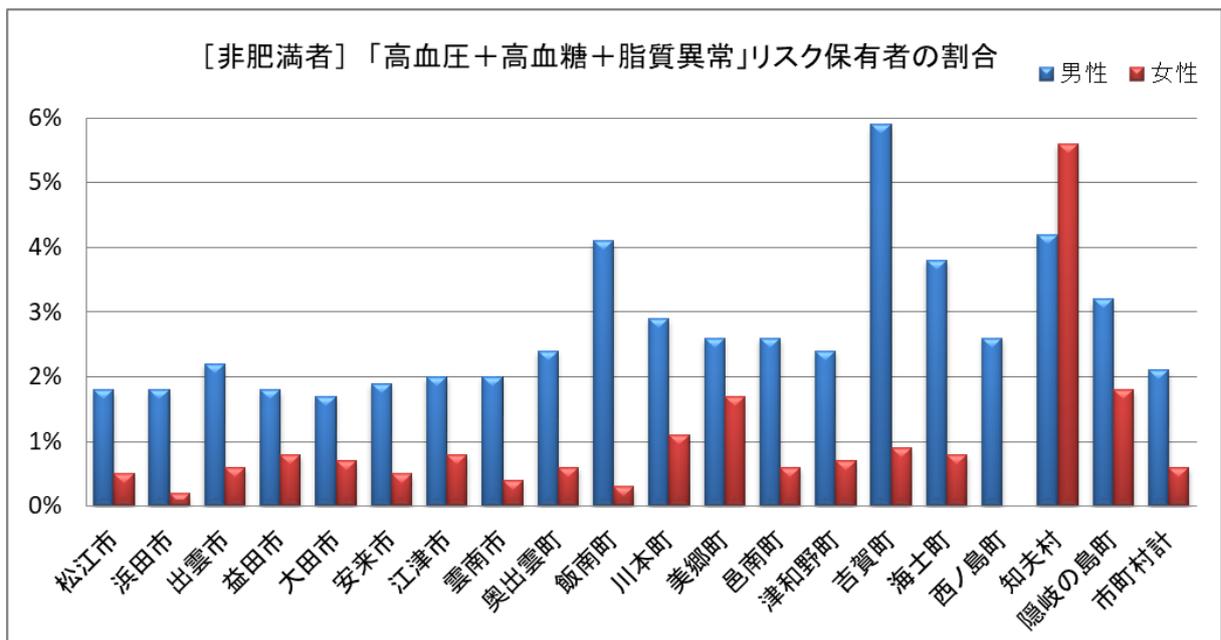
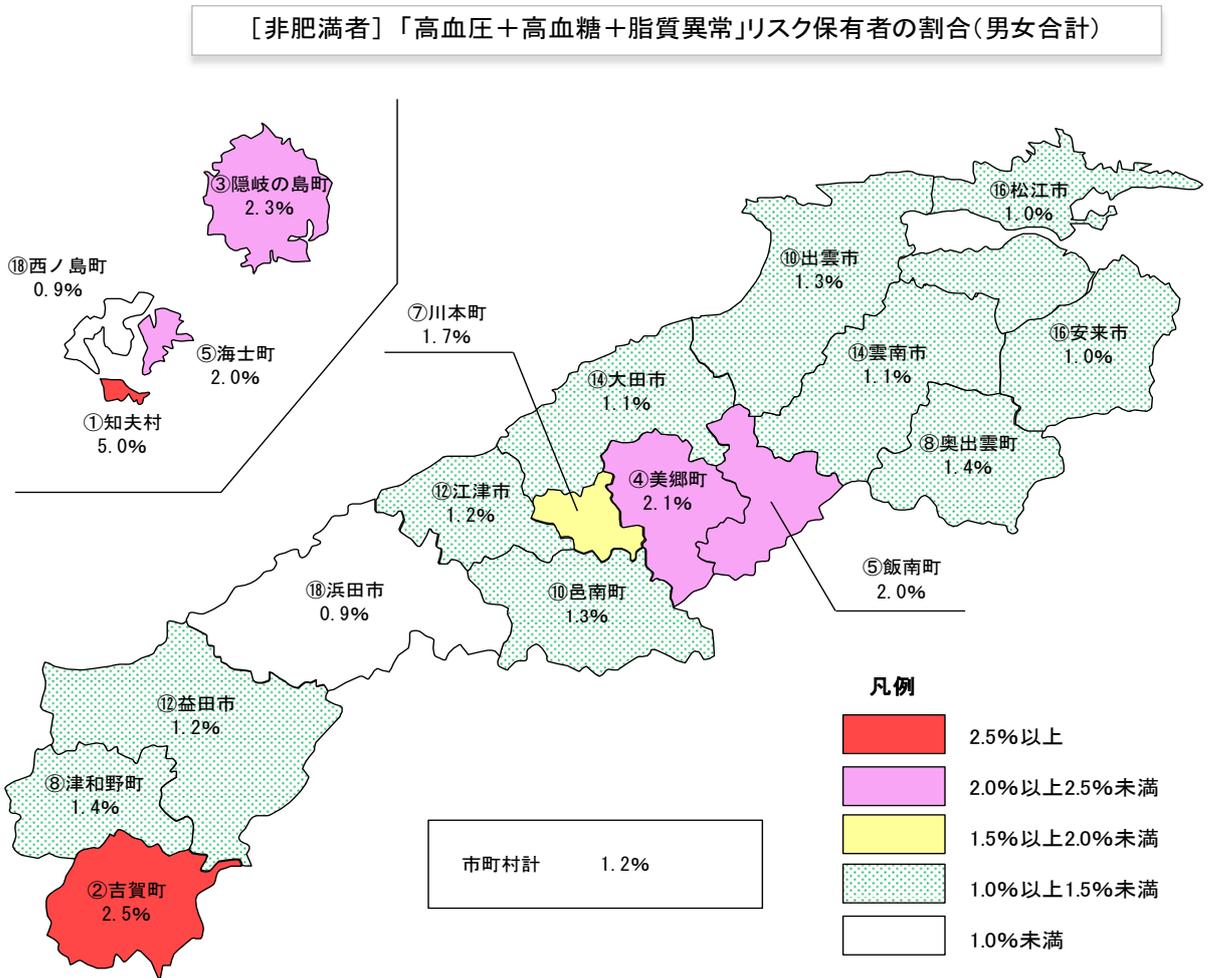


※飯南町(女性)、川本町(女性)、西ノ島町(女性)、知夫村(男性)該当者なし

③ リスク3項目

「高血圧＋高血糖＋脂質異常」リスク保有者

保有者割合は知夫村が最も高く 5.0%。次いで吉賀町の 2.5%となっている。



分析にあたり、島根県立大学の協力を得て、ご助言をいただいた。助言内容については、収集データの範囲、個人情報保護の観点等から、一部反映できない部分を除き、報告書に盛り込んだ。関係機関におかれては、引き続き、本報告書を保健事業等の推進にご活用いただきたい。